

草牟田小学校プール新築その他本体工事

図 面 リ ス ト					
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A-00	タイトル・図面リスト	A-25	プール 底板配置図	S-01	構造設計特記仕様（付属屋）
A-01	建築工事特記仕様書 5-1	A-26	プール 断面詳細図(1)	S-02	壁式鉄筋コンクリート造構造配筋標準図(1)
A-02	建築工事特記仕様書 5-2	A-27	プール 断面詳細図(2)	S-03	壁式鉄筋コンクリート造構造配筋標準図(2)
A-03	建築工事特記仕様書 5-3	A-28	プール 部分詳細図(1)	S-04	基礎伏図（プール付属屋）
A-04	建築工事特記仕様書 5-4	A-29	プール 部分詳細図(2)	S-05	RF梁伏図（プール付属屋）
A-05	建築工事特記仕様書 5-5	A-30	プール 配管図	S-06	架構図.1（プール付属屋）
A-06	附近見取図・配置図・工事区分表	A-31	プール 塗装要領図	S-07	架構図.2（プール付属屋）
A-07	建築概要・求積図・仕上表	A-32	プール スロープ仕切柵-A	S-08	基礎伏図 梁伏図 架構図（体育倉庫）
A-08	全体平面図	A-33	プール スロープ仕切柵-B	S-09	プール付属屋 体育倉庫 基礎・地中梁リスト
A-09	プール付属屋 平面図・屋根伏図・天井伏図	A-34	体育倉庫 平面図・立面図・断面図・天井伏図・建具表	S-10	プール付属屋 体育倉庫 梁リスト
A-10	プール付属屋 立面図・断面図	A-35	体育倉庫 矩計図・平面詳細図・展開図	S-11	プール付属屋 体育倉庫 壁・スラブリスト・雑配筋図
A-11	プール付属屋 矩計図(1)	A-36	体育倉庫 棚詳細図	S-12	プール付属屋 構造詳細図
A-12	プール付属屋 矩計図(2)	A-37	フェンス展開図	S-13	体育倉庫 構造詳細図
A-13	プール付属屋 スロープ詳細図	A-38	フェンス部分詳細図	S-14	構造設計標準仕様（プール）
A-14	プール付属屋 平面詳細図	A-39	フェンス基礎部分詳細図	S-15	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
A-15	プール付属屋 展開図(1)	A-40	屋根付き休憩所・部分詳細図	S-16	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)
A-16	プール付属屋 展開図(2)	A-41	洗眼場・シャワー部分詳細図	S-17	耐圧版伏図（トレンチピット）
A-17	プール付属屋 展開図(3)	A-42	外構図	S-18	上床版伏図（トレンチピット）
A-18	プール付属屋 建具キープラン・建具表	A-43	外構詳細図(1)	S-19	配筋詳細図-1（トレンチピット）
A-19	プール付属屋 家具図(1)	A-44	外構詳細図(2)	S-20	配筋詳細図-2（トレンチピット）・耐圧版リスト・スラブリスト
A-20	プール付属屋 家具図(2)	A-45	現況敷地図		
A-21	プール付属屋 サイン図・部分詳細図	A-46	既存雨水貯留施設配置図		
A-22	プール 特記仕様書				
A-23	プール 平面図・断面図				
A-24	プール ベースアンカー配置図				

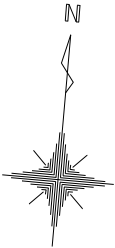
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																								
7 鉄 骨 工 事	4. 溶 接 接 合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形 ・K形 (7. 6. 4) 余盛り高さ ※鉄骨精度検査基準による (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 (7. 6. 12) 溶接部の試験 ※外観試験 (a)() (b)() ※超音波探傷試験 ※行う AOQL(工場溶接) ※レベルⅠ: 4.0% ・レベルⅡ: 2.5% 検査水準 ※第6水準 ・()	11 タ イ ル 工 事	○ 1. 共 通 事 項	伸縮調整目地及びびひ割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁(※表11. 1. 1 ・図示による) 屋内(・) 寸法 ※9. 7. 3 ・()	12 木 工 事	○ 2. 防 腐 ・ 防 蟻 ・ 防 虫 処 理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※行う(範囲:) ・行わない 木材処理 ※行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く)) ・行わない 防蟻・防蟻処理 ・薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 (12. 3. 1) ○ 薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 防虫処理 ・行う ※行わない (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。																																								
	5. 錆 止 め 塗 装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲() (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲() 種別 鋼製スリーブ内面(※As種 ・Bs種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面 () (7. 8. 4)		○ 2. 施 工 後 の 確 認 及 び 試 験	※外観の確認 ※打診による確認 ・引張接着試験 (11. 1. 7)		3. RC造等の内部間仕切軸組及び床組	木材 (12. 4. 1) 間仕切軸組に用いる製材 ・杉 ・松 ・() 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ひのき ・保存処理木材 ・() 床組に用いる製材(上記以外) ・杉 ・松 ・()																																								
	6. 耐 火 被 覆	種類 () (7. 9. 2) 材料 () 工法 () 耐火性能() (7. 9. 3)		○ 3. 材 料	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) <table><tr><th>施工箇所</th><th>形状・寸法</th><th>耐薬害性</th><th>耐滑り性</th><th>役物</th><th>色</th></tr><tr><td>トイレ壁</td><td>図示</td><td>○有 ・無</td><td>・有 ○無</td><td>・有 ○無</td><td>○標準 ・特注</td></tr><tr><td>トイレ床・階段</td><td>図示</td><td>○有 ・無</td><td>○有 ・無</td><td>・有 ○無</td><td>○標準 ・特注</td></tr><tr><td>洗い場・シャワ</td><td>図示</td><td>○有 ・無</td><td>○有 ・無</td><td>・有 ○無</td><td>○標準 ・特注</td></tr><tr><td>洗眼場</td><td>図示</td><td>○有 ・無</td><td>・有 ○無</td><td>・有 ○無</td><td>○標準 ・特注</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り (・実施する ○実施しない) タイル見本焼き(・実施する ○実施しない)		施工箇所	形状・寸法	耐薬害性	耐滑り性	役物	色	トイレ壁	図示	○有 ・無	・有 ○無	・有 ○無	○標準 ・特注	トイレ床・階段	図示	○有 ・無	○有 ・無	・有 ○無	○標準 ・特注	洗い場・シャワ	図示	○有 ・無	○有 ・無	・有 ○無	○標準 ・特注	洗眼場	図示	○有 ・無	・有 ○無	・有 ○無	○標準 ・特注	4. 窓、出入口その他	木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ひのき ・() (12. 5. 1) その他 ・松 ※杉 ・()										
	施工箇所	形状・寸法		耐薬害性	耐滑り性		役物	色																																								
	トイレ壁	図示		○有 ・無	・有 ○無		・有 ○無	○標準 ・特注																																								
トイレ床・階段	図示	○有 ・無	○有 ・無	・有 ○無	○標準 ・特注																																											
洗い場・シャワ	図示	○有 ・無	○有 ・無	・有 ○無	○標準 ・特注																																											
洗眼場	図示	○有 ・無	・有 ○無	・有 ○無	○標準 ・特注																																											
7. 工 事 現 場 施 工	建方精度 ※鉄骨精度検査基準による ・() (7. 10. 2) アンカーボルト ・構造用アンカーボルト 形状()寸法() (7. 10. 3) ・ 鋼製アンカーフレーム ・図示による ・() ・ 建方用アンカーボルト 保持及び埋込方法(・A種 ※B種) (7. 10. 3)(表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・B種) 厚さ() (7. 11. 2)	○ 4. セメントモルタルによるタイル張り	・既調合モルタル() (11. 2. 3) ・下地及びタイルごしらえ (・MCR工法 ・目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ・() ・() 工法 () ・()	5. 床 板 張 り	木材 緑甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ひのき ・() ・図示による (12. 6. 1)																																											
8. 軽 量 形 鋼	ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・() (7. 11. 2)	○ 5. 有 機 系 接 着 剤 に よ る タ イ ル 張 り	・外装タイルにおける目地詰め (・行う ・行わない) (11. 3. 3) ・下地及びタイルごしらえ (・MCR工法 ・目荒し工法) (11. 3. 5)	6. 壁 及 び 天 井 下 地	木材 (12. 7. 1) ・杉 ・松 ・() ・図示による																																											
9. 溶 融 亜 鉛 め っ き 工 法	亜鉛めっき <table><tr><th>亜鉛めっき種別</th><th>材 料</th><th>適 用 部 位</th></tr><tr><td>A 種</td><td>最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>B 種</td><td>最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td>C 種</td><td>最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類</td><td></td></tr><tr><td></td><td>普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類</td><td></td></tr></table> 高力ボルト接合摩擦面 ・プラスト処理 ・() (7. 12. 5)	亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位	A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類		B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類		C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類			普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類		○ 1. 材 料	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。 (12. 2. 1) 市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・地域産材の場所 () 地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している 市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分 ・構造材全て ・その他(・) 含水率 構造材 ※20%以下とする。 下地材 ※A種 ・B種 造作材 ※A種 ・B種	12 I I 軸 組 構 造 系 (壁 構 造 系) 工 事	1. 共 通 事 項	※公共建築木造工事標準仕様書(令和7年版)5章の規定による。 ※建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木構仕(5. 1. 1)																											
亜鉛めっき種別	材 料	適 用 部 位																																														
A 種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類																																															
B 種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類																																															
C 種	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類																																															
	普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類																																															
8 コン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工 事	○ 1. 補 強 コンクリートブロック造	ブロックの種類 () (8. 2. 2) モジュール呼び寸法 長さ() 高さ() 正味厚さ () 各部の配筋 ※図示による (8. 2. 5) 目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ (8. 2. 7)	12 木 工 事	2. 木 材	部材寸法、その他 柱 : (120*120) @ 950 間柱 : (120*60) @ 455 胴縁 : (13*45) @ 455 木摺 : (13*75) @ 455 天井 吊木受 : (45*120～150) @ 950 吊木 : (45*45) @ 950 野縁受 : (45*45) @ 950 野縁 : (45*45) @ 455 ※但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。	12 I I 軸 組 構 造 系 (壁 構 造 系) 工 事	2. 木 材	部材寸法、その他 柱 : (120*120) @ 950 間柱 : (120*60) @ 455 胴縁 : (13*45) @ 455 木摺 : (13*75) @ 455 天井 吊木受 : (45*120～150) @ 950 吊木 : (45*45) @ 950 野縁受 : (45*45) @ 950 野縁 : (45*45) @ 455 ※但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。																																								
	2. コンクリートブロック塀壁及び塀	ブロックの種類 ※表8. 3. 1 (8. 3. 2) 壁鉄筋の継手() 定着() 末端部折り曲げ形状() (8. 3. 4) <table><tr><th>縦 筋</th><th>横 筋</th><th>開口補強筋(縦横)</th><th>端部補強筋</th></tr><tr><td>D10－400@</td><td>D10－400@</td><td>1－D13</td><td>1－D13</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		縦 筋	横 筋		開口補強筋(縦横)	端部補強筋	D10－400@	D10－400@	1－D13	1－D13					3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 (※図示 ・()) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・引張りを受けるボルト (※図示 ・()) ・せん断力を受けるボルト (※図示 ・()) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※図示及び木構仕5章各節の規定による。 ・() ※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。	3. 接 合 金 物 ・ 接 合 具 等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 (※図示 ・()) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・引張りを受けるボルト (※図示 ・()) ・せん断力を受けるボルト (※図示 ・()) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※図示及び木構仕5章各節の規定による。 ・() ※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。																												
	縦 筋	横 筋		開口補強筋(縦横)	端部補強筋																																											
	D10－400@	D10－400@		1－D13	1－D13																																											
3. A L C パネル	区分()単位荷重()厚さ()幅()長さ()耐火性能() (8. 4. 2) 耐火目地材 ・図示による ・() 外壁パネル構法 構法の種別:(・A種 ・B種)目地幅() (8. 4. 3) 耐風圧性能()耐震性能()	「JAS1083」による製材 下地用製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※図示による 等級 ・図示による ※2級 造作用製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※図示による 板類における等級 ※枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※図示による 等級 ※1等 ・図示による ・() 含水率 ※10%以下 ・図示による ・()	4. 仕 口 及 び 継 手 の 工 法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号)による。 木構仕(5. 4. 2)	13 屋 根 及 び と い 工 事	1. 長 尺 金 属 板 葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) <table><tr><th>屋根葺き形式</th><th>材 種 (板・コイル)</th><th>表 面 処 理</th><th>板厚(mm)</th></tr><tr><td>・心木なし瓦葺葺</td><td>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</td><td>・フッソ樹脂塗装</td><td>※0.4 ・0.5</td></tr><tr><td>・立て平葺</td><td>・溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)</td><td>・亜鉛めっき塗装</td><td>・0.6 ・0.8</td></tr><tr><td>・横葺</td><td>・塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</td><td>・焼付塗装</td><td>・0.8 ・1.0</td></tr><tr><td></td><td>・溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</td><td>・</td><td>・1.2 ・</td></tr><tr><td></td><td>・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・鼻隠し・ケラバ</td><td>・</td><td></td><td>※0.6</td></tr></table> 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類 表面 ・1類 ・2類 ・3類 裏面 ・1類 ・2類 ・() めっき付着量 ・() 下葺材料 ※アスファルトルーフィング940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による 横葺きの場合のけらば納め ・つかみ込み納め ・けらば包み納め	屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)	・心木なし瓦葺葺	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・フッソ樹脂塗装	※0.4 ・0.5	・立て平葺	・溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・亜鉛めっき塗装	・0.6 ・0.8	・横葺	・塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・焼付塗装	・0.8 ・1.0		・溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)	・	・1.2 ・		・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)	・		・鼻隠し・ケラバ	・		※0.6	13 屋 根 及 び と い 工 事	2. 折 板 葺	材料 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・0.6 ・0.8) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm) ・) 寸法 山高 ()mm 山ピッチ ()mm 形式 ※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※図示による 軒先面戸板 ※有り ・無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能:) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による	13 屋 根 及 び と い 工 事	○ 3. と い	とい (13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等 ※図示による 外部縦どい受け金物 ※ステンレス製 ・鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※図示による	13 屋 根 及 び と い 工 事	4. 保 証 書 及 び 期 間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。				
屋根葺き形式	材 種 (板・コイル)	表 面 処 理	板厚(mm)																																													
・心木なし瓦葺葺	・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)	・フッソ樹脂塗装	※0.4 ・0.5																																													
・立て平葺	・溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314)	・亜鉛めっき塗装	・0.6 ・0.8																																													
・横葺	・塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)	・焼付塗装	・0.8 ・1.0																																													
	・溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)	・	・1.2 ・																																													
	・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)	・																																														
・鼻隠し・ケラバ	・		※0.6																																													
4. 押 出 成 形 セメント板	種類()形状()厚さ()幅() (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種別:(・A種 ・B種)目地幅() (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種別:(・B種 ・C種) (8. 5. 4)	「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※図示による 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 (表12. 2. 2) 造作用集成材 「JAS1152」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・図示による 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・図示による 化粧ばり構造用集成柱 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※図示による	13 屋 根 及 び と い 工 事	2. 折 板 葺	材料 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・0.6 ・0.8) (13. 3. 2)(13. 3. 3) ・ (板厚(mm) ・) 寸法 山高 ()mm 山ピッチ ()mm 形式 ※重ね形 ・はぜ締め形 ・かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※図示による 軒先面戸板 ※有り ・無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能:) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による	13 屋 根 及 び と い 工 事	○ 3. と い	とい (13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等 ※図示による 外部縦どい受け金物 ※ステンレス製 ・鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※図示による	13 屋 根 及 び と い 工 事	4. 保 証 書 及 び 期 間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。																																					
9 防水工事	1. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) <table><tr><th>工程種別</th><th>適用箇所</th><th>仕 上 げ 塗 料 塗 り</th><th>厚 さ</th></tr><tr><td>・ S－F1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※1.2mm ・</td></tr><tr><td>・ S－F2</td><td></td><td></td><td>※1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M1</td><td></td><td>・ カラー ・ シルバー</td><td>※1.5mm ・</td></tr><tr><td>・ S－M2</td><td></td><td></td><td>※1.5mm ・</td></tr></table> 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること 可塑剤移行防止用シート ※発泡ポリエチレンシート ・() (9. 4. 4)	工程種別	適用箇所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ	・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※1.2mm ・	・ S－F2			※1.5mm ・	・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※1.5mm ・	・ S－M2			※1.5mm ・	9 防 水 工 事	2. 塗 膜 防 水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) <table><tr><th>工程種別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ X-1 (絶縁工法)</td><td>※屋根</td><td></td></tr><tr><td>・ X-2 (密着工法)</td><td>※屋根</td><td></td></tr></table> ゴムアスファルト系塗膜防水 <table><tr><th>工程種別</th><th>施 工 箇 所</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・ Y-1</td><td>地下外壁</td><td></td></tr><tr><td>・ Y-2</td><td>屋内</td><td>保護層 ・適用する ・適用しない</td></tr></table>	工程種別	施 工 箇 所	備 考	・ X-1 (絶縁工法)	※屋根		・ X-2 (密着工法)	※屋根		工程種別	施 工 箇 所	備 考	・ Y-1	地下外壁		・ Y-2	屋内	保護層 ・適用する ・適用しない	○ 3. シ ー リ ン グ	シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法 ※9. 7. 3(1)(7～9) ・() (9. 7. 3) 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験 (9. 7. 5)	○ 4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金ごて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)	○ 5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。
工程種別	適用箇所	仕 上 げ 塗 料 塗 り	厚 さ																																													
・ S－F1		・ カラー ・ シルバー	※1.2mm ・																																													
・ S－F2			※1.5mm ・																																													
・ S－M1		・ カラー ・ シルバー	※1.5mm ・																																													
・ S－M2			※1.5mm ・																																													
工程種別	施 工 箇 所	備 考																																														
・ X-1 (絶縁工法)	※屋根																																															
・ X-2 (密着工法)	※屋根																																															
工程種別	施 工 箇 所	備 考																																														
・ Y-1	地下外壁																																															
・ Y-2	屋内	保護層 ・適用する ・適用しない																																														
10 石 工 事	1. 共 通 事 項	石の割付け ・() ・図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・監督員と協議 ・図示による ワックスの使用 ・使用する ・使用しない (10. 1. 5)	12 木 工 事	2. 材 料	テラゾ (10. 2. 1) 種類及び大きさ ※大理石(1.5～12mm) ・() テラゾブロック 形状 ・平物 ・役物 仕上げ面 ・片面 ・両面 寸法 (図示による) 表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き	12 木 工 事	株式会社みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康		草牟田小学校プール新築その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－3 鹿児島市建設局建築部建築課																																							
	接合具等 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※12. 2. 2(2)(ア)による ・() ・図示による (12. 2. 2)			A－03																																												

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																					
14 金属工事	○ 1. 一般事項	あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ・ 実施しない (14. 1. 3)	18 塗装工事	2. 鋼製建具	(16. 4. 2,4,5)(表16. 4. 1,2) <table><tr><th>種別</th><th>簡易気密型ドアセットの性能</th><th>外部に面する建具の耐風圧性</th><th>鋼板類の厚さ</th></tr><tr><td>・標準型建具</td><td>・表16. 4. 1を適用する ・適用しない</td><td>・S-4 ・S-6</td><td>※表16. 4. 2による ・適用しない</td></tr><tr><td>・標準型建具 以外の建具</td><td>・表16. 4. 1を適用する ・適用しない</td><td>・S-4 ・S-6</td><td>※表16. 4. 2による ・適用しない</td></tr></table> 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)	種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ	・標準型建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない	・S-4 ・S-6	※表16. 4. 2による ・適用しない	・標準型建具 以外の建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない	・S-4 ・S-6	※表16. 4. 2による ・適用しない	19 内装工事	○ 1. ビニル床シート、 ビニル床タイル及び ゴム床タイル張り	・耐候性塗料塗り(DP) ・鉄鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 2)(表 18. 7. 1) ・亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 3)(表 18. 7. 2) ・コンクリート面・押出成形セメント板面上塗り塗料の等級 ・ 1級 ・ 2級 ・ 3級 (18. 7. 4)(表 18. 7. 3) ○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) (18. 8. 2～5)(表 18. 8. 1～4) ・塗り種別(下地:コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、プラスター、せっこうボード) ・ A種 ※ B種 ・塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面) ・ A種 ※ B種 ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) 塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 9. 2)(表 18. 9. 1) ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) (18. 10. 2)(表 18. 10. 1) 木部塗り種別 ・ A種 ※ B種 ・木材保護塗料塗り(WP) (18. 12. 2)(表 18. 12. 1) 塗り別 ・ A種 ※ B種 ・その他 材料() (18. 12. 2)(表 18. 12. 1)																																																									
	種別	簡易気密型ドアセットの性能		外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ																																																																								
	・標準型建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない		・S-4 ・S-6	※表16. 4. 2による ・適用しない																																																																								
・標準型建具 以外の建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない	・S-4 ・S-6	※表16. 4. 2による ・適用しない																																																																										
○ 2. 表面処理	○ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1) <table><tr><th>種類</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・AB-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・AC-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・BA-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>※BB-1種(無着色)</td><td>アルミ建具</td></tr><tr><td>・BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・BC-1種(無着色)</td><td></td></tr><tr><td>・BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td></td></tr></table> 陽極酸化皮膜着色方法 ※ 二次電解着色 (色合:) ・ () ・鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2～4) <table><tr><th>表面処理方法</th><th>種類</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td rowspan="3">溶融亜鉛めっき</td><td>・A種</td><td></td></tr><tr><td>・B種</td><td></td></tr><tr><td>・C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="3">電気亜鉛めっき</td><td>・D種</td><td></td></tr><tr><td>・E種</td><td></td></tr><tr><td>・F種</td><td></td></tr></table>	種類	施工箇所	・AB-1種(無着色)		・AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・AC-1種(無着色)		・AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・BA-1種(無着色)		・BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		※BB-1種(無着色)	アルミ建具	・BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・BC-1種(無着色)		・BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・C種		表面処理方法	種類	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・A種		・B種		・C種		電気亜鉛めっき	・D種		・E種		・F種		○ 5. 建具用金物	※建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1,2,3)(表16. 8. 1) マスターキー ※製作する ・ 製作しない (16. 8. 4) 鍵箱 ※必要 (組用) ・ 不要	○ 図示	接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。 ビニル床シート <table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>厚さ</th><th>工法</th><th>備考</th></tr><tr><td>※FS</td><td>・無地</td><td>※2.0</td><td>※熱溶接</td><td>○抗菌・防滑性ビニル床シート</td></tr><tr><td>○図示</td><td>・模様</td><td>・</td><td>・突付け</td><td>○遮熱性・防滑性ビニル床シート</td></tr></table> ビニル床タイル <table><tr><th>種類</th><th>色柄</th><th>厚さ(mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td>※コンポジションビニル床タイル(KT)</td><td>・無地</td><td>※2</td><td>・防滑性床タイル</td></tr><tr><td>・単層ビニル床タイル(TT)</td><td>・模様</td><td>・3</td><td></td></tr><tr><td>・複層ビニル床タイル(FT)</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 特殊機能床材 帯電防止床シート又は床タイル 種類() 性能() 厚さ() 視覚障害者用床タイル 種類() 形状() 耐動荷重性床シート 種類() 厚さ() ビニル幅木 厚さ(※1.5mm以上 ・) 高さ(※60mm ・ 100mm) 種類 () ゴム床タイル 種類() 厚さ() 色柄() 寸法() 下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル() ゴム床タイル()	種類	色柄	厚さ	工法	備考	※FS	・無地	※2.0	※熱溶接	○抗菌・防滑性ビニル床シート	○図示	・模様	・	・突付け	○遮熱性・防滑性ビニル床シート	種類	色柄	厚さ(mm)	備考	※コンポジションビニル床タイル(KT)	・無地	※2	・防滑性床タイル	・単層ビニル床タイル(TT)	・模様	・3		・複層ビニル床タイル(FT)			
種類	施工箇所																																																																												
・AB-1種(無着色)																																																																													
・AB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																													
・AC-1種(無着色)																																																																													
・AC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																													
・BA-1種(無着色)																																																																													
・BA-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																													
※BB-1種(無着色)	アルミ建具																																																																												
・BB-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																													
・BC-1種(無着色)																																																																													
・BC-2種(・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																													
・C種																																																																													
表面処理方法	種類	施工箇所																																																																											
溶融亜鉛めっき	・A種																																																																												
	・B種																																																																												
	・C種																																																																												
電気亜鉛めっき	・D種																																																																												
	・E種																																																																												
	・F種																																																																												
種類	色柄	厚さ	工法	備考																																																																									
※FS	・無地	※2.0	※熱溶接	○抗菌・防滑性ビニル床シート																																																																									
○図示	・模様	・	・突付け	○遮熱性・防滑性ビニル床シート																																																																									
種類	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																										
※コンポジションビニル床タイル(KT)	・無地	※2	・防滑性床タイル																																																																										
・単層ビニル床タイル(TT)	・模様	・3																																																																											
・複層ビニル床タイル(FT)																																																																													
○ 3. 軽量鉄骨天井下	野縁等の種類 屋内 ※19形 ・ 25形 (14. 4. 2)(表14. 4. 1) 屋外 ・ 19形 ※25形 ・野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外) () (14. 4. 3)(表14. 4. 2) ・野縁の間隔(屋外) () ・ダクト等により吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示による ・ () (14. 4. 4) ・天井ふところが3.0m以上の補強方法 ※図示による ・ () ・耐震性を考慮した補強 ※図示による ・ () ・屋外の軒・庇ロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強 ※図示による ・ ()	4. 軽量鉄骨壁下地	スタッド、ランナーの種類 (14. 5. 1～14. 5. 4)(表14. 5. 1) <table><tr><th>種類</th><th>部材</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>・50形</td><td>・スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・65形</td><td>・スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・90形</td><td>・スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr><tr><td>・100形</td><td>・スタッド ・ ランナ</td><td></td></tr></table>	種類	部材	施工箇所	・50形	・スタッド ・ ランナ		・65形	・スタッド ・ ランナ		・90形	・スタッド ・ ランナ		・100形	・スタッド ・ ランナ		7. 軽量シャッター	開閉形式 ※手動式 ・ 上部電動式(手動併用) (16. 12. 2) 耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80 ・ スラットの材質 ※塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯 ・ () (16. 12. 3) スラットの形状 ・ インターロック型 ・ オーバーラッピング型 (16. 12. 4)	○ 8. ガラス	JIS規格品 (16. 14. 2) ※材料、厚みは図示による	○ 9. ガラス留め材	アルミニウム製建具 ※シーリング(SR-1) (16. 14. 2,3) ・ガスケット(グレイジングチャンネル形)(窓に適用) 鋼製・ステンレス製建具 ※シーリング(SR-1) (表9. 7. 1) 木製建具 ※シーリング(SR-1)	10. ガラスブロック積み	JIS A 5212(ガラスブロック(中空)) (16. 14. 5) 表面形状() 呼び寸法() 厚さ() 壁用金属枠及び補強材 () 力骨 <table><tr><th>材質</th><th>寸法</th><th>形状</th></tr><tr><td>※ステンレス鋼(SUS304)</td><td>※径5.5mm</td><td>※はしご形状腹筋及び単筋</td></tr></table> シーリング材 () 金属製化粧カバー 材質() 寸法() 形状() ガラスブロックの目地幅の寸法 平積み ※8～15mm ・ () 曲面積み ※外側15mm以下、内側6mm以上 ・ () 伸縮調整目地位置 ※6mm以下 ・ () 目地部の力骨の補強方法 ※製造所の仕様 ・ ()	材質	寸法	形状	※ステンレス鋼(SUS304)	※径5.5mm	※はしご形状腹筋及び単筋																																													
種類	部材	施工箇所																																																																											
・50形	・スタッド ・ ランナ																																																																												
・65形	・スタッド ・ ランナ																																																																												
・90形	・スタッド ・ ランナ																																																																												
・100形	・スタッド ・ ランナ																																																																												
材質	寸法	形状																																																																											
※ステンレス鋼(SUS304)	※径5.5mm	※はしご形状腹筋及び単筋																																																																											
15 左官工事	○ 1. モルタル塗り	材料 (15. 3. 2) モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料(JIS A 6916) 防水モルタルの防水剤 製造所(監督員の承諾を得るものとする。) ・既製目地材 形状()	18 塗装工事	○ 2. 素地ごしらえ	○ 木部 不透明塗料塗り (※A種 ・ B種) (18. 2. 2)(表 18. 2. 1) 透明塗料塗り (・ A種 ※B種) ・鉄鋼面 (・ A種 ・ B種 ※C種) (18. 2. 3)(表 18. 2. 2) (耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする) ・亜鉛めっき鋼面 (・ A種 ・ B種) (18. 2. 4)(表 18. 2. 3) ・モルタル及びせっこうプラスター面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 5)(表 18. 2. 4) ○コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 6)(表 18. 2. 5) (押出成形セメント板面及び耐候性塗料塗り(DP)については、表18. 2. 6による) (表 18. 2. 6) ○せっこうボード及びその他ボード面 (・ A種 ※B種) (18. 2. 7)(表 18. 2. 7)	○ 3. 塗料塗り	・錆止め塗料塗り (18. 3. 2～3)(表 18. 3. 1～6) <table><tr><th>下地</th><th>塗料種別</th><th>塗り種別</th></tr><tr><td rowspan="4">鉄鋼面</td><td>錆止め塗装のまま</td><td>※As種</td><td rowspan="2">見え掛り部分 ※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>SOP</td><td>※As種</td></tr><tr><td>EP-G</td><td>・As種 ※Bs種</td><td rowspan="2">見え隠れ部分 ・A種 ※B種</td></tr><tr><td>DP</td><td>1回目 ※Cs種 2・3回目 ※Ds種</td></tr><tr><td rowspan="4">亜鉛めっき鋼面</td><td>SOP</td><td>※Az種 ・ Bz種</td><td rowspan="4">鋼製建具 ※A種 ・ B種</td></tr><tr><td>EP-G</td><td>※Cz種</td></tr><tr><td>DP</td><td>※Bz種</td></tr></table> ・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料種類 ※1種 ・ 2種 (18. 4. 2) 木部塗り種別 (屋外) ※A種 ・ B種 (18. 4. 3) (屋内) ・ A種 ※B種 (多孔質広葉樹の場合を除く) 鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※B種 (18. 4. 4) ○クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表 18. 5. 1) 塗り種別 ・ A種 ※B種 ・アクリル樹脂系非水分分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表 18. 6. 1) 塗り種別 ・ A種 ※B種	下地	塗料種別	塗り種別	鉄鋼面	錆止め塗装のまま	※As種	見え掛り部分 ※A種 ・ B種	SOP	※As種	EP-G	・As種 ※Bs種	見え隠れ部分 ・A種 ※B種	DP	1回目 ※Cs種 2・3回目 ※Ds種	亜鉛めっき鋼面	SOP	※Az種 ・ Bz種	鋼製建具 ※A種 ・ B種	EP-G	※Cz種	DP	※Bz種																																																
	下地	塗料種別		塗り種別																																																																									
	鉄鋼面	錆止め塗装のまま		※As種	見え掛り部分 ※A種 ・ B種																																																																								
SOP		※As種																																																																											
EP-G		・As種 ※Bs種	見え隠れ部分 ・A種 ※B種																																																																										
DP		1回目 ※Cs種 2・3回目 ※Ds種																																																																											
亜鉛めっき鋼面	SOP	※Az種 ・ Bz種	鋼製建具 ※A種 ・ B種																																																																										
	EP-G	※Cz種																																																																											
	DP	※Bz種																																																																											
	○ 2. 仕上塗材仕上げ	材料 (15. 6. 2)(表15. 6. 1～2) JIS A 6909(建築用仕上塗材) <table><tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>仕上げ形状等</th></tr><tr><td>○薄付け仕上塗材</td><td>※外装薄塗材E</td><td>・砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td></tr><tr><td>○複層仕上塗材</td><td>※複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E</td><td>※ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・メタリック</td></tr></table>		種類	呼び名	仕上げ形状等	○薄付け仕上塗材	※外装薄塗材E	・砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	○複層仕上塗材	※複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E	※ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・メタリック	○ 1. アルミニウム製建具	(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1,2) <table><tr><th>種別</th><th>外部に面する建具</th><th>内部建具</th><th>枠見込み(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※普通ドア セット、サッシ</td><td>※コンクリート系 鉄骨下地</td><td>・A種 ○B種</td><td>※70 ・</td></tr><tr><td>・木下地</td><td>・C種</td><td>※100 ・ 図示</td></tr><tr><td>・防音ドアセット</td><td>遮音性の等級()</td><td></td><td>※70</td></tr><tr><td>・断熱ドアセット</td><td>断熱性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐震ドアセット</td><td>面内変形追従性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面処理(表14.2.11による)</td><td>※BB-1種 ・</td><td>※AC-1種 ・</td><td></td></tr></table> 網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3) 結露水 ※屋外排出 くつずり仕上 ※HL 水切り板、ぜん板等 ※図示 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)	種別	外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)	※普通ドア セット、サッシ	※コンクリート系 鉄骨下地	・A種 ○B種	※70 ・	・木下地	・C種	※100 ・ 図示	・防音ドアセット	遮音性の等級()		※70	・断熱ドアセット	断熱性の等級()			・耐震ドアセット	面内変形追従性の等級()			表面処理(表14.2.11による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・																																					
種類	呼び名	仕上げ形状等																																																																											
○薄付け仕上塗材	※外装薄塗材E	・砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状																																																																											
○複層仕上塗材	※複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E	※ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状 耐候性 ※耐候形3種 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・メタリック																																																																											
種別	外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)																																																																										
※普通ドア セット、サッシ	※コンクリート系 鉄骨下地	・A種 ○B種	※70 ・																																																																										
	・木下地	・C種	※100 ・ 図示																																																																										
・防音ドアセット	遮音性の等級()		※70																																																																										
・断熱ドアセット	断熱性の等級()																																																																												
・耐震ドアセット	面内変形追従性の等級()																																																																												
表面処理(表14.2.11による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・																																																																											
16 建具工事	○ 1. アルミニウム製建具	(16. 2. 2,4,5)(表16. 2. 1,2) <table><tr><th>種別</th><th>外部に面する建具</th><th>内部建具</th><th>枠見込み(mm)</th></tr><tr><td rowspan="2">※普通ドア セット、サッシ</td><td>※コンクリート系 鉄骨下地</td><td>・A種 ○B種</td><td>※70 ・</td></tr><tr><td>・木下地</td><td>・D種 ・ E種</td><td>※100 ・ 図示</td></tr><tr><td>・防音ドアセット</td><td>遮音性の等級()</td><td></td><td>※70</td></tr><tr><td>・断熱ドアセット</td><td>断熱性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・耐震ドアセット</td><td>面内変形追従性の等級()</td><td></td><td></td></tr><tr><td>表面処理(表14.2.11による)</td><td>※BB-1種 ・</td><td>※AC-1種 ・</td><td></td></tr></table> 網戸防虫網 ※合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3) 結露水 ※屋外排出 くつずり仕上 ※HL 水切り板、ぜん板等 ※図示 製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)	種別	外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)	※普通ドア セット、サッシ	※コンクリート系 鉄骨下地	・A種 ○B種	※70 ・	・木下地	・D種 ・ E種	※100 ・ 図示	・防音ドアセット	遮音性の等級()		※70	・断熱ドアセット	断熱性の等級()			・耐震ドアセット	面内変形追従性の等級()			表面処理(表14.2.11による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・		株式会社みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 養 田 満 康 草牟田小学校プール新築その他本体工事 建築工事特記仕様書 5ー4 鹿児島市建設局建築部建築課 Aー04																																															
	種別	外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)																																																																									
	※普通ドア セット、サッシ	※コンクリート系 鉄骨下地	・A種 ○B種	※70 ・																																																																									
・木下地		・D種 ・ E種	※100 ・ 図示																																																																										
・防音ドアセット	遮音性の等級()		※70																																																																										
・断熱ドアセット	断熱性の等級()																																																																												
・耐震ドアセット	面内変形追従性の等級()																																																																												
表面処理(表14.2.11による)	※BB-1種 ・	※AC-1種 ・																																																																											

章 目		特 記 事 項		章 目		特 記 事 項		章 目		特 記 事 項																																																																			
19 内装 工事	○ 6. せっこうボード、 その他ボード及び 合 板 張 り	せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3) (表 19. 7. 1～5)			○ 5. 手すり及びタラップ	(20. 2. 6) (20. 2. 12)																																																																							
	<table><tr><th>種 類</th><th>種 別</th><th>張 り 方</th><th>厚 さ</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">○ せっこう ボ-ード</td><td>・ GB-R ○ GB-S ・ GB-F ・ GB-L</td><td>天井 壁</td><td>※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し</td><td>※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し</td><td>※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">GB-D</td><td rowspan="2">・ 上 張 り</td><td>天井 壁</td><td>※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し</td><td>※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・</td><td></td></tr><tr><td>・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し</td><td>※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・ 化粧せっこう ボード</td><td>・ トラバーチン 模様 (GB-D) ・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)</td><td>直 張 り</td><td>※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し</td><td>※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・</td><td>※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910 防火認定は準不 燃とし専用軽鉄下 地材付き</td></tr><tr><td>・ 無石綿けい 酸カルシウム板</td><td></td><td>・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し</td><td>※ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・</td><td>JIS A5430に準拠し たノンアスベストのもの</td></tr><tr><td>○ 木毛 セメント板</td><td>・ 難燃木毛 セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛 セメント板</td><td>・ 30分耐火 以上 ○ 準不燃</td><td>継目用金物</td><td>・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50</td><td>監督員の承諾による 工場</td></tr></table>			種 類		種 別	張 り 方	厚 さ					備 考	○ せっこう ボ-ード	・ GB-R ○ GB-S ・ GB-F ・ GB-L	天井 壁	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・		・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・		GB-D	・ 上 張 り	天井 壁	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・		・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・		・ 化粧せっこう ボード	・ トラバーチン 模様 (GB-D) ・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)	直 張 り	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910 防火認定は準不 燃とし専用軽鉄下 地材付き	・ 無石綿けい 酸カルシウム板		・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・	JIS A5430に準拠し たノンアスベストのもの	○ 木毛 セメント板	・ 難燃木毛 セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛 セメント板	・ 30分耐火 以上 ○ 準不燃	継目用金物	・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50	監督員の承諾による 工場	合板類			<table><tr><th>材 種</th><th>規 格</th><th>厚 さ</th><th>防虫処理</th><th>工 法</th></tr><tr><td rowspan="2">・ 普通合板</td><td>品名 () 板面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上) 単板の樹種名 ()</td><td>※ 5.5 ・ 9 ・ 12</td><td>・ 行う ・ 行わない</td><td>・ A種 ※ B種</td></tr><tr><td>・ 天然木 化粧合板</td><td>化粧板の単板の樹種名 ()</td><td>・</td><td>・ 行う ・ 行わない</td><td>・ A種 ※ B種</td></tr><tr><td rowspan="2">・ 特殊加工 化粧合板</td><td>品目 () 接着の程度 () 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)</td><td>・</td><td>・ 行う ・ 行わない</td><td>・ A種 ※ B種</td></tr></table>			材 種	規 格	厚 さ	防虫処理	工 法	・ 普通合板	品名 () 板面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上) 単板の樹種名 ()	※ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種	・ 天然木 化粧合板	化粧板の単板の樹種名 ()	・	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種	・ 特殊加工 化粧合板	品目 () 接着の程度 () 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)	・	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種	下地 ○ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 (19. 8. 2～3)		
	種 類	種 別	張 り 方	厚 さ		備 考																																																																							
	○ せっこう ボ-ード	・ GB-R ○ GB-S ・ GB-F ・ GB-L	天井 壁	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し		※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・																																																																							
		・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・																																																																										
	GB-D	・ 上 張 り	天井 壁	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し		※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・																																																																							
			・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・																																																																									
	・ 化粧せっこう ボード	・ トラバーチン 模様 (GB-D) ・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)	直 張 り	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し		※ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910 防火認定は準不 燃とし専用軽鉄下 地材付き																																																																						
		・ 無石綿けい 酸カルシウム板		・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し		※ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・	JIS A5430に準拠し たノンアスベストのもの																																																																						
	○ 木毛 セメント板	・ 難燃木毛 セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛 セメント板	・ 30分耐火 以上 ○ 準不燃	継目用金物		・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50	監督員の承諾による 工場																																																																						
材 種	規 格	厚 さ	防虫処理	工 法																																																																									
・ 普通合板	品名 () 板面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上) 単板の樹種名 ()	※ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種																																																																									
	・ 天然木 化粧合板	化粧板の単板の樹種名 ()	・	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種																																																																								
・ 特殊加工 化粧合板	品目 () 接着の程度 () 化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)	・	・ 行う ・ 行わない	・ A種 ※ B種																																																																									
	<table><tr><th colspan="5">施 工 箇 所</th><th colspan="2">壁 紙 の 種 類</th><th colspan="2">防火性能の級別</th><th colspan="2">素地ごしらえ</th></tr><tr><td></td><td>紙</td><td>織 物</td><td>ビニル</td><td>化学繊維</td><td>無 機 質</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※ 1級</td><td>・ 級</td><td>・ A種</td><td>※ B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※ 1級</td><td>・ 級</td><td>・ A種</td><td>※ B種</td><td></td><td></td></tr><tr><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※ 1級</td><td>・ 級</td><td>・ A種</td><td>※ B種</td><td></td><td></td></tr></table>			施 工 箇 所					壁 紙 の 種 類		防火性能の級別		素地ごしらえ			紙	織 物	ビニル	化学繊維	無 機 質							・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種			・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種			・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																	
施 工 箇 所					壁 紙 の 種 類		防火性能の級別		素地ごしらえ																																																																				
	紙	織 物	ビニル	化学繊維	無 機 質																																																																								
・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																				
・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																				
・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																				
○ 8. 断 熱 ・ 防 露	(19. 9. 2～3)			種 類 施 行 箇 所 厚 さ(mm) 品 質 等																																																																									
・ 押出法ポリスチレン フォーム保温材			※ 2種b	・ 一般部 ・	○ 20 ・ 45,50	特定フロンを使用しないもの																																																																							
			※ 3種b	・ 屋根 ・ ビット上部	・ 20 ・ 45,50																																																																								
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)			※ 断熱材補修部分		特定フロンを使用しないもの																																																																								
			・ 一般部 ・ 熱橋部	・ # ・ 25,40	難燃性 ※ A種 1H ・ A種 1																																																																								
			製造所： 監督員の承諾する製造所																																																																										
○ 9. そ の 他	・ メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ・ 2.5～3.0 ・ 内装プレハブ工法： 製造所の仕様による																																																																												
20 ユニ ット 及び その 他の 工事	1. フリーアクセス フロア	床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・ (20. 2. 2) 表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ) 床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 寸法 ※ 450角以上、600角以下 適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・ (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・ (最上階) ※ 1.0以上 ・ 耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・ 空調用孔あきパネル 枚数 () 材質 () コンセント開口 適用室 () コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。 試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。 特記以外の仕様は製造所の仕様とする。																																																																											
	2. 可 動 間 仕 切 (既 製 間 仕 切)	構造形式 表面板及び厚さ パネル仕 上 げ パネル見込み ※ パネル式 銅板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・ ※ 焼付塗装(常備色程度) ※ 60以上 ・ スタッ式 ・ ・ 50 ・ ー 銅板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・ ※ 焼付塗装(常備色程度) ※ 30以上 スタッ アルミニウム製 40角 ・ 品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による																																																																											
	3. 移 動 間 仕 切 (スライディングウォール)	パネル操作方法 () (20. 2. 4) パネル表面材の材質 (※ 銅板 ・) パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・) パネル圧接装置操作方法 () 遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上)) ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(ウ) ・ 固定方法 (・ あと施工アンカー(材質： ・ 、寸法：) ・ 製造所 評価名簿による																																																																											
	○ 4. ト イ レ ブ ー ス	表面仕上材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20. 2. 5) ・ ポリエステル樹脂系化粧板 脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型 製造所 評価名簿による																																																																											

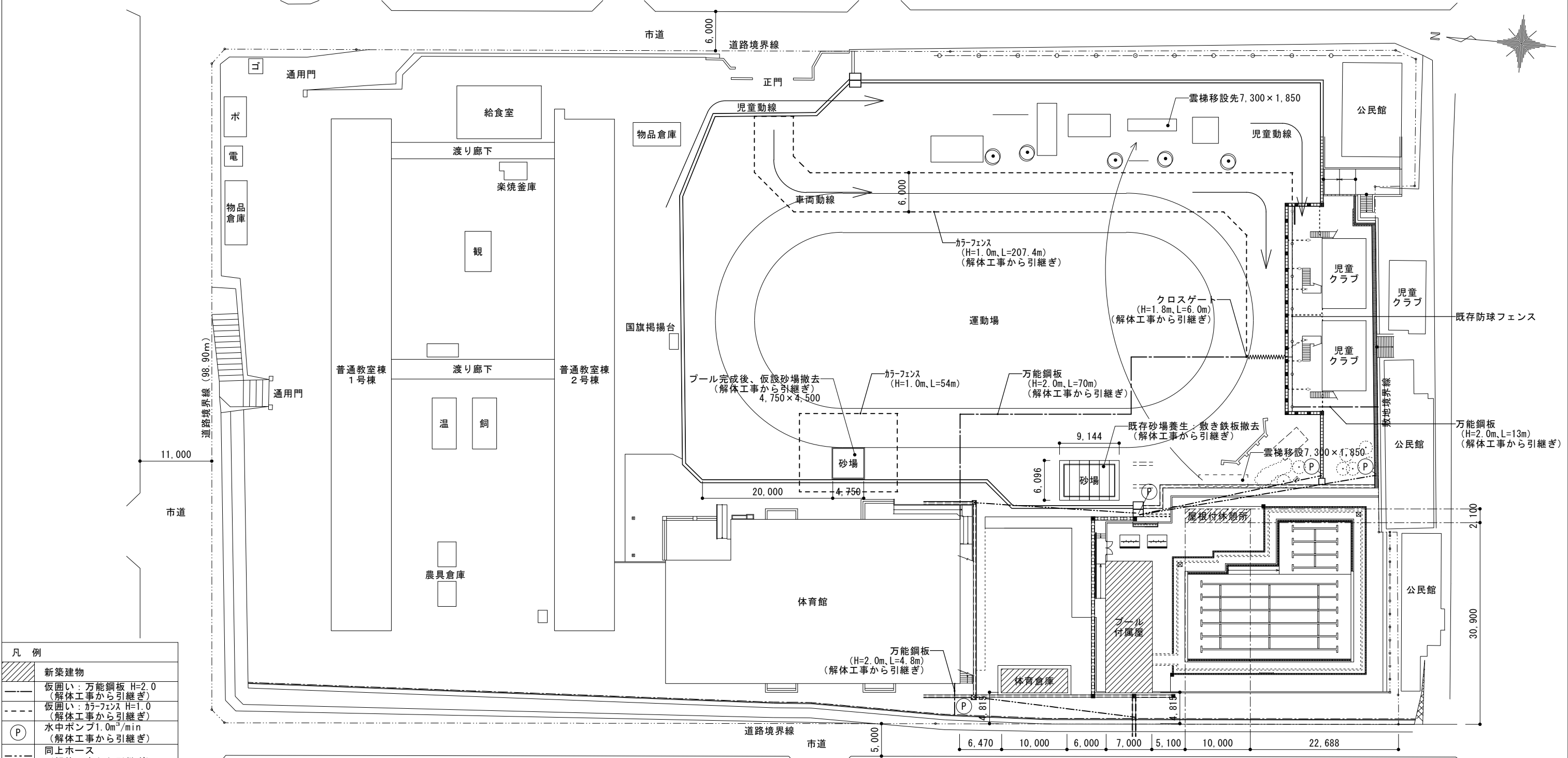


計画地：草牟田小学校
鹿児島市城山二丁目3番1号



附近見取図 NOSCALE

工事区分表							
工事項目	建築	機械	電気	工事項目	建築	機械	電気
外部足場	○			25mプール消防用採水口取出口	○		
内部足場	○			同上以降の消火管及び採水口		○	
雨水排水用水中ポンプ及びホース（解体工事から引継ぎ）	○			機械室内集水桝	○		
鏡・衛生器具		○		同上以降のポンプ排水設備		○	
衛生器具廻りコーキング		○		機械室内機器用コンクリート基礎	○		
天井点検口（開口補強共）	○			ろ過機用制御盤 ※取付は電気工事		○	○
トイレパーテーション	○			ろ過機循環ポンプ一次側及び二次側電源配線配管工事			○
25mプール廻り濾過配管及び給水・吐出ノズル	○			次垂注入ポンプ一次側及び二次側電源配管配線工事			○
同上以降の機械室（ろ過機）までのろ過配管		○		職員更衣室（男女）シャワー用排水ユニット（トラップ含）	○		
25mプール補給水口（市水）	○			同上以降の排水管		○	
補給水口への給水配管接続		○		屋外シャワースペース配管及びシャワーノズル（排水も含）		○	
25mプール廻りオーバーフロー管及び排水口（65φ）及び放流まで	○			設備用スリーブ取付		○	○
プールサイド雨排水管（65φ）トレンチまで	○			同上の補強筋工事	○		
25mプール排水口及びバルブピットまでの排水管	○						
同上以降の排水管（既設排水管接続まで）		○					



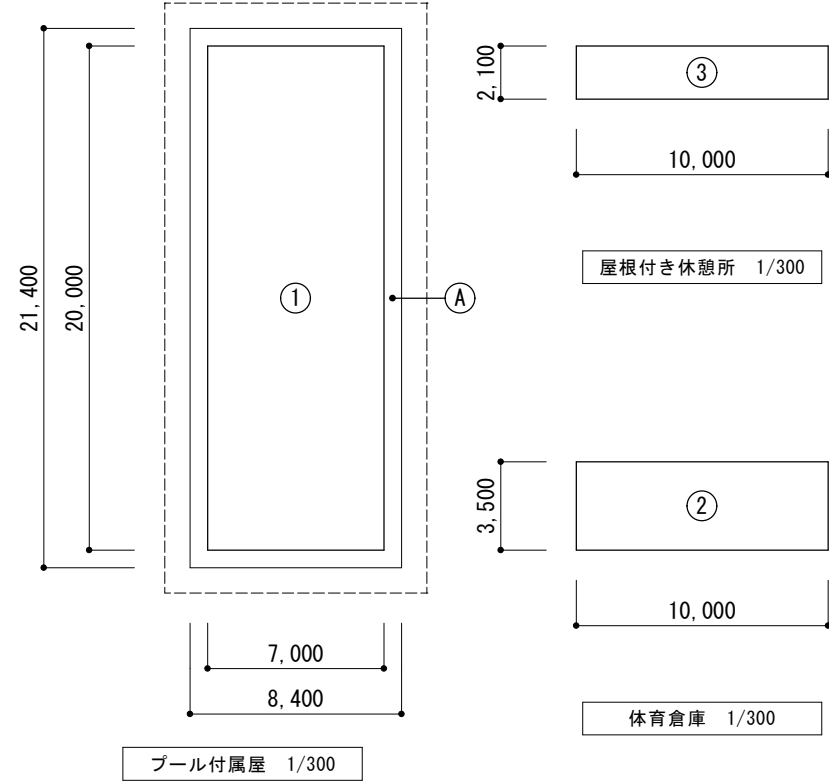
凡 例	
	新築建物
	仮囲い：万能鋼板 H=2.0（解体工事から引継ぎ）
	仮囲い：カーフェンス H=1.0（解体工事から引継ぎ）
	水中ポンプ1.0m ³ /min（解体工事から引継ぎ）
	同上ホース（解体工事から引継ぎ）

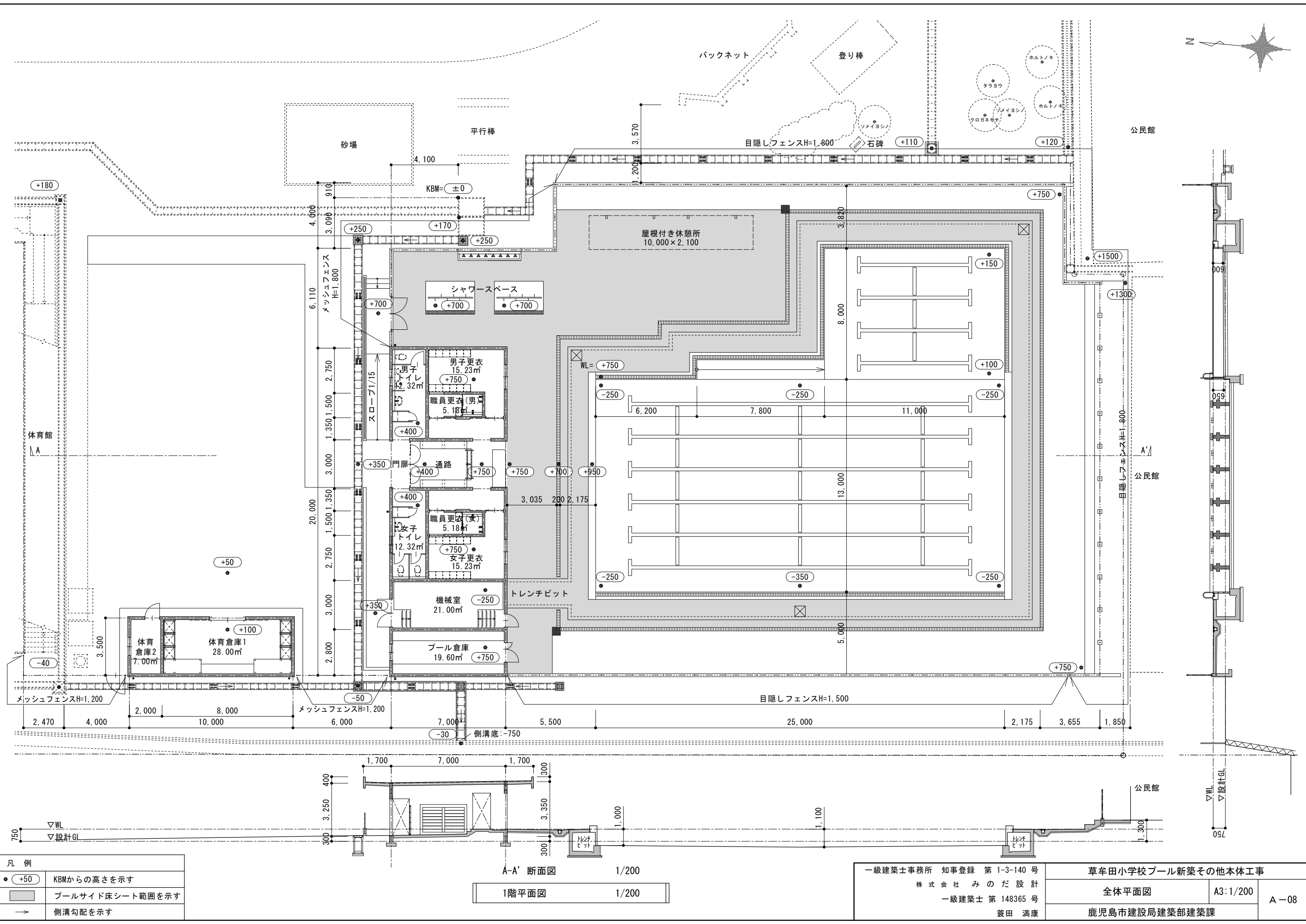
・道路幅員・がけ・敷地の高低差・方位等については現場調査済。	・電気事業法に基づき施工する。
・敷地内に「ブロック塀等の安全性の確認等実施要領」対象のブロック塀なし。	・ガス設備等の火気の使用はありません。
・雨水は敷地内側溝から市道側溝へ排水。	・最高高さ：7.88m ⇒ 隣地斜線制限、道路斜線制限適合。
・水道法施行令第5条に基づき施工する。	・計画建物の入口から校庭及び道路までの幅1.5mの敷地内通路確保。
・下水道法第10条第1項及び第3項に基づき施工する。	

配置図 1/600

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
株式会社 みのだ設計
一級建築士 第 148365 号
菱田 満康

草牟田小学校プール新築その他本体工事			
附近見取図・配置図・工事区分表		1/600	A-06
鹿児島市建設局建築部建築課			

建築概要				建物求積図				特記事項						
工事概要	工事名称	草牟田小学校プール新築その他本体工事							建 築 面 積		※学校運営を行いながらの作業となるため、児童及び施設利用者の安全に十分に配慮し施工すること。			
	建設場所	鹿児島市城山二丁目3番1号							プール付属屋	①	7.0×20.0	=	140.00	※登下校時間を避けて工事関係車両の搬出入をすること。
	主要用途	小学校								Ⓐ	8.40×21.40－7.0×20.0	=	39.76	※学校関係車両（給食車両含む）の通行の支障にならないよう十分配慮すること。
	工事種別	増築								小計			179.76	※近隣の住宅及び事業所への安全には十分に配慮して車両の通行を行うこと。
法指定	用途地域	第1種中高層住居専用地域							体育倉庫	②	10.0×3.50	=	35.00	※こまめに散水し、隣地へ砂・粉塵等の飛散防止に務めること。
	防火地域	指定なし							屋根付き休憩所	③	10.0×2.10	=	21.00	※重機の運搬、コンクリート打設、廃材運搬時には、交通誘導員を配置すること。 また、大型車両通行時や資材等搬入車両の出入りが重なる工程・施工工程の時も同様に交通誘導員を配置すること。
	建ペイ率	60%							合 計			235.76	（誘導員の配置については施工計画書に記載し、監督員と協議を行うこと）	
	容 積 率	200%							床 面 積				※施工に伴い必要となる諸手続き（道路使用許可等）については、関係機関と協議の上、適切に処理すること。	
	その他	22条地域							プール付属屋	①	7.0×20.0	=	140.00	※周辺道路への一時駐車等は可能な限り行わないようにすること。
規模構造	耐火構造	プール付属屋／その他、体育倉庫／その他、屋根付き休憩所／その他							体育倉庫	②	10.0×3.50	=	35.00	※工事着手時期については、草牟田小学校プール解体工事と工程調整を行いながら工事を進めること。
	構 造	プール付属屋：鉄筋コンクリート造平屋建て							屋根付き休憩所	③	10.0×2.10	=	21.00	※設備工事と十分に調整を行うこと。
		体育倉庫：鉄筋コンクリート造平屋建て							合 計			196.00	※仮囲い等の詳細な位置は、監督員と十分協議のこと。	
		屋根付休憩所：アルミ造平屋建て												
	最高高さ	プール付属屋／3.950m、体育倉庫／3.050m、屋根付き休憩所／2.600m												※作業中は工事関係者であることがわかる腕章を身に着けること。
最高軒高	プール付属屋／3.650m、体育倉庫／2.900m、屋根付き休憩所／2.535m												※本体工事完了後、仮囲い内等の範囲を整地すること。 （路床工・クレー舗装改良土・表面処理工 表層土 厚100入替（土壌改良材混合）） ※工事中は敷地内、道路及び工作物等を損傷しない様十分養生し、もし損傷した場合、施工者の責任において速やかに現況に復旧すること。	
面 積	敷地面積	19,031.00 m2												
		申請部分		申請以外部分	合 計									
	建築面積	235.76 m2		3,243.89 m2	3,479.65 m2									
	延床面積	196.00 m2		7,165.63 m2	7,361.63 m2									
	建ペイ率	18.29 %												
	容 積 率	38.69 %												
外部仕上表														
プール付属屋				体育倉庫				プールサイド						
屋 根	防水コンクリートタンピング金ゴテ押え （ワイヤーメッシュφ6×150×150 重ね巾150以上かつ1節半以上）			屋 根	防水コンクリートタンピング金ゴテ同時押え （ワイヤーメッシュφ6×150×150 重ね巾150以上かつ1節半以上）			床	土間コンクリート直押え 粗面仕上（伸縮目地付）@3000内外勾配付 一部t2.9複層ビニル床シート（遮熱性・防滑性）					
パラベット	コンクリート金ゴテ押えの上、複層塗材E			パラベット	コンクリート金ゴテ押えの上、複層塗材E			トレンチピット	床：土間コンクリート直押え 直均し仕上（伸縮目地付 @3,000内外勾配付 排水溝 W=100） 壁・天井：コンクリート打放し 点検口：600角ステンレス製フロアハッチ（モルタル充填・歩行用）3ヶ所 タラップ：ステンレス製（SUS 304 19φ）@=300 W=350 D=200 3段 換気パイプ：VP管φ150 3ヶ所					
庇 裏	コンクリート打放し（B種）の上、軒天用仕上塗材			庇 裏	コンクリート打放し（B種）の上、軒天用仕上塗材									
外 壁	コンクリート打放し（B種）の上、複層塗材E			外 壁	コンクリート打放し（B種）の上、複層塗材E									
巾 木	コンクリート打放し（B種）			巾 木	コンクリート打放し（B種）			シャワースペース	50角磁器質タイル貼（ノンスリップタイプ） ※シャワー水栓 及び 配管は設備工事に含む					
樋	鋳鉄製縦引きルーフドレインφ100 カラーVP φ100（掴み金物：ステンレス製 @1,200以内） 内部コーン打込み式アンカーとすること			縦 樋	鋳鉄製縦引きルーフドレインφ100 カラーVP φ100（掴み金物：ステンレス製 @1,200以内） 内部コーン打込み式アンカーとすること			足洗い場	50角磁器質タイル貼（ノンスリップタイプ） ※水栓 及び 配管は設備工事に含む					
天井裏換気口	ステンレス製丸型フード（ガラリ、ステンレス製防虫網付）塗装共 φ75 6ヶ所							洗眼場スペース	洗眼場：50角タイル貼 壁：50角タイル貼 ※水栓 及び 配管は設備工事に含む					
通路	床：コンクリート直均し粗面仕上、t2.9複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性） 階段踏面：t2.9複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性、階段段鼻一体型） 天井：コンクリート打放し（B種）の上、軒天用仕上塗材							屋根付き休憩所	上屋：アルミ製カーポート既製品 W10,000×D2,100 床：土間コンクリート同時金ゴテ押えの上 複層ビニル床シート t=2.9（遮熱性・防滑性）					
内部仕上表 ※内装仕上げに用いる建築材料は、全てF☆☆☆☆を使用する。														
室 名	床			巾木	腰壁			壁	天井			廻り縁	天井高	備 考
プール付属屋														
男子トイレ	50角磁器質タイル貼 小便器前:t13トイレ用抗菌汚垂タイル D600			—	100角タイル貼 H1,200			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装	t25ポリスチレンフォームコンクリート同時打込 t9.5シーシング石膏ボードの上、EP-G塗装 LGS下地			塩ビ製	2,400	室名札、掃除具棚、天井点検口
女子トイレ	50角磁器質タイル貼			—	100角タイル貼 H1,200			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装	t25ポリスチレンフォームコンクリート同時打込 t9.5シーシング石膏ボードの上、EP-G塗装 LGS下地			塩ビ製	2,400	室名札、掃除具棚、天井点検口
通路2・通路3	t2.5複層ビニル床シート貼（防滑性・抗菌性）			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100	—			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装	t25ポリスチレンフォームコンクリート同時打込 t9.5シーシング石膏ボードの上、EP-G塗装 LGS下地			塩ビ製	2,400	室名札、天井点検口（通路2）
職員更衣室 （男・女）	更衣室	t2.5複層ビニル床シート貼（防滑性・抗菌性）		コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100	—			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装	t25ポリスチレンフォームコンクリート同時打込 t9.5シーシング石膏ボードの上、EP-G塗装 LGS下地			塩ビ製	2400	室名札、脱衣棚、天井点検口
	シャワー室	50角磁器質タイル貼		—	100角タイル貼 H2,000			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装	t25ポリスチレンフォームコンクリート同時打込 t9.5シーシング石膏ボードの上、EP-G塗装 LGS下地			塩ビ製	2400	シャワーカーテン（レール共）、タオル棚（SUS製）、樹脂製排水ピット
男子更衣・女子更衣	t2.5複層ビニル床シート貼（防滑性・抗菌性）			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100	—			コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装	t25ポリスチレンフォームコンクリート同時打込 t9.5シーシング石膏ボードの上、EP-G塗装 LGS下地			塩ビ製	2400	室名札、更衣棚、天井点検口
機械室	コンクリート金ゴテ押エ			—	—			コンクリート打放し（B種）	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み			—	3,626～3,724	室名札、SUS手摺、SUS丸環（打込み式）、機械基礎、集水枥
プール倉庫	コンクリート金ゴテ押エ			—	—			コンクリート打放し（B種）	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み			—	2,626～2,724	室名札、棚
体育倉庫														
体育倉庫1	コンクリート金ゴテ押エ			—	—			コンクリート打放し（B種）	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み			—	2,476～2,524	室名札、棚
体育倉庫2	コンクリート金ゴテ押エ			—	—			コンクリート打放し（B種）	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み			—	2,476～2,524	室名札、棚
※防火認定番号 t9.5シーシング石膏ボード（準不燃 QM-0898） t25木毛セメント板（準不燃 QM-9701）														
								一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 菰田 満康		草牟田小学校プール新築その他本体工事				
								建築概要・求積図・仕上表		1/300		A-07		
								鹿児島市建設局建築部建築課						



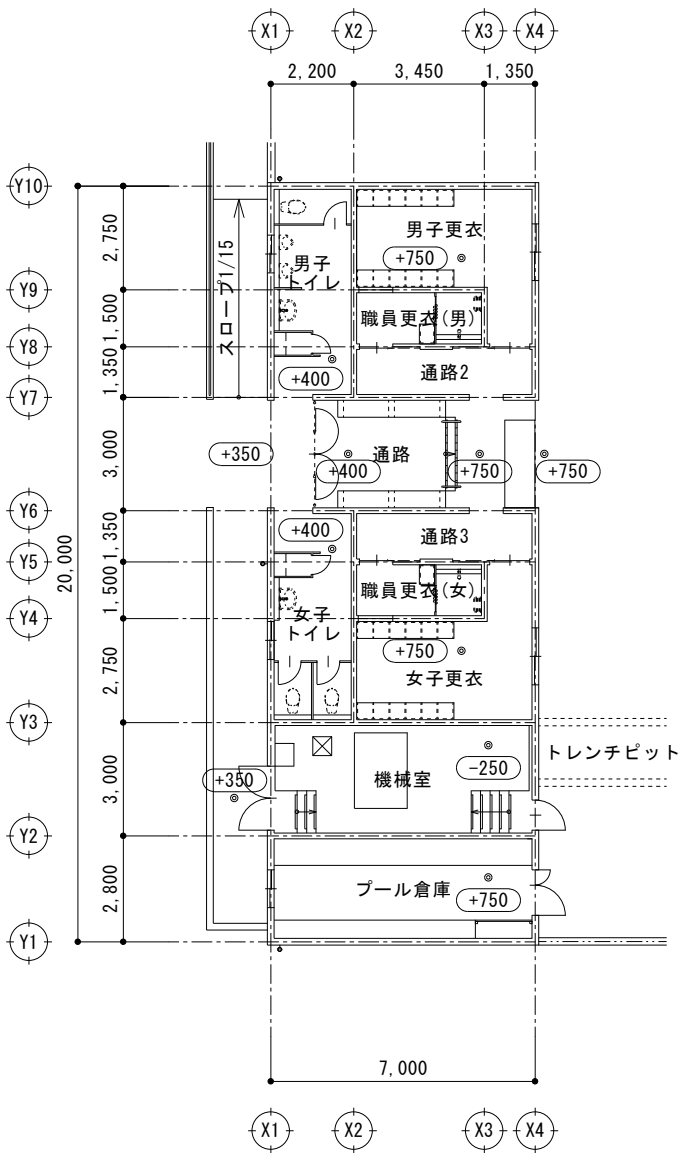
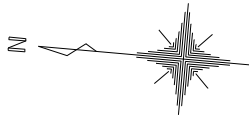
凡 例	
● (+50)	KBMからの高さを示す
■	プールサイド床シート範囲を示す
→	側溝勾配を示す

A-A' 断面図 1/200

1階平面図 1/200

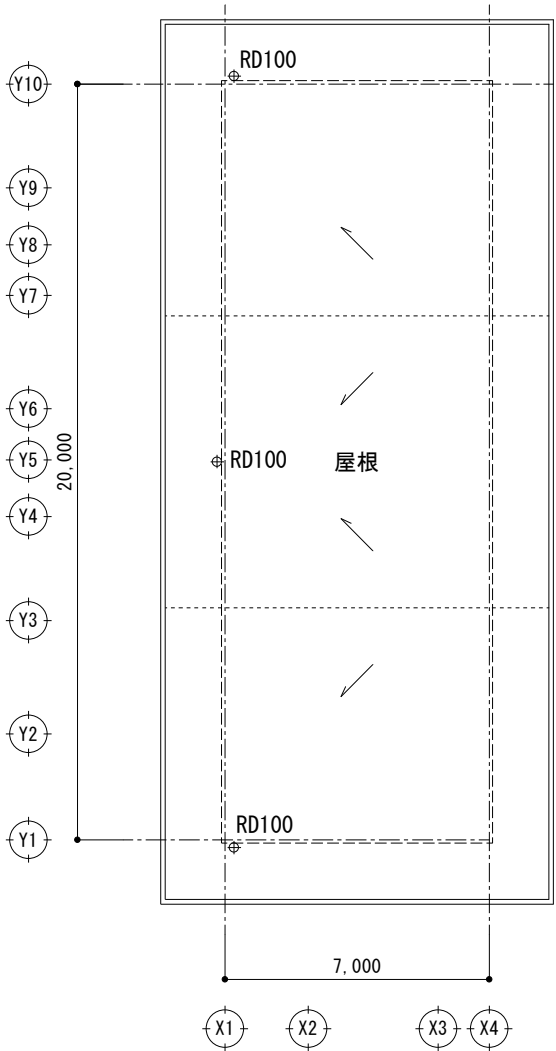
一級建築士事務所 知事登録 第1-3-140号
株式会社 みのだ設計
一級建築士 第148365号
菟田 満康

草牟田小学校プール新築その他本体工事			
全体平面図		A3:1/200	A-08
鹿児島市建設局建築部建築課			



平面図 1/200

凡 例	
⊙ +50	KBMからの高さを示す



屋根伏図 1/200

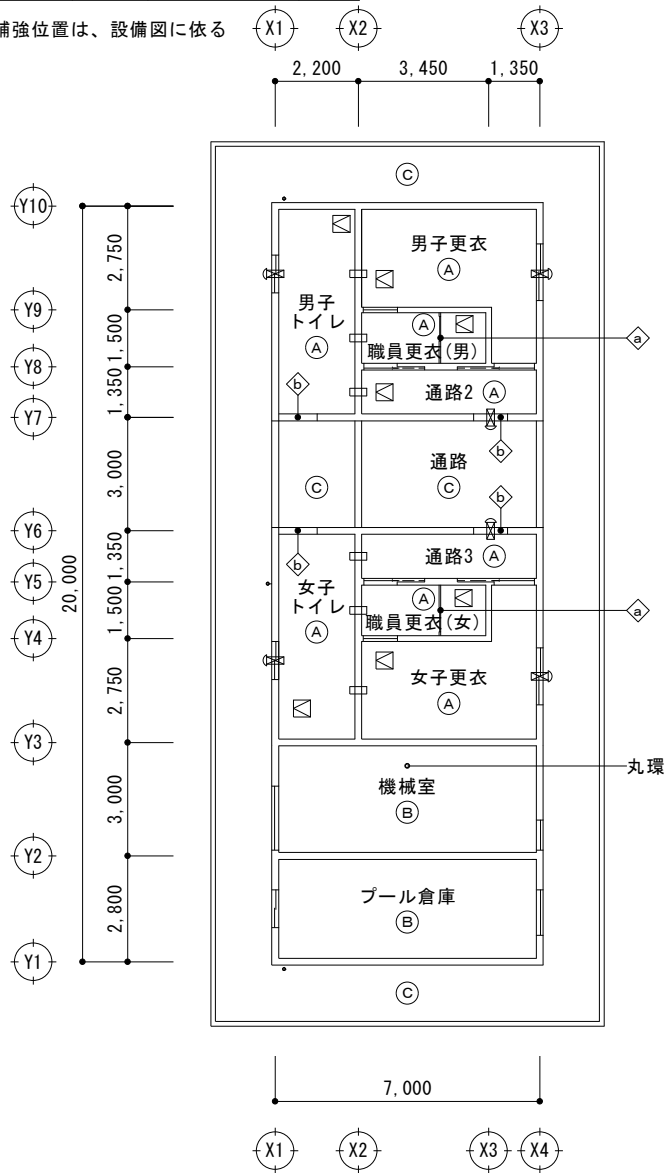
■天井開口補強リスト			
室名	器具	サイズ	数量
男子トイレ	点検口	450×450	1
男子トイレ	換気	350×350	1
通路2	点検口	450×450	1
職員更衣(男)	点検口	450×450	1
職員更衣(男)	換気	250×250	1
女子トイレ	点検口	450×450	1
女子トイレ	換気	350×350	1
職員更衣(女)	点検口	450×450	1
職員更衣(女)	換気	250×250	1
男子更衣	点検口	450×450	1
男子更衣	換気	350×350	1
女子更衣	点検口	450×450	1
女子更衣	換気	350×350	1

■天井伏図凡例	
記号	仕上げ
(A)	t=9.5ｼｰｼﾞﾝｸﾞ 石膏ﾎｰﾄﾞ の上、EP-G塗装
(B)	t=25木毛セメント板 コンクリート同時打込み
(C)	コンクリート打放し (B種) の上、軒天用仕上塗材 (揚裏)
◇	カーテンレール (ステンレス製)
◇	ステンレス三方枠
≡	ステンレス製フラット型ﾌｰﾄﾞ ｶﾞﾗｼ塗装共 75φ (ステンレス製防虫網付)
□	ｽﾘｰﾌﾞ 75φ (内壁)
☒	ｱﾙﾐ製天井点検口450×450を示す。
○	SUS製丸環 (打込み式) φ19 径100 (既製品)

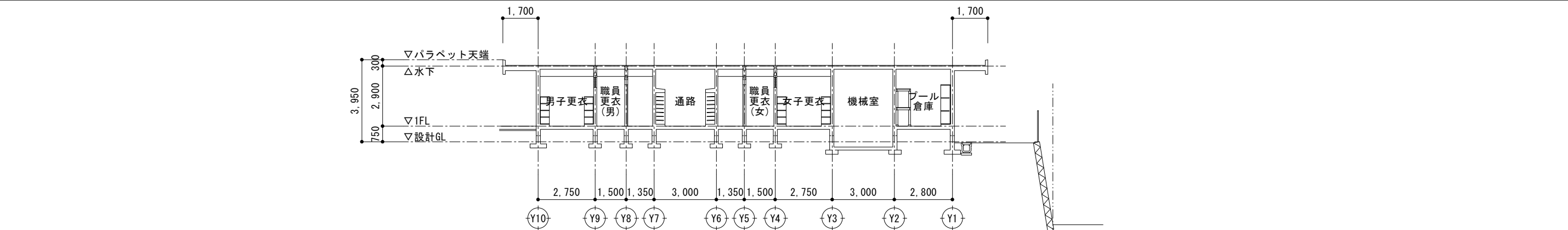
※天井点検口の設置位置は協議の上決定する。

※SUS製丸環の設置位置は協議の上決定する。

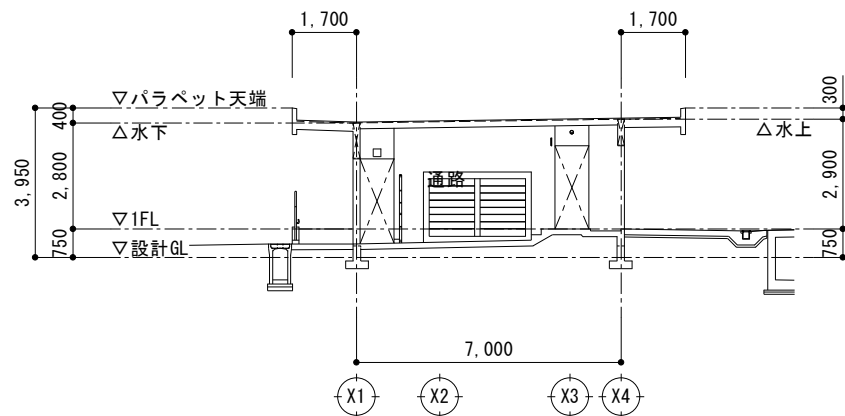
※ 換気開口補強位置は、設備図に依る



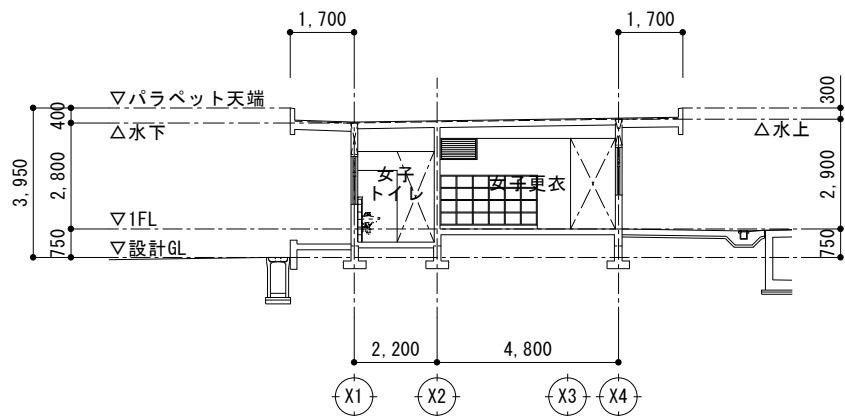
天井伏図 1/200



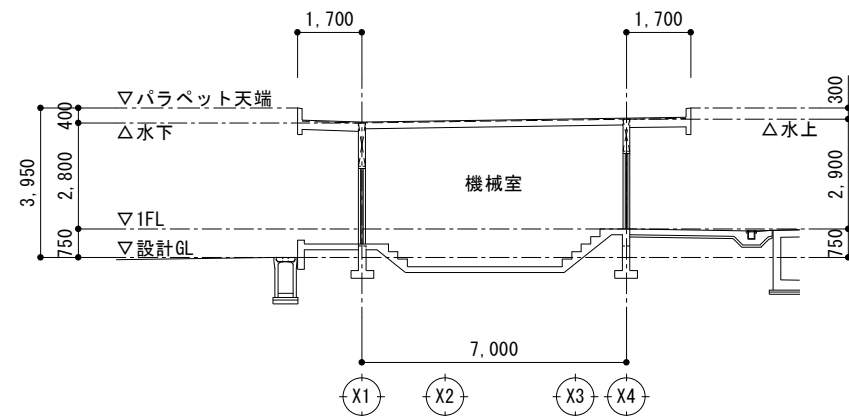
断面図4 1/200



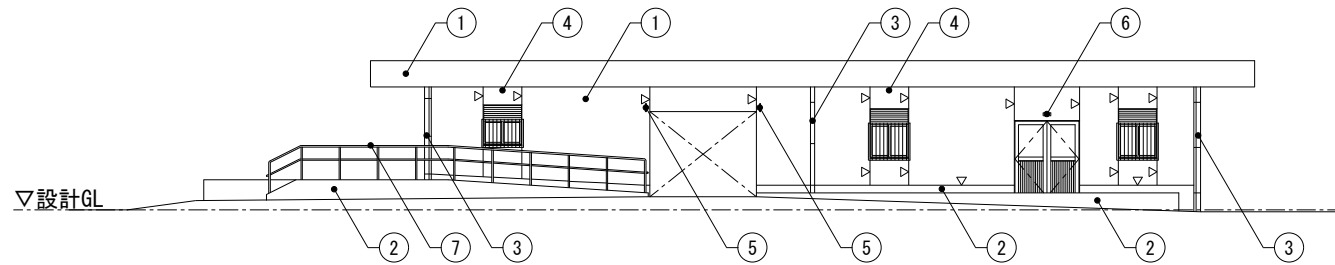
断面図1 1/200



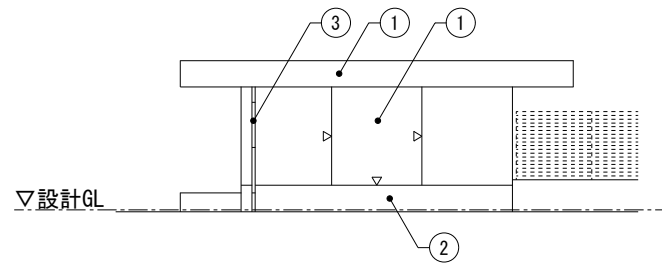
断面図2 1/200



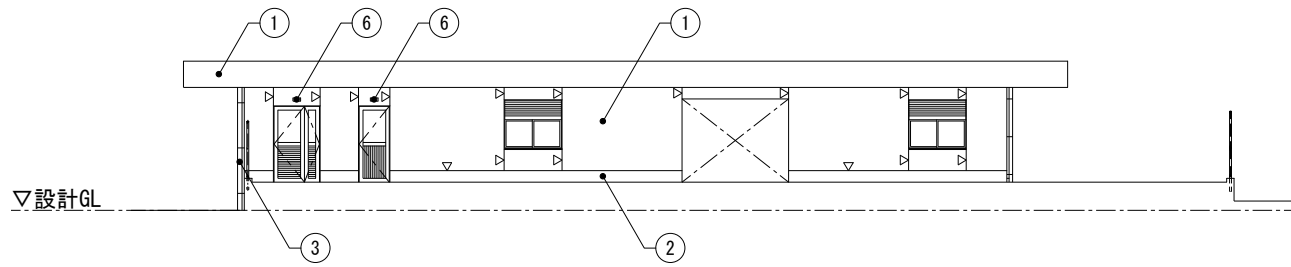
断面図3 1/200



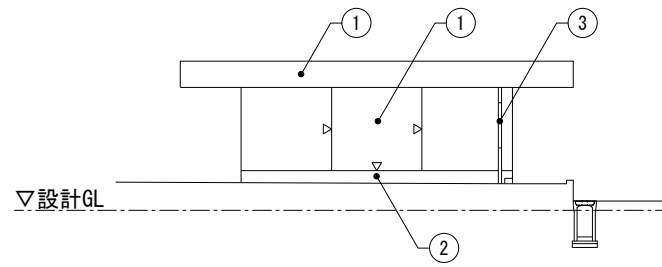
北側立面図 1/200



西側立面図 1/200



南側立面図 1/200

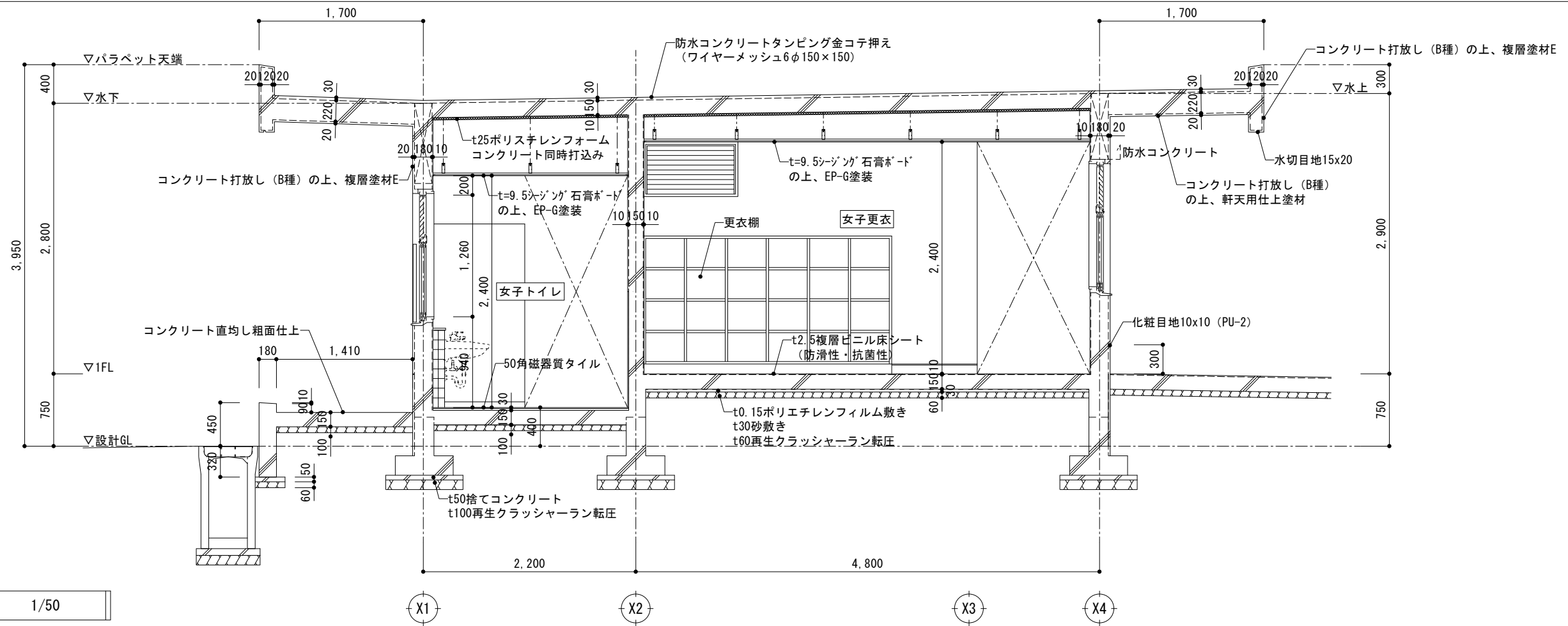


東側立面図 1/200

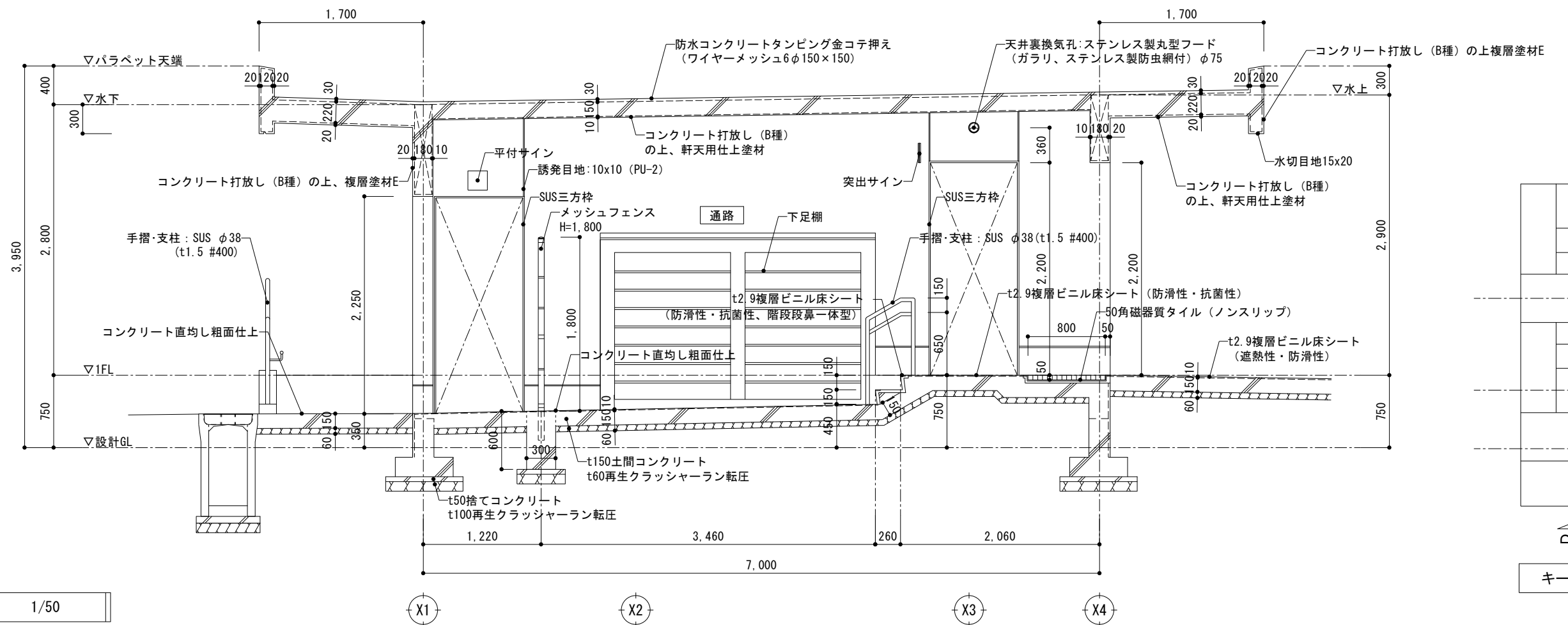
仕上凡例

①	コンクリート打放し（B種）の上、複層塗材E	⑤	サイン1 200×200
②	コンクリート打放し（B種）	⑥	サイン2 80×200
③	縦樋：VPカラーパイプ φ100（ステン以掴み金物@1200以内）	⑦	手摺・支柱：SUS φ38
④	天井換気口：ステンレス製丸型フード（ガラリ、ステンレス製防虫網付）塗装共 φ75	▽	化粧目地：10×10（目地は、全て（PU-2）とする。）

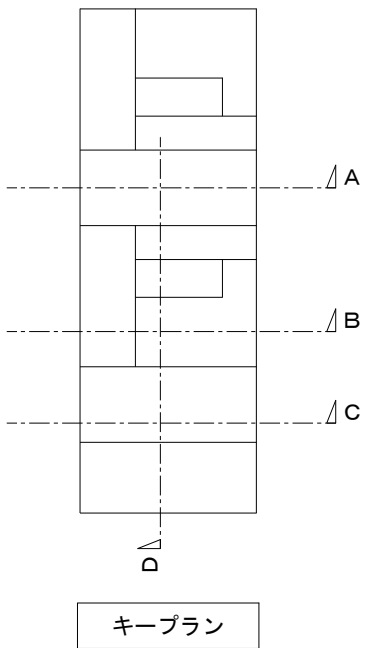
一級建築士事務所 知事登録 第1-3-140号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第148365号 菟田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール付属屋	A3:1/200	A-10
	立面図・断面図		
	鹿児島市建設局建築部建築課		

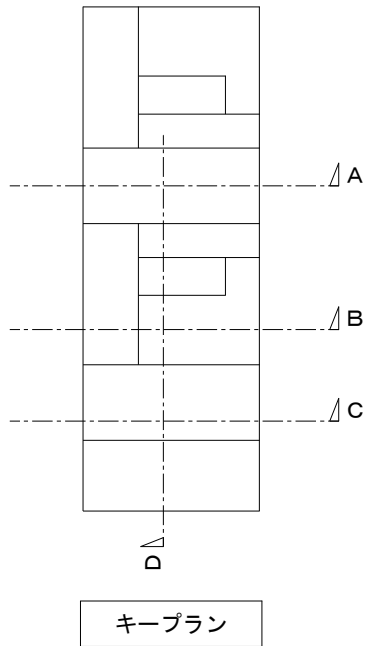
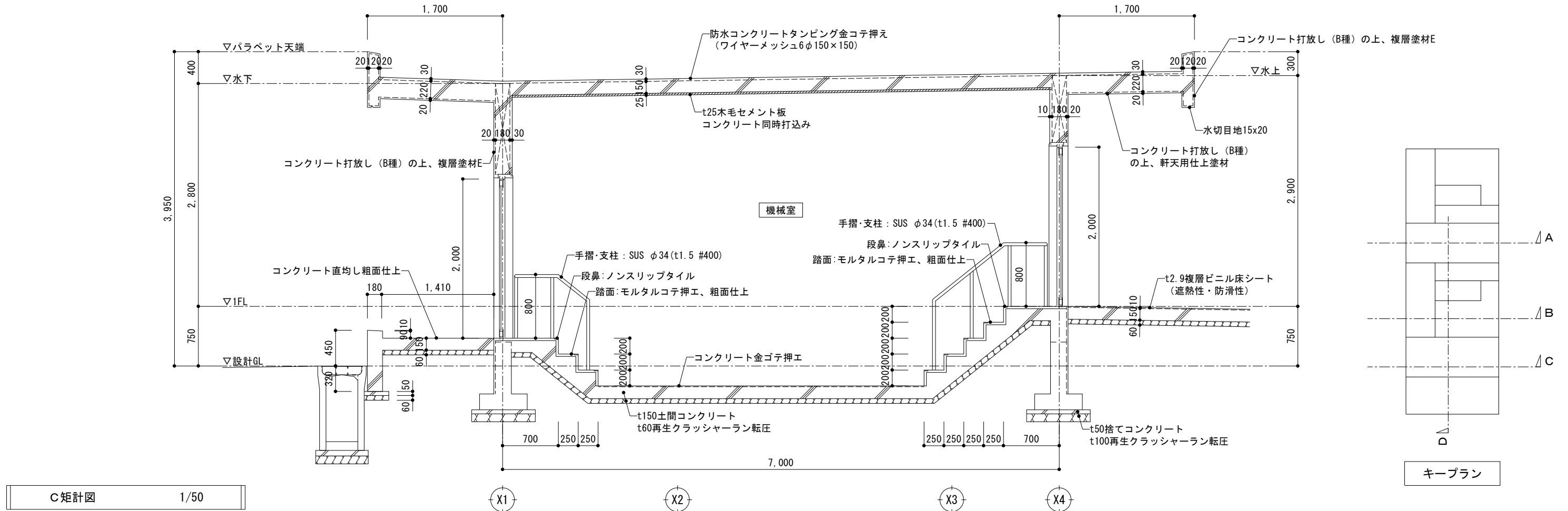
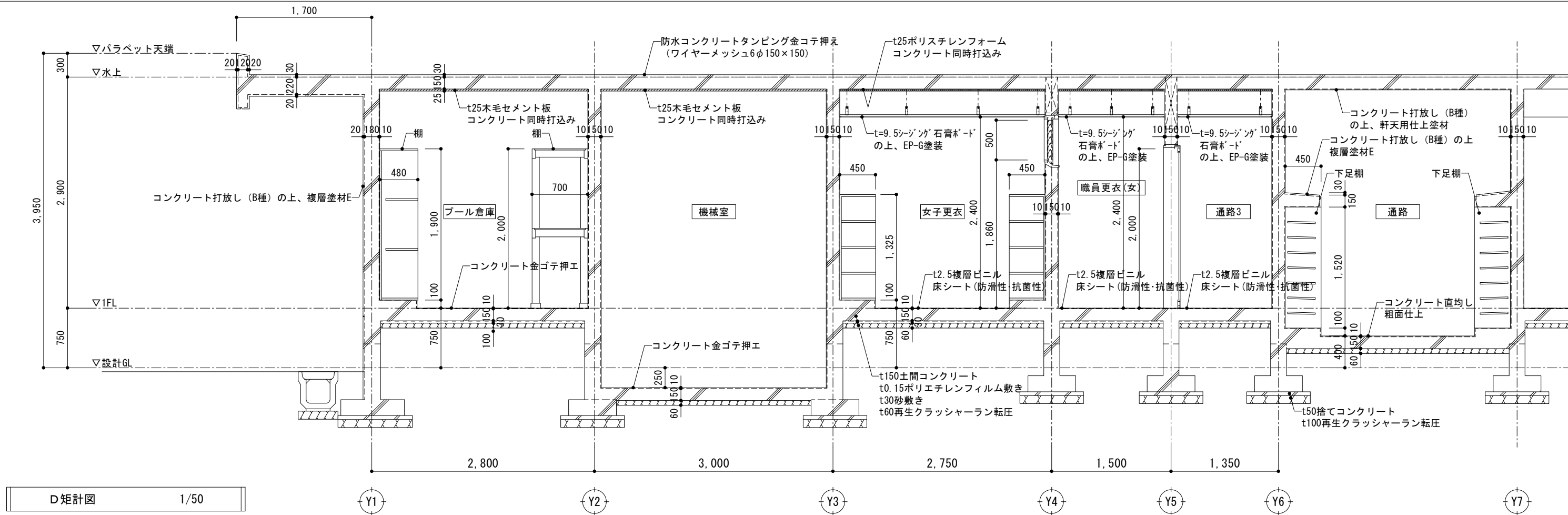


B矩計図 1/50

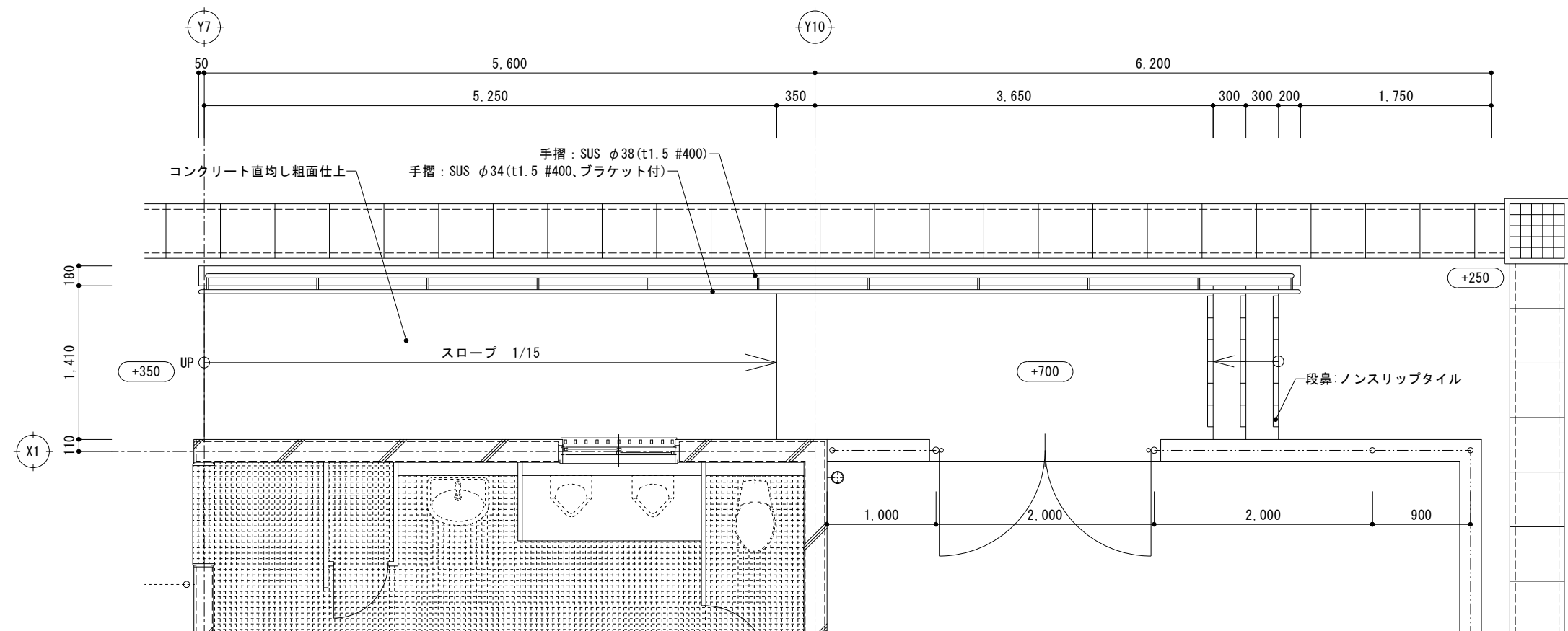


A矩計図 1/50

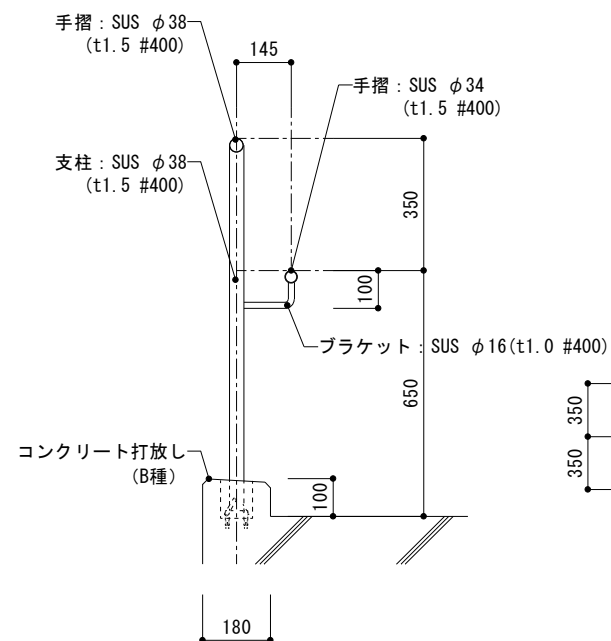




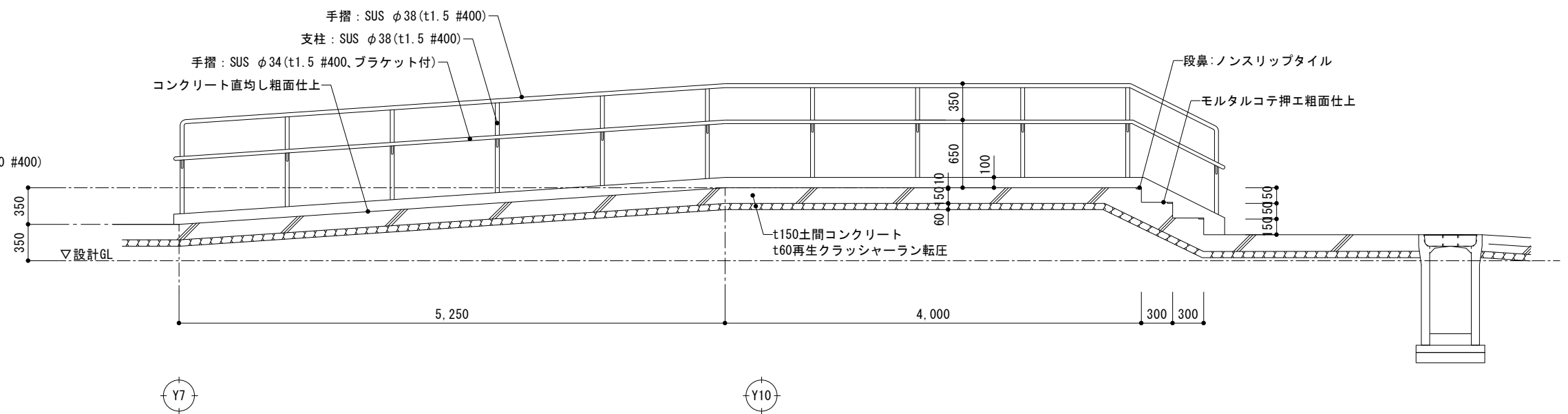
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 荻田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール付属屋 矩計図 (2)		A3:1/50
	鹿児島市建設局建築部建築課		A-12



スロープ平面図 1/50

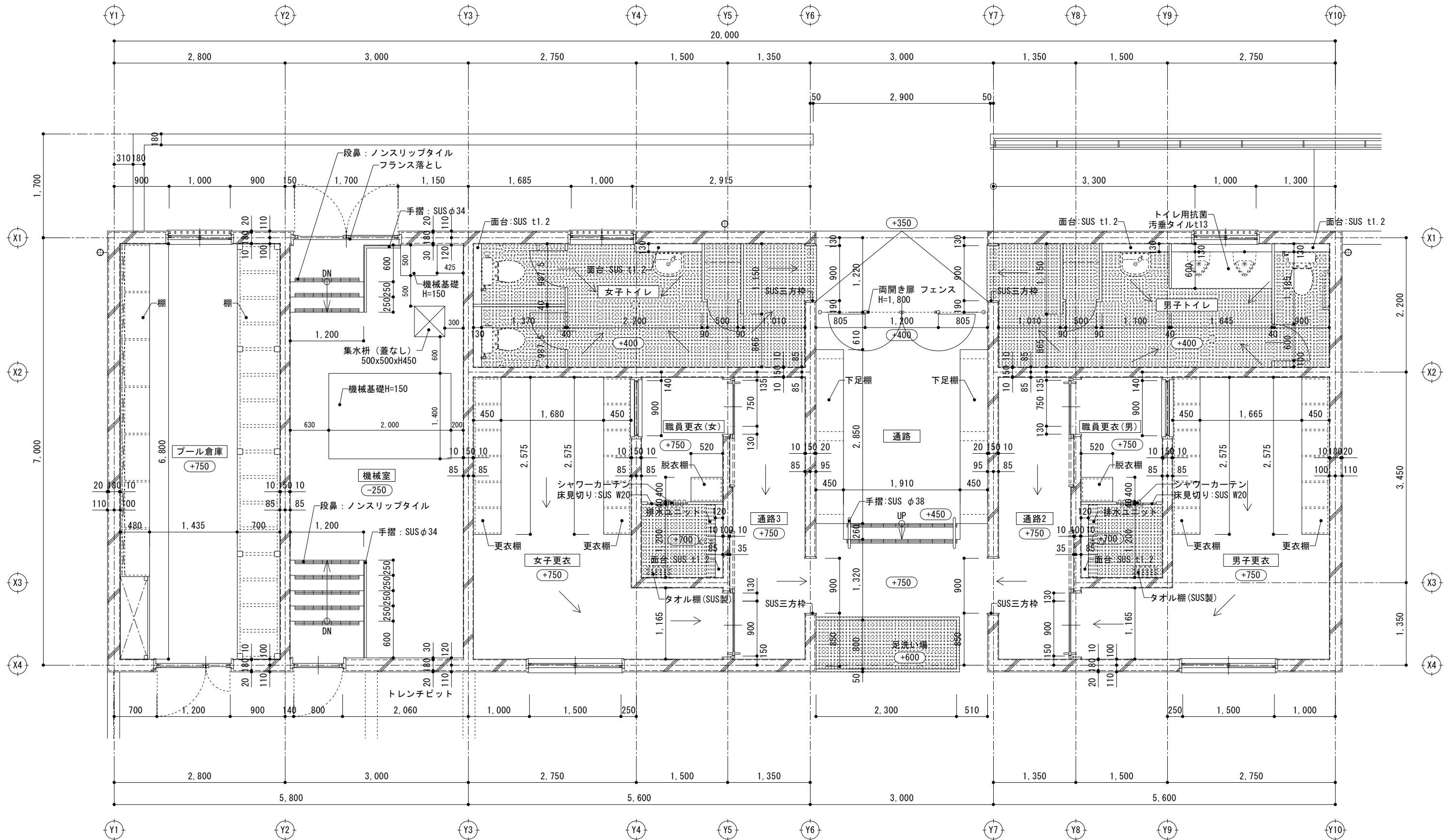


手摺部分詳細図 1/20



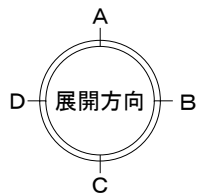
スロープ断面図 1/50

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 菱田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール付属屋 スロープ詳細図		A3:1/50
	鹿児島市建設局建築部建築課		A-13

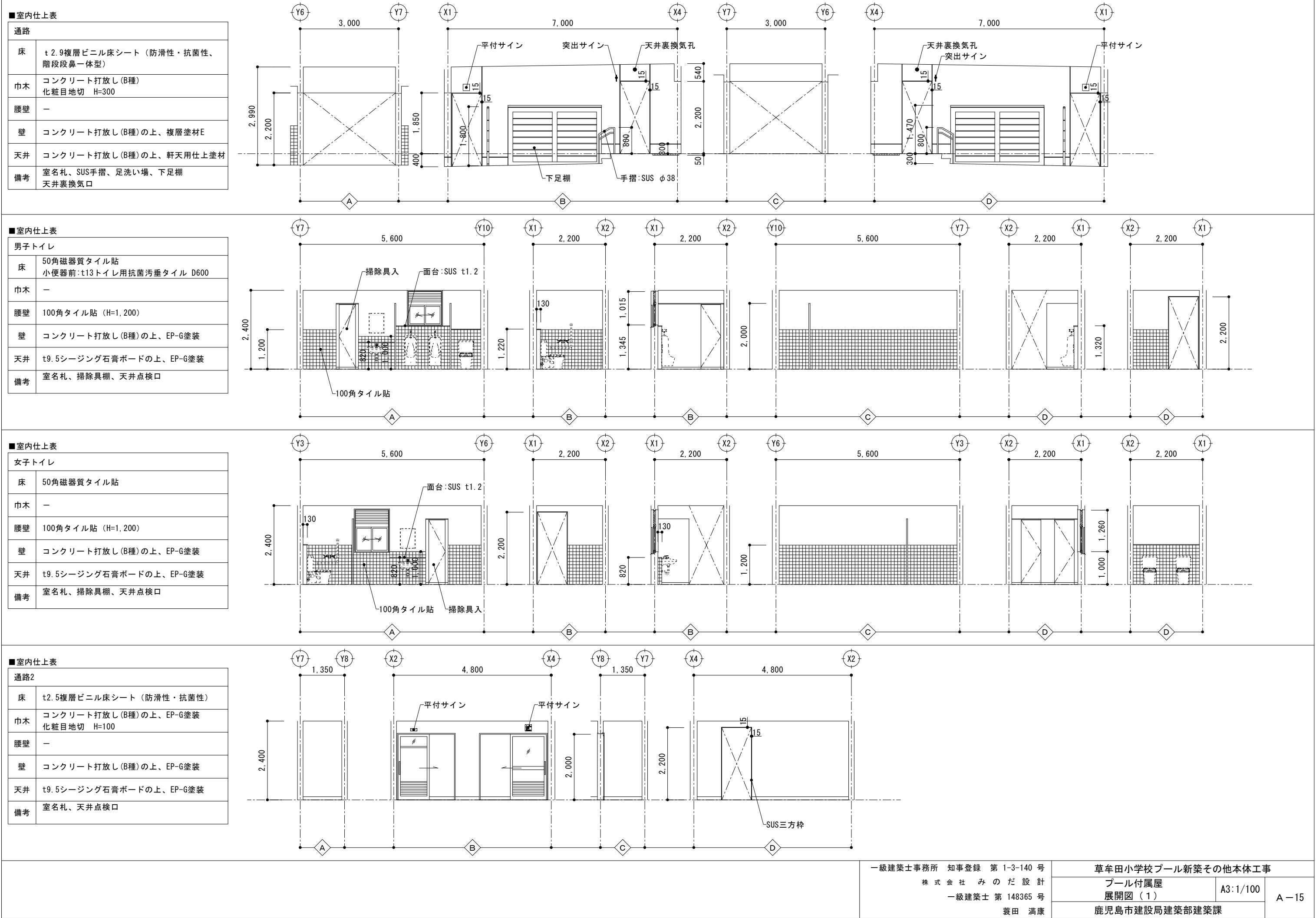


1階平面詳細図 1/60

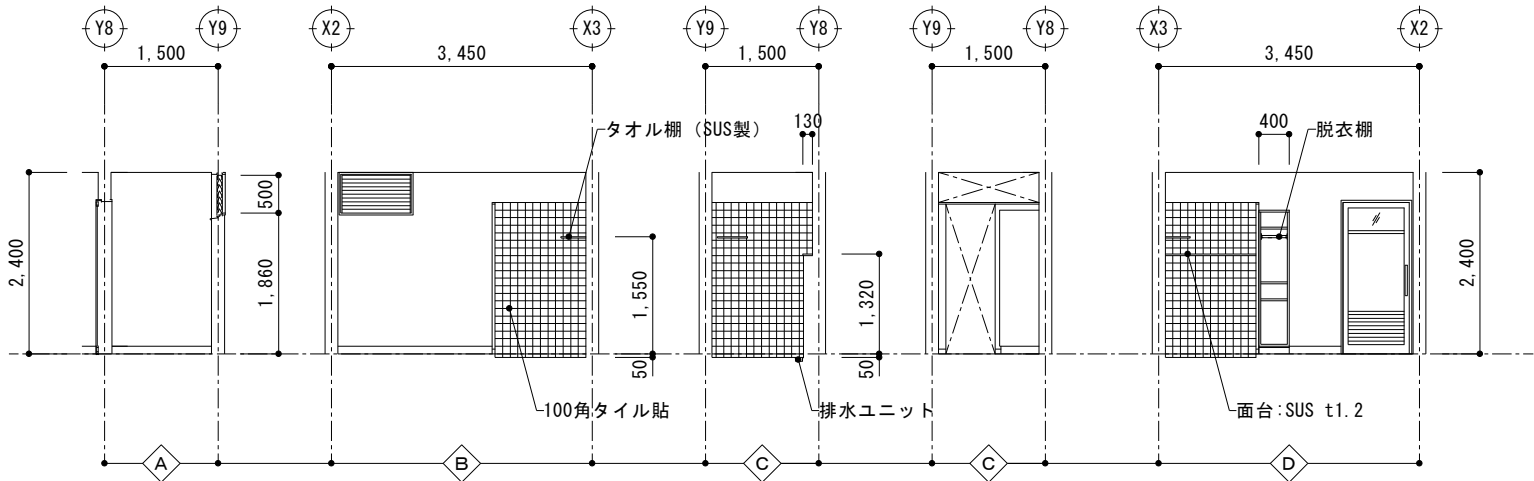
+350 設計GLからの高さを示す



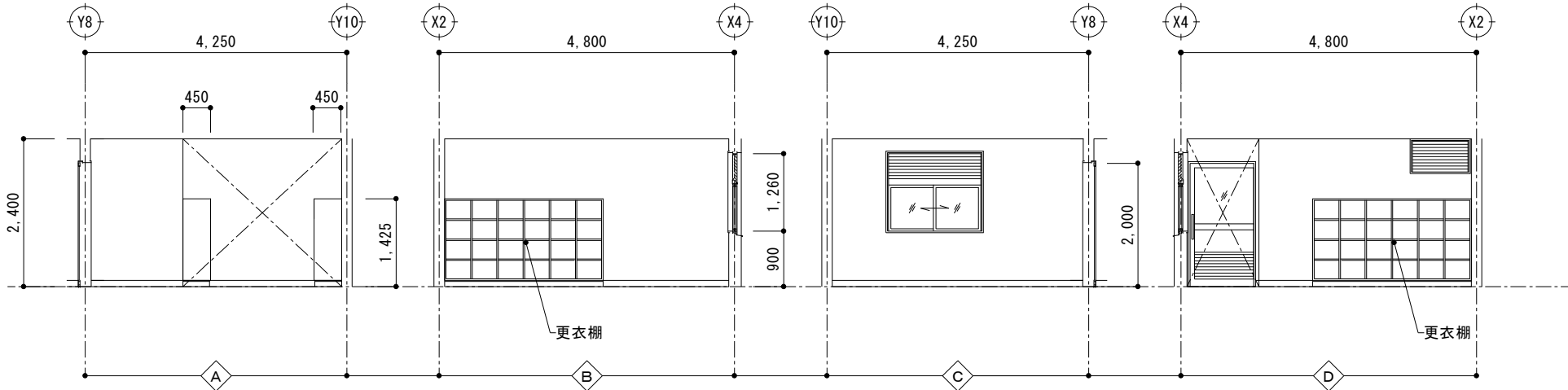
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 養田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール付属屋 平面詳細図	A3:1/60	A - 14
	鹿児島市建設局建築部建築課		



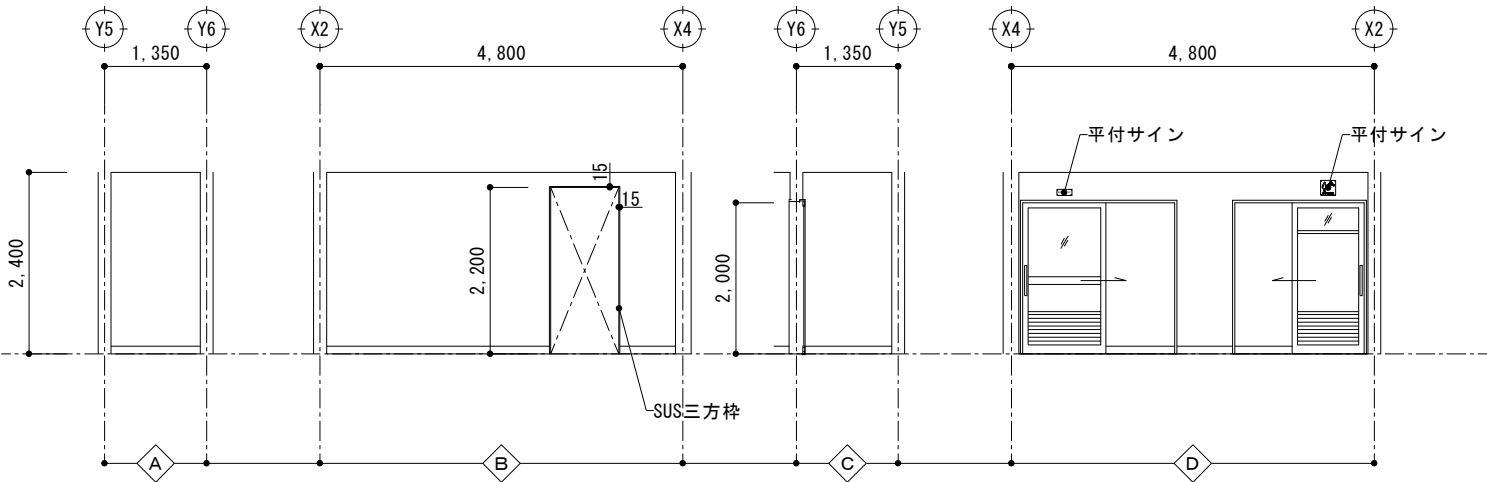
■室内仕上表	
職員更衣（男）	
床	更衣室:t2.5複層ビニル床シート(防滑性・抗菌性) シャワー室:50角磁器質タイル
巾木	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100
腰壁	100角タイル貼 (H=2,000)
壁	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装
天井	t9.5シーリング石膏ボードの上、EP-G塗装
備考	室名札、シャワーカーテン（レール共） 脱衣棚、タオル棚（SUS製）、排水ユニット



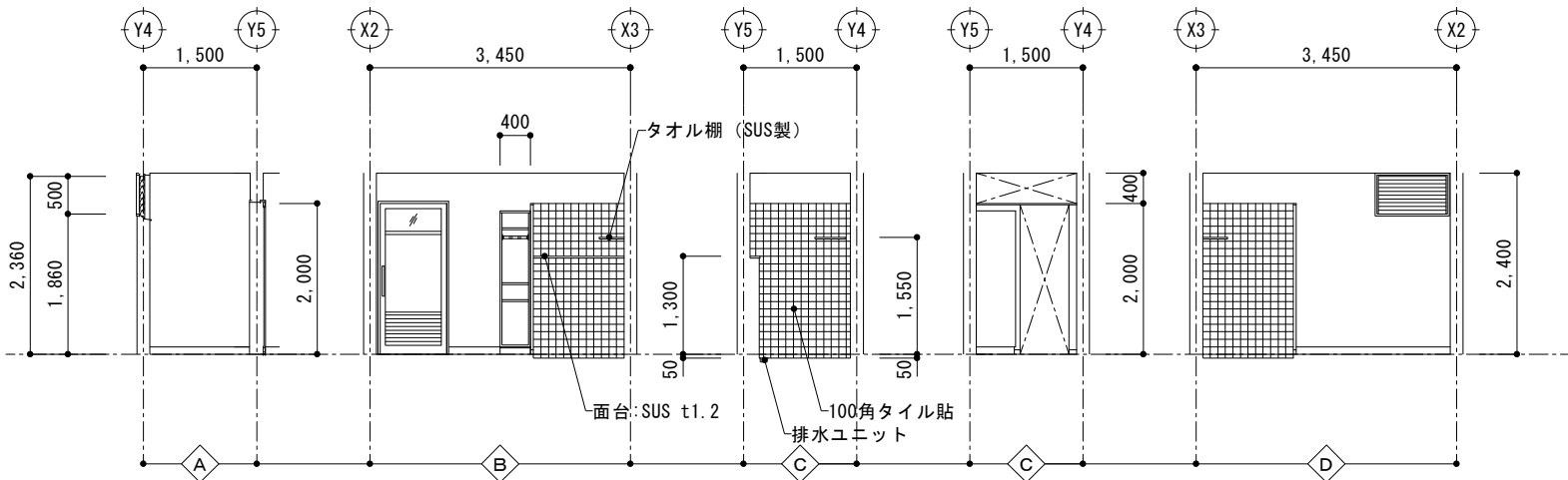
■室内仕上表	
男子更衣	
床	t2.5複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性）
巾木	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100
腰壁	—
壁	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装
天井	t9.5シーリング石膏ボードの上、EP-G塗装
備考	室名札、更衣棚、天井点検口



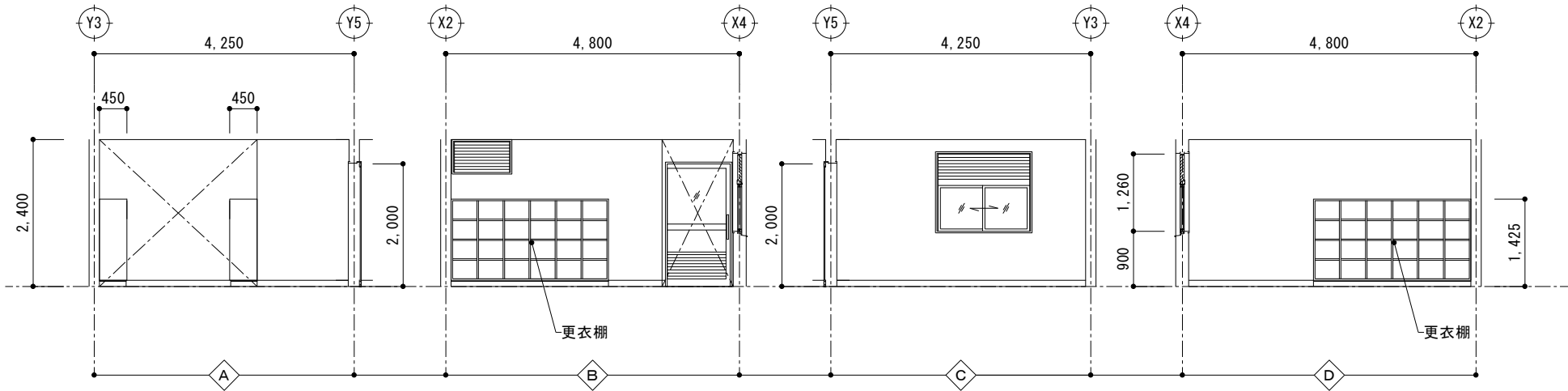
■室内仕上表	
通路3	
床	t2.5複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性）
巾木	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100
腰壁	—
壁	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装
天井	t9.5シーリング石膏ボードの上、EP-G塗装
備考	室名札



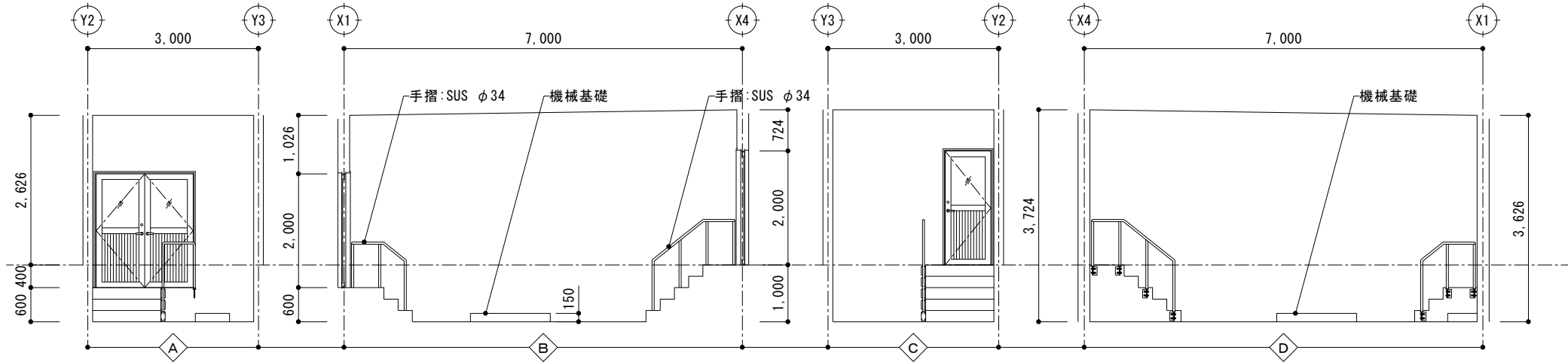
■室内仕上表	
職員更衣（女）	
床	更衣室:t2.5複層ビニル床シート(防滑性・抗菌性) シャワー室:50角磁器質タイル
巾木	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100
腰壁	100角タイル貼 (H=2,000)
壁	コンクリート打放し(B種)の上、EP-G塗装
天井	t9.5シーリング石膏ボードの上、EP-G塗装
備考	室名札、シャワーカーテン（レール共） 脱衣棚、タオル棚（SUS製）、排水ユニット



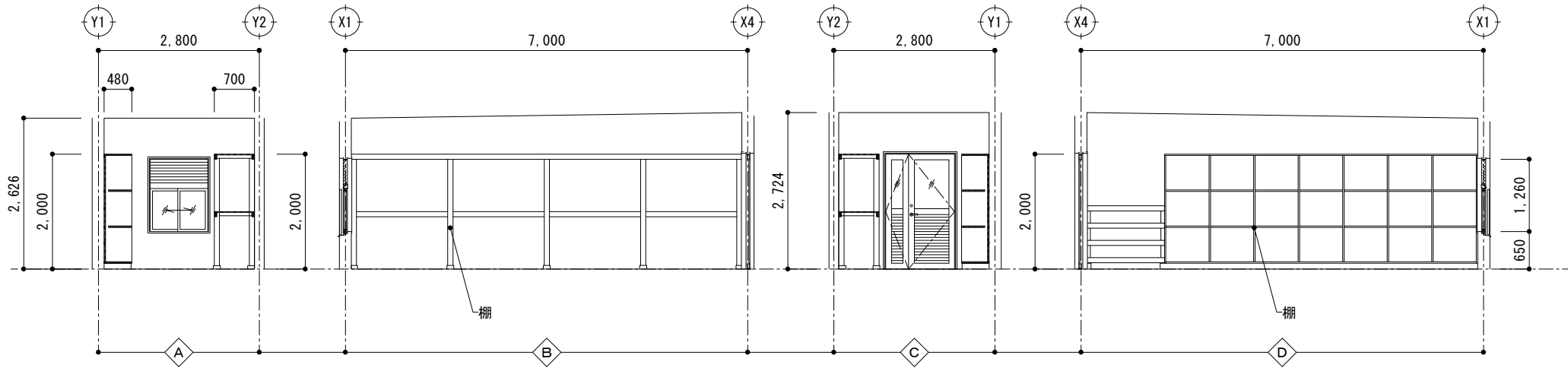
■室内仕上表	
女子更衣	
床	t2.5複層ビニル床シート（防滑性・抗菌性）
巾木	コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装 化粧目地切 H=100
腰壁	－
壁	コンクリート打放し（B種）の上、EP-G塗装
天井	t9.5シーリング石膏ボードの上、EP-G塗装
備考	室名札。更衣棚、天井点検口



■室内仕上表	
機械室	
床	コンクリート金ゴテ押エ
巾木	－
腰壁	－
壁	コンクリート打放し（B種）
天井	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み
備考	室名札、SUS手摺、SUS製丸環（打込み式）



■室内仕上表	
プール倉庫	
床	コンクリート金ゴテ押エ
巾木	－
腰壁	－
壁	コンクリート打放し（B種）
天井	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み
備考	室名札、棚



機械室階段手摺部分詳細図 1：5

※機械搬入時、取外し可能とする。

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
株式会社 みのだ設計
一級建築士 第 148365 号
蓑田 満康

草牟田小学校プール新築その他本体工事

プール付属屋
展開図（3）

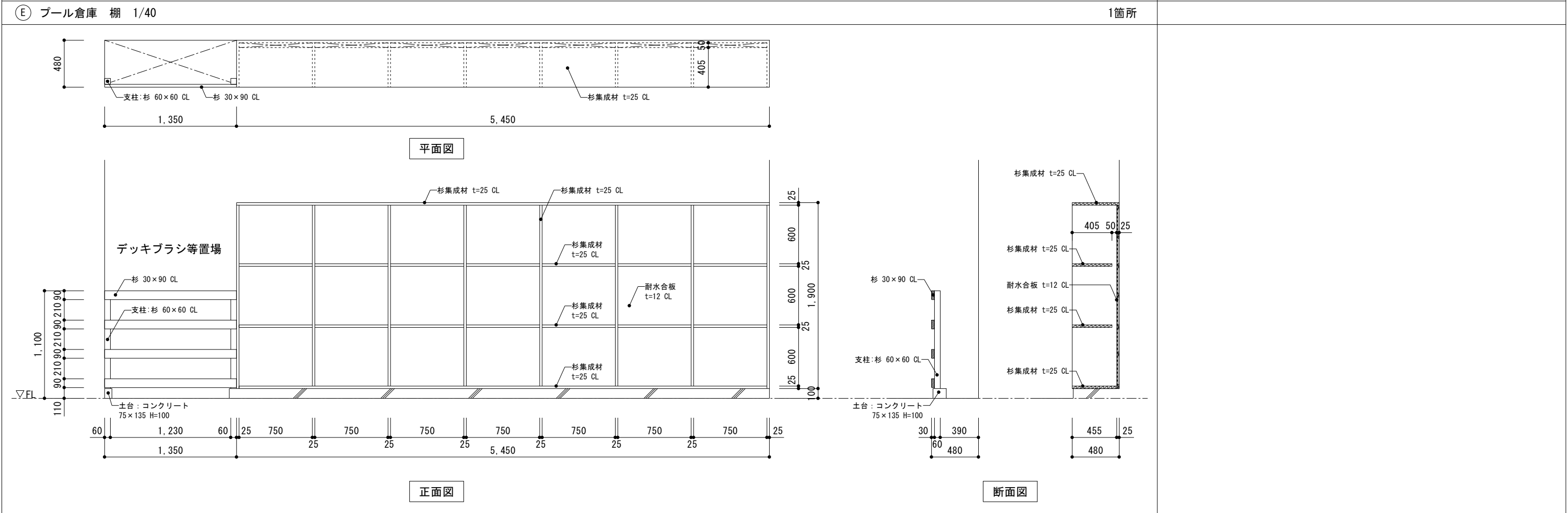
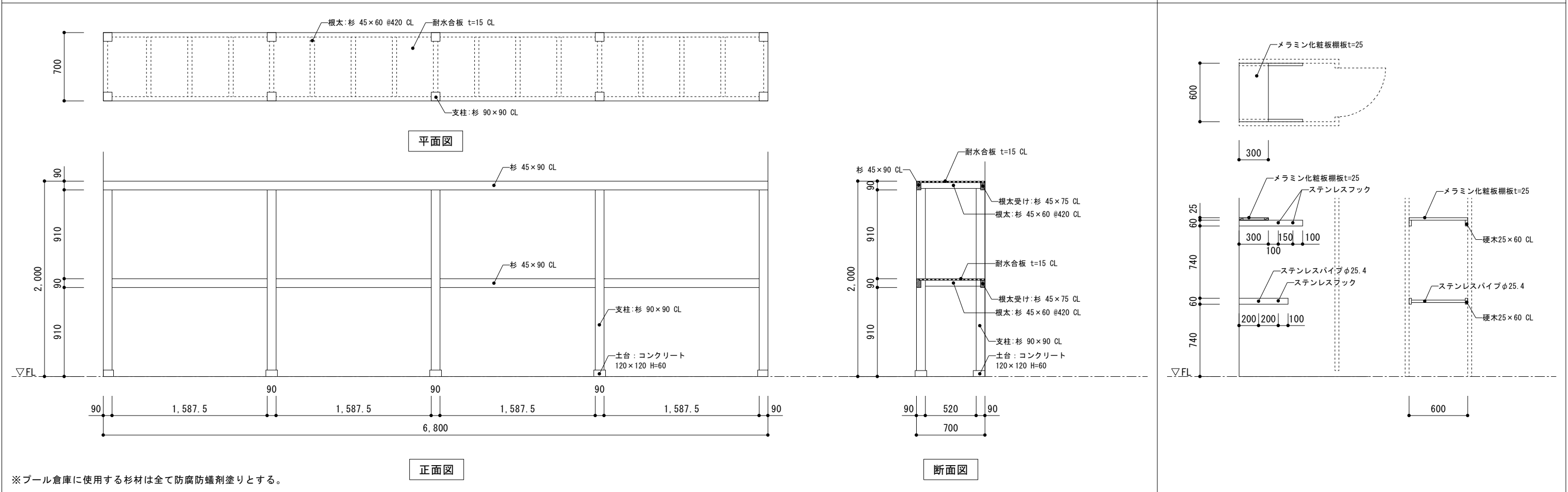
鹿児島市建設局建築部建築課

A3:1/100
1/5

A-17

建具キープラン 1/200				記号・個数・名称	① AD-1 両開き戸	② AD-1 親子開き戸	③ AD-1 片開き戸	④ AD-2 片引き戸	⑤ AD-2 片引き戸	
				形状・寸法						
				場所・見込	機械室 桢見込70	プール倉庫 桢見込70	機械室 桢見込70	男子更衣、女子更衣 桢見込70	職員更衣(男)、職員更衣(女) 桢見込70	
				仕 上	アルミ製 二次電解着色	アルミ製 二次電解着色	アルミ製 二次電解着色	アルミ製 二次電解着色	アルミ製 二次電解着色	
				硝 子	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	
				金 物	レバーハンドル錠(内側サムターン) ドアチェック、丁番、フランス落とし	レバーハンドル錠(内側サムターン) ドアチェック、丁番、フランス落とし	レバーハンドル錠(内側サムターン) ドアチェック、丁番	引き棒、引戸用鎌錠(内側サムターン無し)	引き棒、引戸用鎌錠(内側サムターン)	
				備 考	アルミ額縁、ステンレス下枠 アルミガラリ(防音防水)	アルミ額縁、ステンレス下枠 アルミガラリ(標準)	アルミ額縁、ステンレス下枠 アルミガラリ(防音防水)	ステンレス下枠 アルミガラリ(山型)	ステンレス下枠 アルミガラリ(山型)	
				記号・個数・名称	① AW-1 ガラリ付き引違い窓	② AW-2 ガラリ付き引違い窓	③ AW-2 ガラリ付き引違い窓		① AG-2 ガラリ	
				形状・寸法						
				場所・見込	男子トイレ 桢見込70	女子トイレ、プール倉庫 桢見込70	男子更衣、女子更衣 桢見込70		男子更衣、女子更衣 桢見込70	
1. 建具の材質と符号		2. 建具寸法		仕 上	アルミ製 二次電解着色	アルミ製 二次電解着色	アルミ製 二次電解着色		アルミ製 二次電解着色	
AD	アルミ製扉	平面		硝 子	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4	型板強化ガラス t=4			
AW	アルミ製窓			金 物	クレセント、戸車	クレセント、戸車	クレセント、戸車			
AG	アルミ製ガラリ	断面		備 考	アルミ製額縁、アルミ水切り アルミガラリ(標準)、アルミ面格子	アルミ製額縁、アルミ水切り アルミガラリ(標準)、アルミ面格子	アルミ製額縁、アルミ水切り アルミガラリ(標準)		アルミ製額縁、アルミ水切り アルミガラリ(標準)	
TB	トイレブース									
SB	シャワーブース									
PB	パーテーションブース									
3. ガラリ形状				記号・個数・名称	① TB-2 トイレブース	② TB-1 トイレブース	③ TB-1 トイレブース	① SB-2 シャワーブース	① PB-1 パーテーションブース	
				形状・寸法						
				場所・見込	男子トイレ、女子トイレ 見込40	男子トイレ 見込40	女子トイレ 見込40	職員更衣(男)、職員更衣(女) 見込40	男子トイレ 見込40	
4. 特記事項				仕 上	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	高圧メラミン化粧板	
				硝 子						
				金 物	ラバトリーヒンジ、ラバトリーラッチ	ラバトリーヒンジ、ラバトリーラッチ 帽子掛け戸当り、非常開錠装置	ラバトリーヒンジ、ラバトリーラッチ 帽子掛け戸当り、非常開錠装置			
				備 考	芯材：ペーパーコア+パーチクルボード SUS巾木、SUS頭つなぎ(小口塞ぎ)	芯材：ペーパーコア+パーチクルボード SUS巾木、SUS頭つなぎ(小口塞ぎ)	芯材：ペーパーコア+パーチクルボード SUS巾木、SUS頭つなぎ(小口塞ぎ)	芯材：合成樹脂発泡材 SUS巾木、SUS頭つなぎ(小口塞ぎ)	芯材：ペーパーコア+パーチクルボード SUS巾木	
								一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 菱田 満康		
								草牟田小学校プール新築その他本体工事 プール付属屋 建具キープラン、建具表 鹿児島市建設局建築部建築課		
								A3:1/200	A-18	

家具キープラン 1/200		① 通路 下足棚 1/40		2箇所			
		断面図		正面図			
② 職員更衣（男）、職員更衣（女） 更衣棚 1/40		2箇所		③ 男子更衣、女子更衣 更衣棚 1/40		4箇所	
		断面図		断面図		正面図 6×4段＝24箇所	
特記事項				一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号		草牟田小学校プール新築その他本体工事	
・材料は全てF☆☆☆☆材料を使用する。				株式会社 みのだ設計		プール付属屋 家具図(1) A3:1/200	
・棚は全て固定する。				一級建築士 第 148365 号		A-19	
・製作する際は施工図を提出し、金物は見本提出ののち決定する。				菫田 満康		鹿児島市建設局建築部建築課	
・コンクリートに接する1m以下の部分及び底板部分は、防腐防蟻剤塗りとする。							



特記事項		一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号		草牟田小学校プール新築その他本体工事		
・材料は全てF☆☆☆☆材料を使用する。		株式会社 みのだ設計		プール付属屋 家具図(2)		
・棚は全て固定する。		一級建築士 第 148365 号		A3:1/200		
・製作する際は施工図を提出し、金物は見本提出ののち決定する。		菰田 満康		A-20		
・コンクリートに接する1m以下の部分及び底板部分は、防腐防蟻剤塗りとする。				鹿児島市建設局建築部建築課		

④ 突出サイン

数量：4ヶ所
アクリル板 t=5
室名：カッティングシート貼

ブラケット：t1.0 SUS (HL)

201
200
1
20
200
25
男子トイレ
女子トイレ
男子更衣室
女子更衣室
21
20
200

(B) 平付サイン

数量：4ヶ所
 アクリル板 t=3
 室名：カッティングシート貼

男子トイレ

女子トイレ

男子更衣室

女子更衣室

250

25 200 25

10 10

250

25 200 25

10 10

5mm掘込み（ヌスミ）

(C) 平付サイン

数量：5ヶ所
 アクリル板 t=3
 室名：カッティングシート貼

室 名	個数
機械室	2
倉庫	1
職員更衣室(男)	1
職員更衣室(女)	1

200

10 180 10

80

10 60 10

機械室

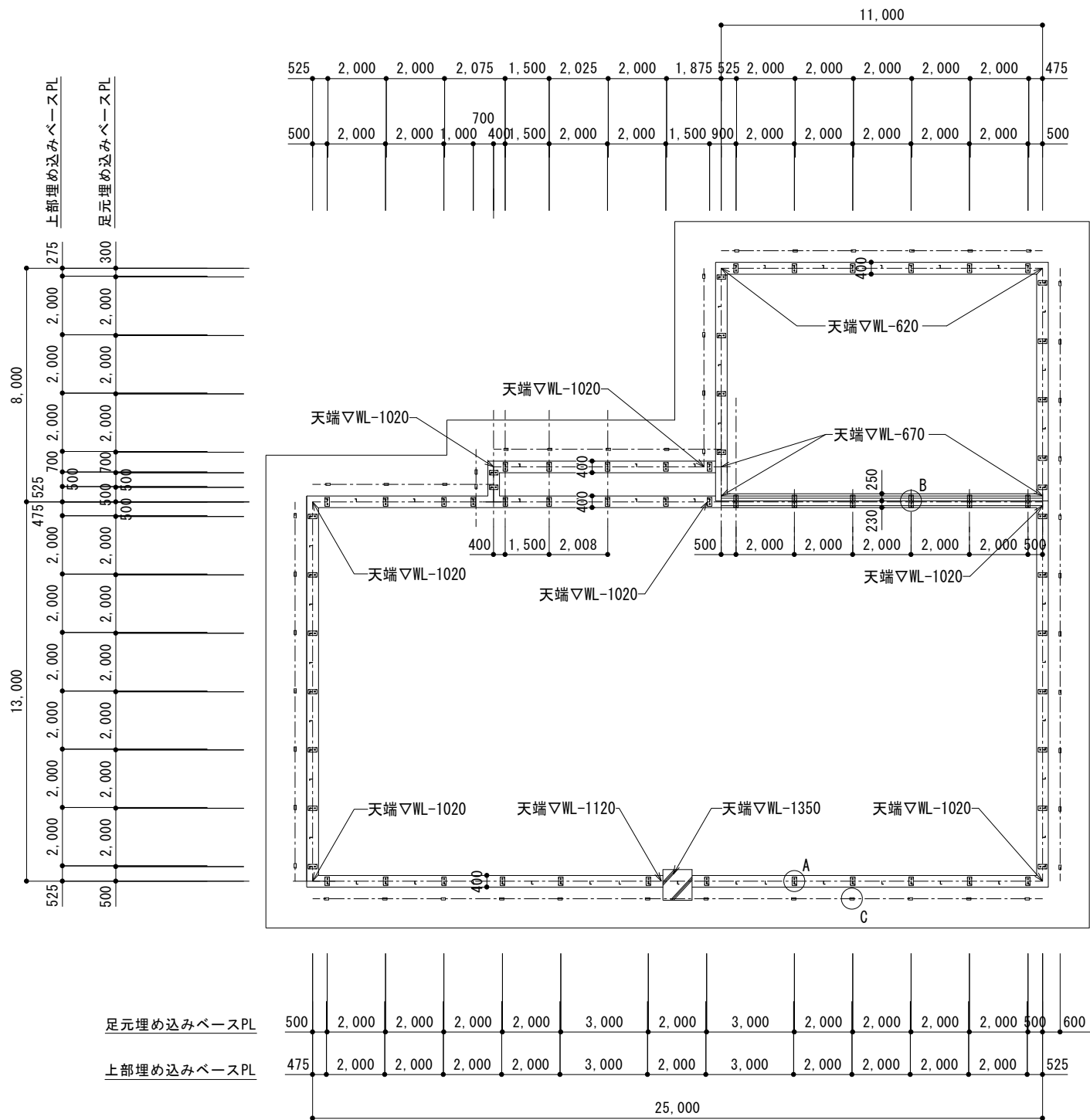
3

ステンレスプール本体特記仕様書														
1. 概要	大プール（ステンレス全溶接構造）無塗装				補助プール（ステンレス全溶接構造）無塗装				8. 検査基準 （組立完了検査）	8－1 組立完了後、下記の要領で寸法及び外観検査を行う。その結果を監督員に提出する。				
	25,000 x 13,000 6コース（水面積＝325.0㎡）				11,000 x 8,000（水面積＝88㎡）					1） プール寸法 ： 図面寸法との確認 プール底の歪 3m×3m が ±40mm				
	水 深 ： 1,000～1,100～1,000				水 深 ： 600～650～600					2） プール長さ ： 0～＋15mm				
	スロープ W1,200×7,800									3） プール深さ ： 0～＋10mm				
										4） オーバーフローレベルの測定 ： 最大～最少10mm以内（目標値は5mm以内）				
2. 材料	全てステンレス製とする（J I S S U S 3 0 4）								5） 取付器具跡等の傷の有無のチェック					
									6） オーバーフロー部分の曲がり・傷等のチェック					
3. 使用材料 共通	側板	PL t 2.5 S U S 3 0 4								7） その他必要事項				
	底板	PL t 1.5 ”												
	補強材	L－100x50x2.5、L－75x75x6、L－50x50x2.5、								”				
		FB－75x4 FB－50X4 FB－30x3								”				
		PL 2.0 2.5 3.0 4.0 6.0 丸鋼 9φ								”				
	グレーチング	200W（樹脂製）												
4. 付属品		大プール				補助プール				9. 工事区分		建築工事	プール工事	設備工事
	タラップ	計 3 ヶ所	S U S 3 0 4			計 2 ヶ所	S U S 3 0 4				基 礎	○（材，工共）		
	排水ピット	計 1 ヶ所	”								単粒度採石7号敷き及び転圧（砕石検査含む）	○（材，工共）		
	コースロープフック	計 14 ヶ所	”（50A ソケット付）								プール外周シーリング（バックアップ材含む）	○（材，工共）		
	背泳用グリップ	計 12 ヶ所	”								本体と基礎のすき間モルタル詰め（無収縮）	○（材，工共）		
	コースロープ	計 7 本（φ60 樹脂製）									本体据付用の墨出し	○（材，工共）		
											ケミカルアンカー	○（材，工共）		
5. 配管部品	給水口	計 1 ヶ所	50A	JIS10k	FF					埋め込みアンカープレート	○（工）	○（材）		
	オーバーフローノズル	計 7 ヶ所		65A	JIS5k	FF	計 5 ヶ所	65A	JIS5k	FF	オールアンカー（排水桝固定用）		○（材，工共）	
	吐出ノズル	計 10 ヶ所	50A	JIS10k	FF	計 4 ヶ所	50A	JIS10k	FF	プール本体接続フランジ、ソケット以降の配管（取付ボルト、ナット、パッキン含む）			○（材，工共）	
	本体排水管	計 1 ヶ所	150A	JIS10k	FF									
	消火栓口	計 1 ヶ所	100A	JIS10k	FF									
6. 塗装 共通	プール内面 塗装仕様 （側板 底板部は無塗装とし、溶接部のみ 電解研磨）	素 地 調 整 脱脂 サンダーケレン								10. 特記事項	1. プール据付後、プール本体と布基礎との隙間に、モルタル（無収縮性）詰めを行うこと。			
		下 塗 り	エポキシ樹脂系プライマー		1回塗り	30μ		2. プール底板下クッション砕石は、単粒度砕石7号（粒度範囲 2.5m／m～5m／m）とする。						
		中 塗 り	エポキシ樹脂塗料		1回塗り	30μ		3. プール底板下クッション砕石は、水締め後、脈動ランマー、振動ローラー等で充分転圧すること。						
		上 塗 り	アクリルウレタン樹脂塗料		2回塗り	30μ×2		4. 基礎天端の仕上精度は、±0～－5mmの範囲であること。						
		ノンスリップ塗装 ケイ砂6号散布 0.2kg／㎡							5. 鋼板の曲げ加工は、見えがかりとなる突出部及び隅角部を面取り加工とする。					
	プール外面	変成エポキシ樹脂塗料（底板裏面は除く）		1回塗り	50μ		6. 鋼板切断面は、見えがかりとなる突出部及び隅角部を面取り加工とする。							
7. マーキング	ライン	コースライン 5Mライン センターライン クロスライン （ウレタン樹脂塗料1回）								7. 溶接工事は、溶接管理技術者（JISZ3410（ISO1473）／WES8103）取得者による管理を行うこと				
	水深表示	計 7ヶ所	（ビニールフィルム）							8. 溶接者はプール又はこれに類する構造物の溶接技術検定（JISZ3801及びJISZ3821）取得者又は、ISO9001取得メーカーによる管理を行うこと。				
	距離表示	2ヶ所	（ビニールフィルム）							9. 溶接は、歪みを生じないように順序を考慮して行い、スパッタやスラグ等の人体に損傷を与える恐れのある突起物は除去する。				
	コースNo	6コース	（6x2x2＝24か所）							10. プール各部分の詳細については、施工者による責任施工とする。製作前に施工計画書を作成し監督員の承諾を得ること。				
										11. プール本体及び補強材については構造計算により安全を確認した上で製作すること。 補強材については プール本体に水圧や溶接熱等による歪みを生じないよう、適宜設けること。				
									12. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて「文部科学省 建築工事標準仕様書（特記基準）（令和7年版）」による。					
									13. 組立・塗装完了後、水張試験を行い、プール本体及び設備配管部の漏水確認を行う。なお、水道料金は受注者負担とし、 塗装完了後の養生期間は製造所の指定によることとし、注水前に塗料が乾燥していることを確認すること。					
									11. 保証 プール本体 ： 10年 塗 装 ： 3年 請負業者及び施工業者の連帯保障					

※本仕様は 一部参考例とした部分もあり プール本体の受注メーカー仕様の違いは本仕様と同等以上とし、監督員の承諾の上施工すること。
※シーリング材の A 種 B種 C種について
JIS A 5758 規格に基づく耐久性区分で 主に温度変化に対する耐久性を示す。
C種は90℃の環境下での圧縮・伸長に耐える性能のランクを示す

参考図

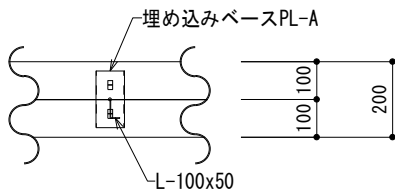
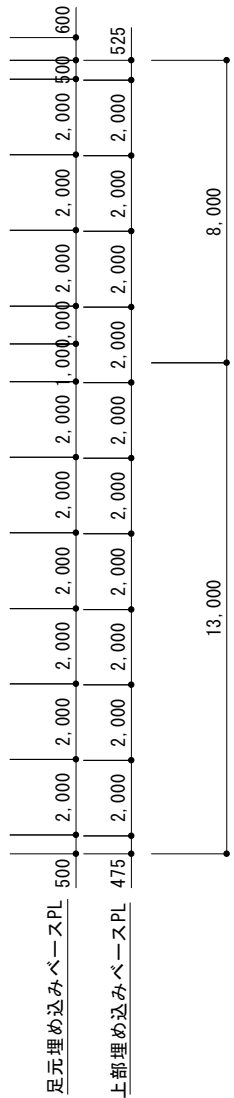
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 菱田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事			A－22
	プール 特記仕様書		NOSCALE	
	鹿児島市建設局建築部建築課			



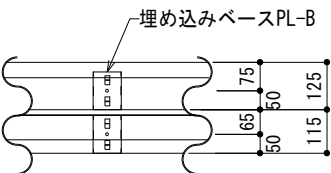
基礎 プレート配置図 1/200

上部埋め込みベースPL

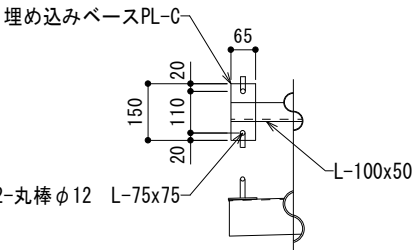
足元埋め込みベースPL



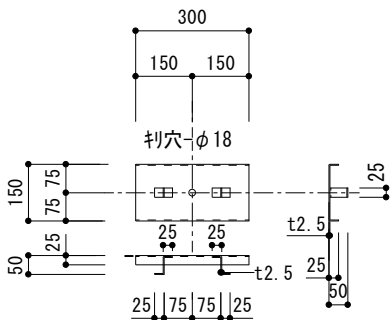
数量： 57枚
A部 詳細図 1/20



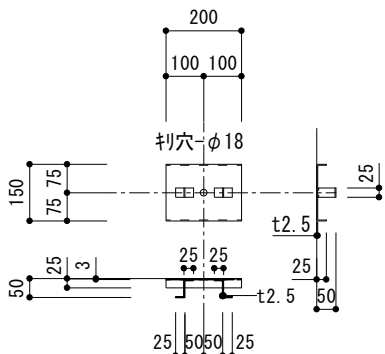
数量： 12枚
B部 詳細図 1/20



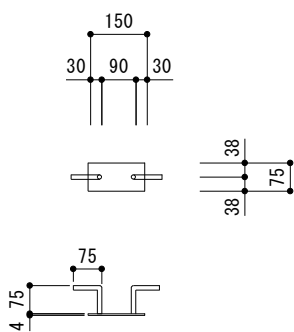
数量： 49枚
C部 詳細図 1/20



埋め込みベースPL-A 詳細 1/20



埋め込みベースPL-B 詳細 1/20

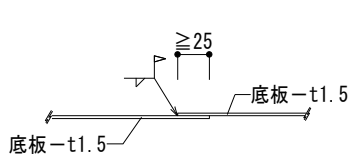
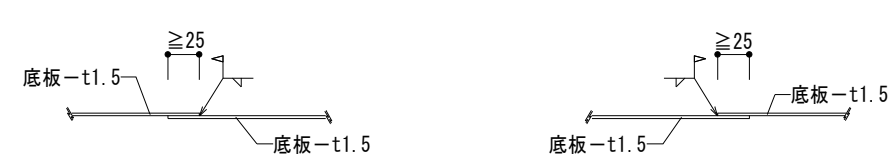
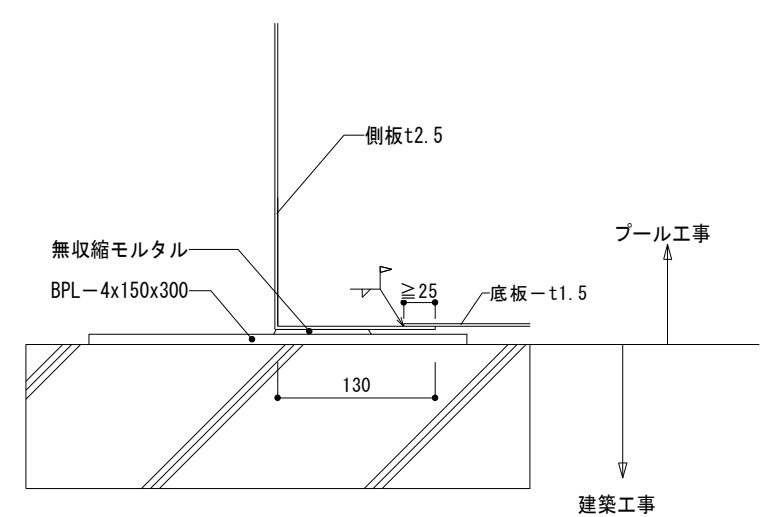


埋め込みベースPL-C 詳細 1/20

※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菰田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール ベースアンカー配置図	A3:1/200 1/20	A - 24
	鹿児島市建設局建築部建築課		

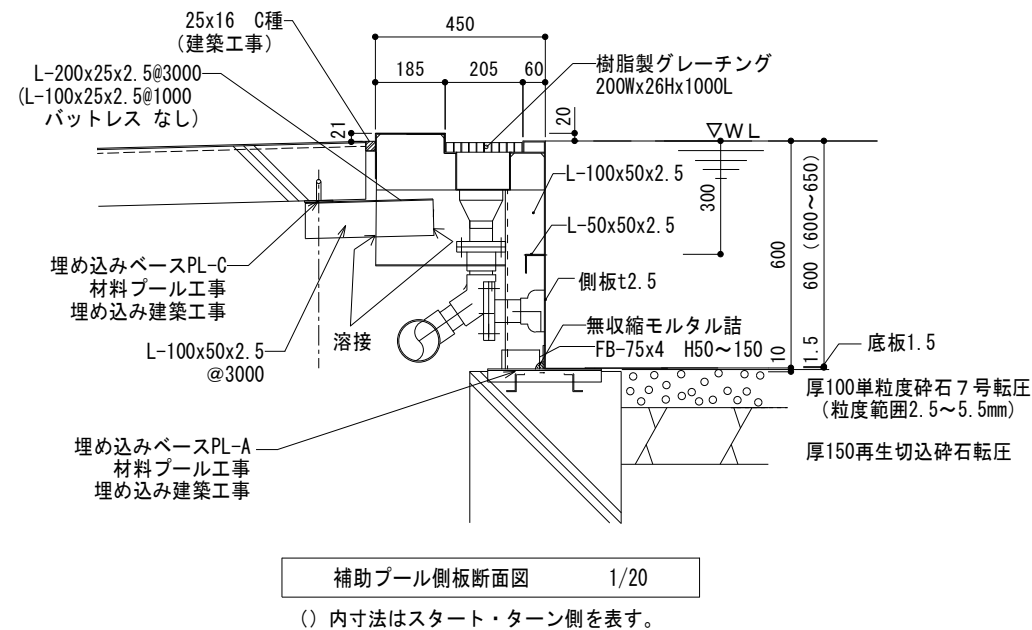
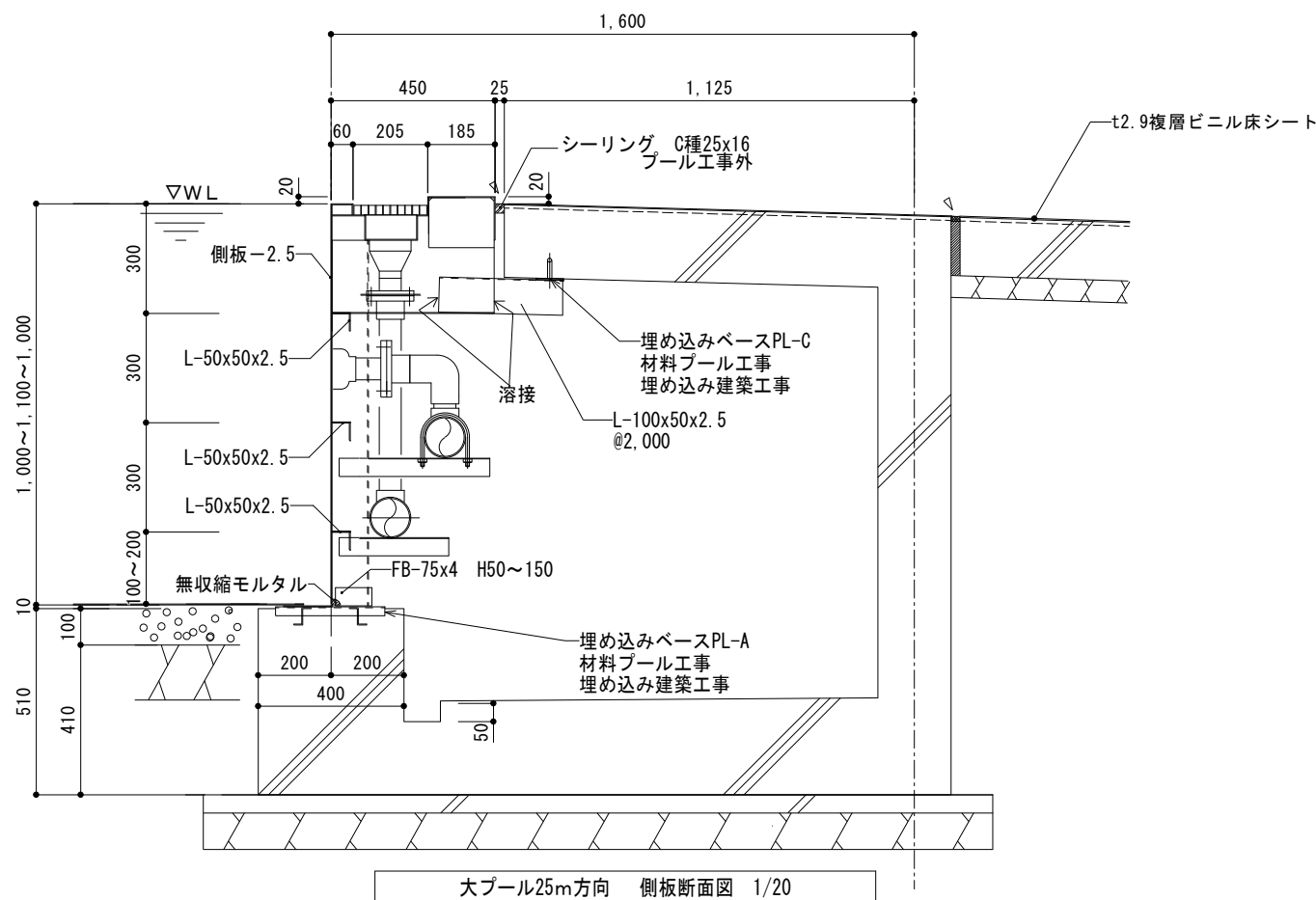
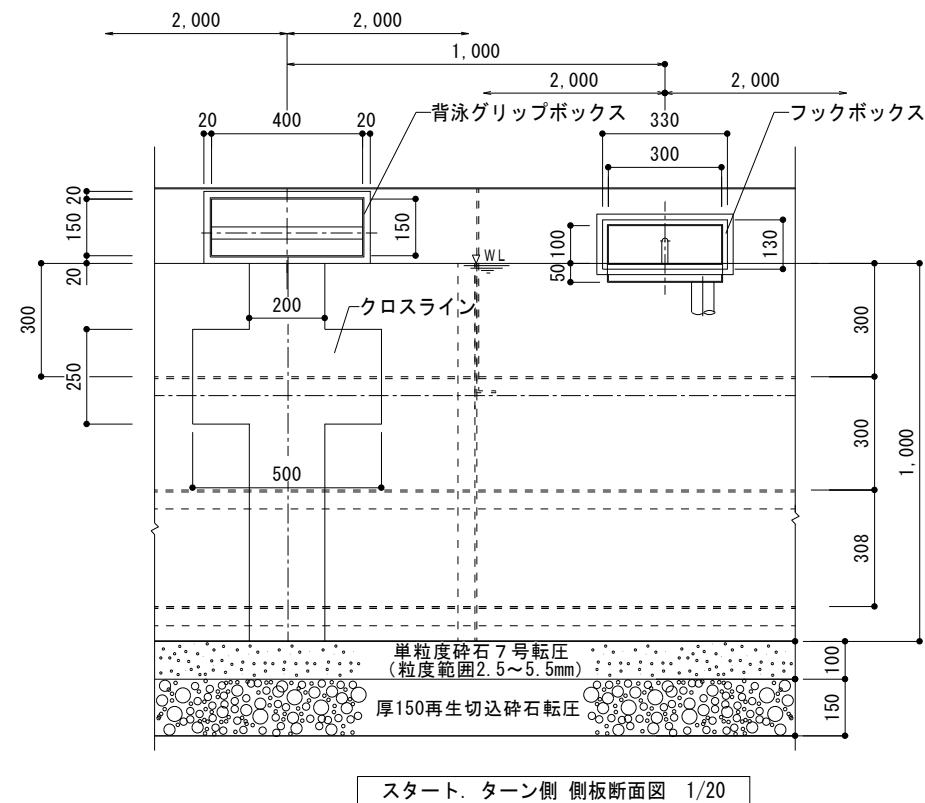
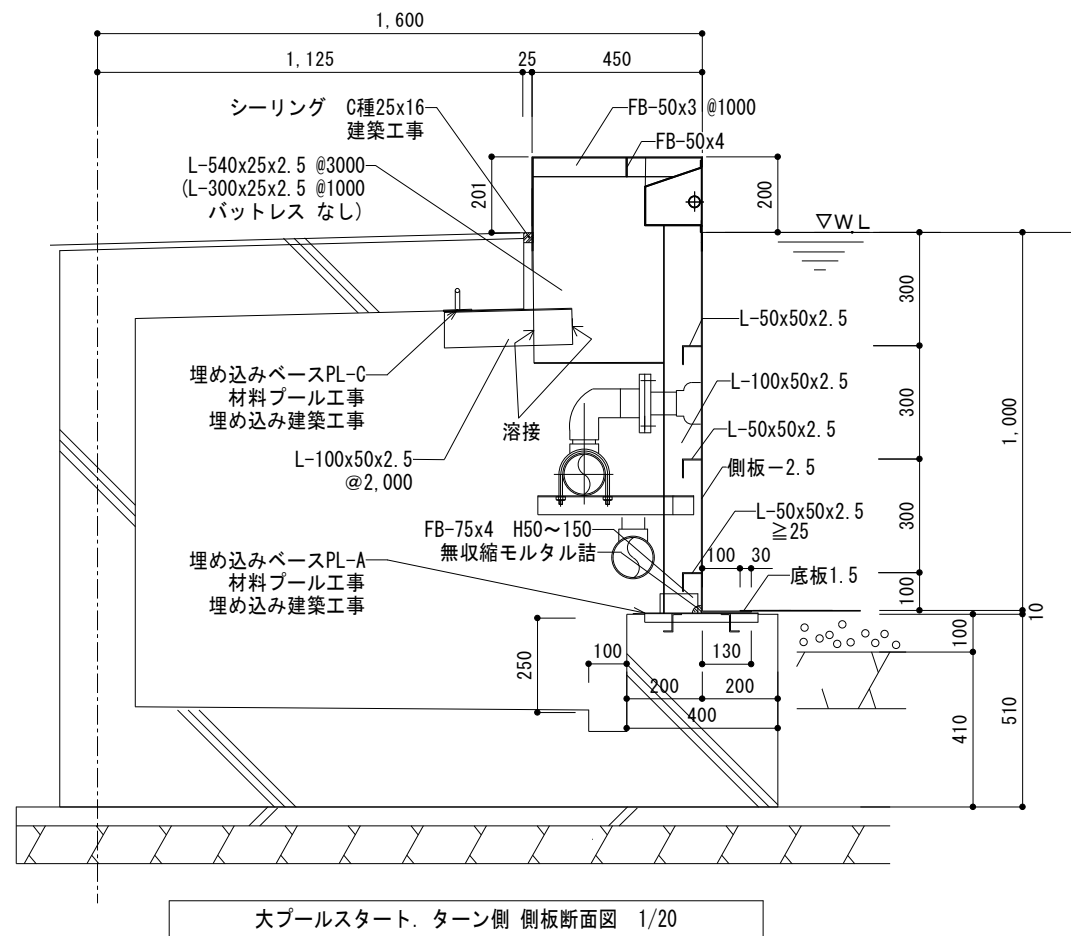


※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

※斜材・側板・補強材ベースプレートは強度計算により
安全を確認した上で決定すること。

※排水口の位置その他各メーカー仕様により異なる場合は
監督員の承諾の上、施工すること。

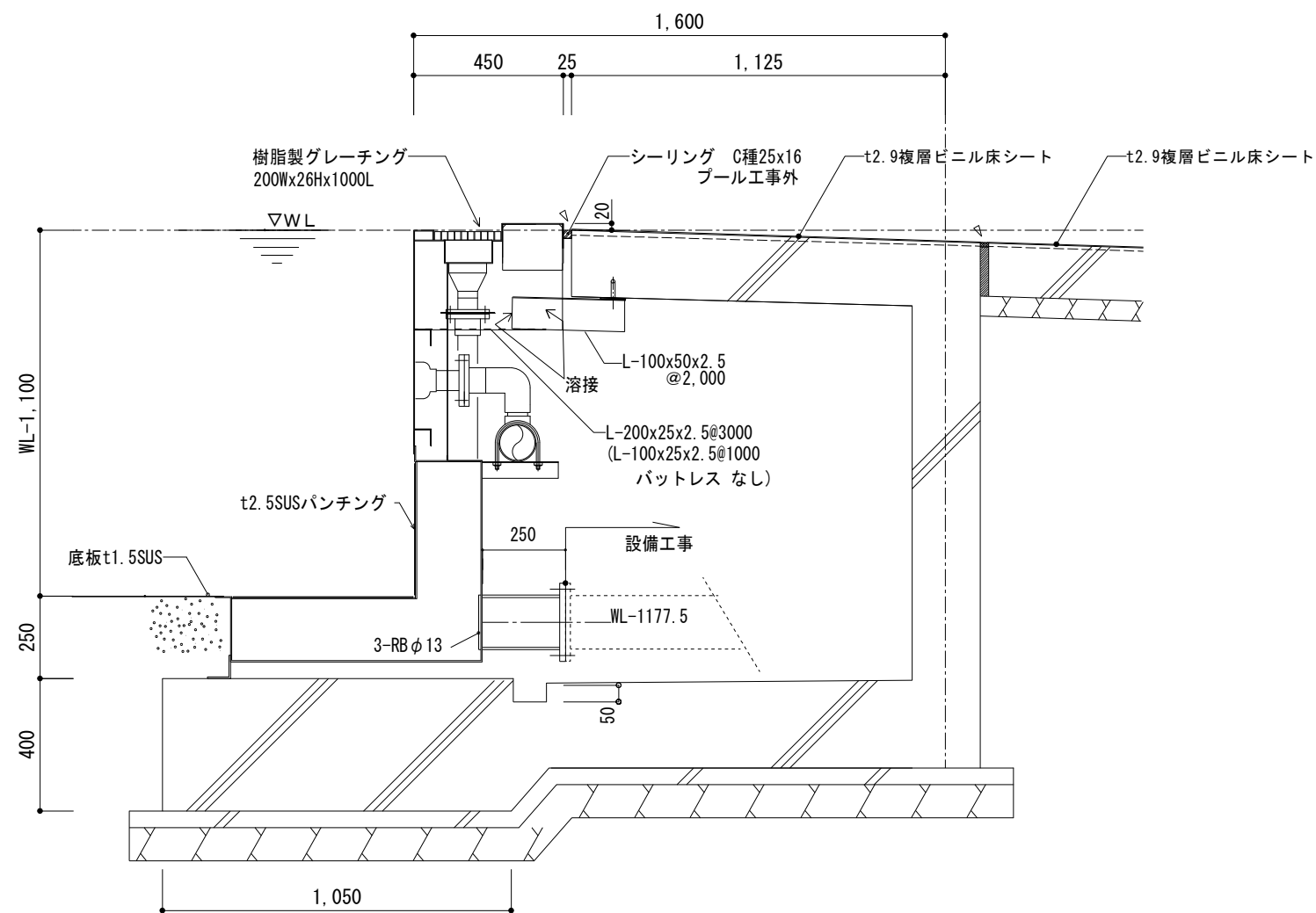
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菺 田 満 康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール 底板配置図	A3:1/200 1/3	A-25
	鹿児島市建設局建築部建築課		



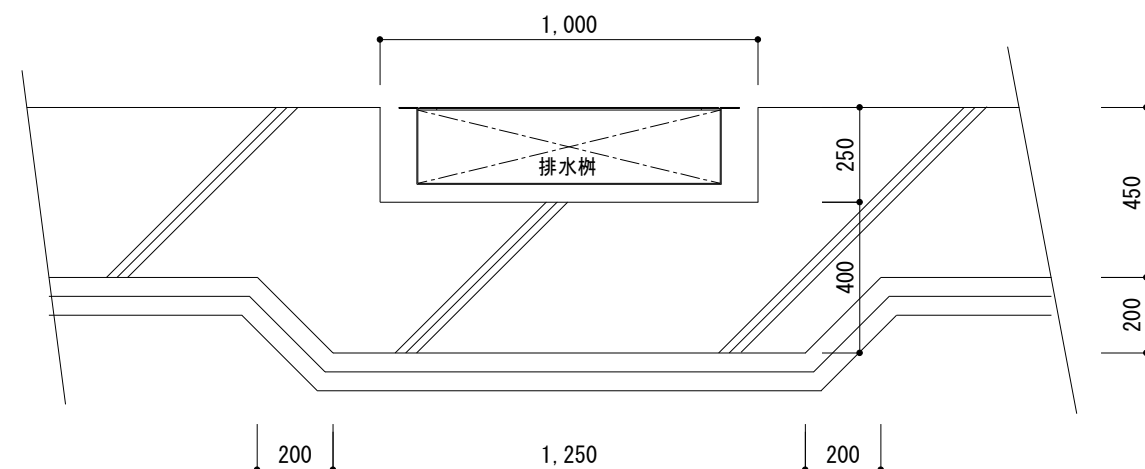
※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。
※補強材の寸法・配置については、強度計算により安全を
確認した上決定し、かつプール本体に水圧や溶接等による
歪みを生じないよう適宜設けること。

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 荻田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール 断面詳細図(1)	A3:1/20	A - 26
	鹿児島市建設局建築部建築課		



大プール排水樹 断面図 1/20

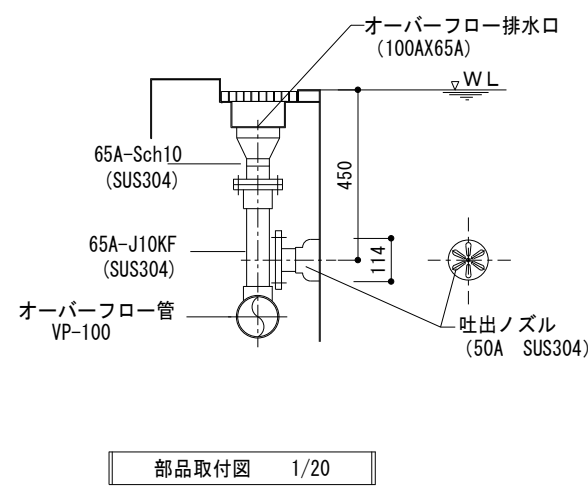
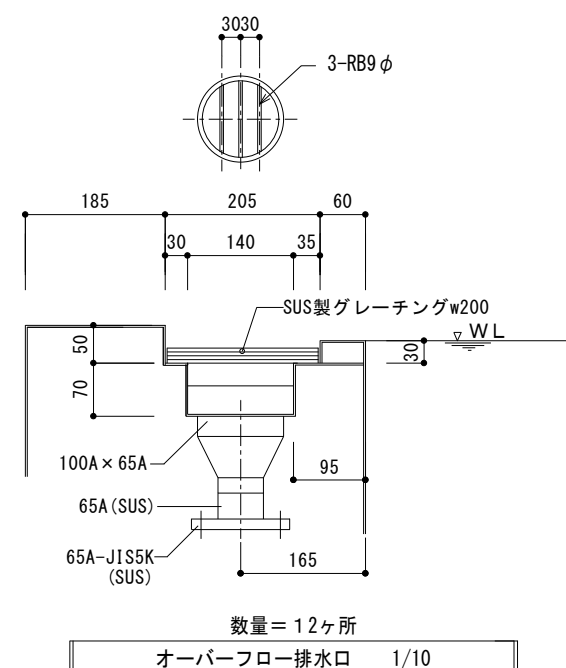
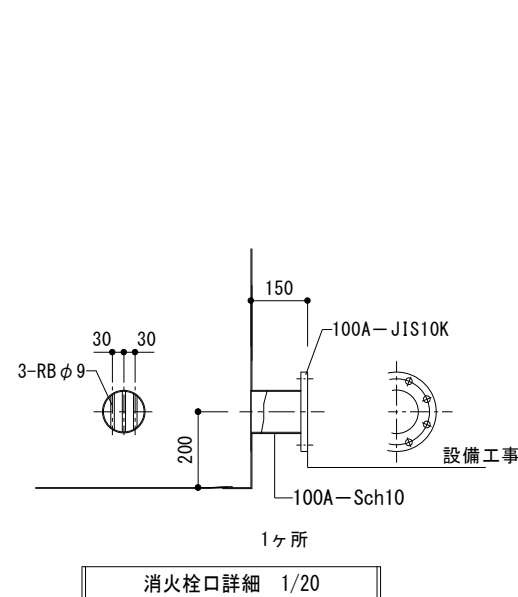
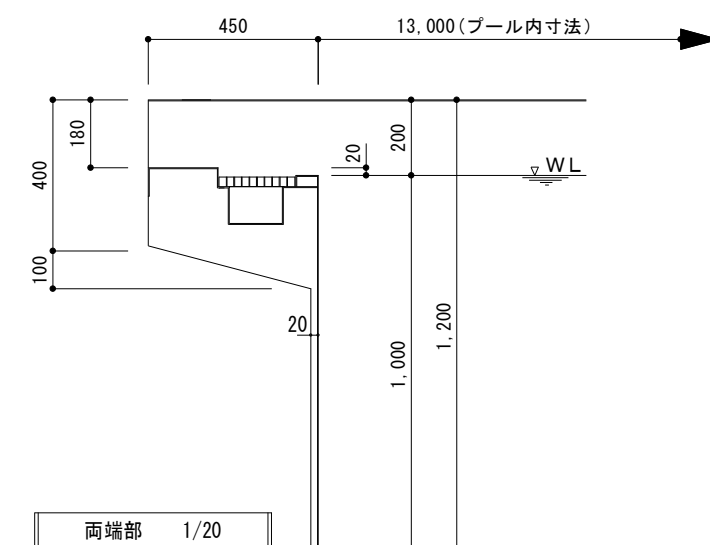
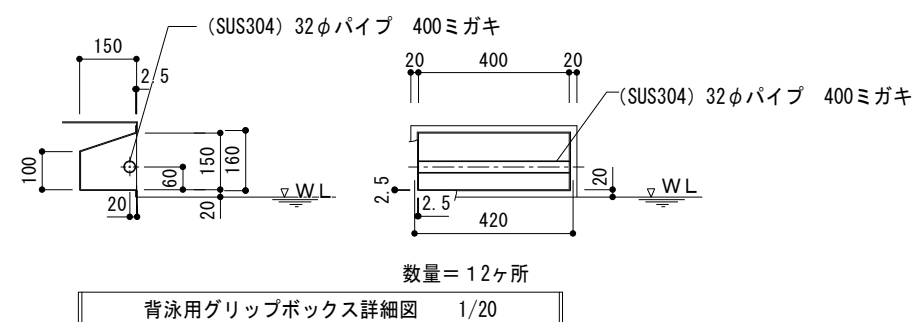
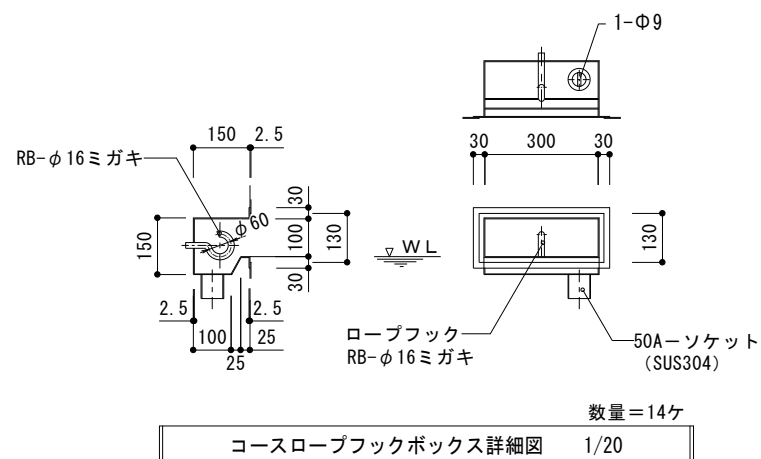
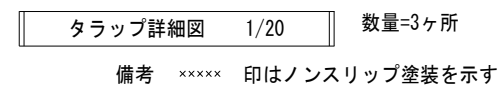
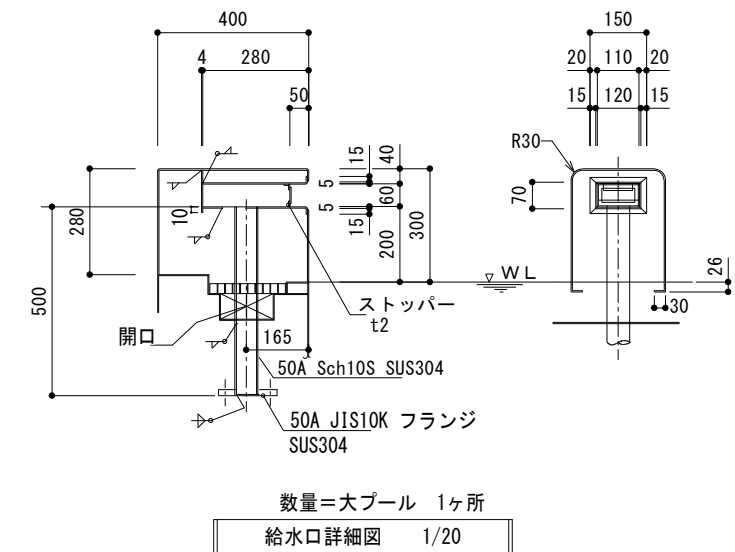
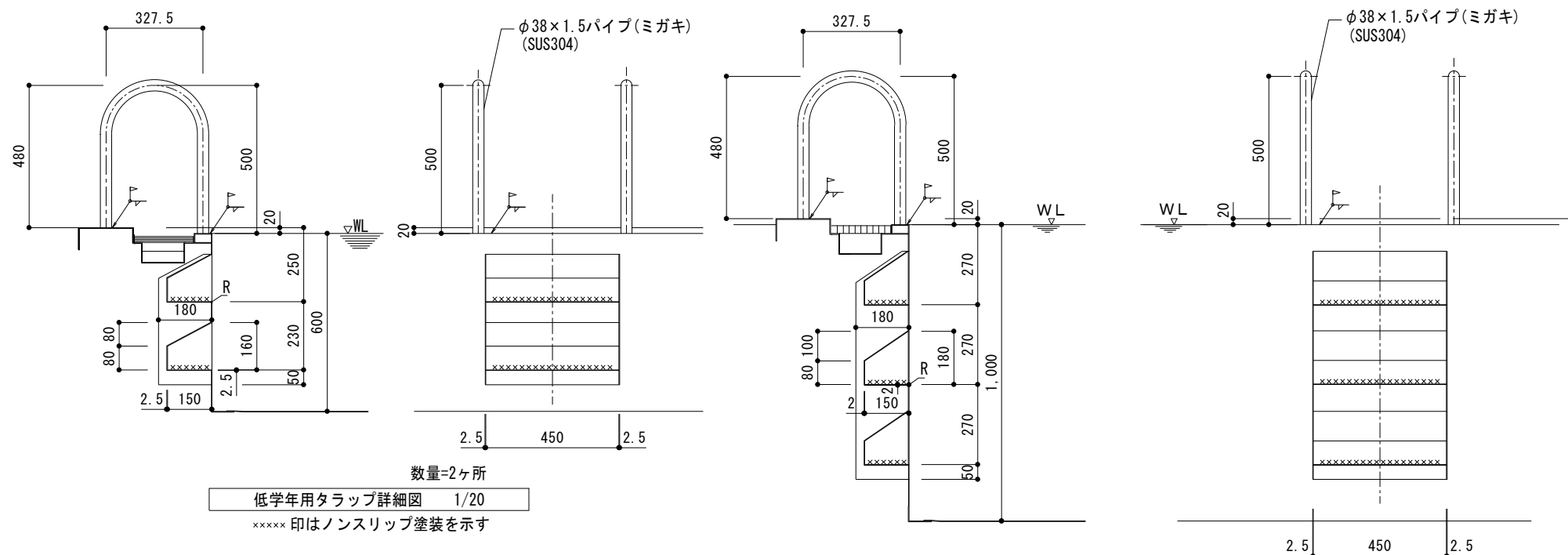


大プール用排水樹 配置 1/20

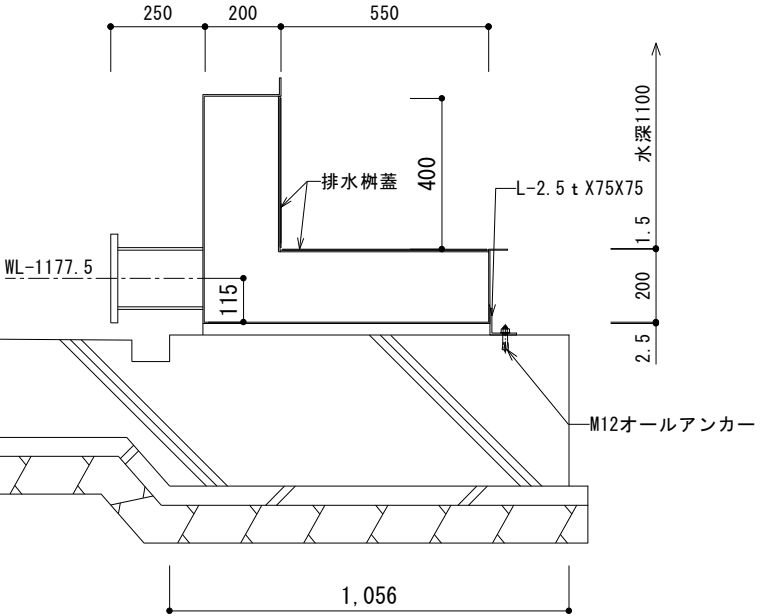
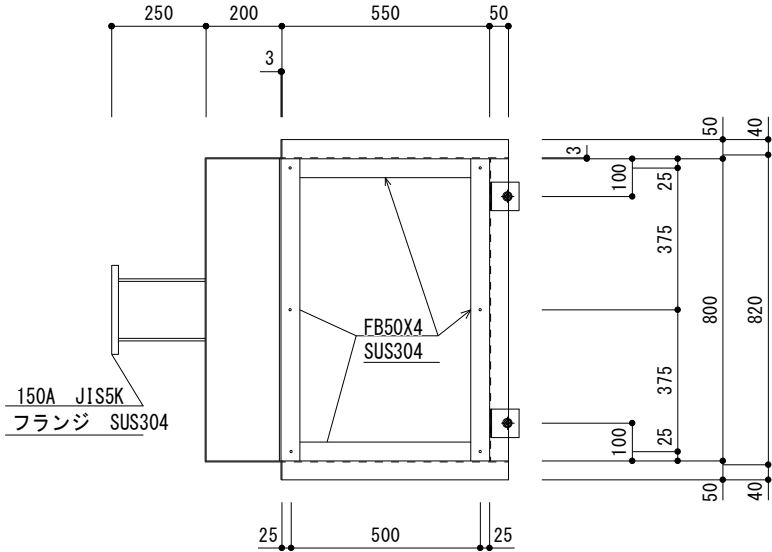
※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。
※補強材の寸法・配置については、強度計算により安全を
確認した上決定し、かつプール本体に水圧や溶接等による
歪みを生じないよう適宜設けること。

参考図

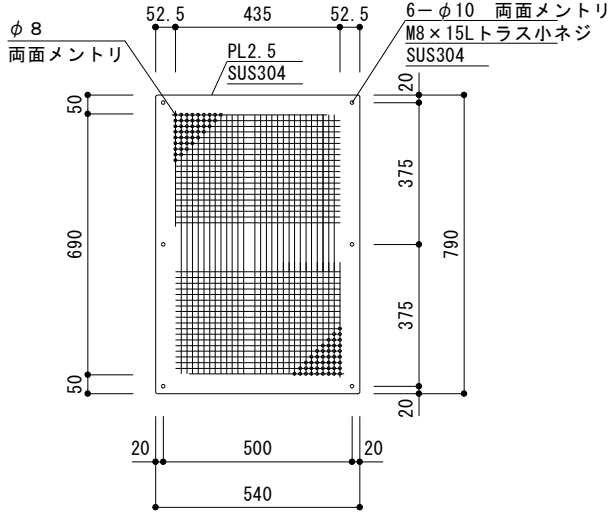
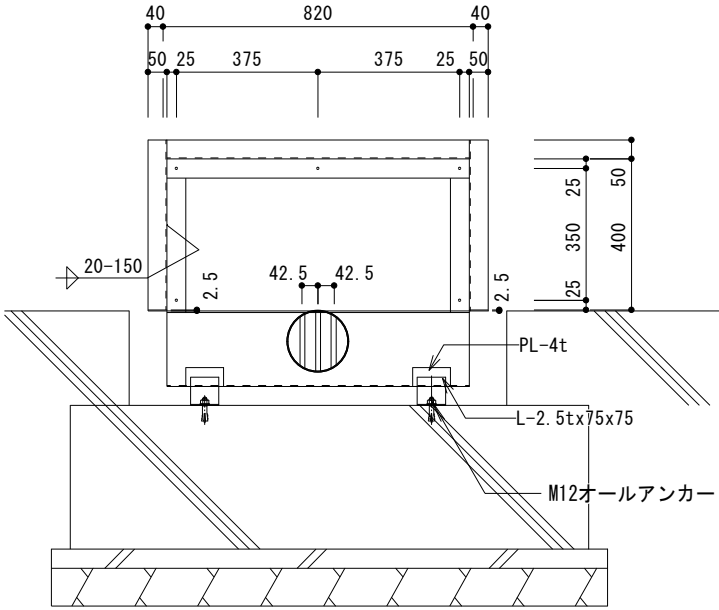
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菦田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール 断面詳細図(2)	A3:1/20	A-27
	鹿児島市建設局建築部建築課		



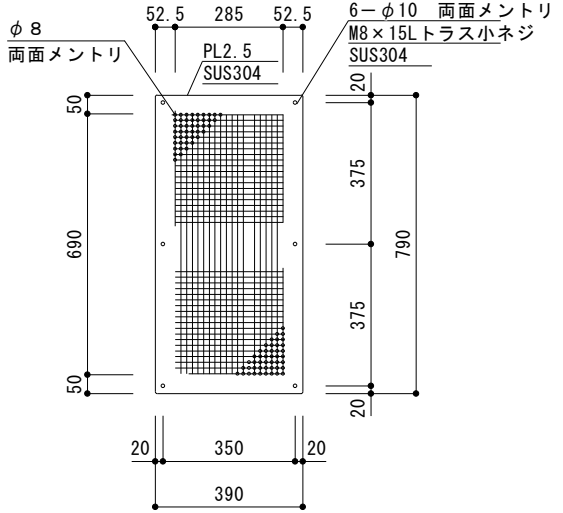
※共通事項
 底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
 シーリングを施工すること。
 ※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
 監督員の承諾の上、施工すること。



大プール排水柵詳細図 1/20



大プール排水柵 下蓋 詳細 1/20

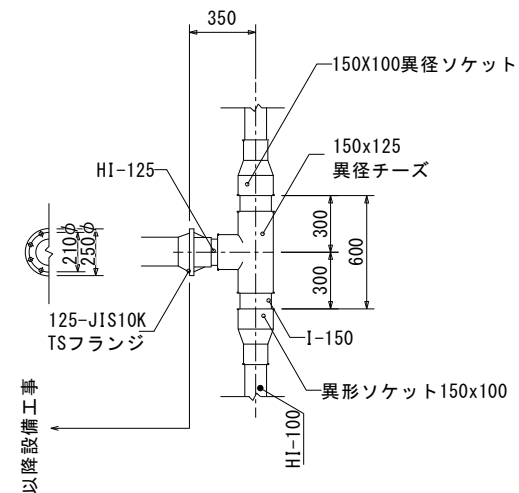
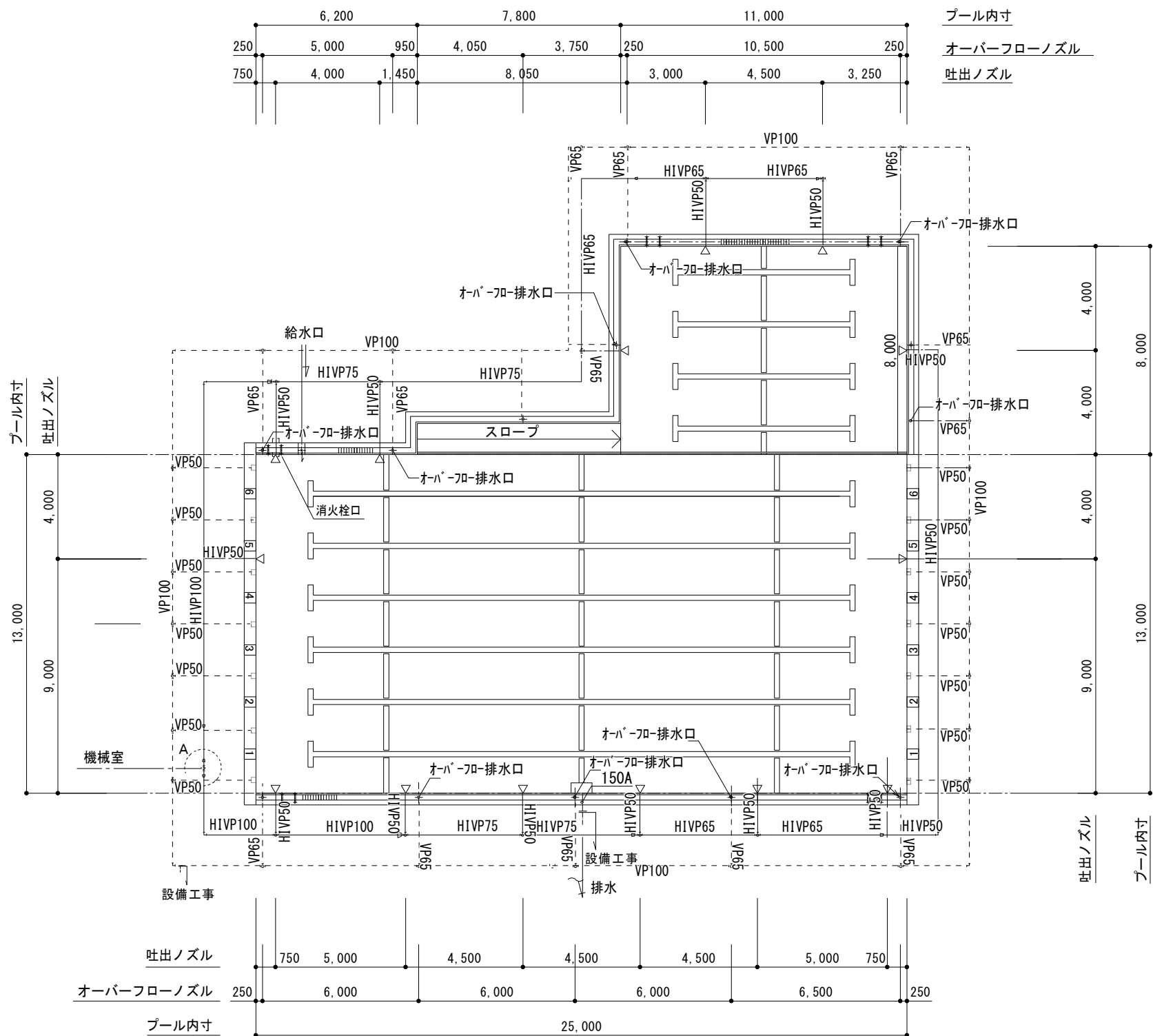


大プール排水柵 上蓋 詳細 1/20

※共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
シーリングを施工すること。
※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 蓑 田 満 康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール 部分詳細図(2)	A3:1/20	A - 29
	鹿児島市建設局建築部建築課		



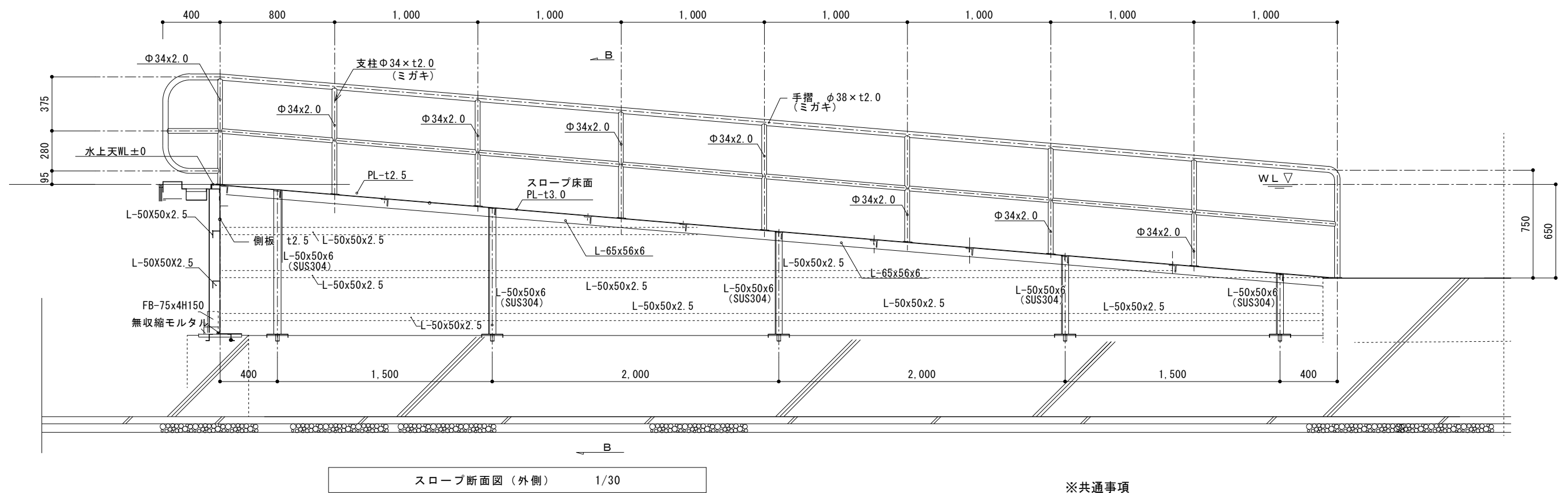
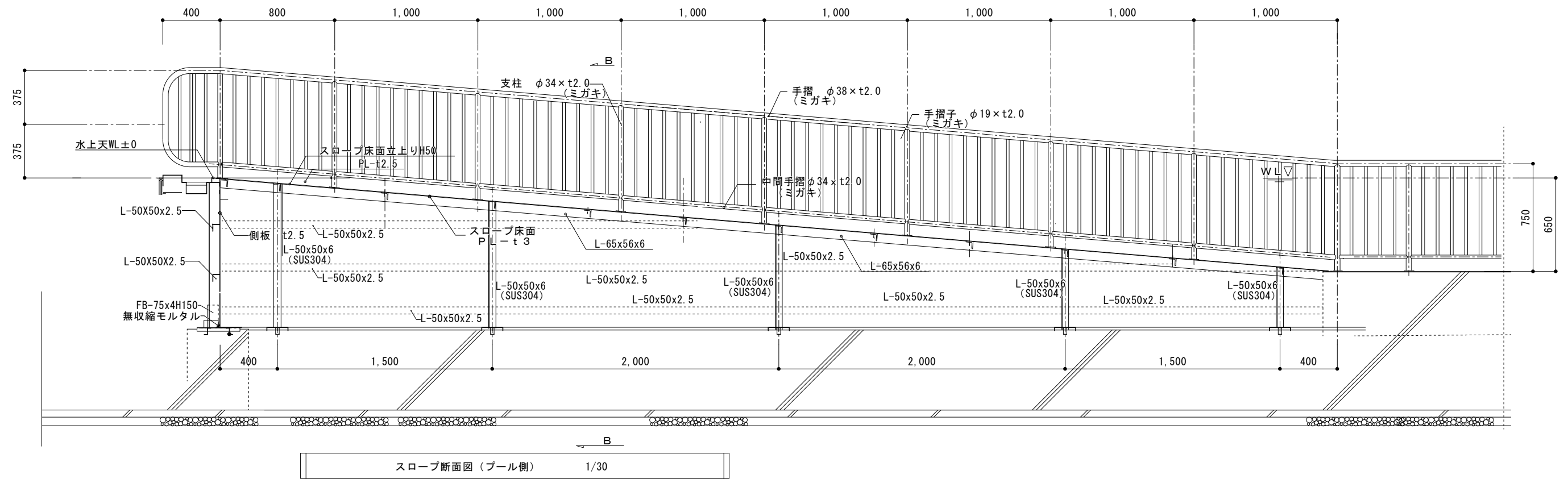
大プール
A部詳細 1/20

使用材料		
ろ過循環配管	耐衝撃性硬質塩化ビニール管	H I V P
O F 排水配管	硬質塩化ビニール管	V P

※共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
シーリングを施工すること。
※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

参考図

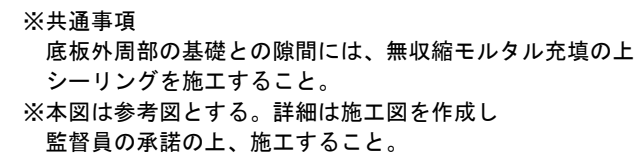
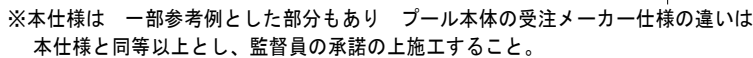
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菰 田 満 康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール 配管図	A3:1/200 1/20	A - 30
	鹿児島市建設局建築部建築課		



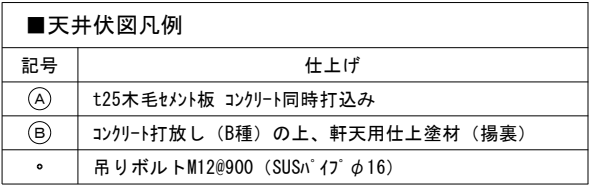
※共通事項
底板外周部の基礎との隙間には、無収縮モルタル充填の上
シーリングを施工すること。
※本図は参考図とする。詳細は施工図を作成し
監督員の承諾の上、施工すること。

参考図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菺 田 満 康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール スロープ仕切柵-A	A3:1/30	A-32
	鹿児島市建設局建築部建築課		



一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 荻田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール スロープ仕切柵-B	A3:1/30 1/20	A-33
	鹿児島市建設局建築部建築課		



凡 例	
◎ (+50)	KBMからの高さを示す

①	コンクリート打放し（B種）の上、複層塗材E		
②	コンクリート打放し（B種）		
③	堅樋：VPカラーパイプ φ100（ステンレス掴み金物@1200以内）		
④	平付サイン 80×200	▽	化粧目地：10×10（目地は、全て化粧目地（PU-2）とする。）

特記事項	・耐風圧S-5 気密A-4 水密W-4
	・建具WHは製作図を提出し、監督員の承諾後製作のこと。
	・主要な金物は見本品により監督員の承諾を得て使用すること。
	・ガラス廻りコーキングはシリコン系（SR-1）とする。
	・ドアクローザーについては特記なき限りストッパー有りとする。
	・建具のシリンダー錠は既存のマスターキーに対応させること。
	・クレセントはFL+1500以下とする。
	・レバーハンドル・引き棒はステンレス製とする。（取付位置はFL+950とする）
・ステンレス下枠は見切型（バリアフリー）とする。	
・丁番はステンレス製3枚吊りとする。	

断面図1 1/200



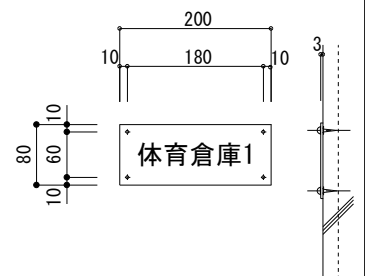
場所・見込	体育倉庫1	枠見込70
仕 上	アルミ製 二次電解着色	
硝 子	型板強化ガラス t=4	
金 物	引き棒、引戸用鎌錠（内側サムターン無し）	
備 考	ステンレス下枠 アルミガラリ（山型）	



体育倉庫2	桝見込70	体育倉庫2	桝見込70
アルミ製 二次電解着色		アルミ製 二次電解着色	
型板強化ガラス t=4		型板強化ガラス t=4	
レバーハンドル錠(内側サムターン無し) ドアチェック、丁番		クレセント、戸車	
アルミ製額縁、ステンレス下桝 アルミガラリ(山型)		アルミ製額縁、アルミ水切り	

数量：2ヶ所
 アクリル板 t=3
 室名：カッティングシート貼

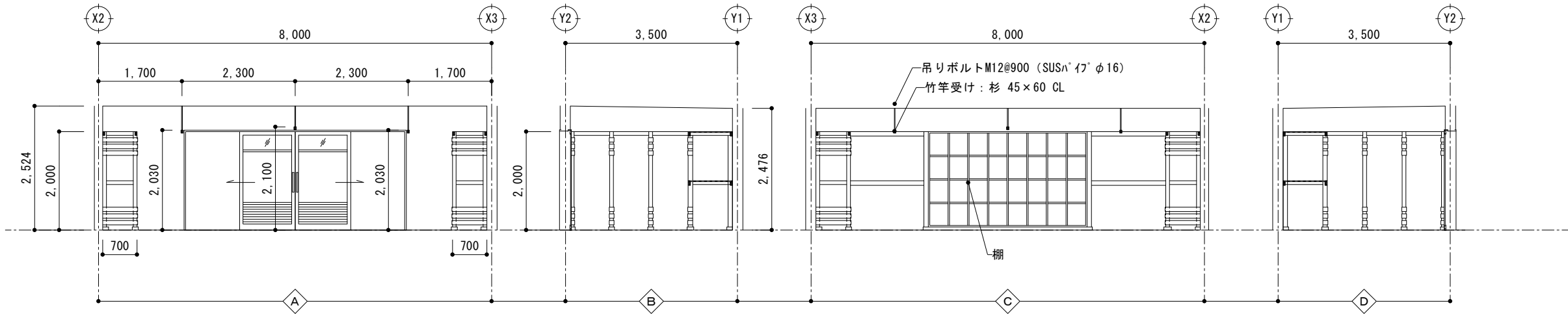
室 名	個数
体育倉庫1	1
体育倉庫2	1



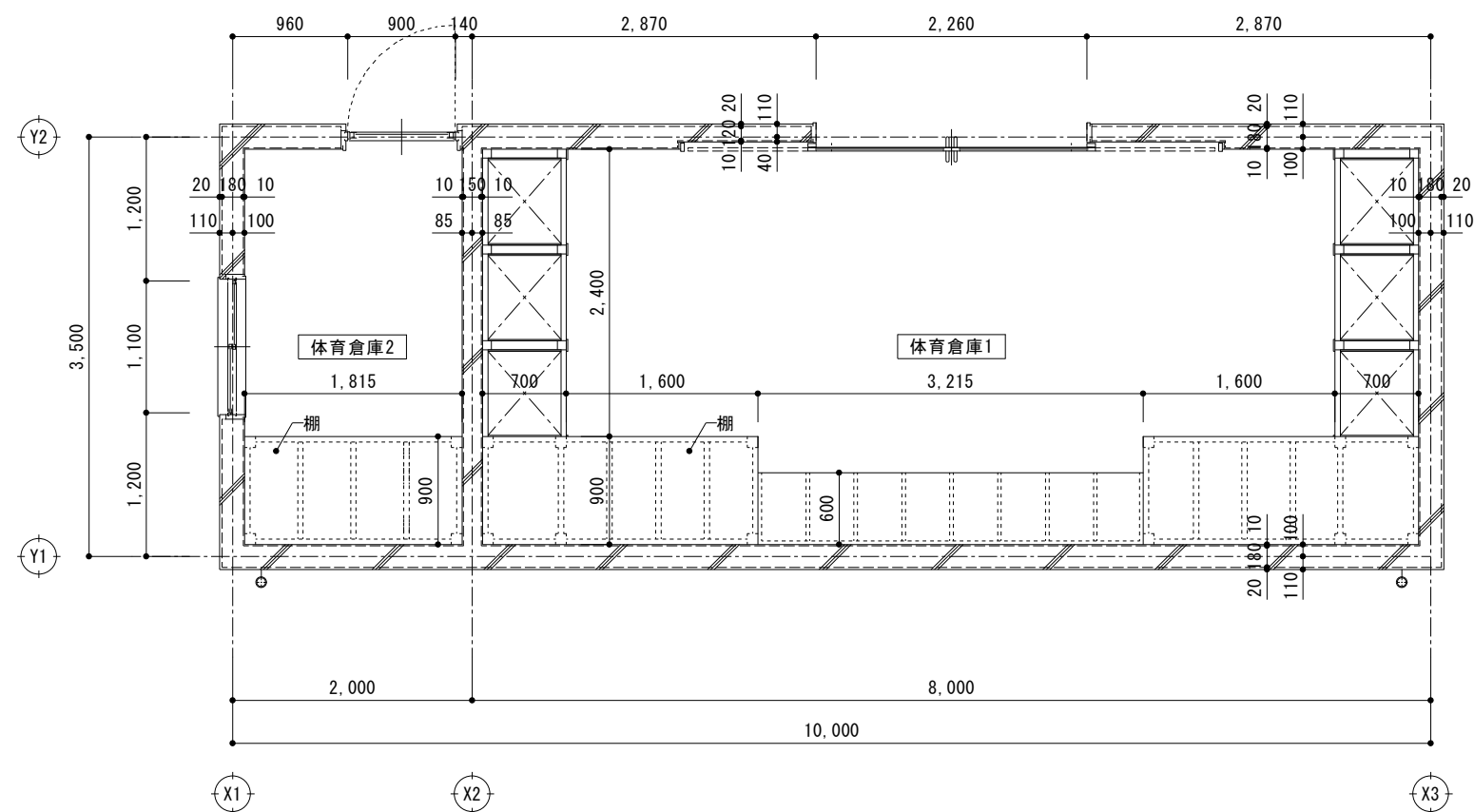
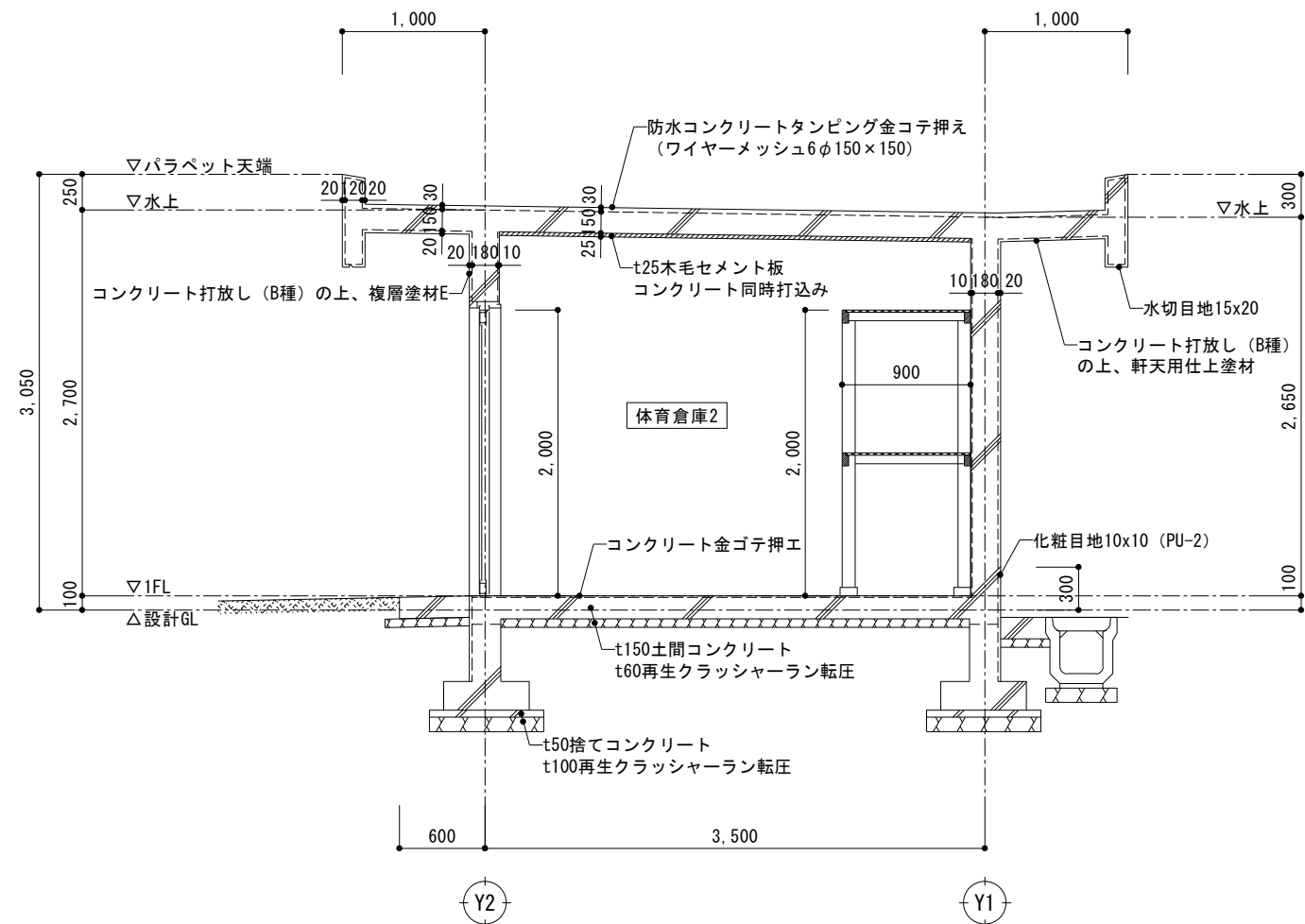
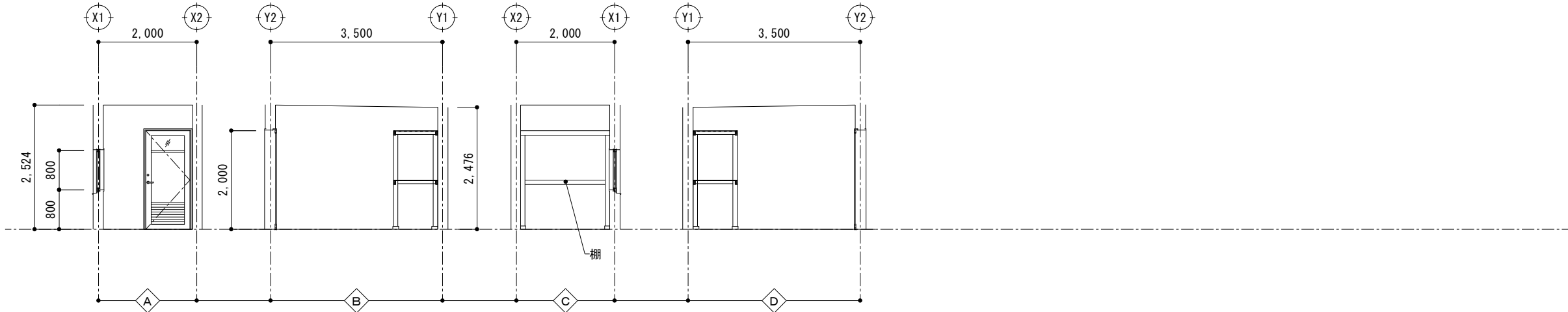
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
株 式 会 社 み の だ 設 計
一級建築士 第 148365 号
蓼田 満康

体育倉庫 平面図・立面図 断面図・天井伏図・建具表	A3:1/200	A-34
鹿児島市建設局建築部建築課		

■室内仕上表	
体育倉庫1	
床	コンクリート金ゴテ押エ
巾木	—
腰壁	—
壁	コンクリート打放し(B種)
天井	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み
備考	室名札、棚



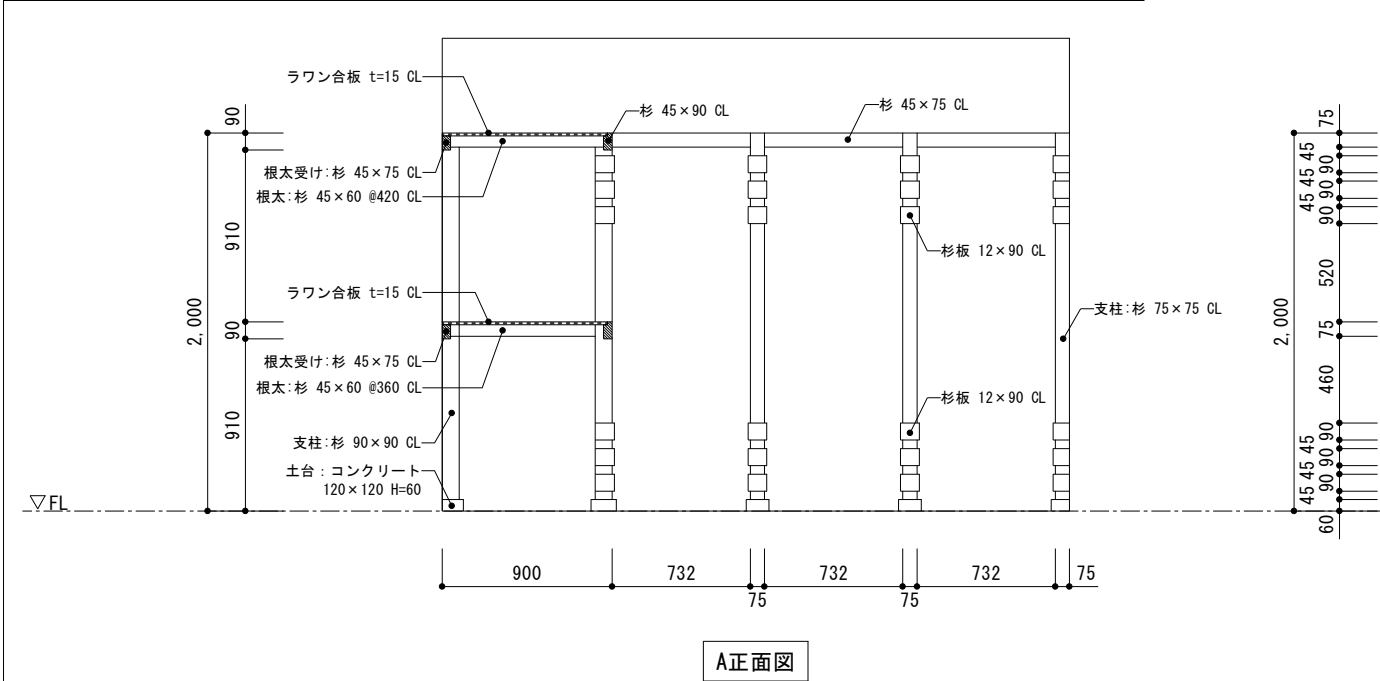
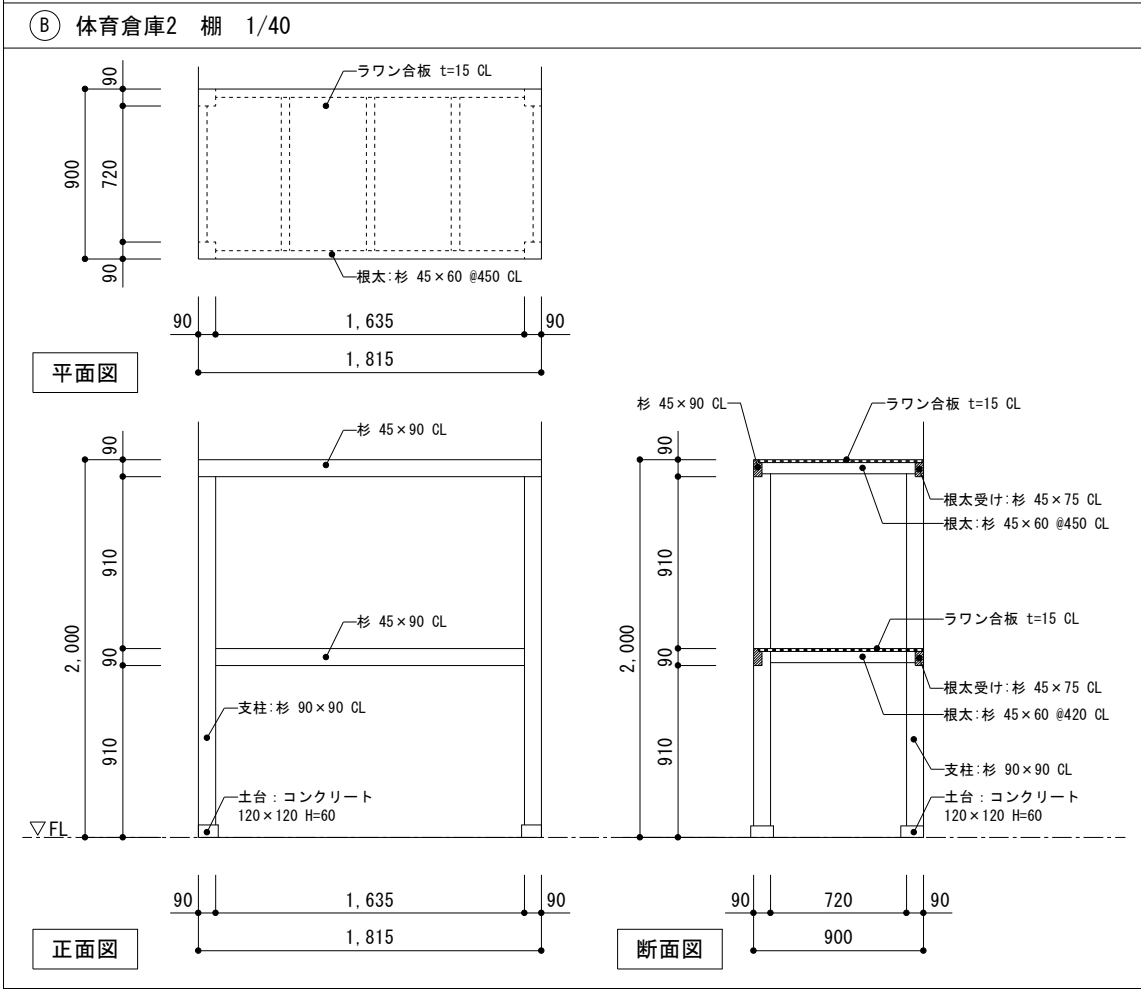
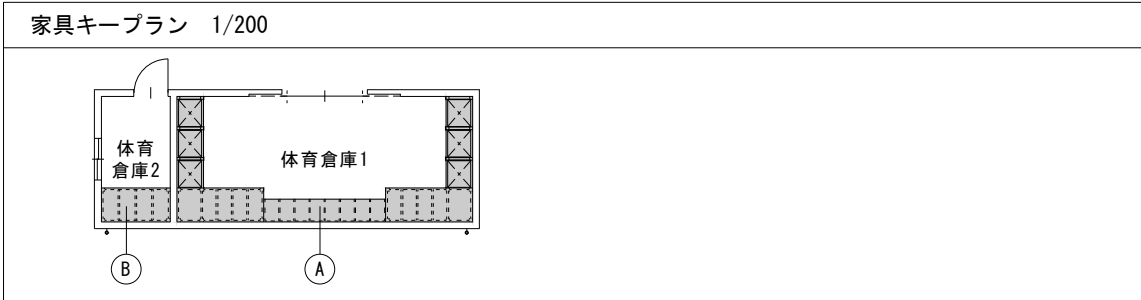
■室内仕上表	
体育倉庫2	
床	コンクリート金ゴテ押エ
巾木	—
腰壁	—
壁	コンクリート打放し(B種)
天井	t25木毛セメント板、コンクリート同時打込み
備考	室名札、棚



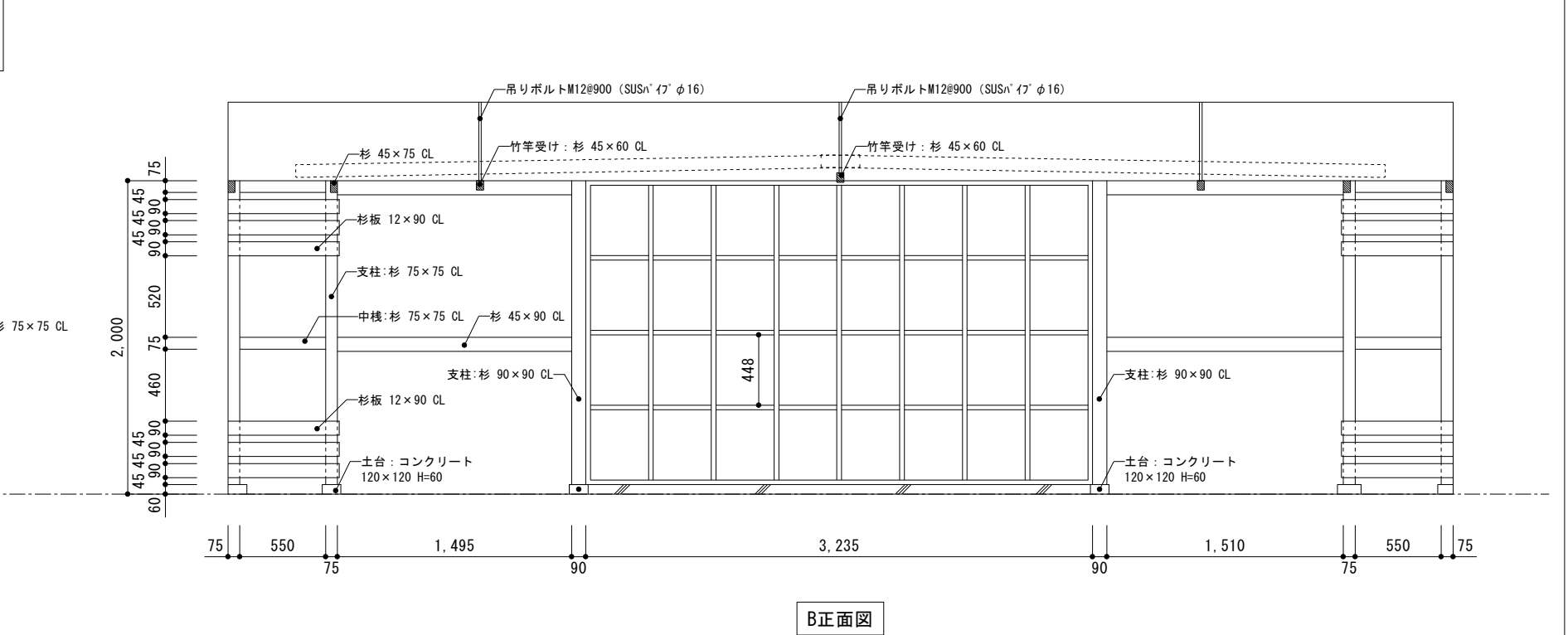
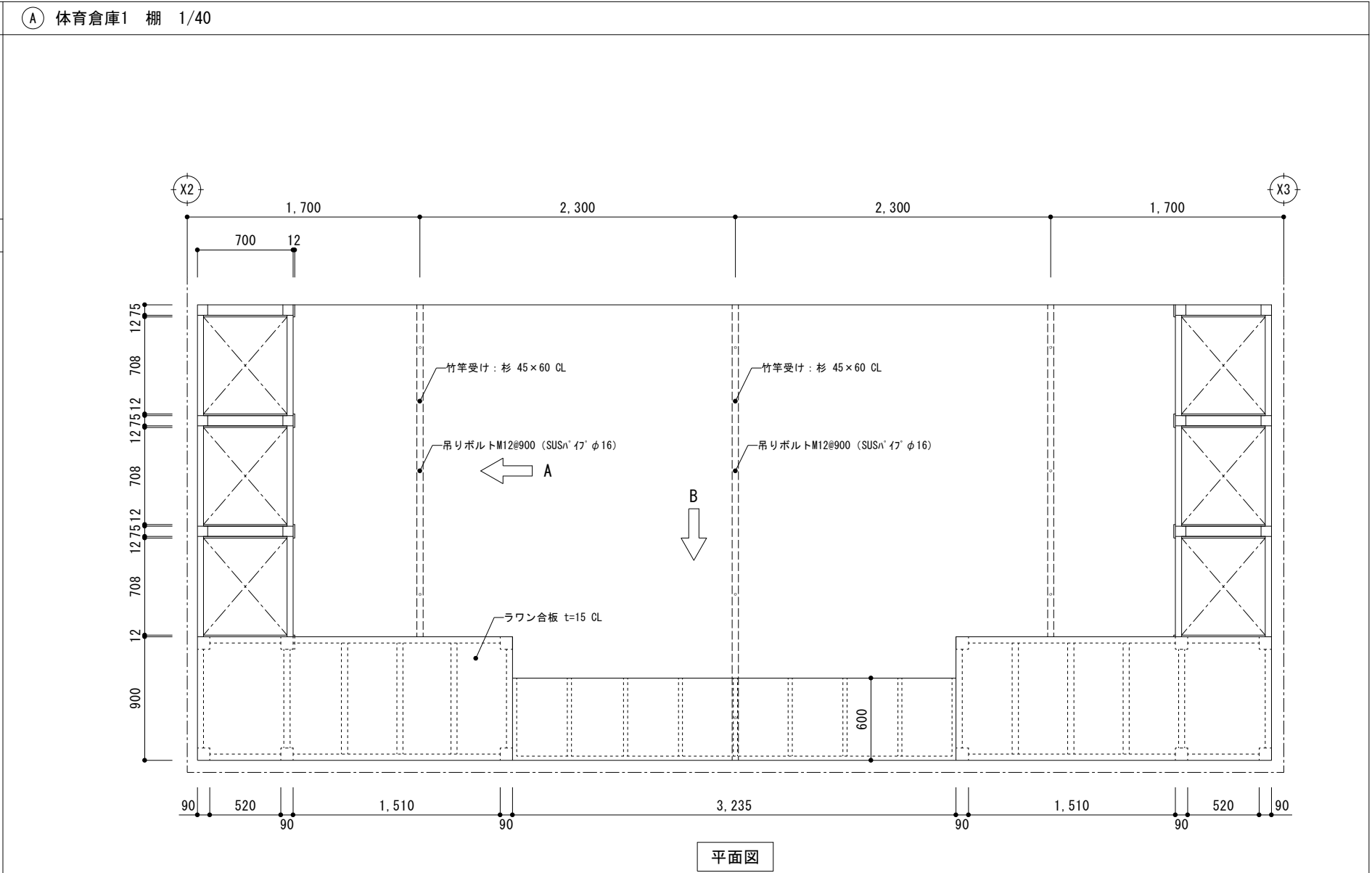
1階平面詳細図 1/60

+350 設計GLからの高さを示す

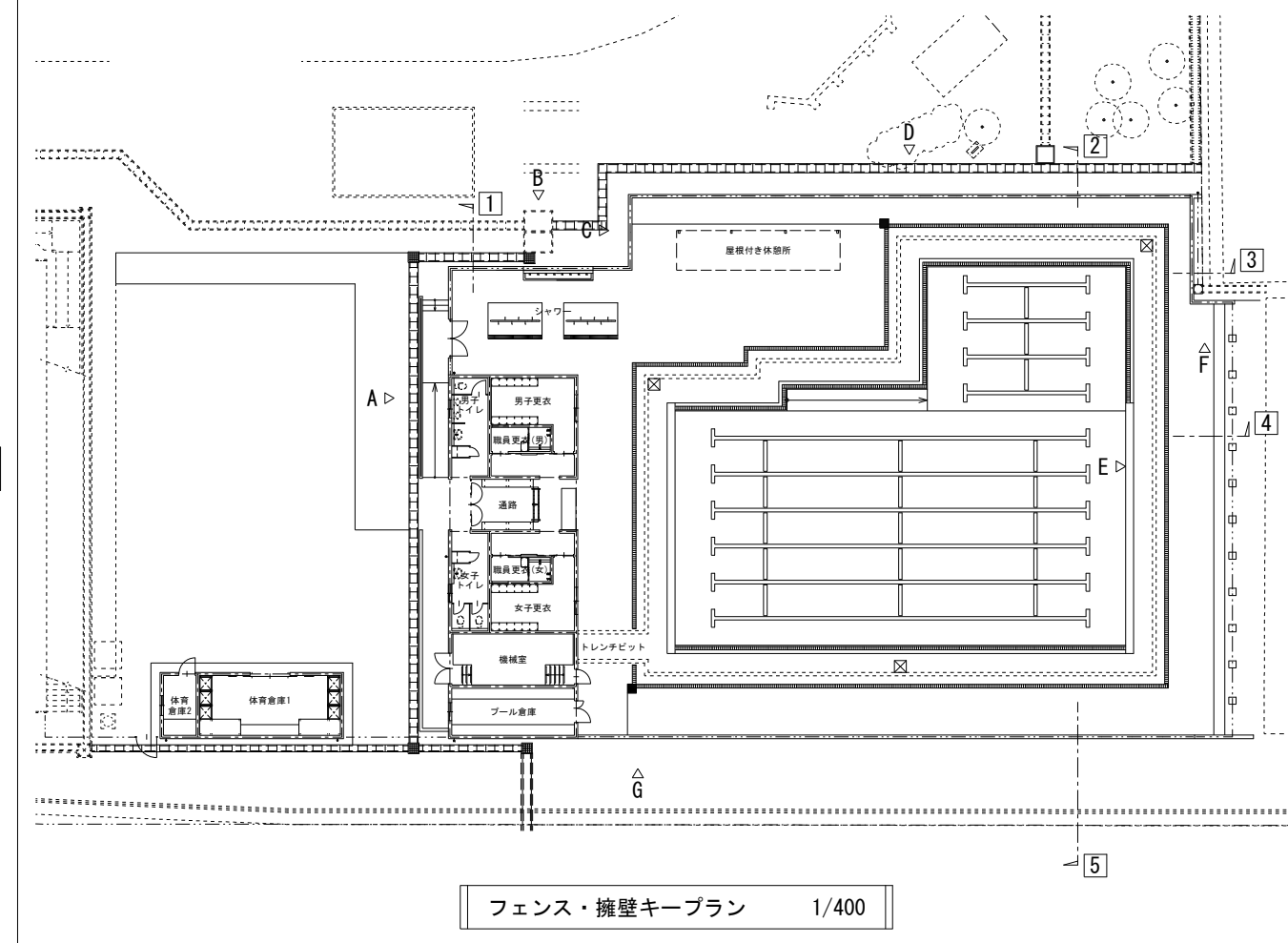
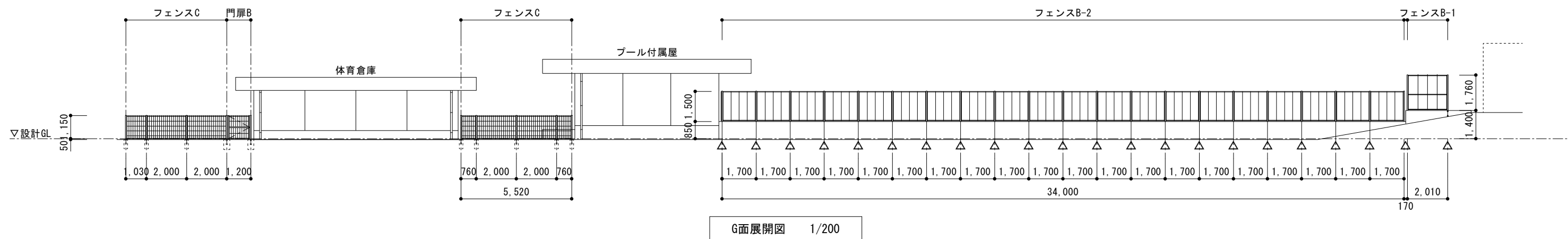
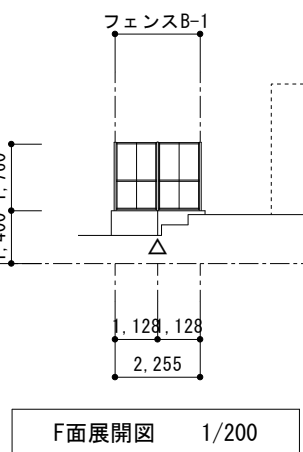
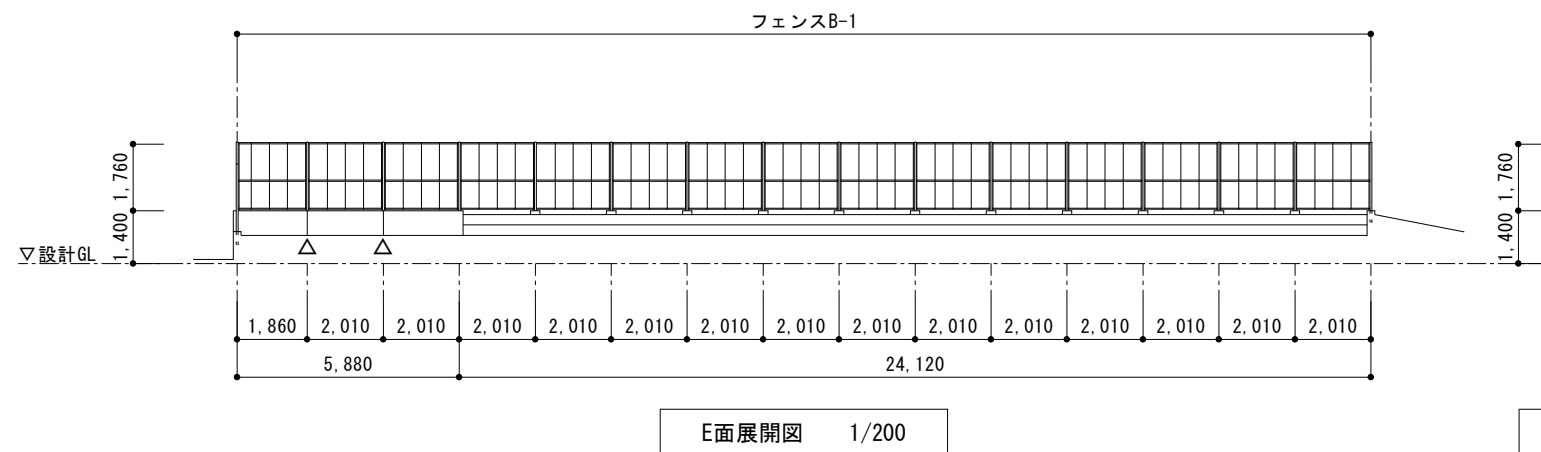
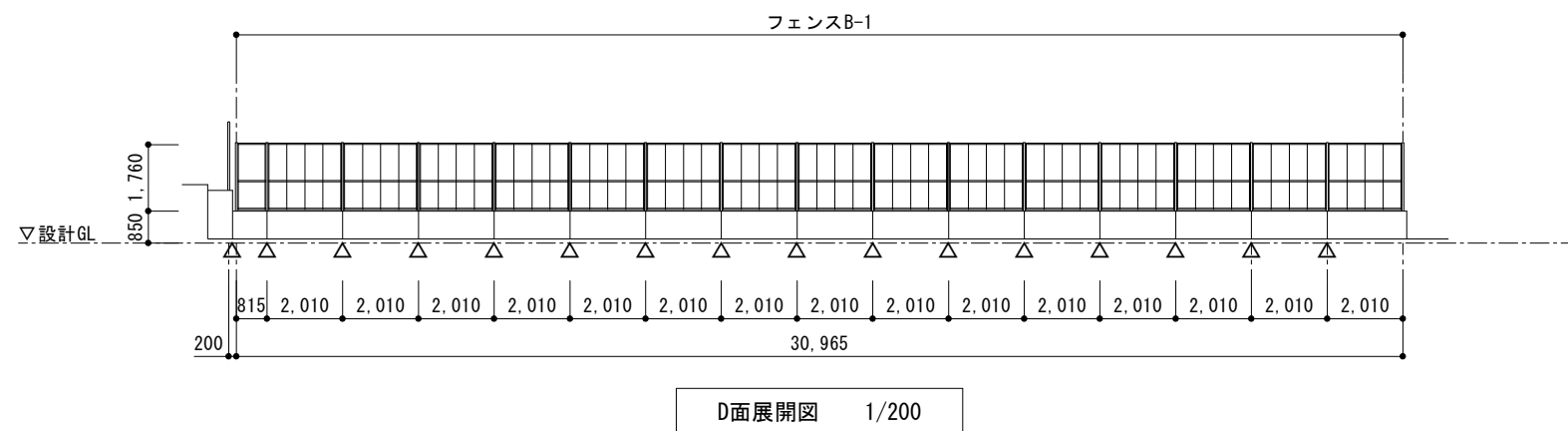
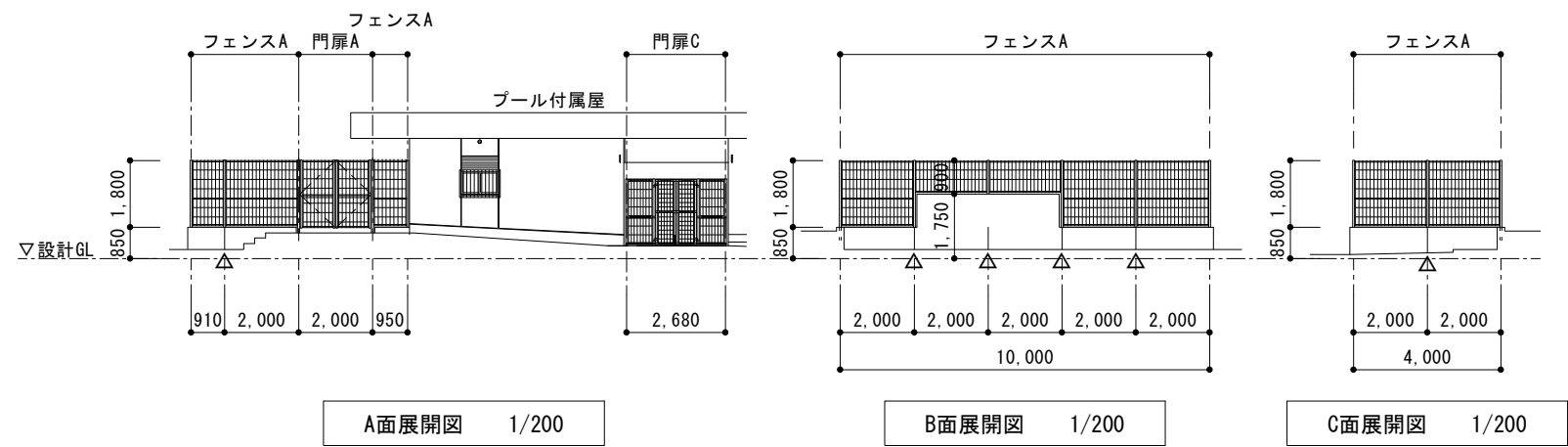
矩計図 1/50



特記事項	
・材料は全てF☆☆☆☆材料を使用する。	
・棚は全て固定する。	
・製作する際は施工図を提出し、金物は見本提出のち決定する。	
・コンクリートに接する1m以下の部分及び底板部分は、防腐防蟻剤塗りとする。	



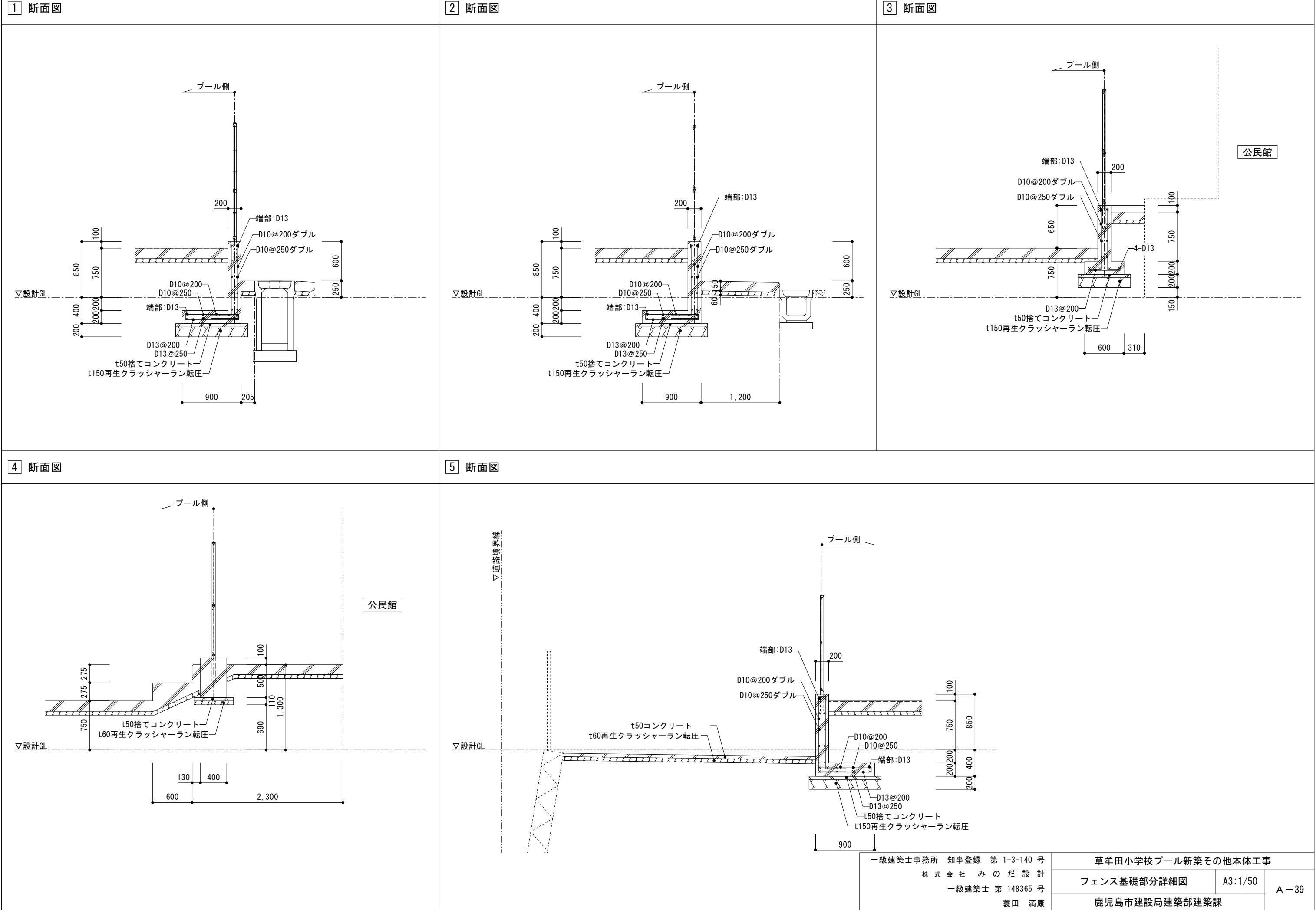
	一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	株 式 会 社 み の だ 設 計	体育倉庫	A3:1/40	A－36
	一級建築士 第 148365 号	棚詳細図		
	菫田 満康	鹿児島市建設局建築部建築課		



▽：誘発目地（PS-2(20×10)）

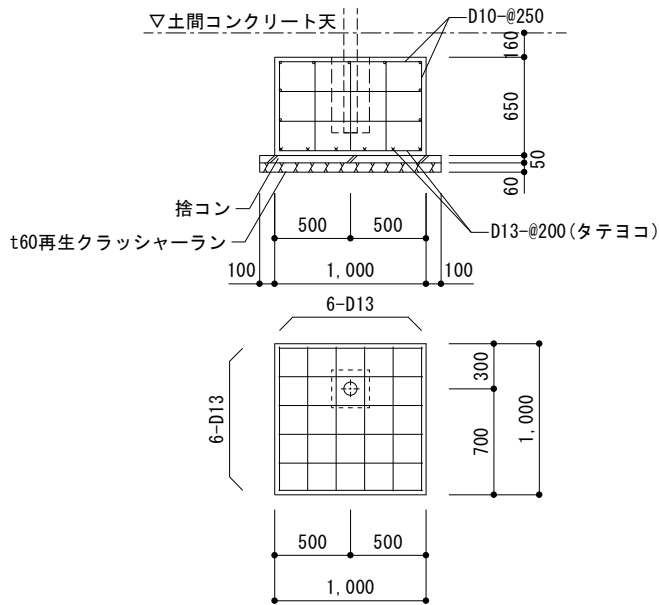
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 荻 田 満 康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	フェンス展開図	A3:1/200	A-37
	鹿児島市建設局建築部建築課		

フェンスA：メッシュフェンス H=1,800（メッシュ50mm）		フェンスB-1：目隠しフェンス H=1,800 フェンスB-2：目隠しフェンス H=1,500		フェンスC：メッシュフェンス H=1,200（メッシュ50mm）	
参考図 1. 外装 ・主柱、ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・バンド …亜鉛・アルミ合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・U型金具 …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、防錆着色処理 ・ボルト、ナット …溶融亜鉛めっきの上、防錆着色処理		参考図 1. 外装 ・主柱、ジョイント 目隠しパネル …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・ボルト、ナット …溶融亜鉛めっきの上、防錆着色処理		参考図 1. 外装 ・主柱、ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・バンド …亜鉛・アルミ合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・U型金具 …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、防錆着色処理 ・ボルト、ナット …溶融亜鉛めっきの上、防錆着色処理	
門扉A：両開き門扉W2,000×H1,800（メッシュ50mm）		門扉B：片開き門扉W1,200×H1,200（メッシュ50mm）		門扉C：両開き門扉W1,200×H1,800（メッシュ50mm）	
参考図 1. 外装 ・門、柱、枠体 ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・バンド …亜鉛・アルミ合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・U型金具 …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、防錆着色処理 ・ボルト、ナット …溶融亜鉛めっきの上、防錆着色処理 ・施錠装置、落し …溶融亜鉛めっきのみ 2. 180° 開きとする。 3. 扉には南京錠を設けること。		参考図 1. 外装 ・門、柱、枠体 ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・バンド …亜鉛・アルミ合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・U型金具 …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、防錆着色処理 ・ボルト、ナット …溶融亜鉛めっきの上、防錆着色処理 ・施錠装置 …溶融亜鉛めっきのみ 2. 180° 開きとする。 3. 扉には南京錠を設けること。		参考図 1. 外装 ・門、柱、枠体 ジョイント 押え金具 ワイヤメッシュ …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・バンド …亜鉛・アルミ合金めっきの上、高耐候性樹脂粉体塗装 ・U型金具 …亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上、防錆着色処理 ・ボルト、ナット …溶融亜鉛めっきの上、防錆着色処理 ・施錠装置、落し …溶融亜鉛めっきのみ 2. 180° 開きとする。 3. 扉には南京錠を設けること。	
設計条件 設計荷重・・・建築基準法・同施行令（平成12年6月）に基づく風圧力に依る。 基準風速・・・38m/sec 地表面粗度区分・・・Ⅲ				一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 菟田 満康	
				草牟田小学校プール新築その他本体工事	
				フェンス部分詳細図	A3:1/50
				鹿児島市建設局建築部建築課	A-38

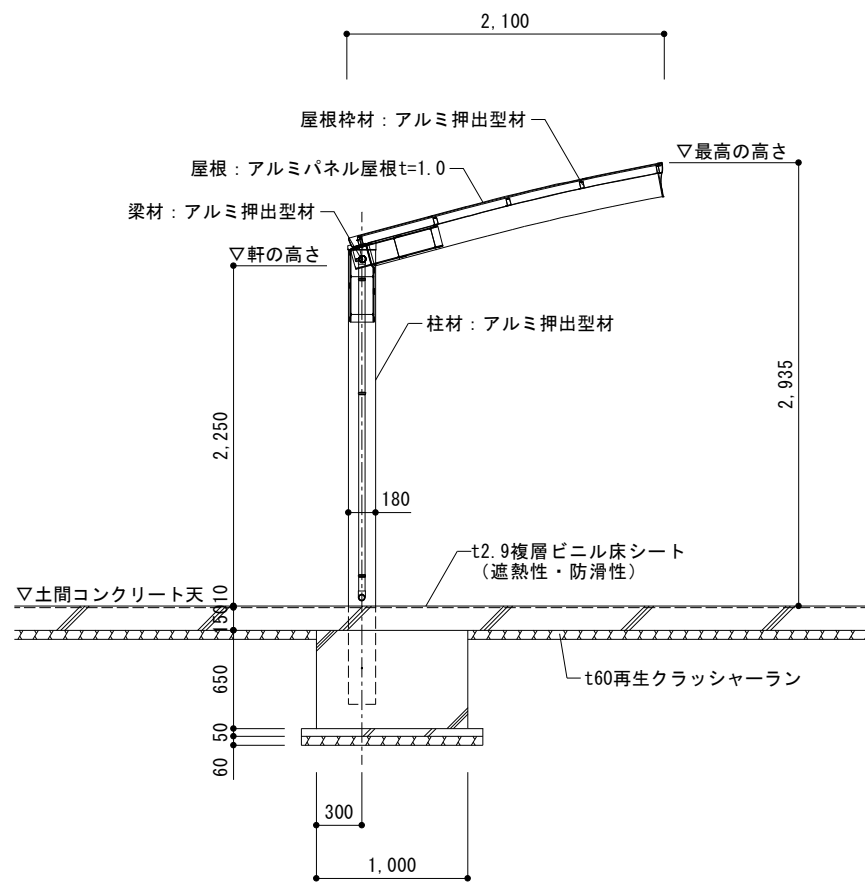


4 断面図

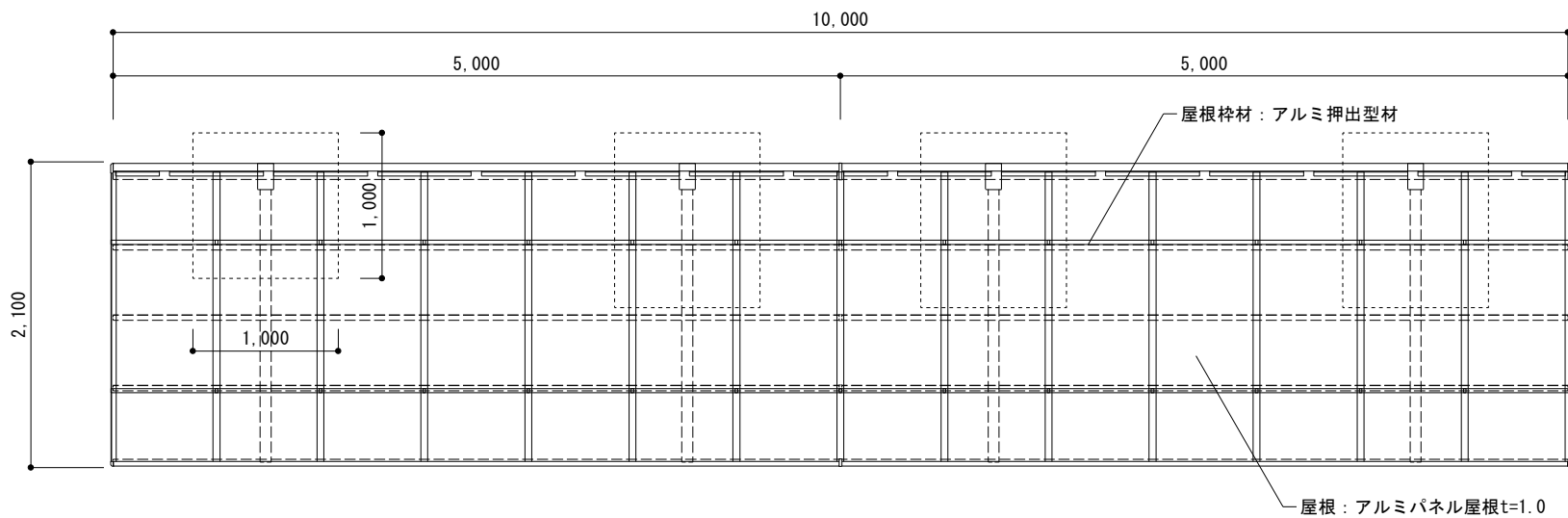
5 断面図



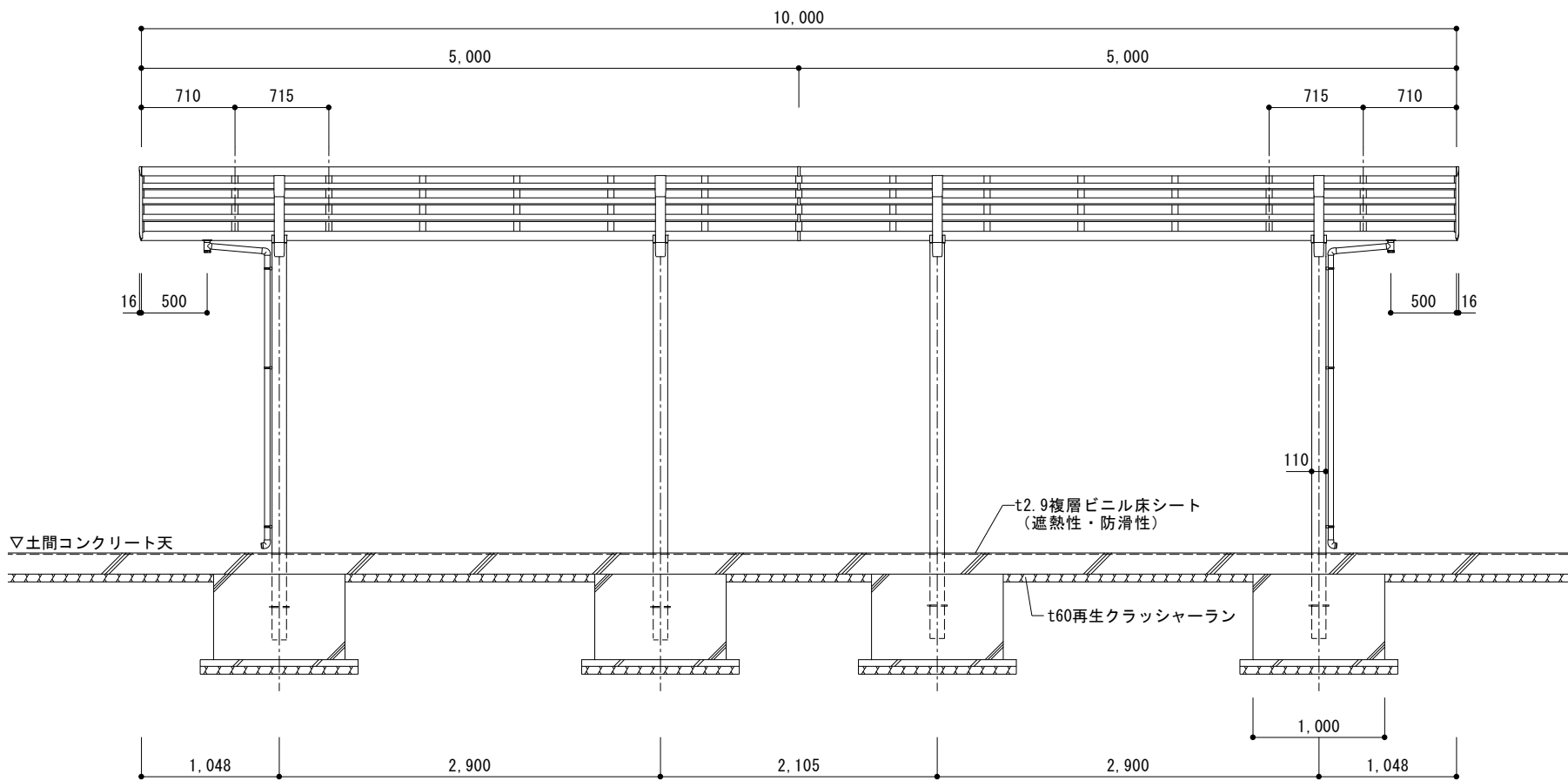
基礎図 1/50



側面図 1/50



屋根伏図 1/50



立面図 1/50

参考図

設計条件

- ・国土交通省告示第410号に適合しているアルミ製カーポート（既製品）とする。
- ・基準風速： $V_o=38\text{m/s}$ 仕様以上とする。
- ・休憩所寸法、各部材寸法及び納まりについてはメーカー仕様による。
- ・屋根：アルミニウム板 $t=1.0$ （国土交通大臣認定番号：NM-8597）

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
株式会社 みのだ設計
一級建築士 第 148365 号
菱田 満康

草牟田小学校プール新築その他本体工事

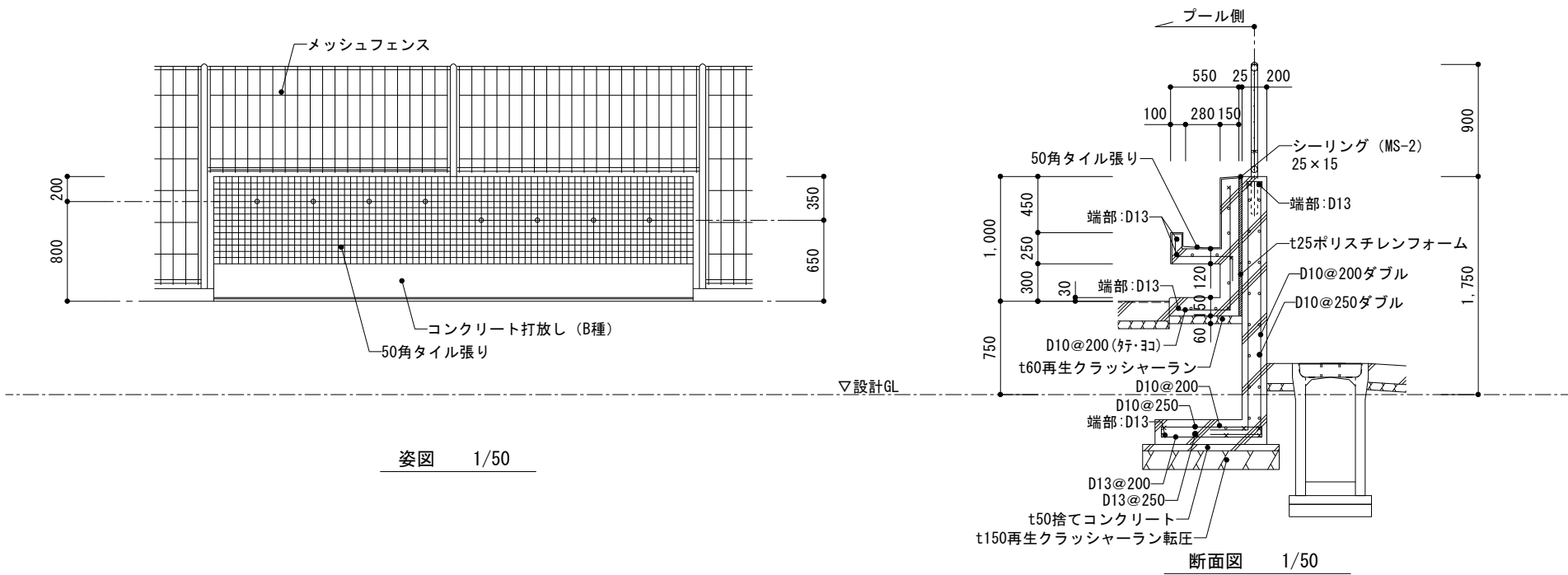
屋根付き休憩所・部分詳細図

A3:1/50

鹿児島市建設局建築部建築課

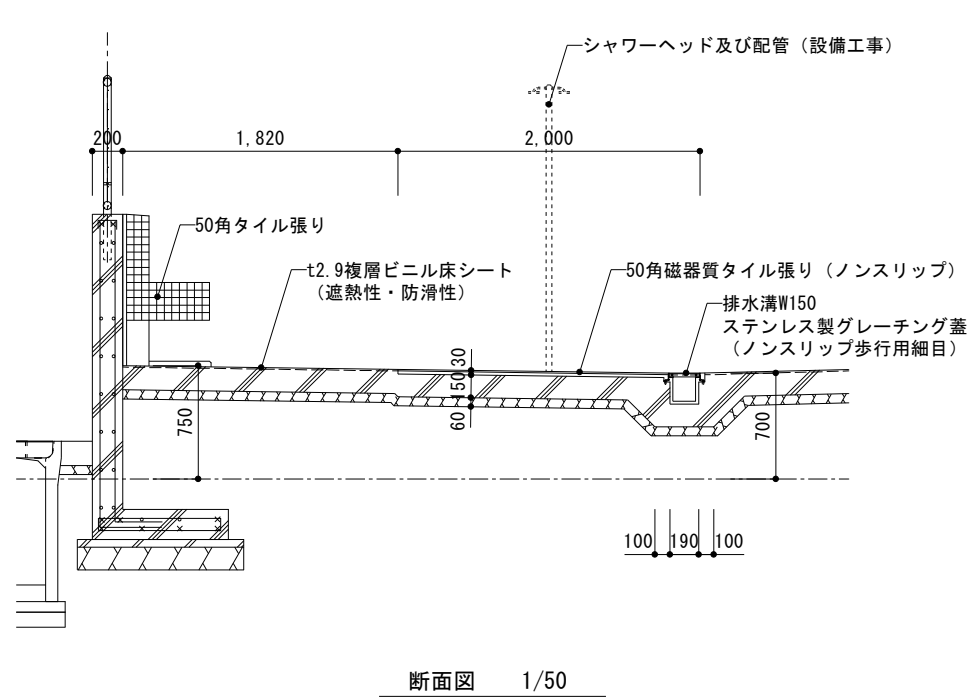
A-40

洗眼場部分詳細図 1/50

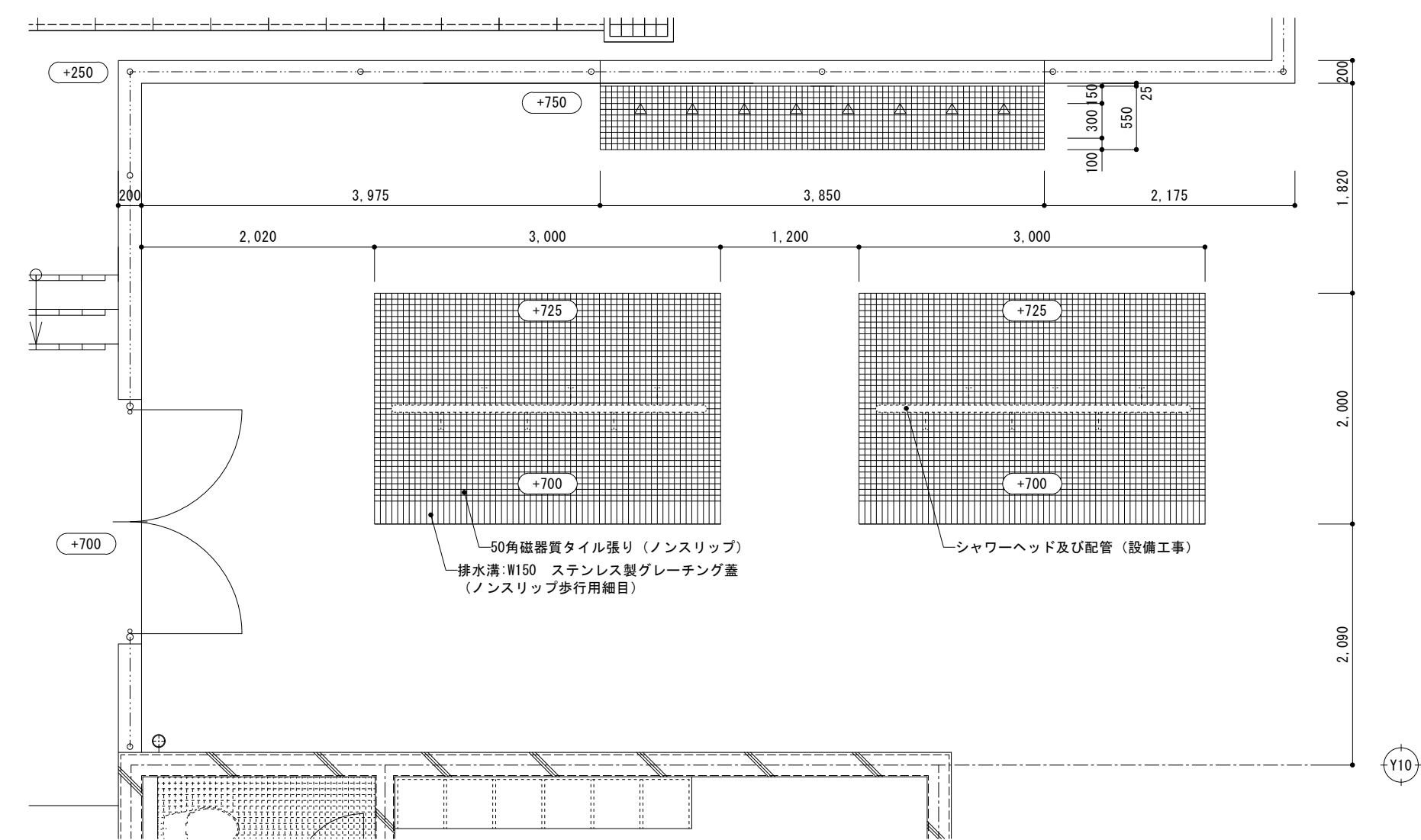


姿図 1/50

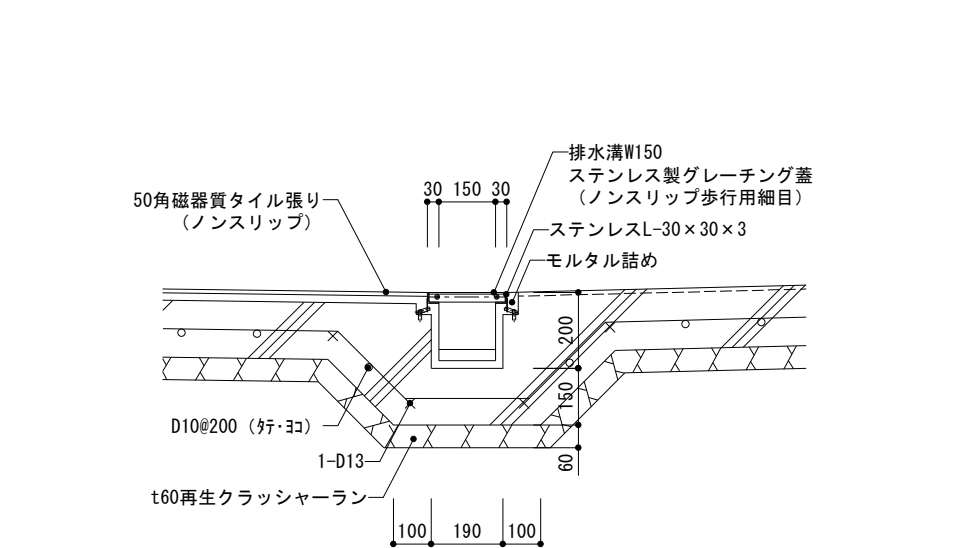
シャワースペース部分詳細図 1/50



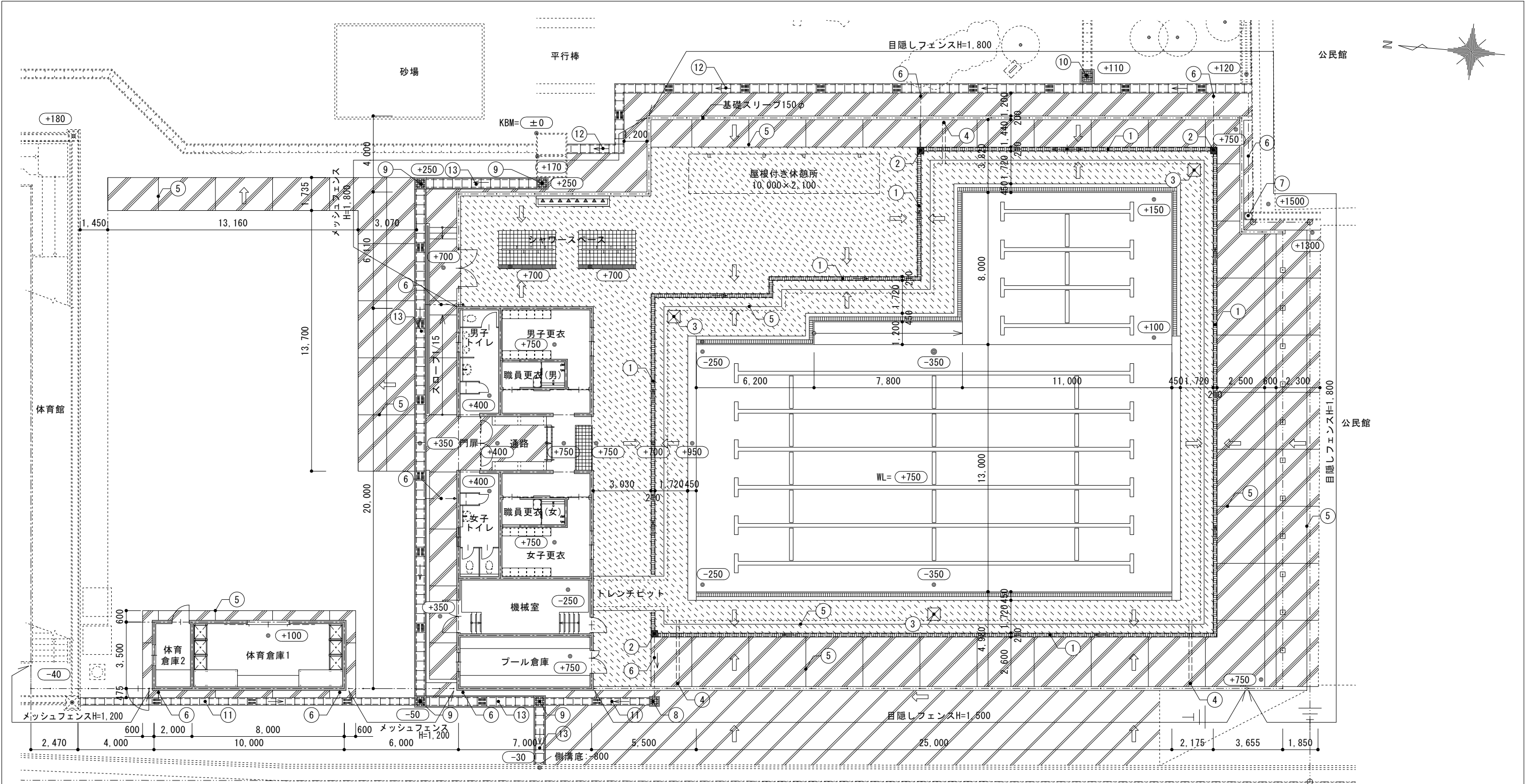
シャワースペース・洗眼場部分平面詳細図 1/50



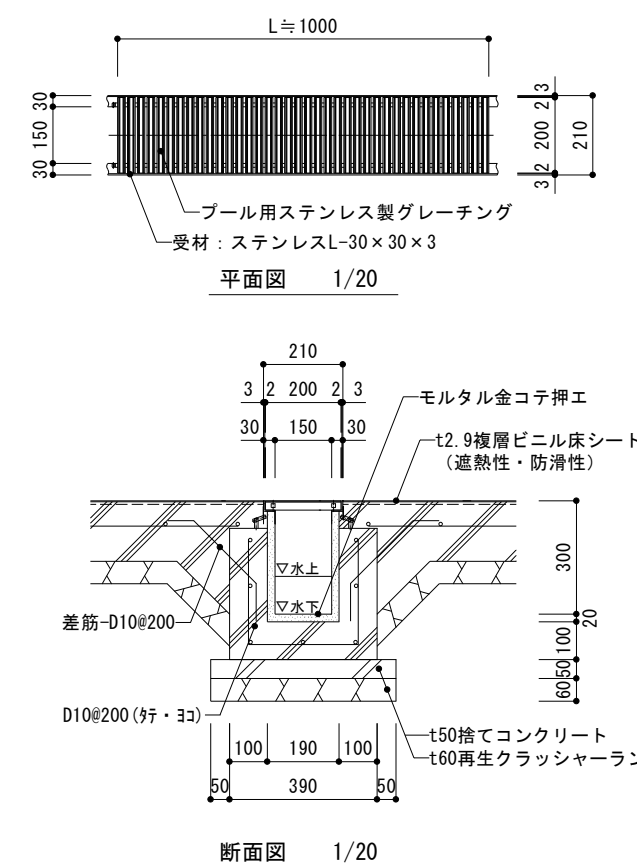
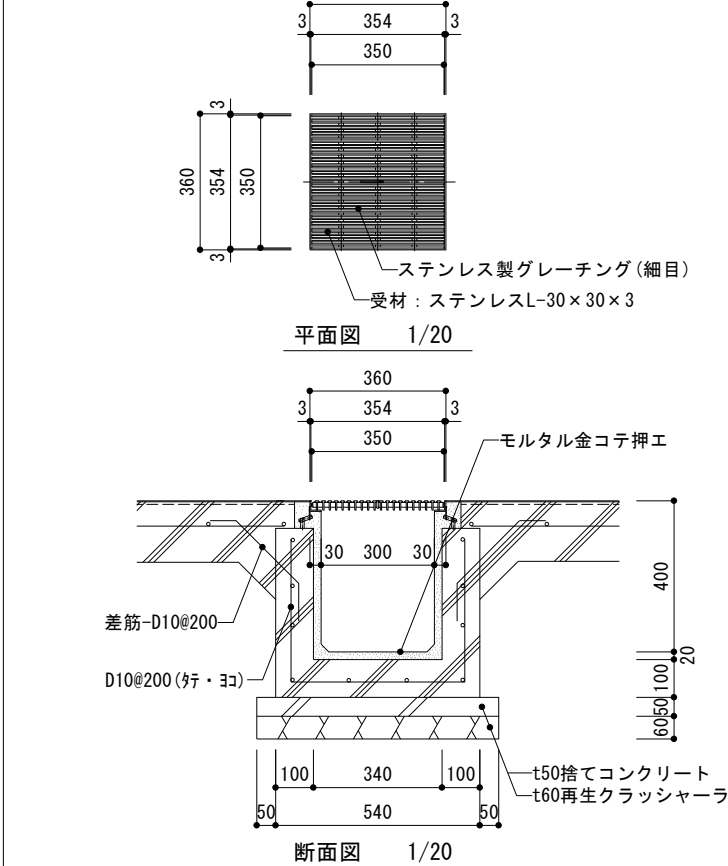
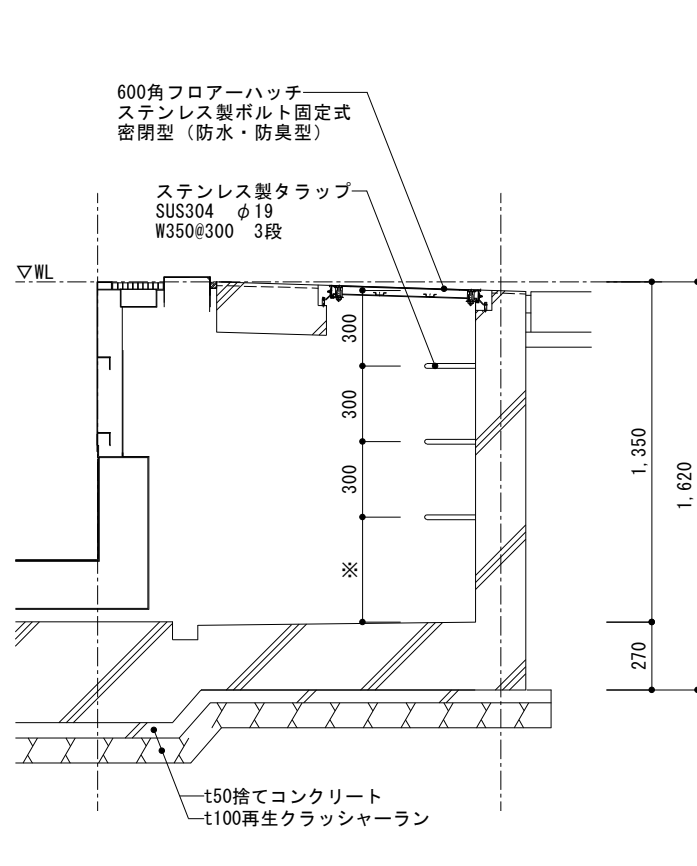
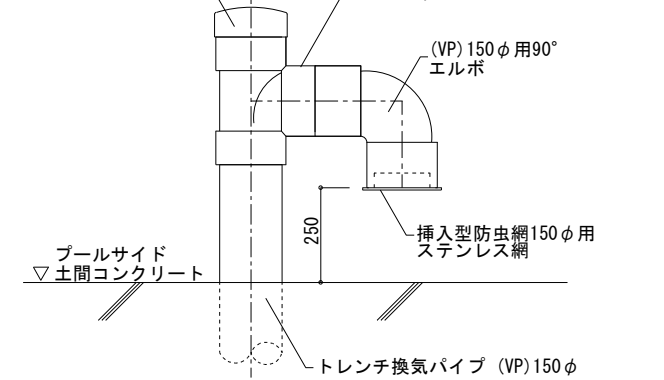
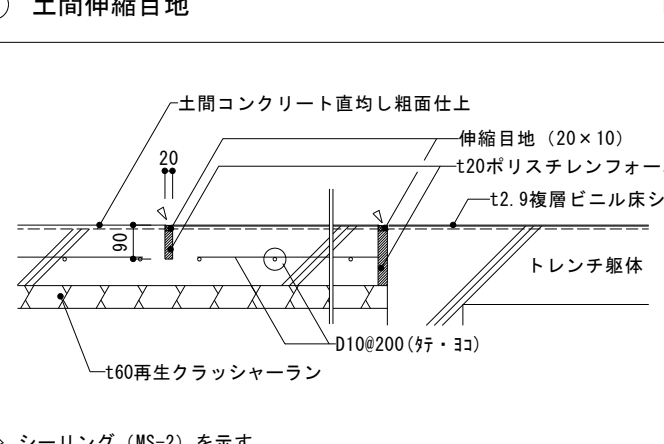
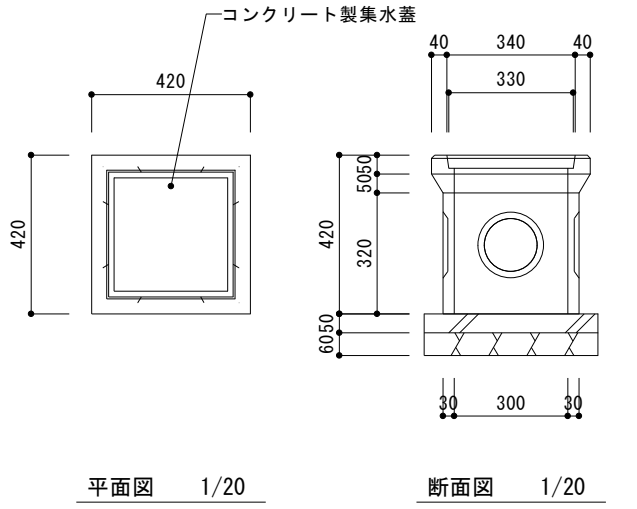
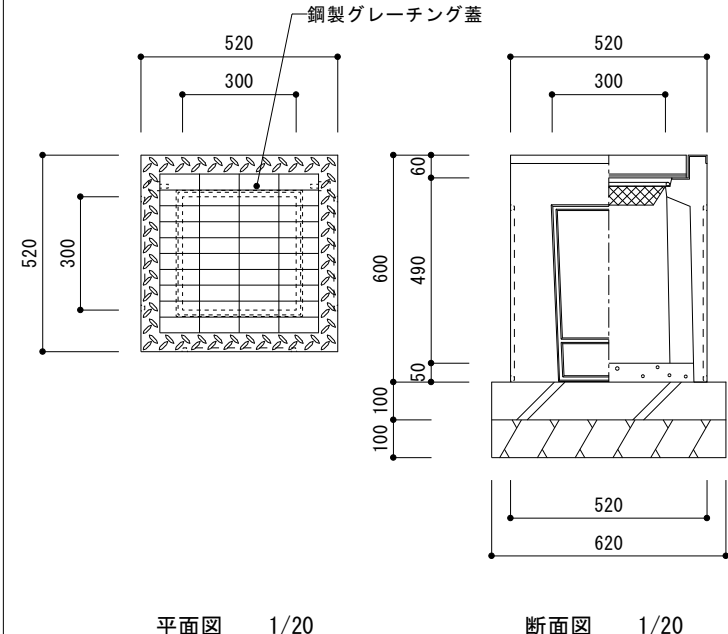
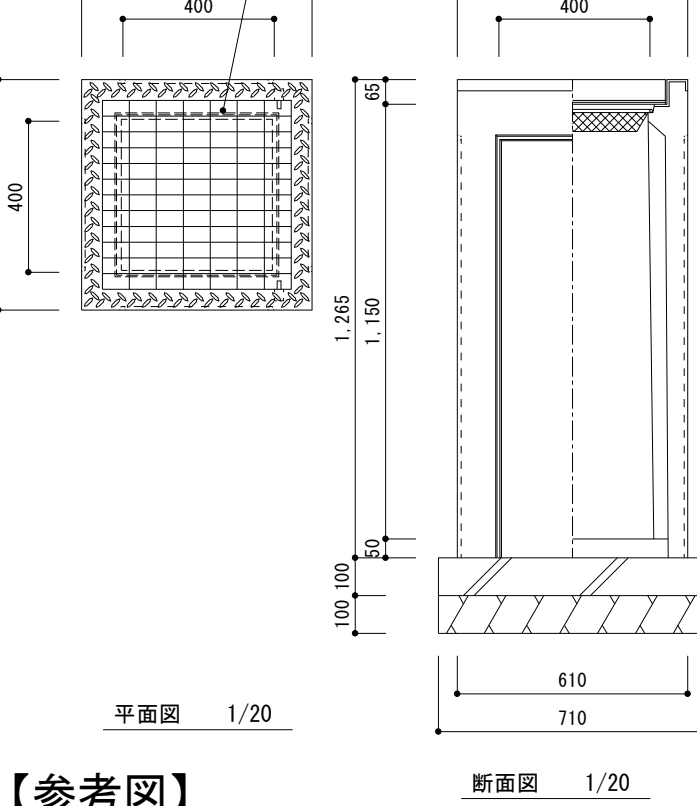
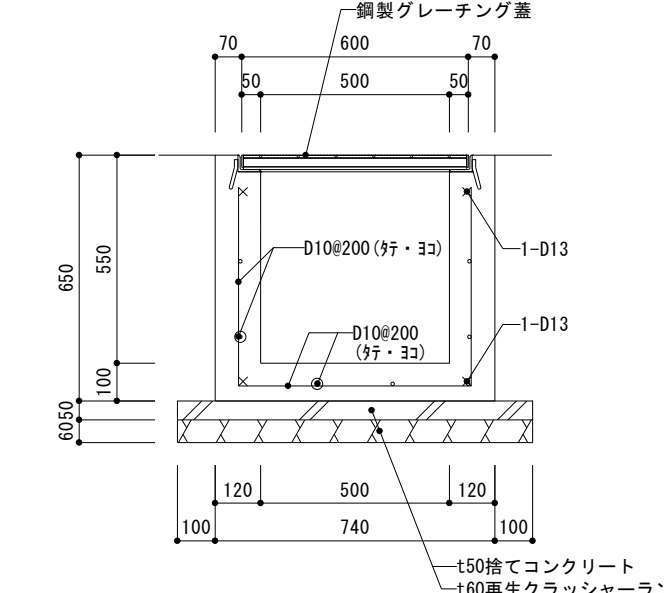
シャワースペース排水溝部分詳細図 1/20

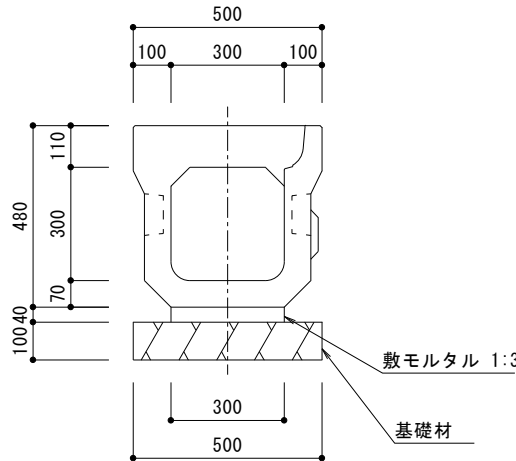
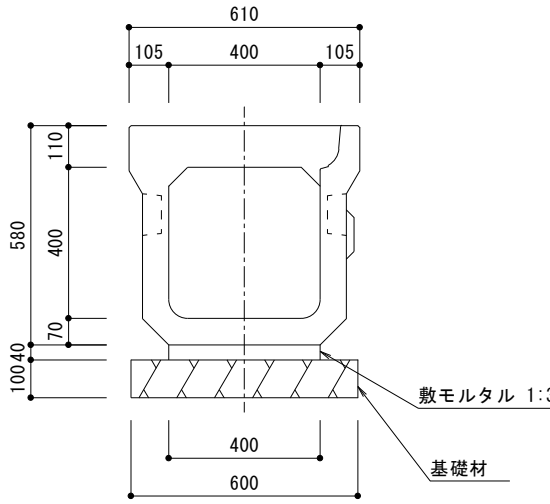
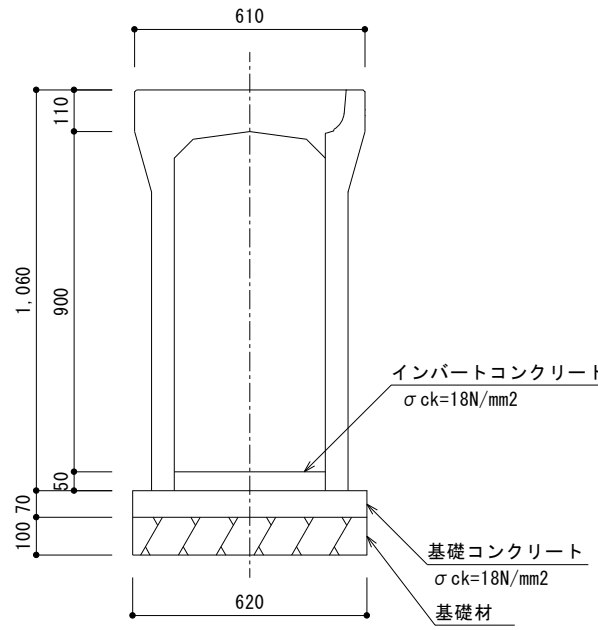
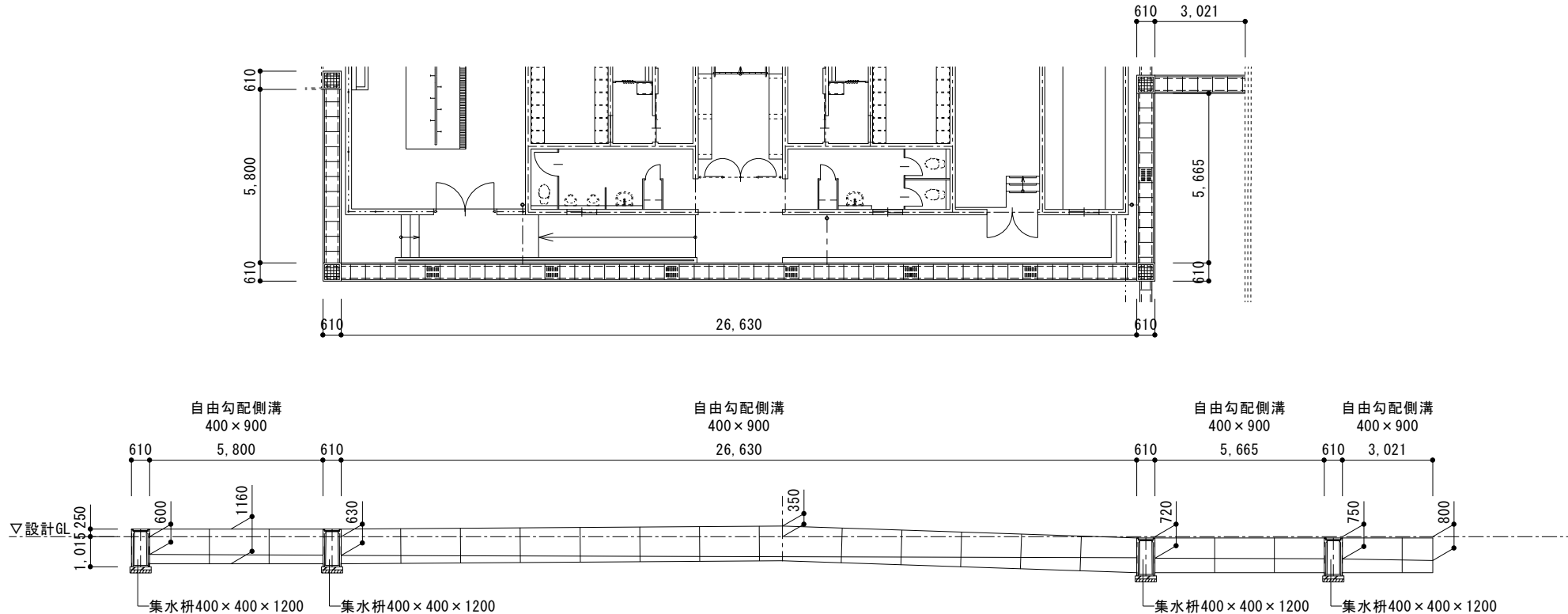


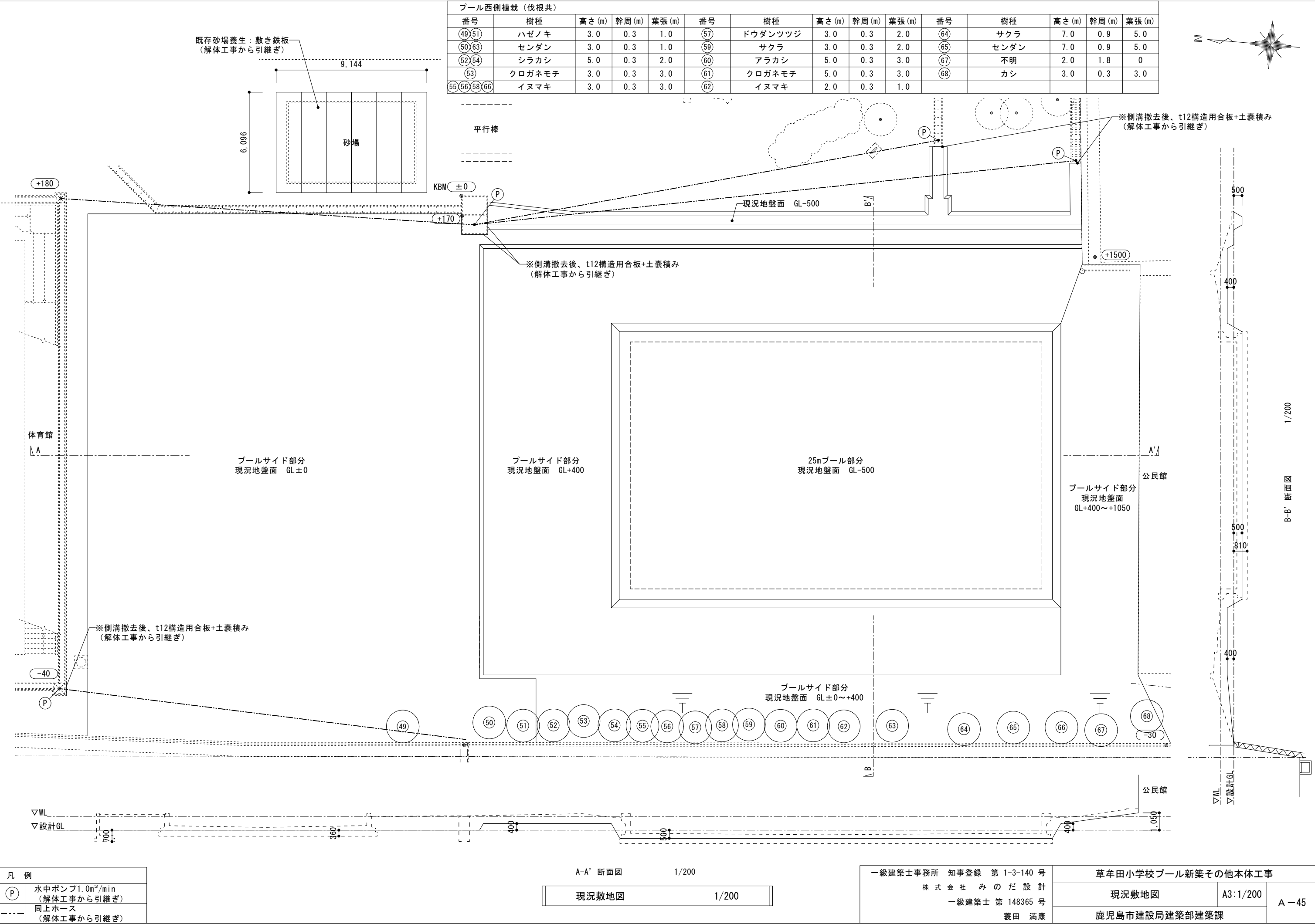
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菦田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	洗眼場・シャワー部分詳細図	A3:1/50	A -
	鹿児島市建設局建築部建築課		



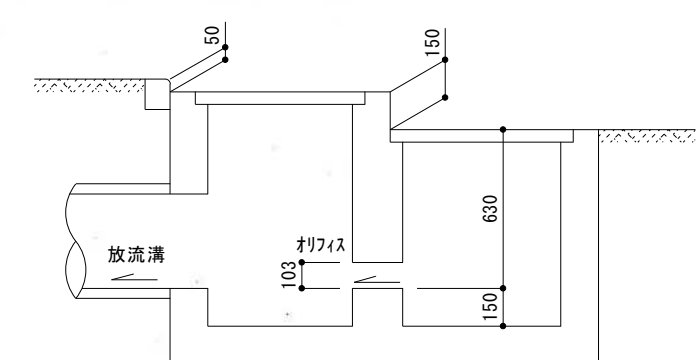
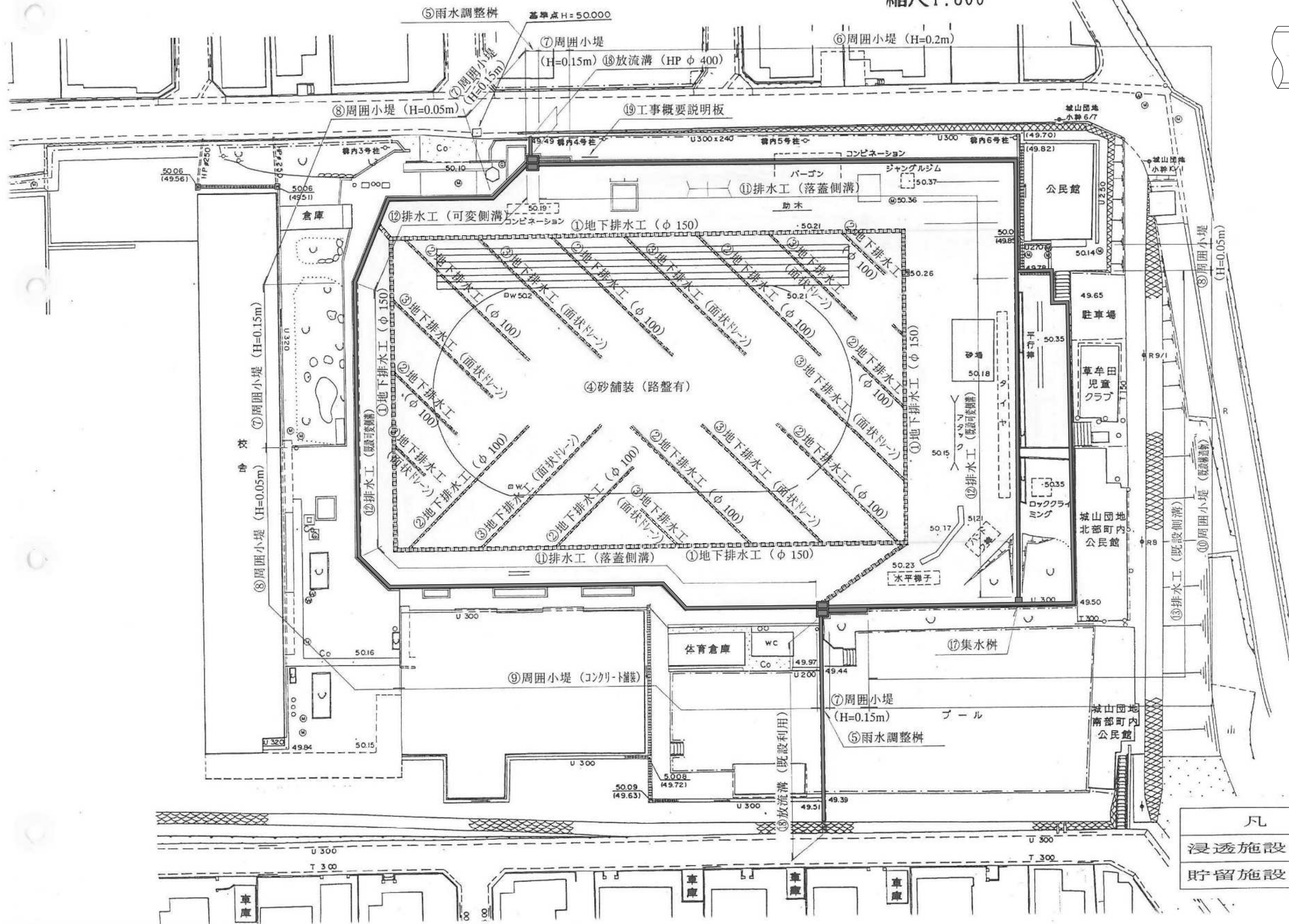
凡例											特記事項				
符号	項 目	規格・寸法	符号	項 目	規格・寸法	符号	項 目	規格・寸法	符号	項 目	規格・寸法	※ ⇨：土間水勾配を示す ※ →：側溝水勾配を示す ※ ◎(+750)：設計GLからの高さを示す ※擁壁及びフェンス基礎で、異なる構造物に接する箇所は、伸縮目地W20（瀝青系）を設けること。 ※鋼製グレーチング製蓋（溶融亜鉛メッキ仕上げ）			
	土間コン	コンクリート直均し粗面仕上	①	プールサイド側溝	溝幅150 SUSグレーチング蓋（ノンスリップ・細目）	⑥	雨水埋設配管	VP管 φ100	⑪	落し蓋側溝	300×300（縦断用） コンクリート製蓋（集水蓋@4,000）				
	捨てコン	捨てコンクリート直均し仕上	②	プールサイド集水枡	300角 SUS製グレーチング蓋（ノンスリップ・細目）	⑦	集水枡	300角 コンクリート製蓋	⑫	落し蓋側溝	400×400（縦断用） コンクリート製蓋（集水蓋@4,000）				
	複層ビニル床シート	t2.9（遮熱性・防滑性） 周囲メーカー仕様シーリング	③	フローアーハッチ	600角 ステンレス製タラップ	⑧	集水枡	300角 鋼製グレーチング製蓋 T-2	⑬	自由勾配側溝	400×900（縦断用） コンクリート製蓋（集水蓋@4,000）				
			④	トレンチ換気パイプ	立上り・埋設：VP管φ150	⑨	集水枡	400角 鋼製グレーチング製蓋 T-2							
			⑤	土間伸縮目地	目地巾20 @3,000	⑩	集水枡	500角 鋼製グレーチング製蓋 T-2							
外構図1/200										一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 菫田 満康		草牟田小学校プール新築その他本体工事			
										外構図		A3:1/200		A-42	
										鹿児島市建設局建築部建築課					

① プールサイド 側溝	1/20	② プールサイド 集水枡	1/20	③ フロアハッチ、タラップ	1/30	④ トレンチ換気パイプ	1/20
 平面図 1/20 断面図 1/20		 平面図 1/20 断面図 1/20		 断面図 1/30	 断面図 1/20	⑤ 土間伸縮目地	1/20
						 断面図 1/20	
⑦ 集水枡 300×300×450	1/20	⑧ 集水枡 300×300×600	1/20	⑨ 集水枡 400×400×1200	1/20	⑩ 集水枡 500角	1/20
 平面図 1/20 断面図 1/20		 平面図 1/20 断面図 1/20		 平面図 1/20 断面図 1/20		 平面図 1/20 断面図 1/20	
【参考図】				【参考図】		【参考図】	
				一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ設計 一級建築士 第 148365 号 菟田 満康		草牟田小学校プール新築その他本体工事	
						外構詳細図(1) A3:1/20 A-43	
						鹿児島市建設局建築部建築課	

⑪ 落し蓋側溝 300×300（縦断用）	1/20	⑫ 落し蓋側溝 400×400（縦断用）	1/20	⑬ 自由勾配側溝 400×900（縦断用）	1/30
					
自由勾配側溝 展開図	1/200				
					
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 荻田 満康				草牟田小学校プール新築その他本体工事 外構詳細図(2) A3:1/20 A-44	



草牟田小学校 雨水貯留施設配置図
縮尺1:500



オリフィス詳細図 1/30

凡 例	
浸透施設	
貯留施設	

【参考図】

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称

草牟田小学校プール新築その他本体工事

(2) 工事種別

☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築

(3) 構造種別

☐ 木造 (W)

☐ 補強コンクリートブロック造 (CB)

☐ 鉄骨造 (S)

☐ 鉄筋コンクリート造 (RC)

☒ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)

(4) 階 数

地下 0 階

地上 1 階

塔屋 階

(5) 主要用途

プール付附属 体育倉庫

(6) 屋上付属物

☐ 広告塔

☐ 高架水槽 KN

☐ ハト小屋

☐ 煙 突

☐ キュービクル KN

☐ 手摺、目隠し柵

(7) 増築計画

☐ 有 ☒ 無

(8) 外構工事

☐ 門塙 ☐ 擁壁

(9) 特別な荷重

☐ エレベータ 人乗 ☐ リフト KN ☐ ホイスト KN

☐ 倉庫積載床用 kN/m² ☐ 受水槽 KN ☐ その他 KN

(10) その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	調合管理強度 F _q =N/mm ²	スランプ cm	備 考
捨コンクリート	☒ 普通 ☐ 軽量	18		15	
土間コンクリート	☒ 普通 ☐ 軽量	18	※	15	
基礎 躯体	☒ 普通 ☐ 軽量	21	※	18	
2F:5F:躯体	☐ 普通 ☐ 軽量	27	※	18	
2F:8F:躯体	☐ 普通 ☐ 軽量	33	※	18	
2F:RF:躯体	☐ 普通 ☐ 軽量	36	※	18	

(2) コンクリートブロック (CB)

※ 調合管理強度＝設計基準強度＋構造体強度補正值 (S)

☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190

(3) 鉄 筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	☒ SD295	D10～D16	壁、床、帯筋、肋筋	☒ 重ね継手 D16以下
	☐ SD345	D19～D25	柱、梁	☐ ガス圧接継手 D19以上
	☐ SD390	D29以上	柱、梁	
高強度鋼	☐ リバーボン785	K13 K16	せん断補強	☐ 特殊継手
溶接金鋼	☒ SR235	Φ 6x150	屋根	

(4) 鉄 骨

	種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
鋼 材	☐ SS400 ☐ SN400B ☐ SN490B	大梁、小梁	☐ 有 ☐ 無	
	☐ STK400 ☐ STK490 ☐ STKN490	間柱、柱	☐ 有 ☐ 無	
	☐ STKR400 ☐ BCR295 ☐ BCP325	間柱、柱	☐ 有 ☐ 無	
	☐ SSC400	鋼 縁	☐ 有 ☐ 無	

(5) ボルト

☐ 高力ボルト ☐ 普通、F10T ☐ 特殊、S10T 認定品 ☐ M16 ☐ M20 ☐ F8T ☐ M22 ☐ M24

☐ 中ボルト SS400

☐ アンカーボルト ☐ SS400 ☐ 認定品 ISベース

☐ スタッダボルト

(6) 屋根、床、壁

☐ ALC 厚：

折版 形式： H： 厚：

☐ デッキプレート 形式：

☐ キーストンプレート 形式：

☐ 特殊デッキプレート

☐

3. 地 盤

(1) 地盤調査資料

☒ 有 (☒ 敷地内 ☐ 近隣) ☒ ボーリング調査 ☐ スウェーデンサウンディング試験 ☐ 無 (調査予定 ☐ 有 ☐ 無) ☐ 水平地盤反力係数の測定

(2) 地盤調査計画

☐ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定 ☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験 ☐

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

深 度	土 質	N 値	標準貫入試験						備 考
			10	20	30	40	50	60	
1	虚 土	21							※ 孔口標高 KBM+810 GL=KBM
2	中硬質シラス	28							GL-700 (体育倉庫) GL-300 (付属屋標準)
3		20							
4		30							
5	硬質シラス	41							
6		27							
7		37							
8		38							
9		31							
10		41							
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									

4. 地 業 工 事

(1) 直接基礎

☐ ベタ基礎 ☒ 布基礎 ☐ 独立基礎 試験値 ☐ 有 ☒ 無
深さGL-0.3m (付属屋標準) GL-0.7m (体育倉庫) 長期許容支持力度 100KN/m² 載荷試験 ☐ 有 ☒ 無
砕石地業 RC-40、C-40

(2) 杭基礎

支持層-

☐ 柱状地盤改良工法

杭 種

☐ RC ☐ PC ☐ PHC ☐ H鋼 ☐ 鋼材 ☐ PRC杭 (1種) ☐ PHC節杭

材 料

PC (☐ A種 ☐ B種 ☐ C種)
PHC (☐ A種 ☐ B種 ☐ C種)
PRC (☐ I種
鋼材 ☐ SS400 ☐ STK400

施 工 方 法

☐ 打ち込み
☐ 埋込み (セメントミルク注入工法)

☐ MT工法
☐ FP-BESTEX工法

備 考

大臣認定

☐

場所打ち
コンクリート杭

コンクリートFc= kN/mm²
セメント量
鉄 筋 主 筋 SD
HOOP SD

☐ オールケーシング
☐ 拡底杭
☐ リバースサ-キュレーション

☐ アースドリル
☐ ミニアース
☐ BH
☐ 深礎 (☐ 手堀 ☐ 機械掘

拡底杭
日本建築セン
ター認定

第 号
年 月 日

杭仕様

☐ 施工計画書承認 ☐ 杭施工結果報告書

試験杭

(☐ 有・ ☐ 無) (☐ 打 ち 込 み ☐ 載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭長 (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

☒ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5による。
☒ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
☒ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
☒ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
☒ フレッシュコンクリートの塩化物物測定は、原則として工事現場で (財)国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定器ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
☒ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運転車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
☒ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近ずけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、1m以下とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄 筋

☒ 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
☒ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。
☒ D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
☐ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えるときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は3本以上とする。
外観検査 ☐ 有 ☐ 無、 引張検査 ☐ 有 ☐ 無、 超音波探傷試験 ☐ 有 ☐ 無、
☐ 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法
☐ H型 (タガ型) ☐ W型 (溶接型) ☐ S型 (スパイラル型)
☒ コンクリート及び鉄筋の試験は、建築物の工事における試験及び検査に関する試験機関で行うこと。
試験機関名
代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

(3) 型 枠

☒ 材料 合板厚 12mmを標準とする。 ☒ 施工はJASS5による。
☒ 型枠存置期間 ※ (共通仕様書6.3.1)による。

種別
部位
コンクリート
圧縮強度

せ き 板
基礎、梁側、柱、壁
スラブ下、はり下
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種

ス ラ ブ 下
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種

は り 下
早期強度ポルトランドセメント
普通ポルトランドセメント
高炉セメント A種
シリカセメント A種

温度 (℃)	2	3	4	6	8	17	28
15℃以上							
5℃～15℃	3	5	6	10	12	25	28
5℃未満	5	8	10	16	15	28	28

コンクリートの圧縮強度

5.0N/mm²

設計基準強度の50%

設計基準強度の85%

100%

注1) 1片持り、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注2) 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他ののはりの場合も原則として行わない。

注3) 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注4) 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注5) 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。
一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注6) 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

☐ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

☐ 製作工場 ☐ 製作要領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書

☐ 建設省告示第1103号による認定工場 (大臣認定 グレード登録 ランク)

☐ 材料規格証明書または試験成績書
☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッダボルト

☐ 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目

(☐ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査 ☐ 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

☐ 日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
☐ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

☐ 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社 内	第三者	工事監理者	
☐ 完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	% 個	% 個	% 個	
☐	外観 (目視) 検査	100 %	30 %	30 %	
☐	マクロ試験・その他	個	個	個	

第三者検査機関名 工事監理者の承認を得て決定する事。

第三者検査機関は、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。
注2) 現場溶接は、超音波探傷試験を100%行う事。

☐ 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

☐ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

☐ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。
☐ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

☐

7. 屋根ふき材、特定天井 施行令39条の事項の遵守

☒ 屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁&ガラス等。
☐ 特定天井 (H>6m、A>200m² 平25国交告第771号規定適用)

8. 設備関係 施行令129条の2の4の事項の遵守

☒ 建築設備、支持構造部、緊結金物は腐食または腐朽の恐れのないものとする

☒ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

☒ 給水、排水その他の配管設備は振動及び衝撃に対し安全上支障のない構造とする。

☒ 梁貫通孔は配管スリーブ、貫通口補強を施す等の損傷防止の措置を行うこと。

☒ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

☒ 屋上から突出する水層、煙突等は告示第1389号より、風圧、地震、その他の振動衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

9. その他

☒ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出する事。

☒ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

☒ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
株 式 会 社 み の だ 設 計
一級建築士 第 148365 号
蓑田 満康

草牟田小学校プール新築その他本体工事

構造設計標準仕様 (付属屋)

A3:1/N

S-01

鹿児島市建設局建築部建築課

一級建築士 第93811号 〈 構造設計一級建築士 第8059号 〉 興梠 典郎

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 D…部材の成
@…間隔 r…半径 CL…中心線 Lo…部材間の内法距離 ho…部材間の内法高さ
ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S. HOOP…補強帯筋 φ…直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上 (※6d以上)	8d以上 (※4d以上)	
鉄筋は、SD295、SD345を使用する。 折曲げ内法寸法Rは、D16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

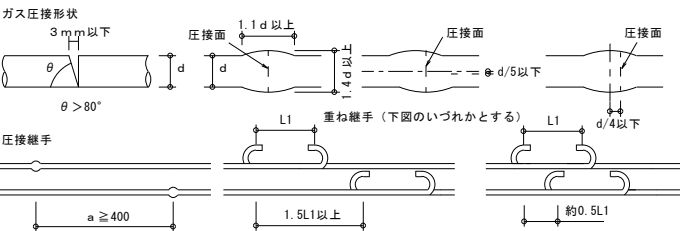
図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内法の寸法 (R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SD295 SD345	D16以下 D19以上	3d以上
	上記以外の鉄筋	SD295 SD345	D16以下 D19～D25	4d以上 6d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm²)			定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
	21	22.5	24	一般 (L2)	下ば筋 (L3) 小梁 スラブ	
SD295	21	22.5	24	35dまたは 25dフックつき	25dまたは 15dフック	40dまたは 30dフックつき
SD345	18			40dまたは 30dフックつき	つき	45dまたは 35dフックつき

コンクリートは普通 $F_c=18N/mm^2$ 以上 $24N/mm^2$ 以下、軽量 $F_c=18N/mm^2$ 以上 $22.5N/mm^2$ 以下

- 継手
1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない。
 2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする。
 3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする。



(4) 鉄筋のかぶり厚さ (単位: mm)

構造部分	最小かぶり厚さ (mm)	設計かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ・床スラブ・片持ちスラブ*・非耐力壁	20*	30*
耐力壁・壁梁・小梁・片持ち梁	30*	40*
土に接する耐力壁・床スラブ・布基礎の立上り部分 基礎つなぎ梁	40	50
基礎 (捨コンクリート部分を除く)	60	70

[注] * 耐久性上有効な仕上げがない場合は、屋内・屋外にかかわらず10mm増しとする。

又、軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

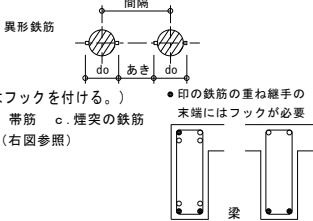
* * 片持ちスラブ先端は、最小かぶり30mmとする。8-(1) の@参照]

(5) 鉄筋のあき

- a. 異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
- b. 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25mm以上

(6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

- a. 壁長が1m以下の壁横筋の末端
- b. あばら筋、帯筋
- c. 煙突の鉄筋
- d. 柱、梁 (基礎梁は除く) の出すみ部分の鉄筋 (右図参照)
- e. 単純梁の下端筋
- f. その他、本配筋標準に記載する箇所

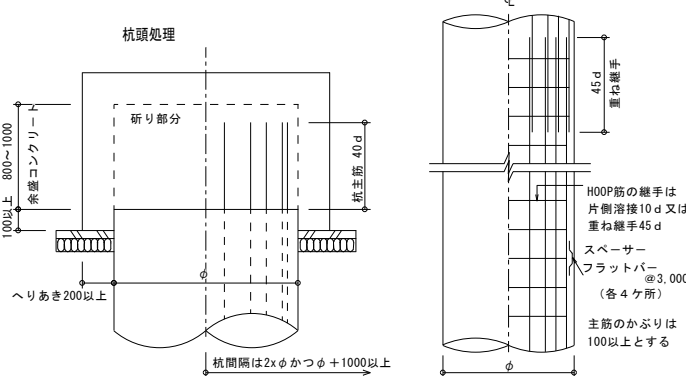


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに補強を行う

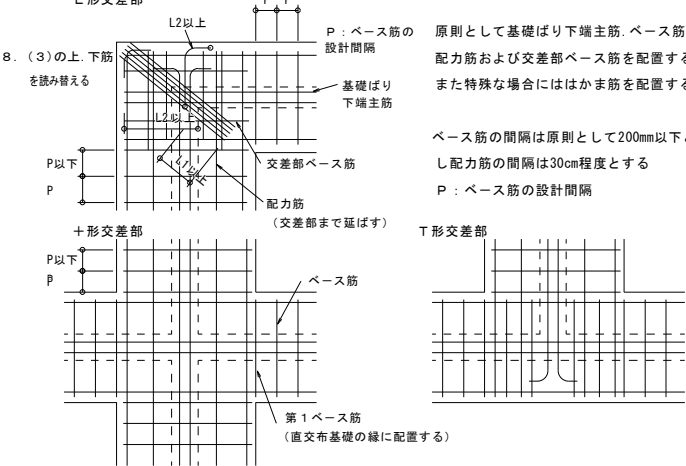
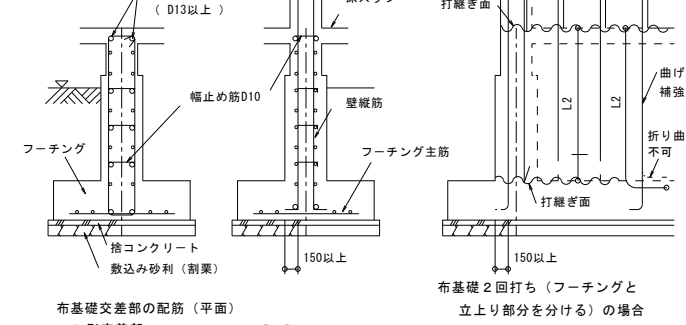
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合			
		但しL≤φの場合 L>φの場合は工事監理者の指示による HOOP@150			
杭径	300φ、350φ	400φ	450φ	500φ	600φ
補強筋	6-D13	8-D13	10-D13	8-D16	10-D16
HOOP	D10-@150				

(2) 現場打ちコンクリート杭

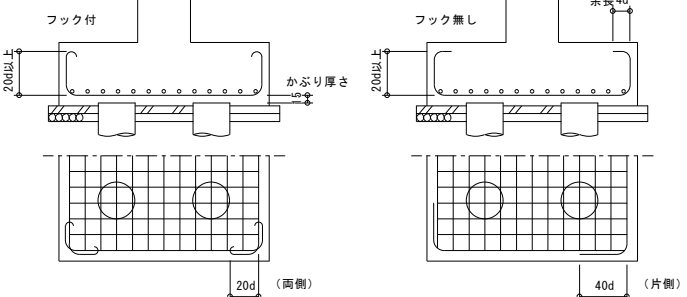


4. 基礎

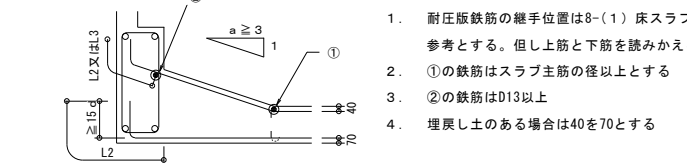
(1) 布基礎



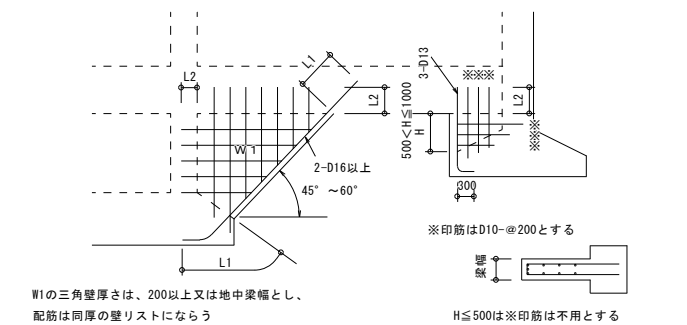
(2) 杭基礎



(3) べた基礎

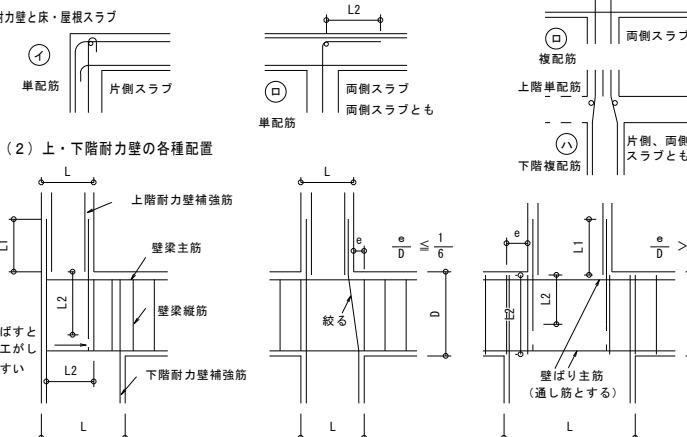
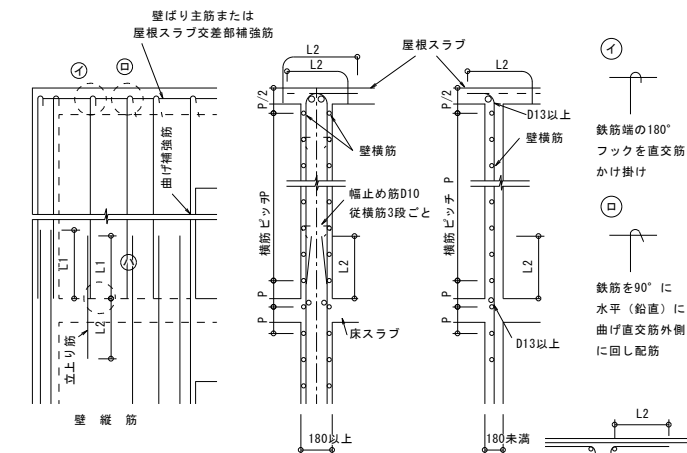


(4) 基礎接合部の補強

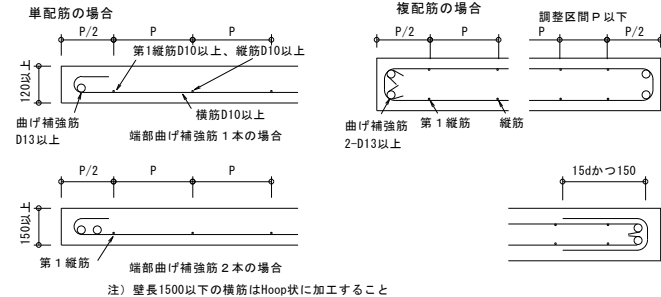


5. 耐力壁

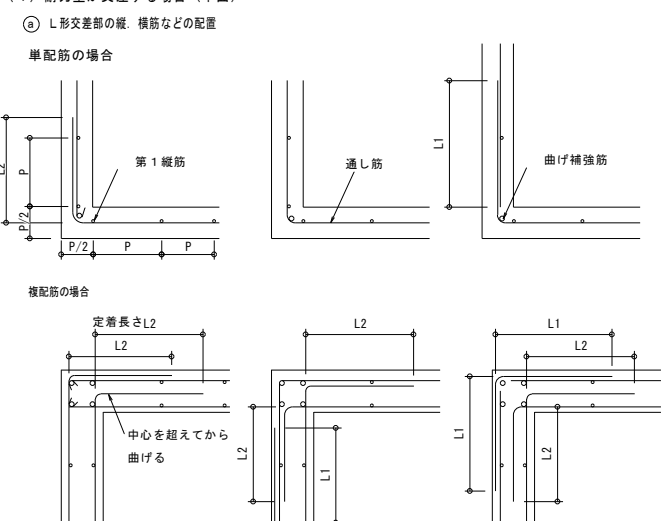
(1) 縦筋・曲げ補強筋・縦補強筋の定着



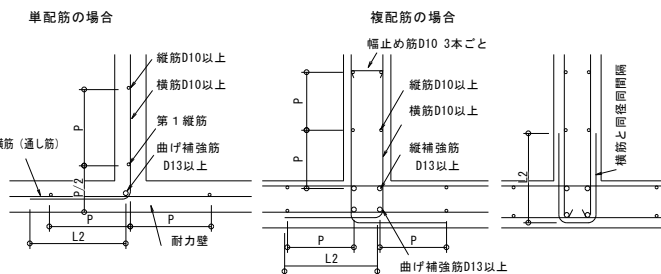
(3) 耐力壁の縦、横筋の配置



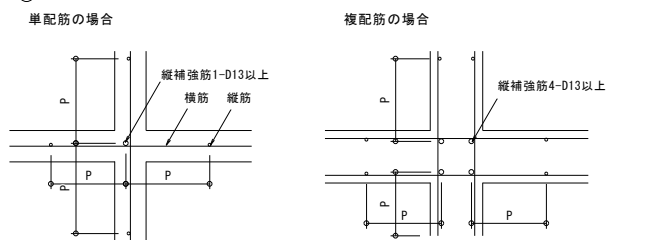
(4) 耐力壁が交差する場合 (平面)



(b) T形交差部の縦、横筋の配置



(c) +形交差部の縦、横筋などの配置



6. 使用可能な鉄筋の最大径 (標準)

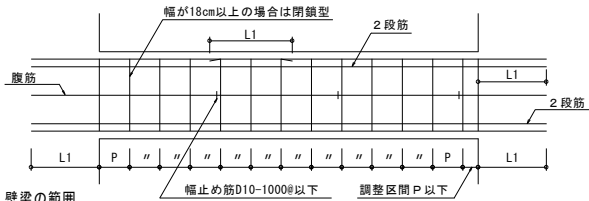
部位	耐力壁	壁梁 がりよう 小梁	布基礎 基礎 基礎梁	スラブ	非耐力壁	欄
構造種別	耐力壁	壁梁	布基礎	スラブ	非耐力壁	欄
壁式鉄筋 コンクリート造	D22	D22	D25	D16	D16	D16

壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

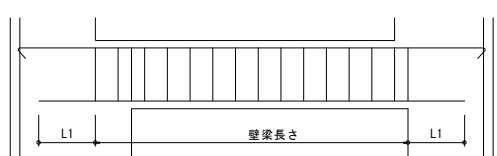
※ L: 本構造配筋標準図(1)の2~(3)による

7. 壁梁、小梁

(1) 壁梁の標準配筋図

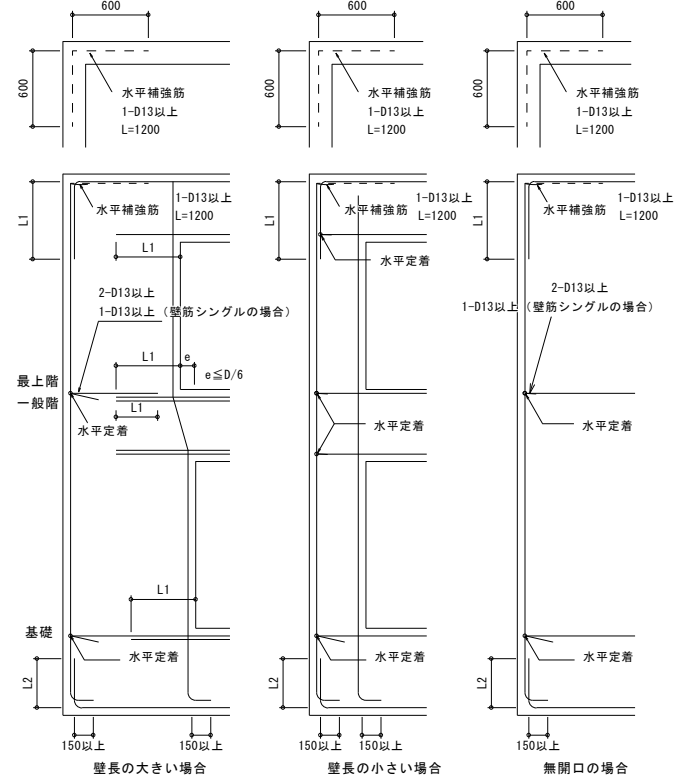


(2) 壁梁の範囲

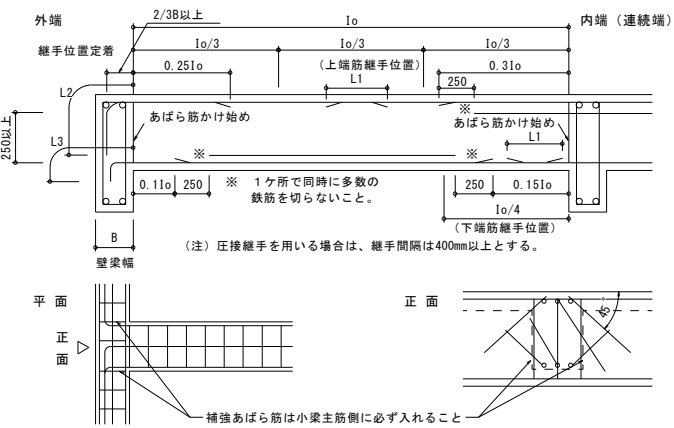


(3) 定着

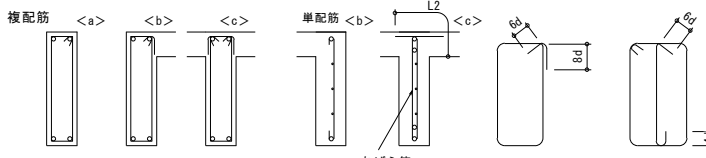
(a) 壁梁 出隅部分壁と壁(平面図)



(b) 小梁の定着・継手位置およびトップ筋長さ



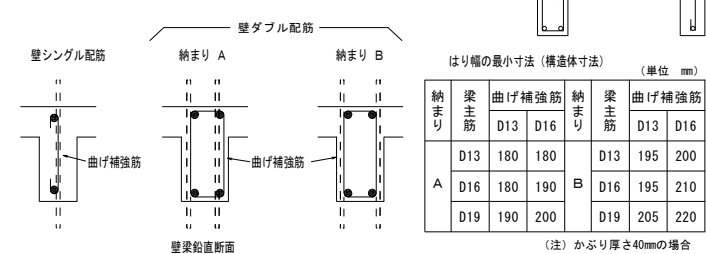
(4) あばら筋の型



- (イ) 原則として <a> のフック先曲げとする。
片側床版付 (L型) 梁で
両側床版付 (I型) 梁で <c> とすることができる。
(ロ) フックの位置は <a> にあつては交互、
 にあつてはスラブ側とする。

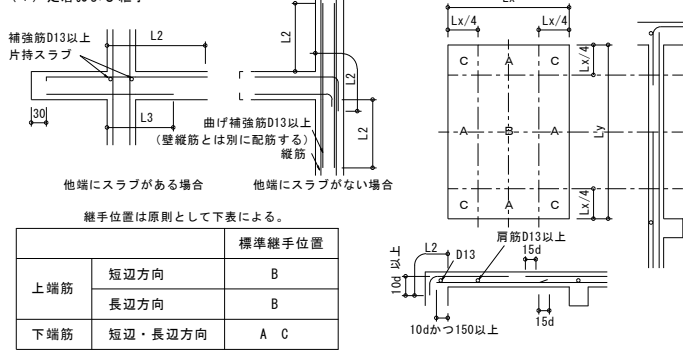
(5) 壁梁と壁のおさまり

壁梁の幅は耐力壁の厚さ以上とする。

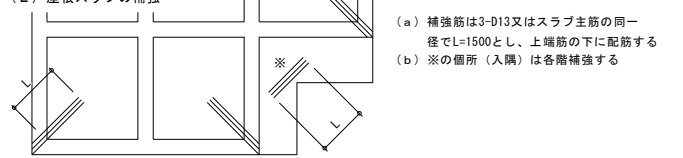


8. 床板

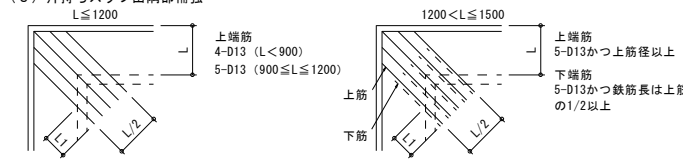
(1) 定着および継手



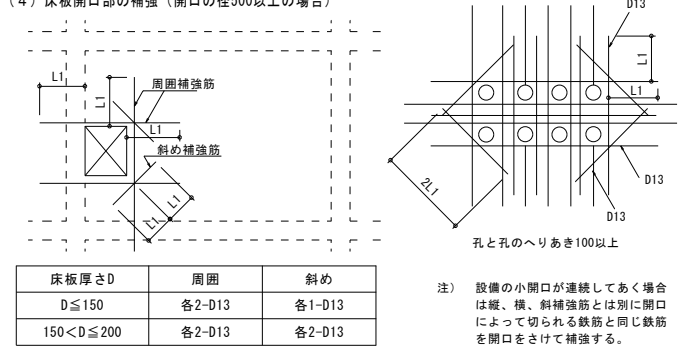
(2) 屋根スラブの補強



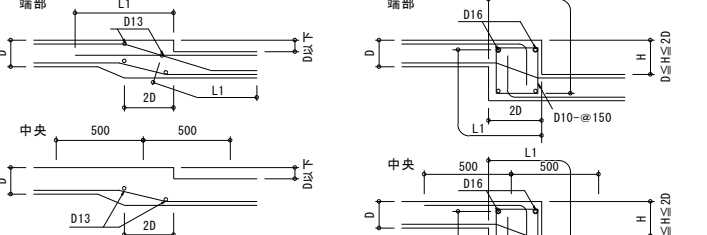
(3) 片持ちスラブ出隅部補強



(4) 床板開口部の補強 (開口の径500以上の場合)

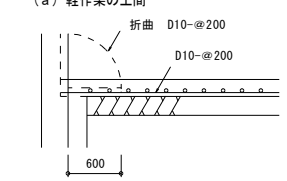


(5) 床板段差

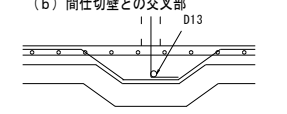


(6) 土間コンクリート

(a) 軽作業の土間

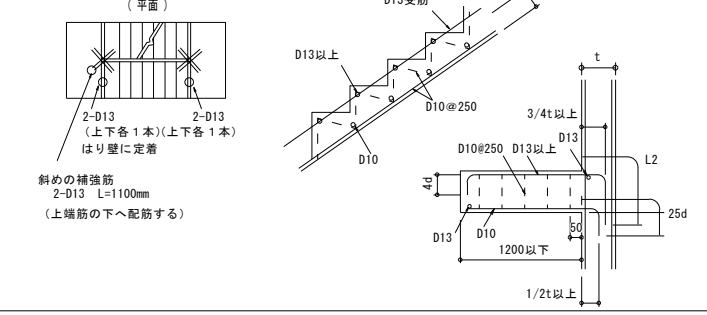


(b) 間仕切壁との交叉部



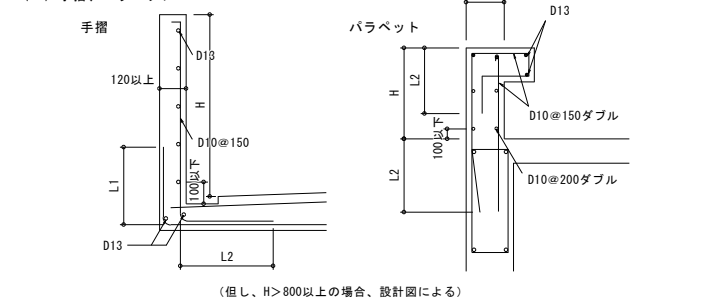
9. 階段

片持ち階段

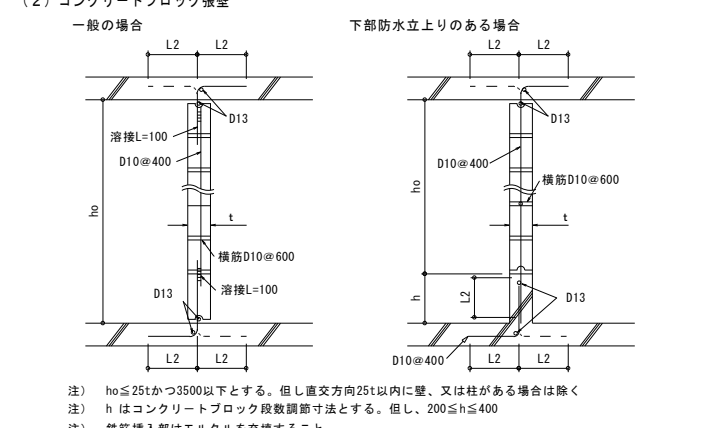


10. その他

(1) 手摺、パラベット



(2) コンクリートブロック張壁



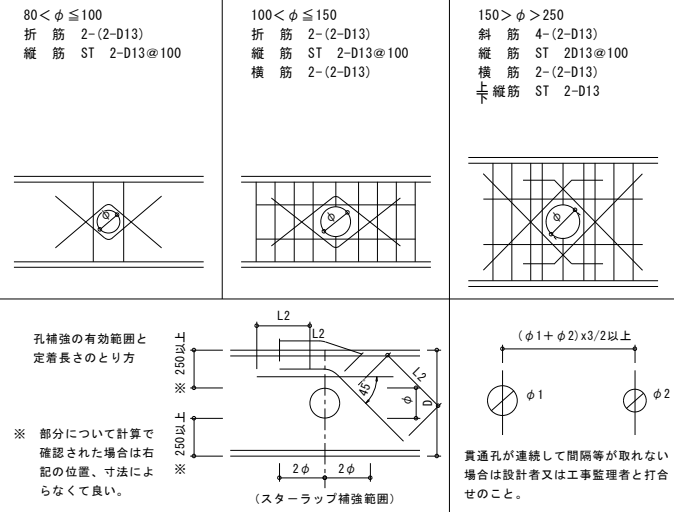
11. 梁貫通孔補強

(1) 既製品 (使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

□リング型 □パイプ型 □金網型 □プレート型

(2) 鉄筋標準配筋 (但し $\phi \leq D/3$ とする)

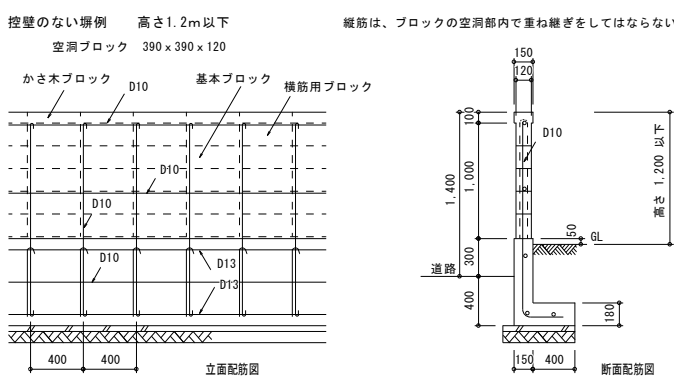
設置可能範囲 梁端部 (スパンL/10以内かつ2D以内) は避ける



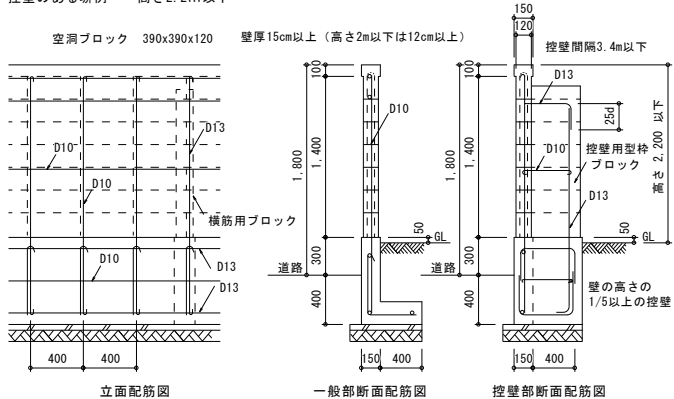
12. コンクリートブロック塀

(1) ブロック塀の高さ・厚さと基礎の構造

- 塀の高さ (地盤面に高低差のある場合は低い方による) は2.2m以下
- 塀の厚さは、塀の高さ2m以下の場合は12cm以上、2mを超える場合は15cm以上
- 地盤が液状化の恐れのある砂質土及び軟弱土の場合は、別途検討する。
- 鉄筋挿入部はモルタルを充填すること。



控壁のない塀例 高さ1.2m以下

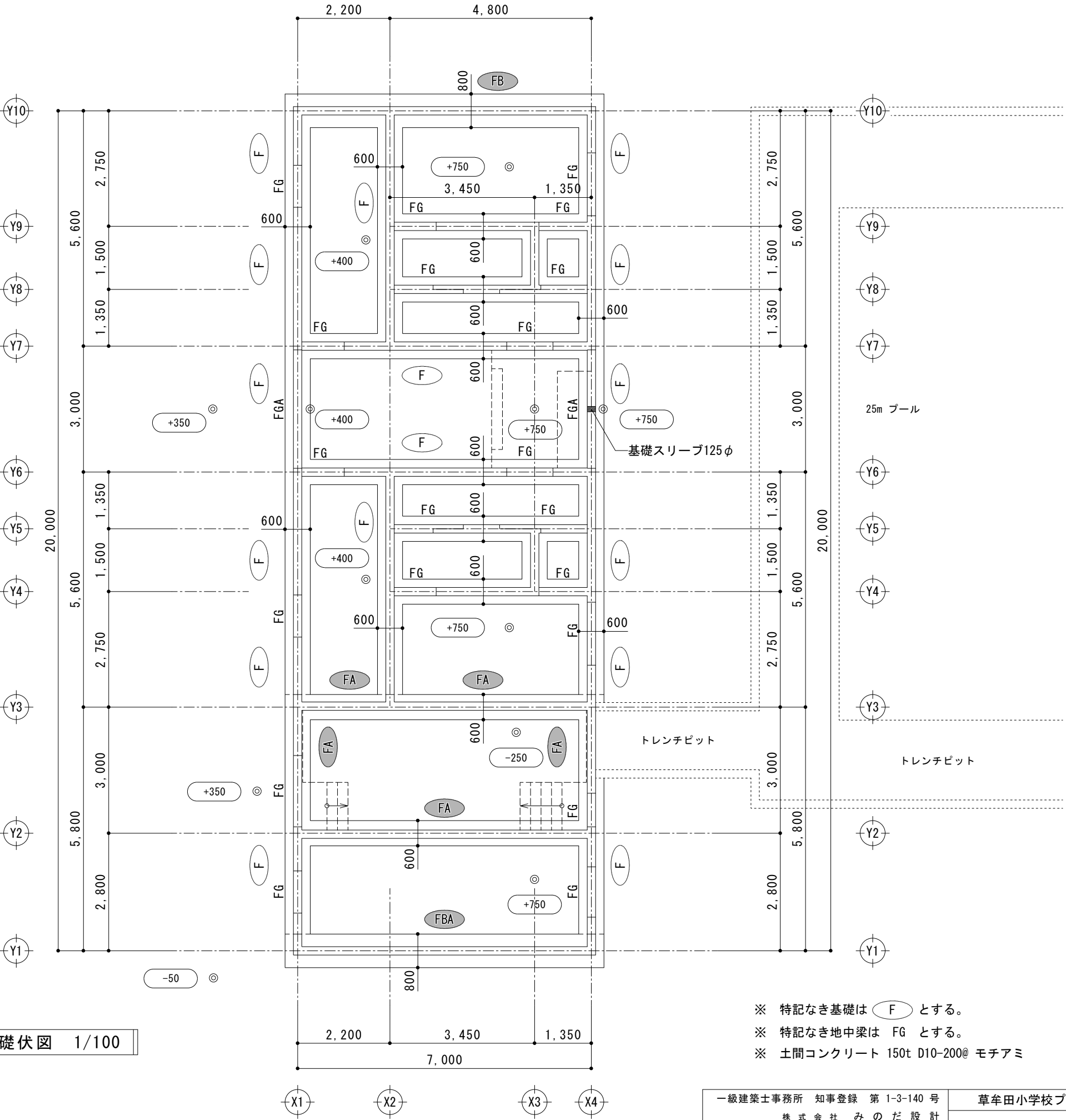


控壁のある塀例 高さ2.2m以下



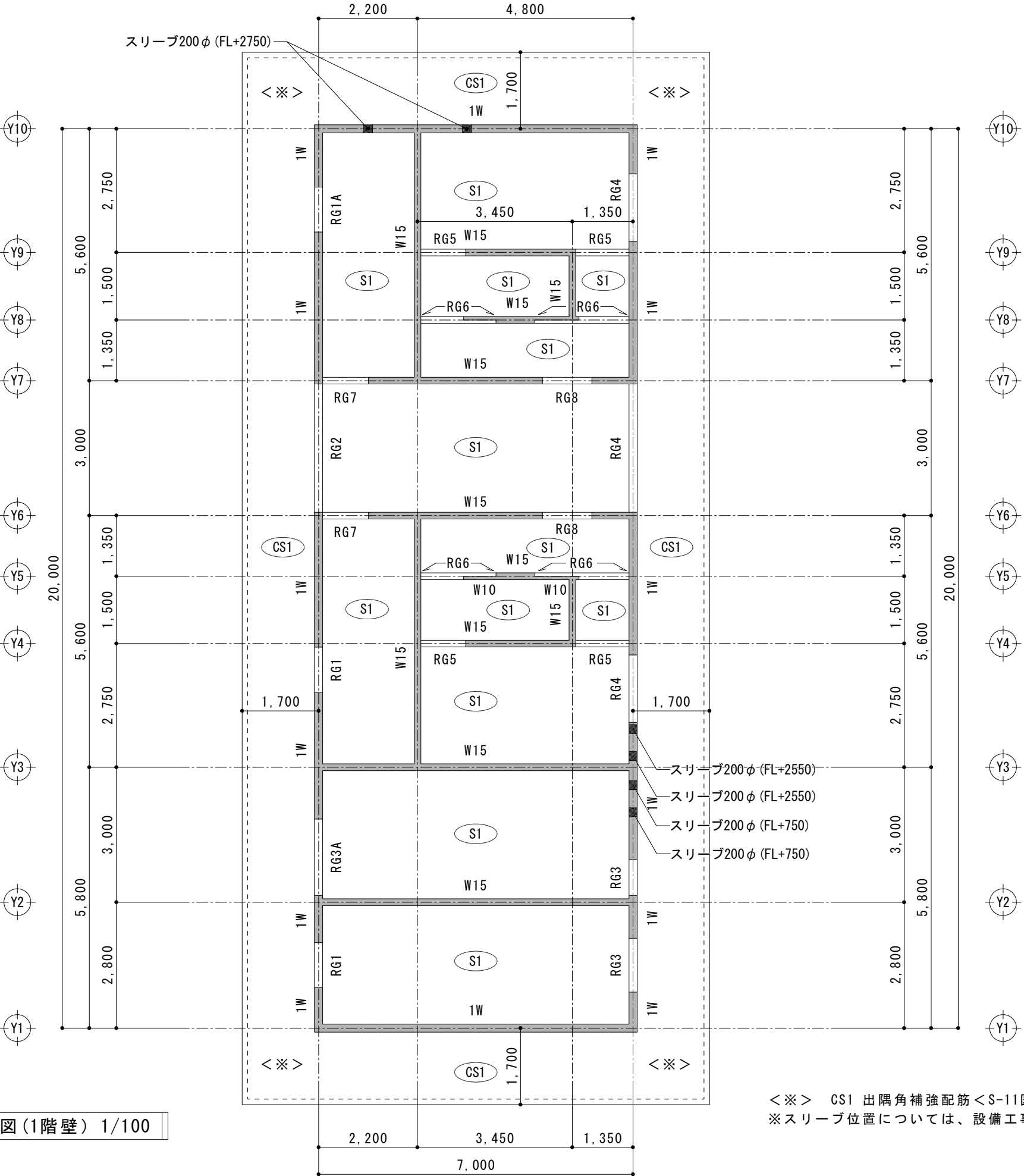
【プール付属屋】

基礎伏図 1/100



- ※ 特記なき基礎は F とする。
- ※ 特記なき地中梁は FG とする。
- ※ 土間コンクリート 150t D10-200@ モチアミ

【プール付属屋】 RF梁伏図(1階壁) 1/100



一級建築士 第93811号 < 構造設計一級建築士 第8059号 > 興梠 典郎

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号
株式会社 みのだ設計
一級建築士 第 148365 号
蓑田 満康

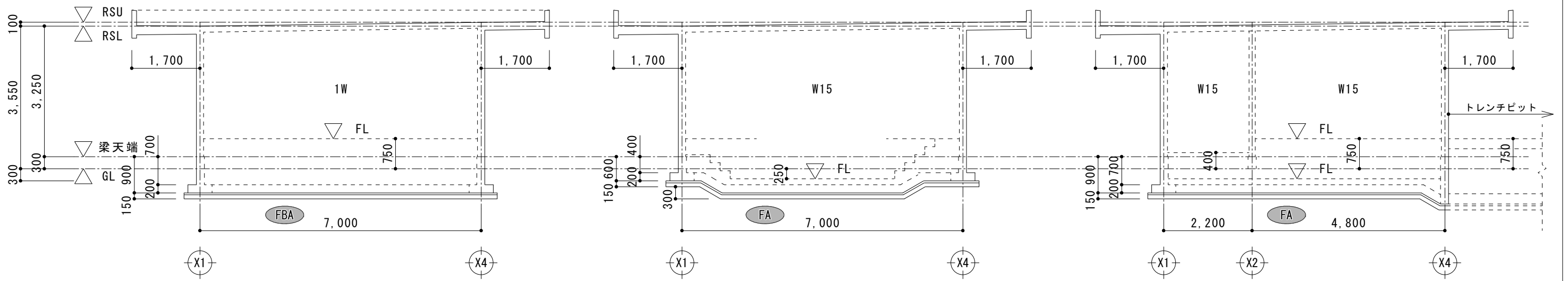
草牟田小学校プール新築その他本体工事

RF梁伏図(プール付属屋)

A3:1/100

鹿児島市建設局建築部建築課

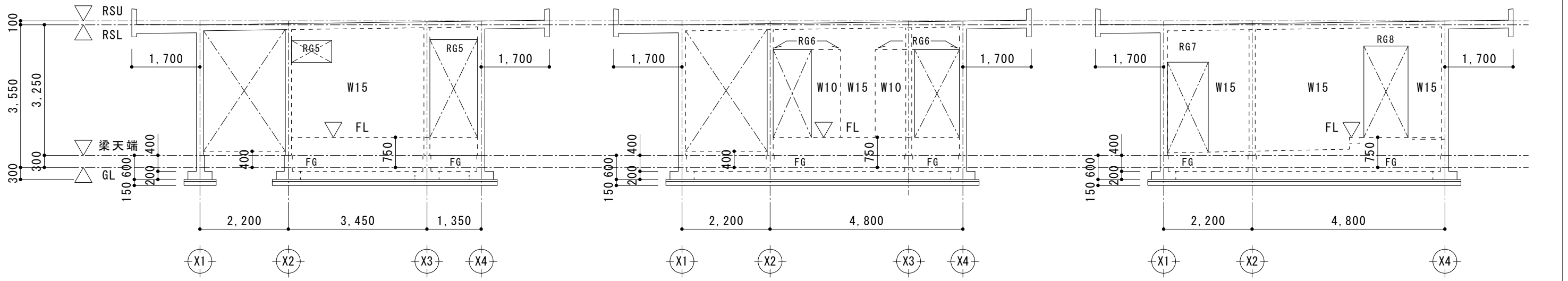
S-05



Y1通架構図 1/100

Y2通架構図 1/100

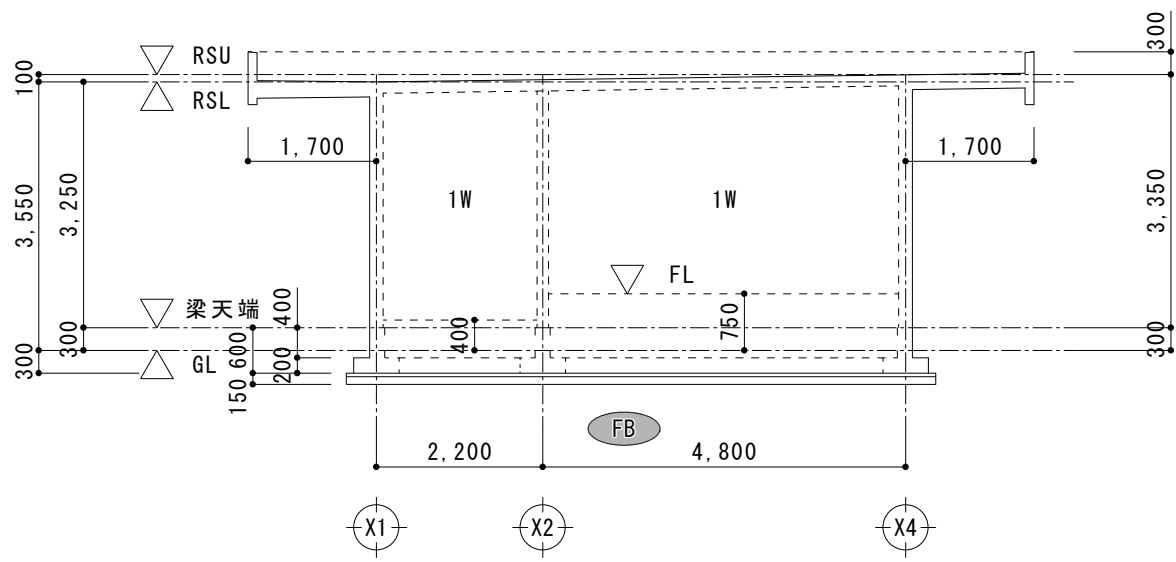
Y3通架構図 1/100



Y4, 9通架構図 1/100

Y5, 8通架構図 1/100

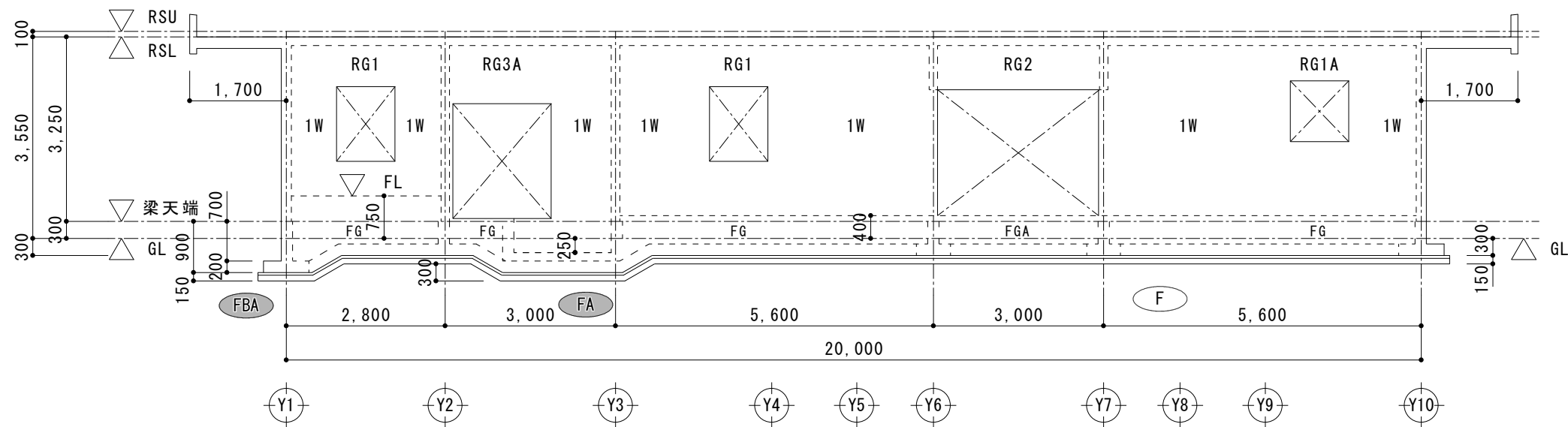
Y6, 7通架構図 1/100



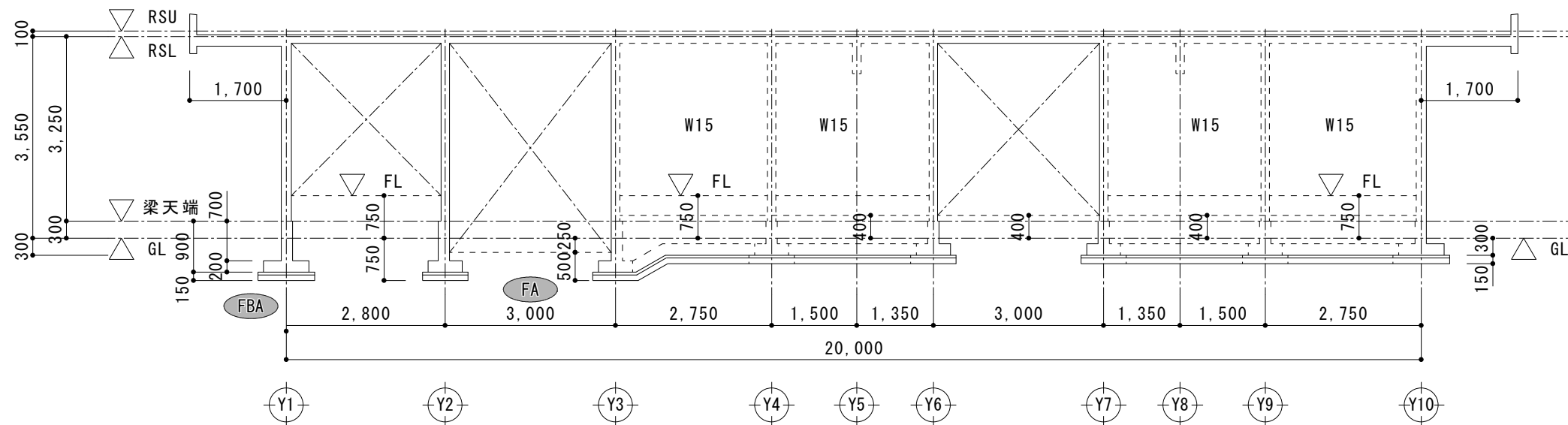
【プール付属屋】 10通架構図 1/100

※ 特記なき基礎は (F) とする。
※ 特記なき地中梁は FG とする。

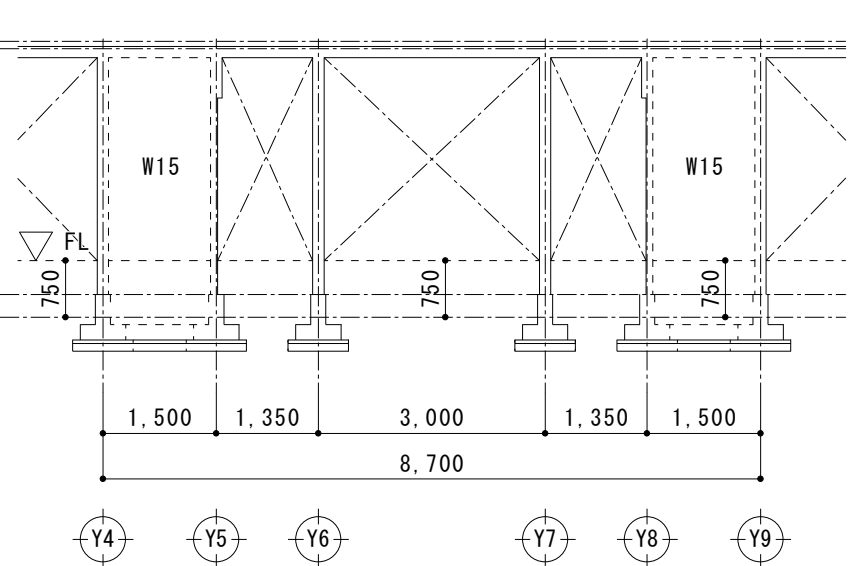
一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 蓑 田 満 康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	架構図.1(プール付属屋)	A3:1/100	S-06
	鹿児島市建設局建築部建築課		



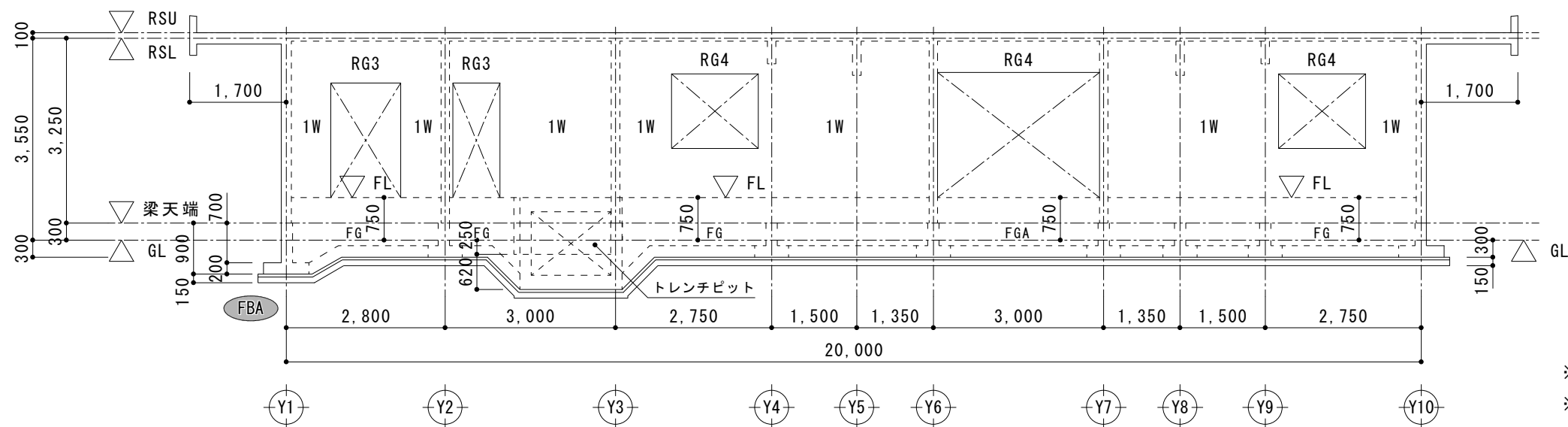
X1通架構図 1/100



X2通架構図 1/100

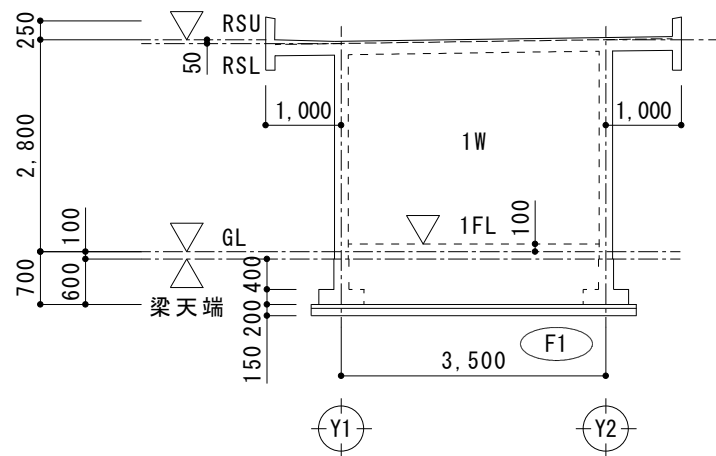
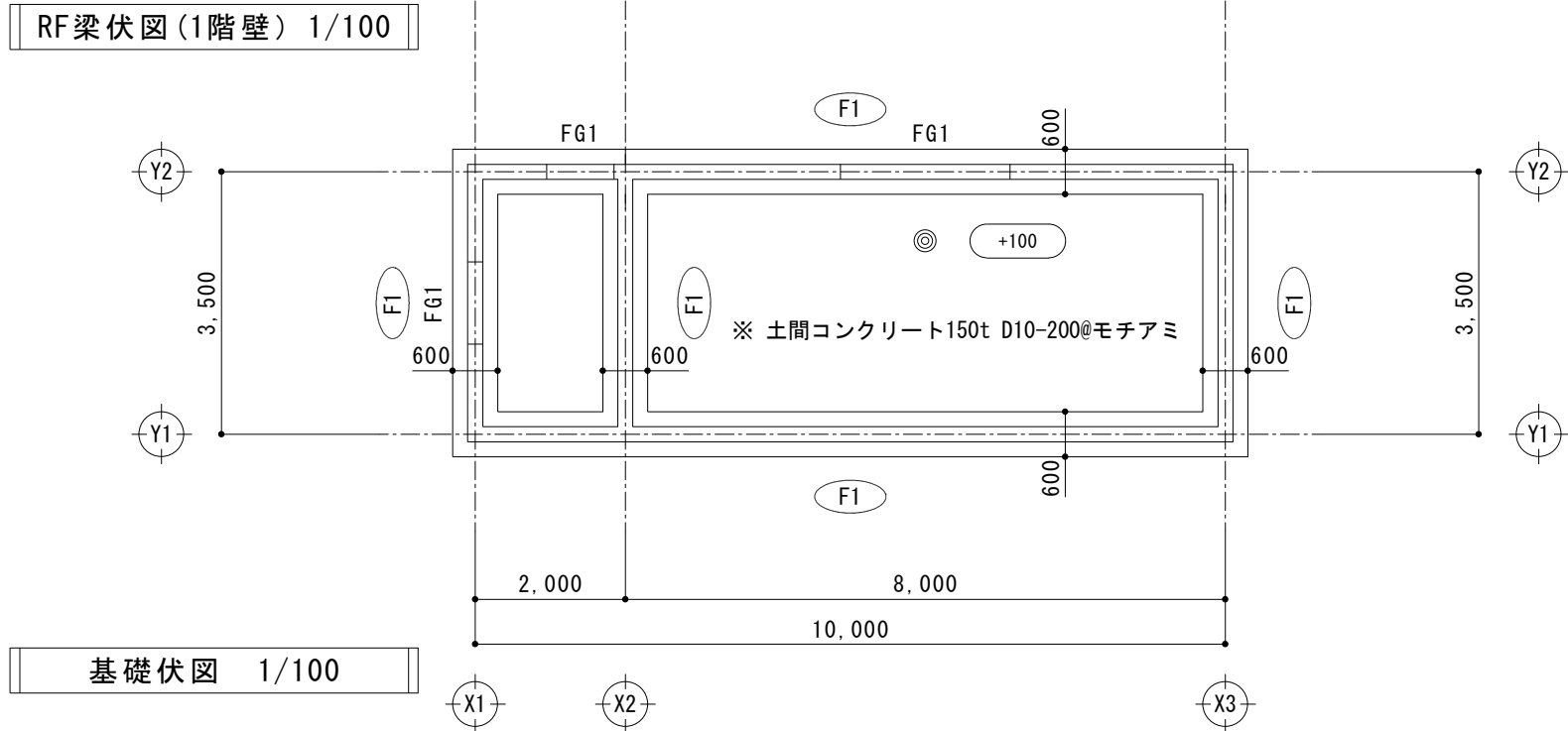
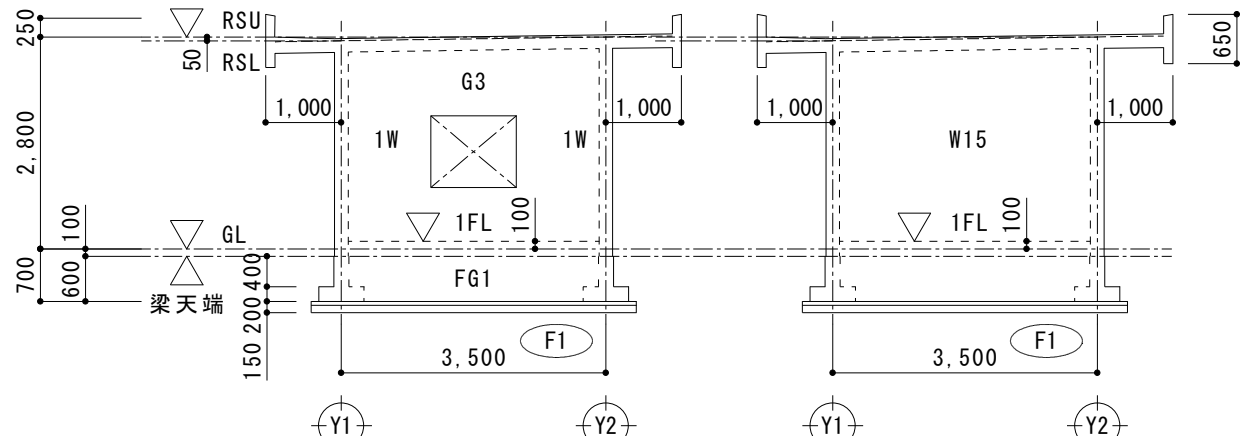
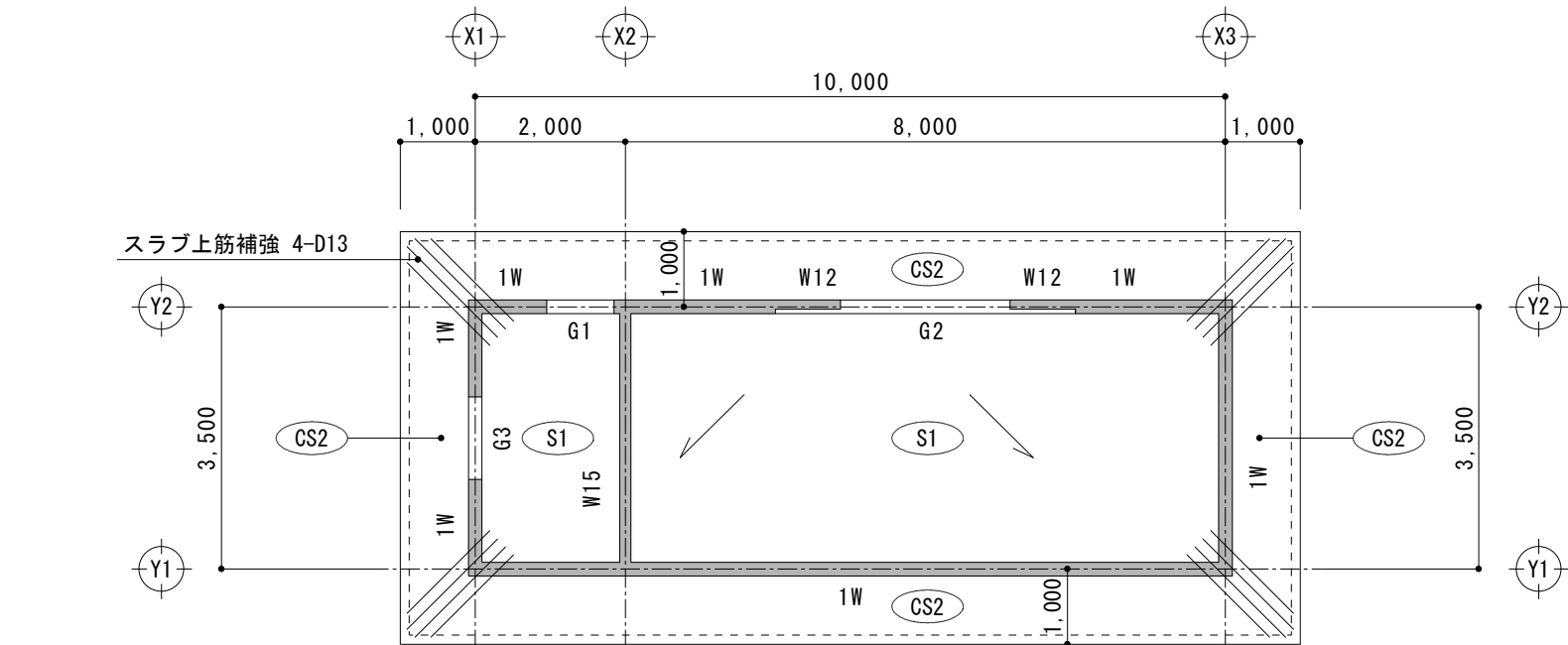
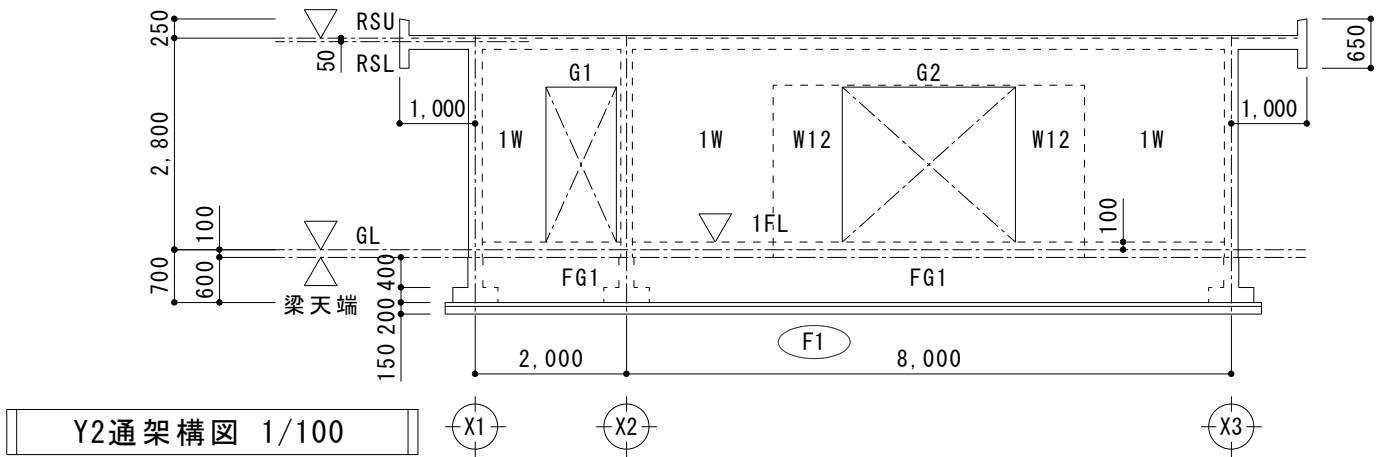
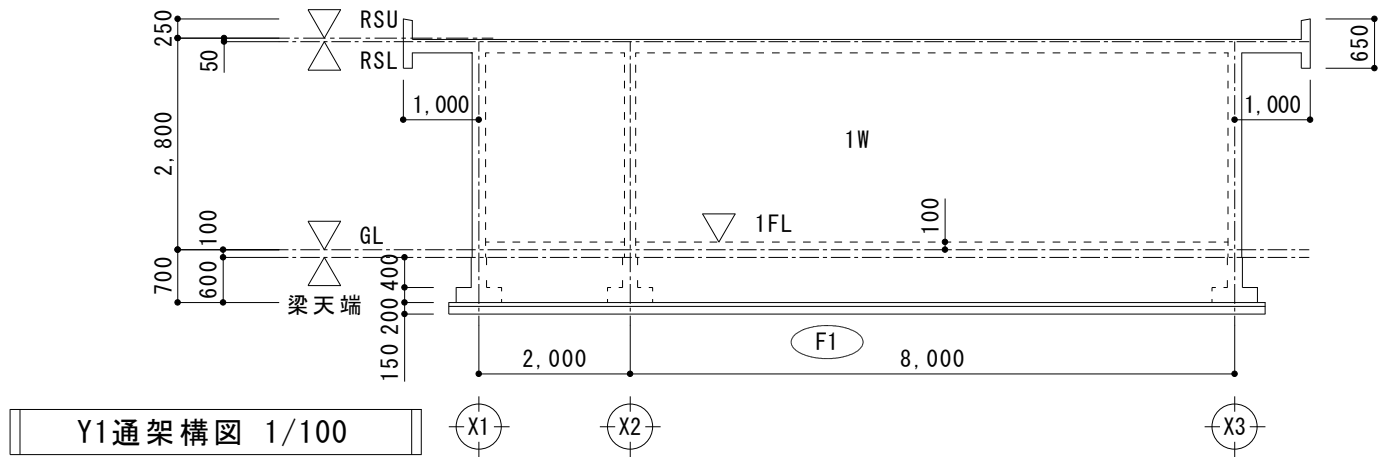


X3通架構図 1/100



【プール付属屋】 X4通架構図 1/100

※ 特記なき基礎は F とする。
※ 特記なき地中梁は FG とする。



【体育倉庫】

X3通架構図

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株式会社 みのだ 設計 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	草牟田小学校プール新築その他本體工事		
	基礎伏図 梁伏図 架構図(体育倉庫)	A3:1/100	S-08
	鹿児島市建設局建築部建築課		

基礎リスト

符 号	F（付属屋）	FA（付属屋）	FB（付属屋Y10通）， FBA（Y1通）	F1（体育倉庫）
断 面				

○ - D16 × - D13 ・ - D10 ※ 耐力壁地下地中梁部は全て 主筋(上下端筋共)2-D13, strD10-200@, 腹筋 D10-200(D) とする。

地中梁リスト

※ 梁二段筋のあきは1.5d（d：鉄筋径）とする
※ 巾止メ筋はD10-1000@以下とする

符 号	FG（付属屋）	FGA（付属屋）					FG1（体育倉庫）	
位 置	全断面	全断面					全断面	
上端筋	2-D13	2/1-D13					2-D13	
下端筋	2-D13	2/1-D13					2-D13	
帯 筋	D10-200@	D10-200@					D10-200@	
腹 筋	4-D10	2-D10					4-D10	
備 考	梁増打部(架構図)は増打配筋仕様	梁増打部(架構図)は増打配筋仕様					梁増打部(架構図)は増打配筋仕様	

○ - D16 × - D13 ・ - D10

※ 梁成は、意匠図参照の上施工図による

※ 梁二段筋のあきは、1.5d（d：鉄筋径）とする

※ 壁梁腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。巾止メ筋は、D10-1,000@以下とする

大梁リスト（付属屋）

記 号	RG1（RG1A）	RG2	RG3	RG3A	RG4	RG5	RG6	RG7	RG8
位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断 面	 ※（730）はRG1Aとする								
上端筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	2-D13	1-D13	1-D13	1-D13	1-D13
S T P	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@	D10-200@
腹 筋	8-D10	8-D10	8-D10	10-D10	6-D10	2-D10	3-D10	4-D10	3-D10

○ - D16 × - D13 ・ - D10

※ 梁成は、意匠図参照の上施工図による

※ 梁二段筋のあきは、1.5d（d：鉄筋径）とする

※ 壁梁腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。巾止メ筋は、D10-1,000@以下とする

梁リスト（体育倉庫）

記 号	G1	G2	G3						
位 置	全断面	全断面	全断面						
断 面									
上端筋	2-D13	2-D13	2-D13						
下端筋	2-D13	2-D13	2-D13						
S T P	D10-200@	D10-200@	D10-200@						
腹 筋	4-D10	4-D10	8-D10						

○ - D16 × - D13 ・ - D10

耐力壁、壁リスト

※ 開口補強筋の縦筋は曲げ補強筋を示す
※ D (ダブル) 配筋の場合、巾止メ筋はD10-1,000@以下とする

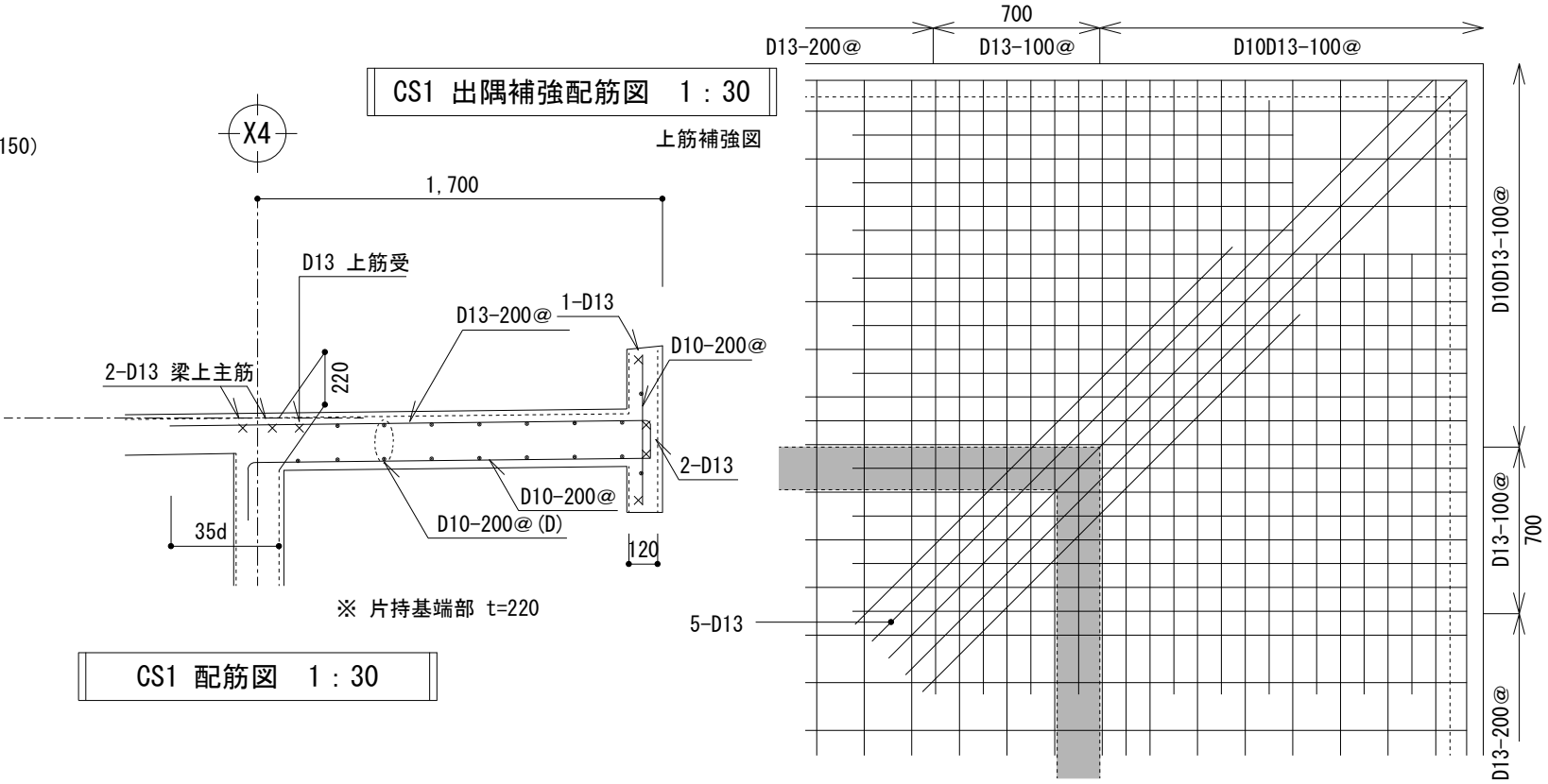
符 号	1W (W18)	W15	W12	W10	交差部配筋要領図	開口部補強要領図
壁 厚	180	150	120	100		
断 面 (水平断面)						
	左端筋1段	2-D13	1-D13	1-D13		
	左端筋2段			1-D13		
	右端筋1段	2-D13	1-D13	1-D13		
	右端筋2段			1-D13		
縦 筋	D10-200@ (D)	D10-200@ (S)	D10-200@ (S)	D10-200@ (S)		
横 筋	D10-200@ (D)	D10-200@ (S)	D10-200@ (S)	D10-200@ (S)		
開口補強斜筋	2-D13	1-D13	2-D13	1-D10		

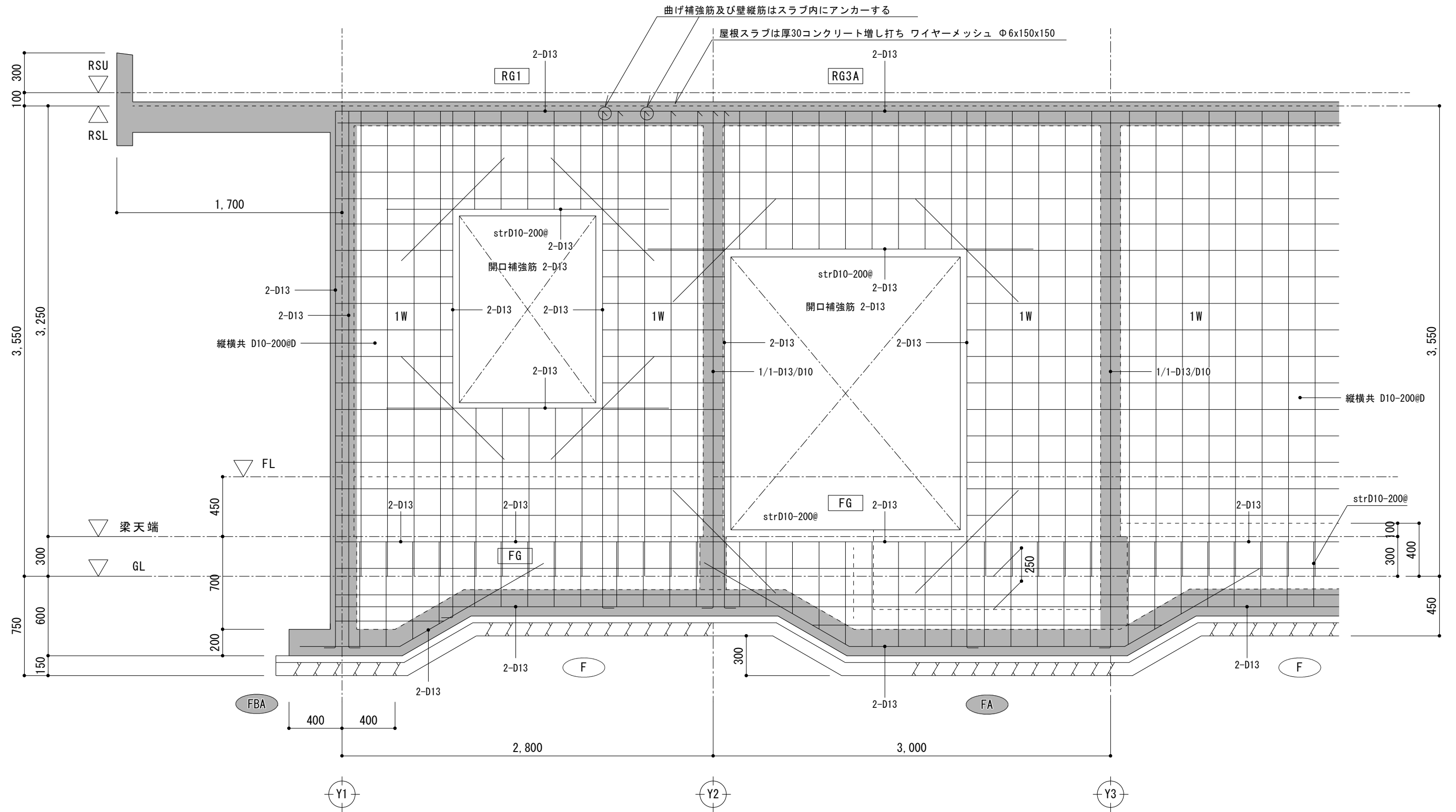
※ 梁上端、下端に増打がある場合は2-D13とする ∅ - D16 × - D13 ・ - D10

スラブリスト

※ 屋根スラブは厚30増打ワイヤメッシュ入りとする (6Φ×150×150)

符 号	版 厚 (t)	位 置	短 辺 方 向	長 辺 方 向	備 考
			全 断 面	全 断 面	
S1	150	上端筋	D10D13-200@	D10D13-200@	モチアミ配筋
		下端筋	D10-200@	D10-200@	
		上端筋			
		下端筋			
CS1	220	上端筋	D13-200@	D10-200@	片持 (付属屋)
		下端筋	D10-200@	D10-200@	出隅角補強右図参照
CS2	150	上端筋	D10D13-200@	D10-200@	片持 (体育倉庫)
		下端筋	D10-200@	D10-200@	出隅補強 4-D13
		上端筋			
		下端筋			

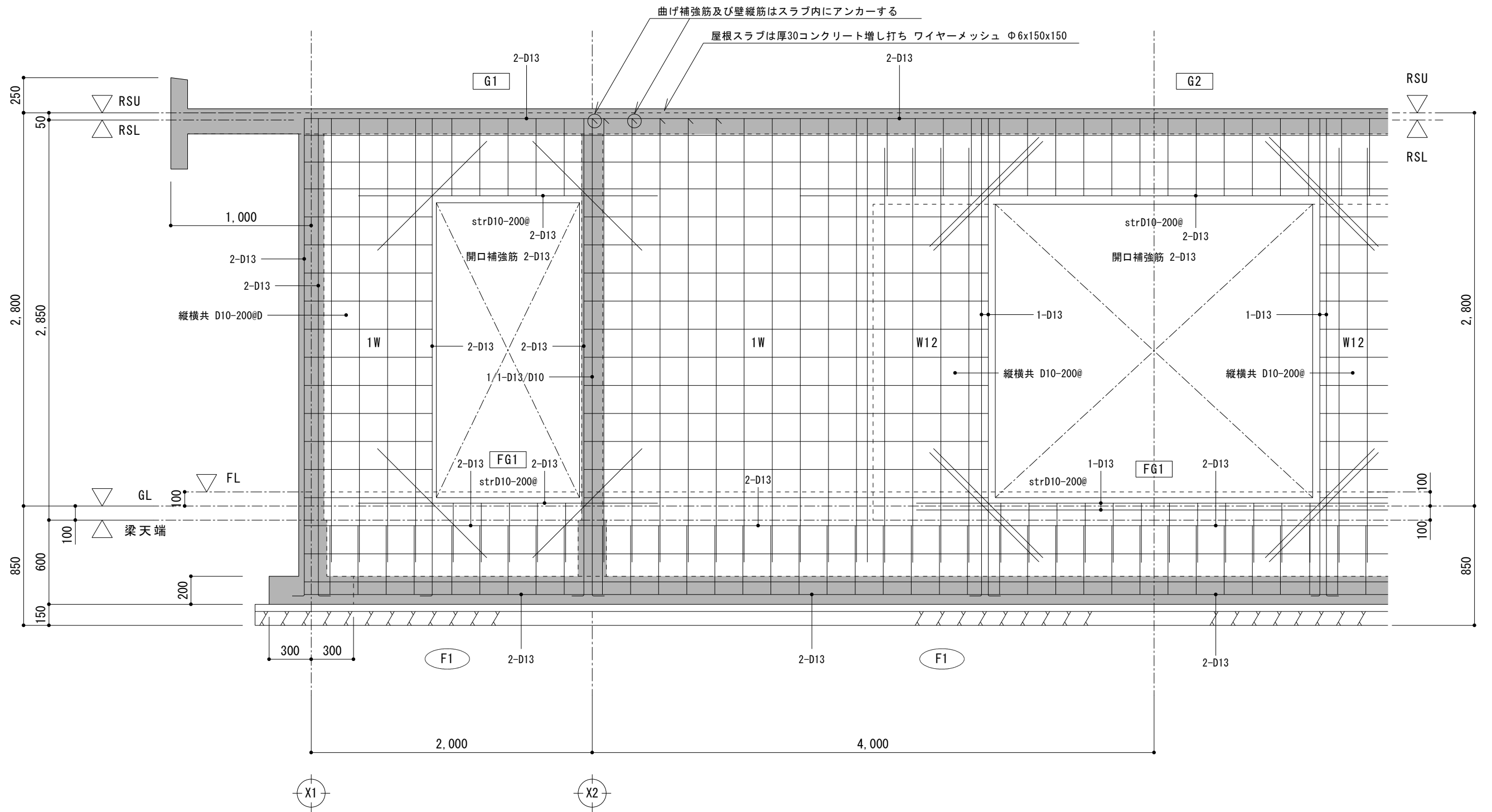




- ※ 耐力壁 1WはW180 D10-200@D
梁主筋、開口補強横筋の定着長は40dとする
- ※ 壁梁腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。
- ※ 耐力壁下地中梁部は全て 主筋(上下端筋共)2-D13, strD10-200@, 腹筋 D10-200(D) とする。

【プール付属屋】 付属屋 X1通 構造詳細図 1:30

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号 株 式 会 社 み の だ 設 計 一級建築士 第 148365 号 蓑田 満康	草牟田小学校プール新築その他本体工事		
	プール 付属屋 構造詳細図	A3:1/30	S-12
	鹿児島市建設局建築部建築課		



※ 耐力壁 1WはW180 D10-200@D

梁主筋、開口補強横筋の定着長は40dとする

※ 壁梁腹筋は壁の横筋と同径、同ピッチとする。

※ 耐力壁下地中梁部は全て 主筋(上下端筋共)2-D13, strD10-200@, 腹筋 D10-200(D) とする。

【体育倉庫】 体育倉庫 Y2通 構造詳細図 1:30

構造設計標準仕様

適用は ☒ 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称

草牟田小学校プール新築その他本体工事

(2) 工事種別

☒ 新築 ☐ 増築 ☐ 増改築 ☐ 改築

(3) 構造種別

☐ 木造 (W)

☐ 補強コンクリートブロック造 (CB)

☐ 鉄骨造 (S)

☒ 鉄筋コンクリート造 (RC)

☐ 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)

☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC)

(4) 階 数

地下

階

地上

階

塔屋

階

(5) 主要用途

プール (トレンチピット)

(6) 屋上付属物

☐ 広告塔

☐ 高架水槽

KN

☐ ハト小屋

☐ 煙 突

☐ キュービクル

KN

☐ 手摺、目隠し柵

(7) 増築計画

☐ 有 ☒ 無

(8) 外構工事

☐ 門塙 ☐ 擁壁

(9) 特別な荷重

☐ エレベータ

人乗

☐ リフト

KN

☐ ホイスト

KN

☐ 倉庫積載床用

kN/m²

☐ 受水槽

KN

☐ その他

KN

(10) その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種 類	設計基準強度 F _c =N/mm ²	調合管理強度 F _q =N/mm ²	スランプ cm	備 考
捨コンクリート	☒ 普通 ☐ 軽量	18		15	
土間コンクリート	☒ 普通 ☐ 軽量	18	※	15	
基礎 躯体	☒ 普通 ☐ 軽量	21	※	18	
2F:5F:躯体	☐ 普通 ☐ 軽量	27	※	18	
2F:8F:躯体	☐ 普通 ☐ 軽量	33	※	18	
2F:RF:躯体	☐ 普通 ☐ 軽量	36	※	18	

(2) コンクリートブロック (CB)

※ 調合管理強度＝設計基準強度＋構造体強度補正值 (S)

☐ A種 ☐ B種 ☐ C種 厚 ☐ 100 ☐ 120 ☐ 150 ☐ 190

(3) 鉄 筋

	種 類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	☒ SD295	D10～D16	壁、床、帯筋、肋筋	☒ 重ね継手 D16以下
	☐ SD345	D19～D25	柱、梁	☐ ガス圧接継手 D19以上
	☐ SD390	D29以上	柱、梁	
高強度鋼	☐ リバーボン785	K13 K16	せん断補強	☐ 特殊継手
溶接金鋼	☐ SR235	Φ 6x150	床	

(4) 鉄 骨

	種 類	使用箇所	現場溶接	備 考
鋼 材	☐ SS400 ☐ SN400B ☐ SN490B	大梁、小梁	☐ 有 ☐ 無	
	☐ STK400 ☐ STK490 ☐ STKN490	間柱、柱	☐ 有 ☐ 無	
	☐ STKR400 ☐ BCR295 ☐ BCP325	間柱、柱	☐ 有 ☐ 無	
	☐ SSC400	鋼 縁	☐ 有 ☐ 無	

(5) ボルト

☐ 高力ボルト ☐ 普通、F10T ☐ 特殊、S10T 認定品 ☐ M16 ☐ M20 ☐ F8T ☐ M22 ☐ M24

☐ 中ボルト SS400

☐ アンカーボルト ☐ SS400 ☐ 認定品 ISベース

☐ スタッドボルト

(6) 屋根、床、壁

☐ ALC 厚：

折版 形式： H： 厚：

☐ デッキプレート 形式：

☐ キーストンプレート 形式：

☐ 特殊デッキプレート

☐

3. 地 盤

(1) 地盤調査資料

☒ 有 (☒ 敷地内 ☐ 近隣) ☒ ボーリング調査 ☐ スウェーデンサウンディング試験 ☐ 無 (調査予定 ☐ 有 ☐ 無) ☐ 水平地盤反力係数の測定

(2) 地盤調査計画

☐ ボーリング調査 ☐ 静的貫入試験 ☐ 標準貫入試験 ☐ 水平地盤反力係数の測定 ☐ 土質試験 ☐ 物理探査 ☐ 平板載荷試験 ☐

(3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

(4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること)

深 度	土 質	N 値	標準貫入試験						備 考
			10	20	30	40	50	60	
1	虚土	21							※ 孔口標高 KBM+810 GL=KBM GL-870 (トレンチピット)
2	中硬質シラス	28							
3		20							
4		30							
5	硬質シラス	41							
6		27							
7		37							
8		38							
9		31							
10		41							
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									

4. 地 業 工 事

(1) 直接基礎

☒ ベタ基礎 ☐ 布基礎 ☐ 独立基礎 試験掘 ☐ 有 ☒ 無
深さGL-0.87m 支持層GL-0.87m 長期許容支持力度 150KN/m² 載荷試験 ☐ 有 ☒ 無

(2) 杭基礎

☐ 支持層- ☐ 柱状地盤改良工法 砕石地業 RC-40、C-40

種別
部位

基礎、梁側、柱、壁

スラブ下、はり下

スラブ下

はり下

早期強度ポルトランドセメント

普通ポルトランドセメント

高炉セメント A種

シリカセメント A種

早期強度ポルトランドセメント

普通ポルトランドセメント

高炉セメント A種

シリカセメント A種

早期強度ポルトランドセメント

普通ポルトランドセメント

高炉セメント A種

シリカセメント A種

早期強度ポルトランドセメント

普通ポルトランドセメント

高炉セメント A種

シリカセメント A種

15℃以上

5℃～15℃

5℃未満

2

3

4

6

8

17

28

5

8

10

16

15

28

28

コンクリートの圧縮強度

5.0N/mm²

設計基準強度の50%

設計基準強度の85%

100%

注1) 片持ばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。

注2) 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他ののはりの場合も原則として行わない。

注3) 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注4) 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注5) 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。

注6) 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) コンクリート

☒ コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5による。

☒ セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。

☒ 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。

☒ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。

☒ フレッシュコンクリートの塩化物物測定は、原則として工事現場で (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定器ごとに撮影した写真 (カラー) を保管し承認を得る。

測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。

☒ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。

また、打ち込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運転車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。

☒ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近ずけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、1m以下とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄 筋

☒ 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。

☒ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1) (2)」による。

☒ D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。

☐ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所を超えるときは、200箇所ごと) に1回行い、1回の試験は3本以上とする。

外観検査 ☐ 有 ☐ 無、 引張検査 ☐ 有 ☐ 無、 超音波探傷試験 ☐ 有 ☐ 無、

☐ 柱の帯筋 (HOOP) の加工方法

☐ H型 (タガ型) ☐ W型 (溶接型) ☐ S型 (スパイラル型)

☒ コンクリート及び鉄筋の試験は、建築物の工事における試験及び検査に関する試験機関で行うこと。

試験機関名

代行業者名

代行業者名とは、試験、検査に伴なう業務を代行する者をいう。

(3) 型 枠

☒ 材料 合板厚 12mmを標準とする。 ☒ 施工はJASS5による。

☒ 型枠存置期間 ※ (共通仕様書6.3.1)による。

6. 鉄骨工事

(1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

☐ 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」

☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」

(2) 工事監理者の承認を必要とするもの

☐ 製作工場

☐ 製作要領書

☐ 工作図

☐ 施工計画書

☐ 建設省告示第1103号による認定工場 (大臣認定 グレード登録 ランク)

☐ 材料規格証明書または試験成績書

☐ 鋼材 ☐ 高力ボルト ☐ 特殊ボルト ☐ スタッドボルト

☐ 社内検査表

(3) 工事監理者が行う検査項目

(☐ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

☐ 現寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査 ☐ 建方検査

(4) 接合部の溶接は下記によること

☐ 日本建築学会「溶接工作基準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」

☐ 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(5) 接合部の検査

☐ 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社 内	第三者	工事監理者	
☐ 完全溶込み溶接部	超音波探傷試験	%	%	%	
☐	外観 (目視) 検査	100 %	30 %	30 %	
☐	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名		工事監理者の承認を得て決定する事。			
第三者検査機関は、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注1) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

注2) 現場溶接は、超音波探傷試験を100%行う事。

☐ 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

☐ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。

締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。

(6) 防錆塗装

☐ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、JIS K5621、2回塗りを標準とする。

☐ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。

(7) 耐火被覆の材料

☐

7. 屋根ふき材、特定天井 施行令39条の事項の遵守

☒ 屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁&ガラス等。

☐ 特定天井 (H>6m、A>200m² 平25国交告第771号規定適用)

8. 設備関係 施行令129条の2の4の事項の遵守

☒ 建築設備、支持構造部、緊結金物は腐食または腐朽の恐れのないものとする

☒ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。

☒ 給水、排水その他の配管設備は振動及び衝撃に対し安全上支障のない構造とする。

☒ 梁貫通孔は配管スリーブ、貫通口補強を施す等の損傷防止の措置を行うこと。

☒ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。

☒ 屋上から突出する水層、煙突等は告示第1389号より、風圧、地震、その他の振動衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。

9. その他

☒ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出する事。

☒ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

☒ 必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

一級建築士事務所 知事登録 第 1-3-140 号

株式会社 みのだ設計

一級建築士 第 148365 号

蓑田 満康

草牟田小学校プール新築その他本体工事

構造設計標準仕様 (プール)

A3:1/N

鹿児島市建設局建築部建築課

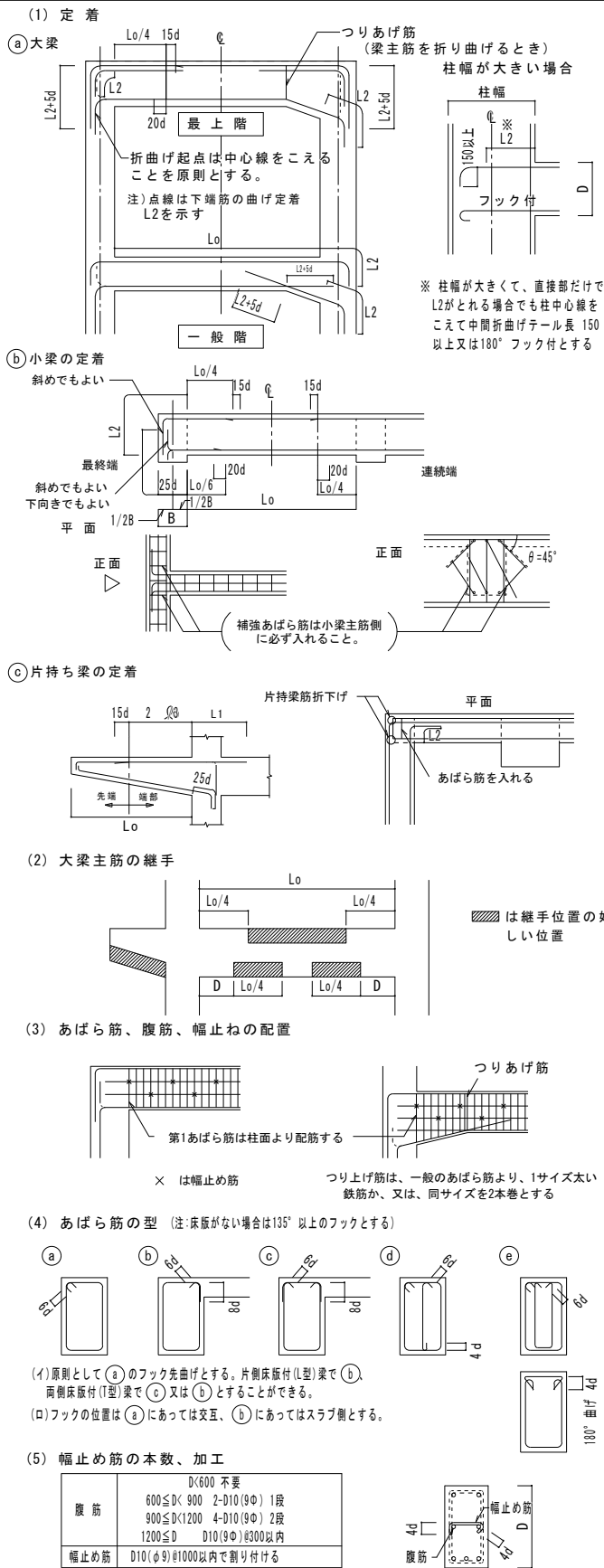
S-14

一級建築士 第93811号 〈 構造設計一級建築士 第8059号 〉 興梠 典郎

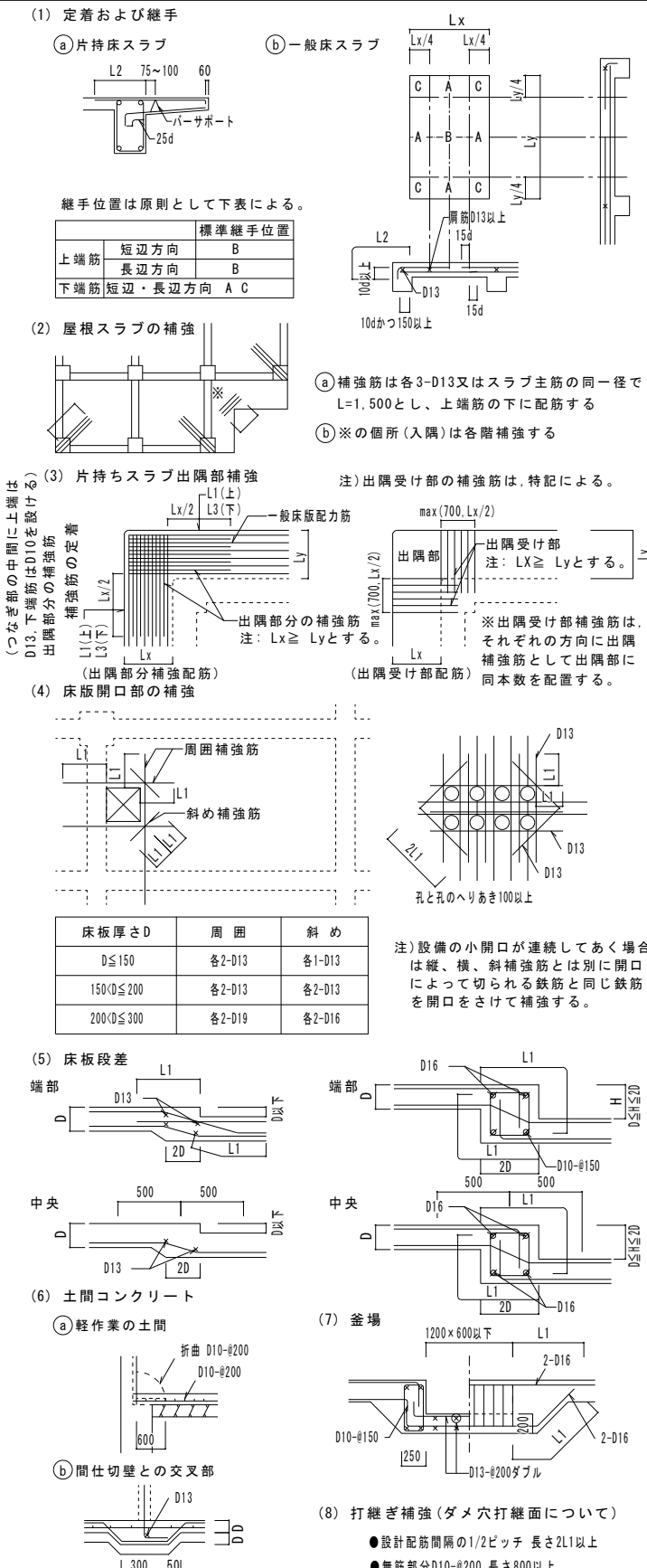
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

L: 鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2-(3)による。

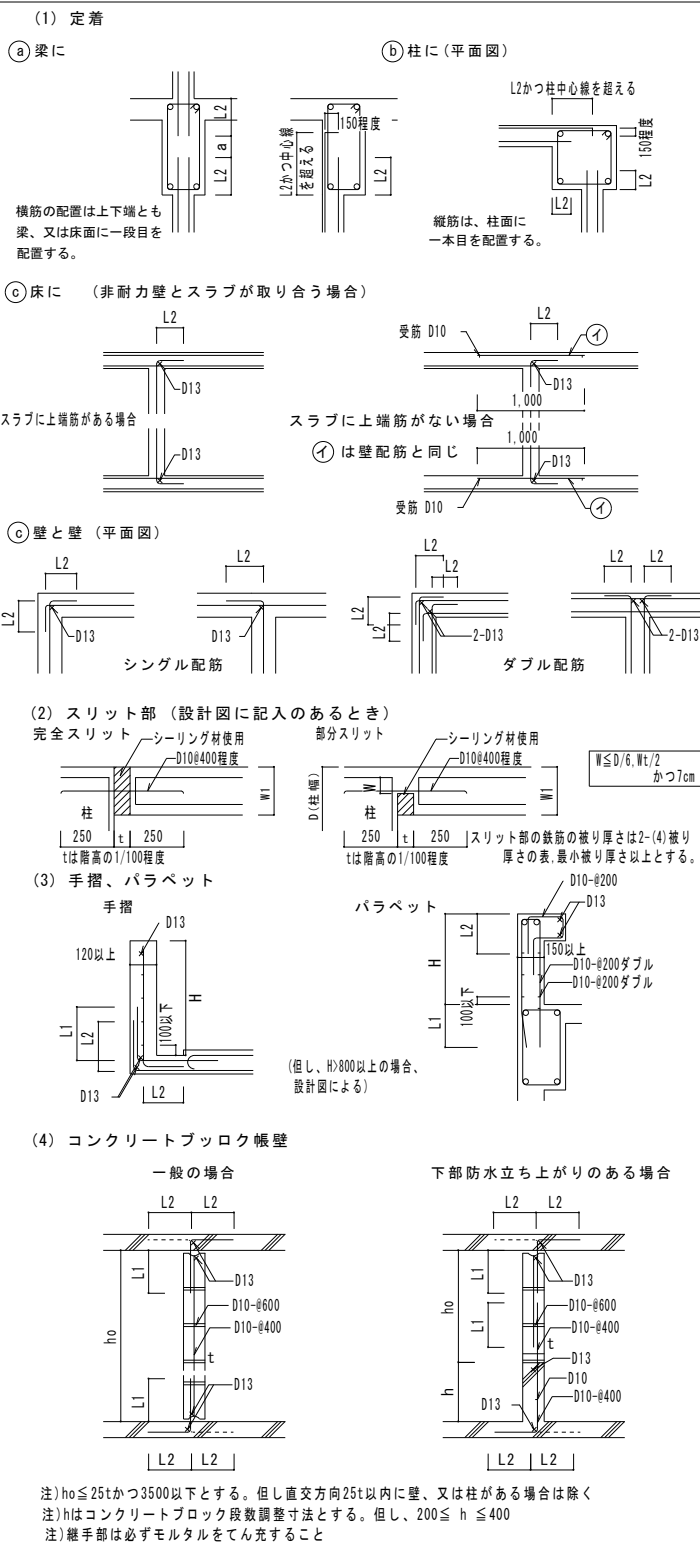
7. 大梁、小梁、片持梁



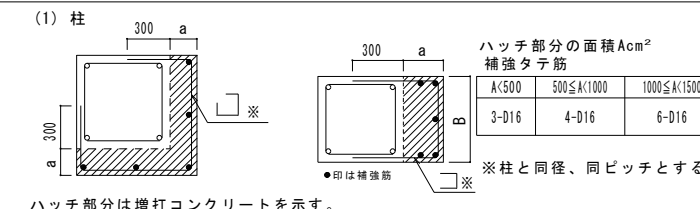
8. 床版



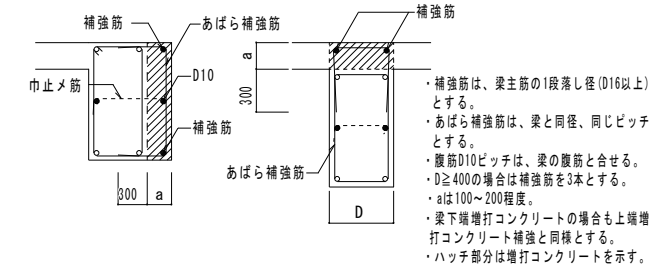
9. 壁



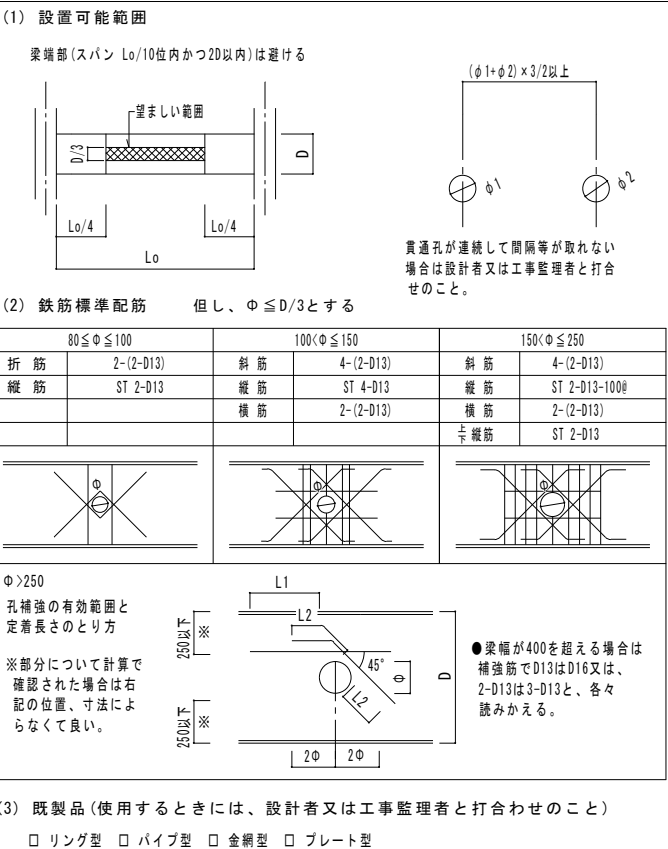
10. 柱、梁増打コンクリート補強



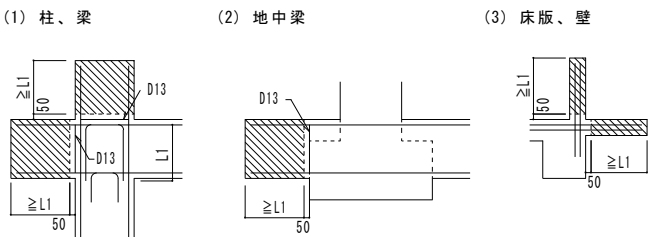
(2) 梁



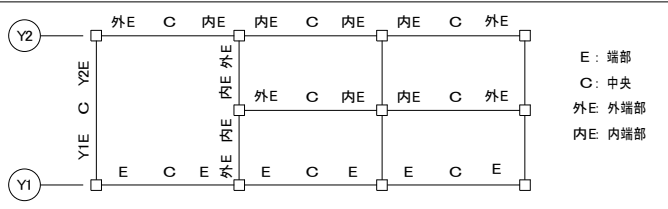
11. 梁貫通孔補強

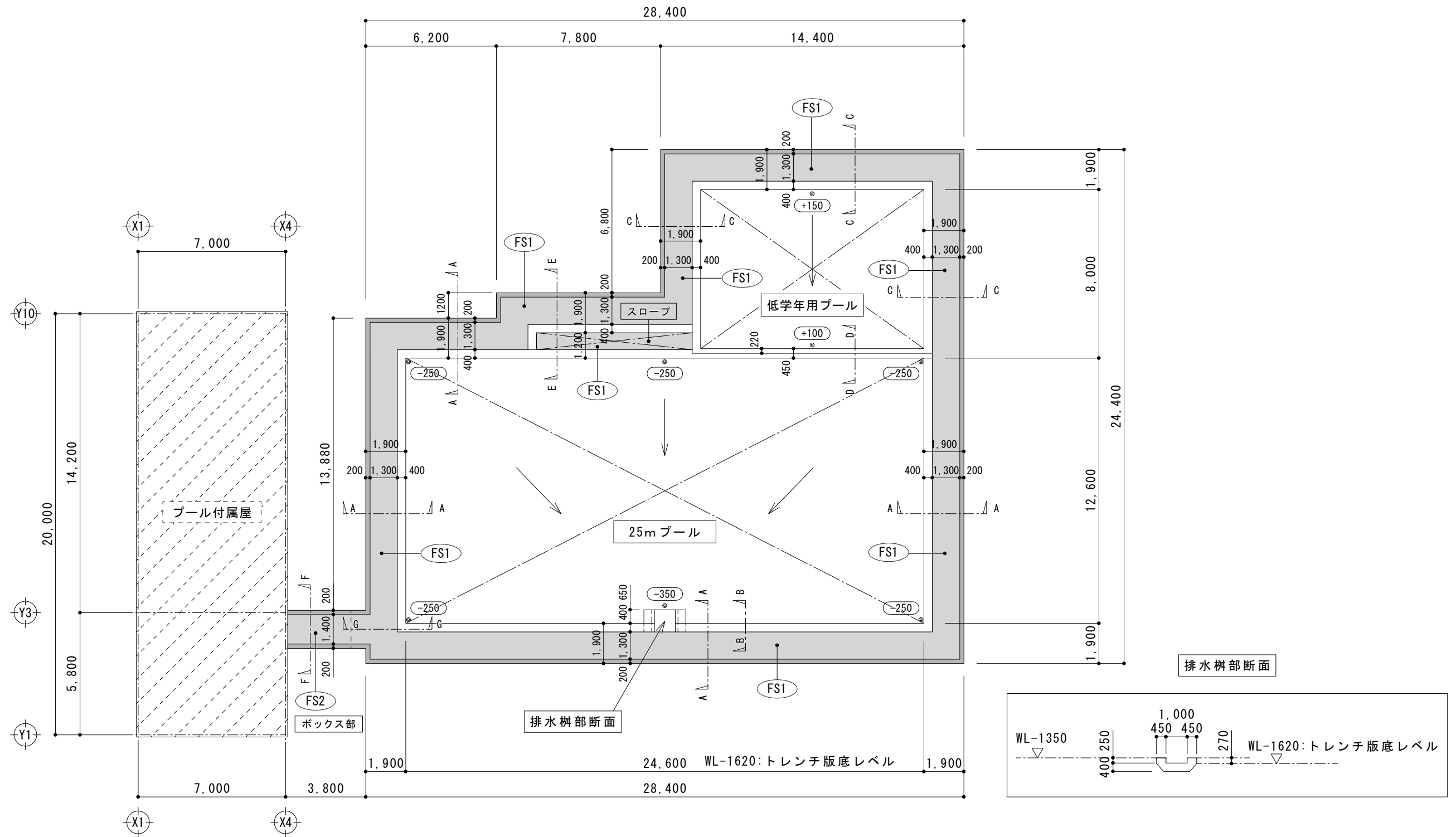


12. 増築予定



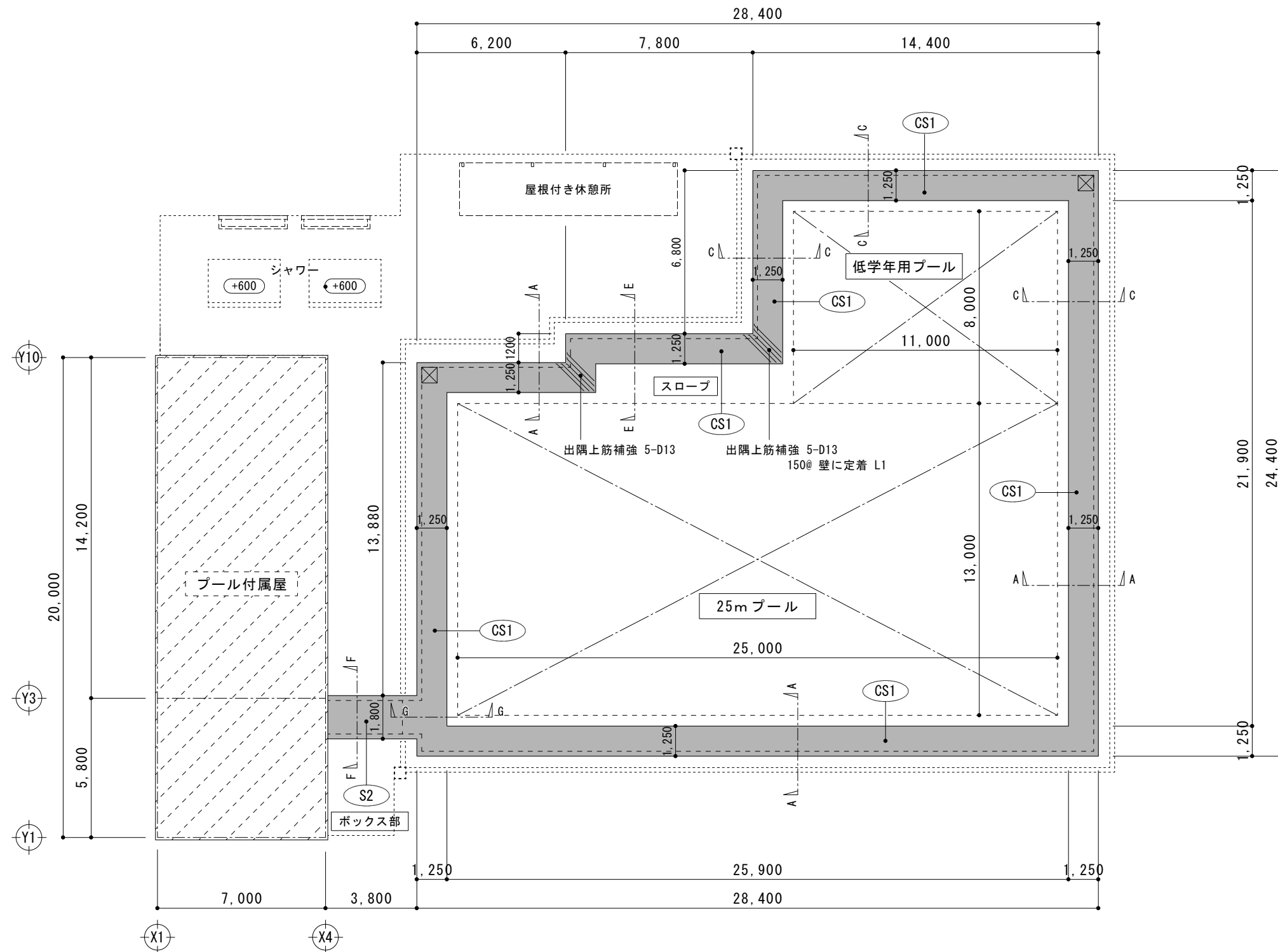
13. 梁配筋位置表示





耐圧版伏図（トレンチピット） 1/200

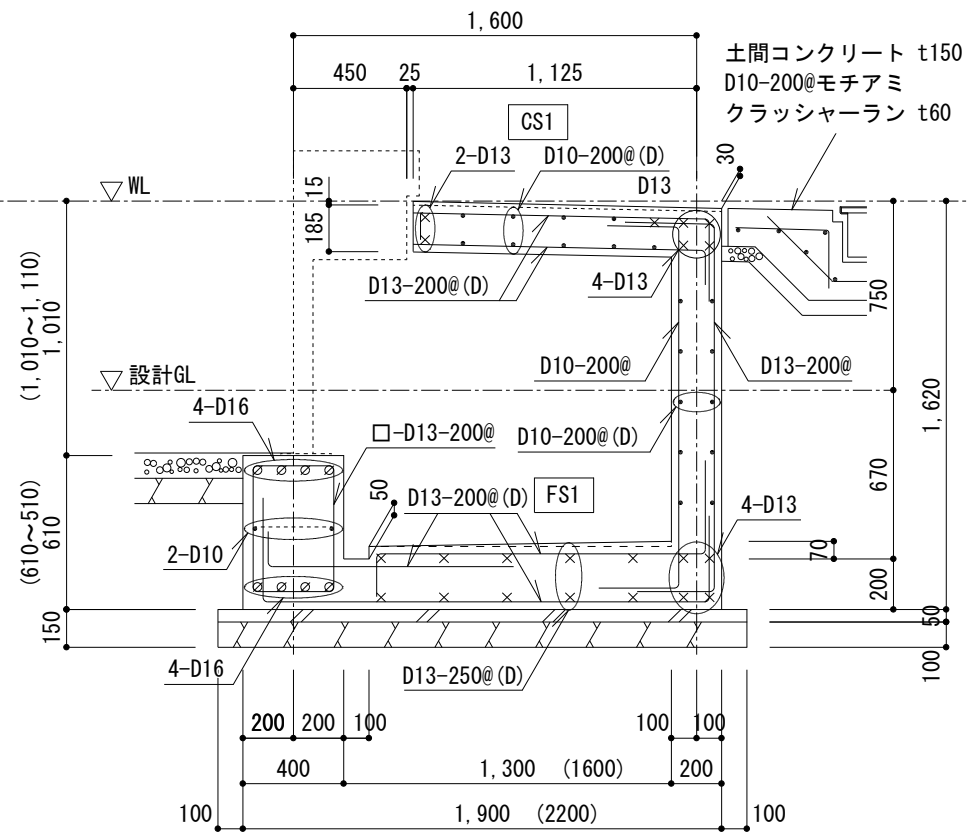
※ 外壁はW200とする。配筋は詳細図による。



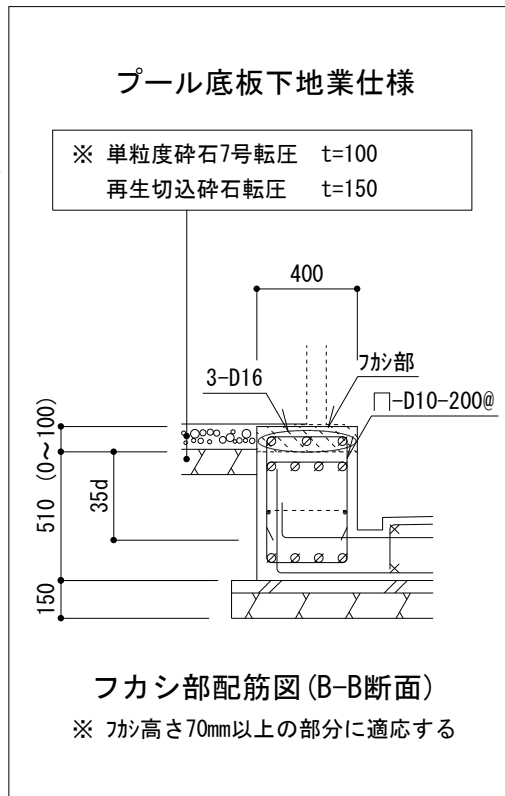
上床版伏図（トレンチピット） 1/200

※ 外壁はW200とする。配筋は詳細図による。

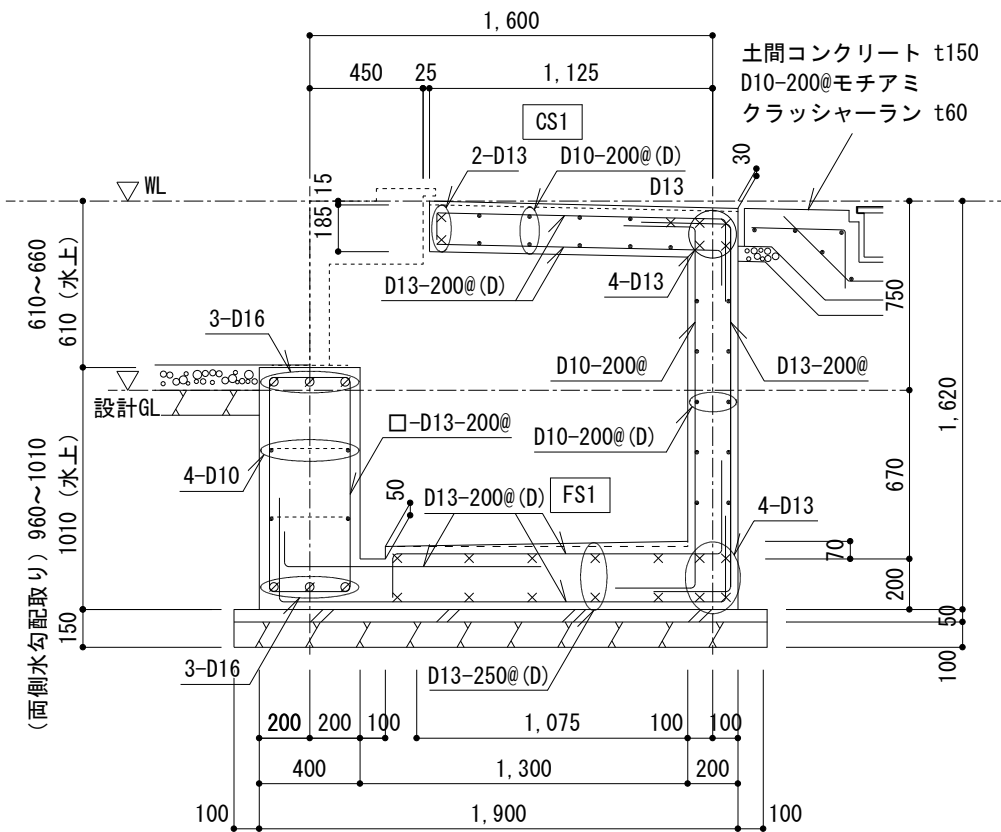
A-A 断面図 トレンチピット (25mプール)



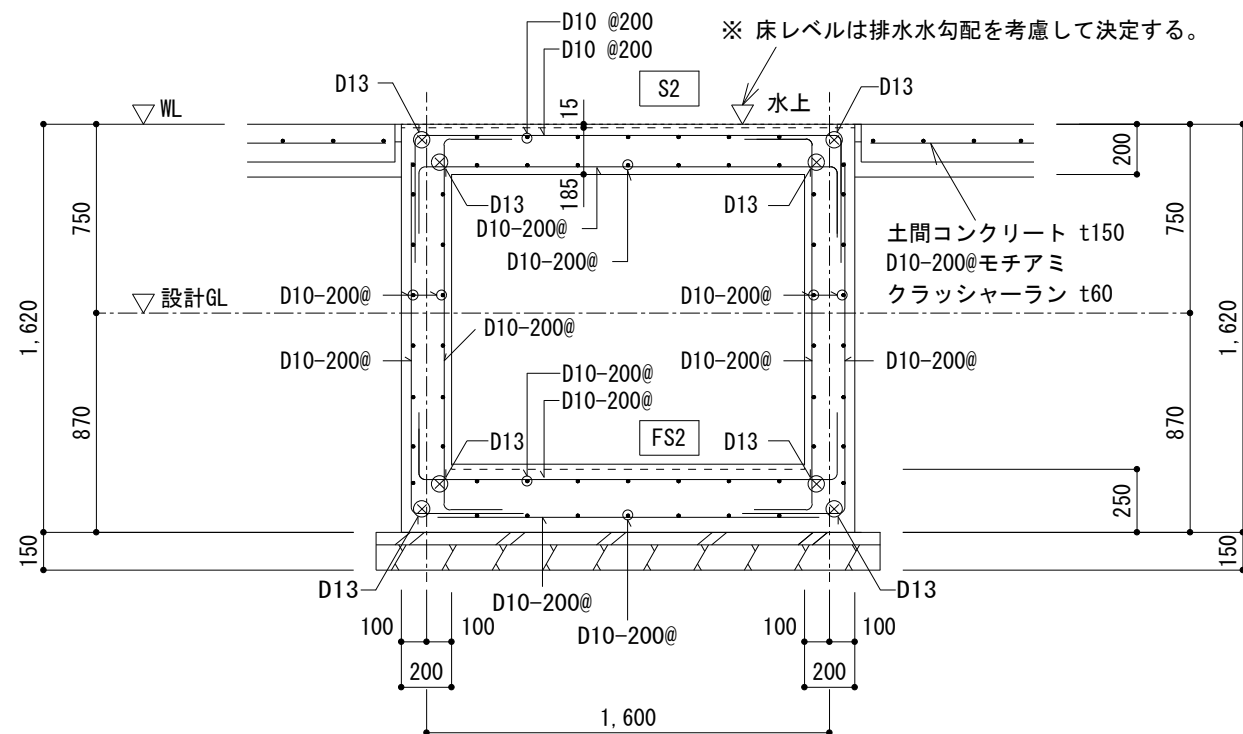
B-B 断面図



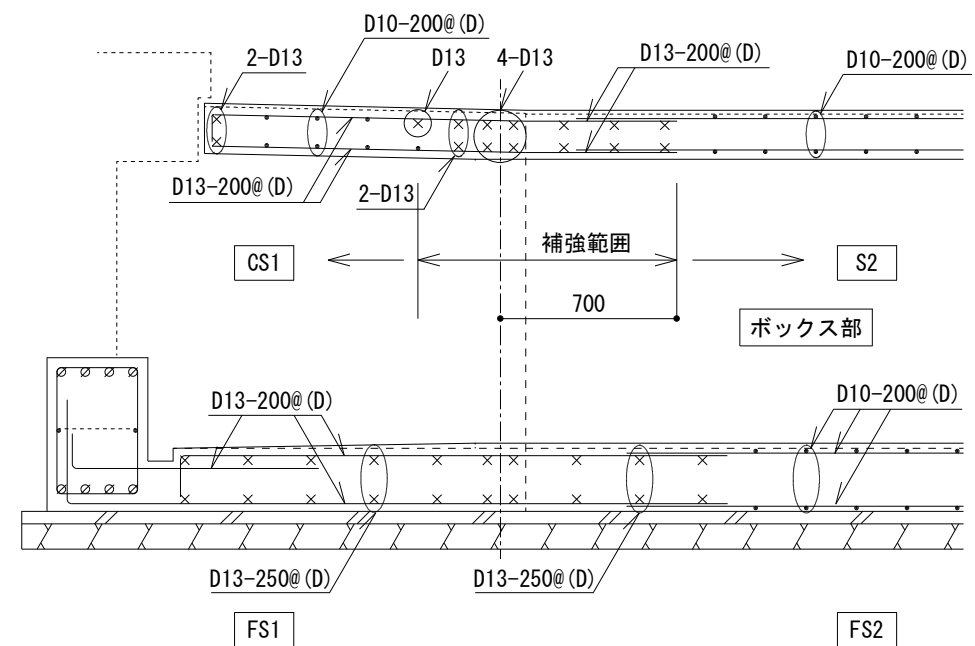
C-C 断面図 トレンチピット (低学年用プール)

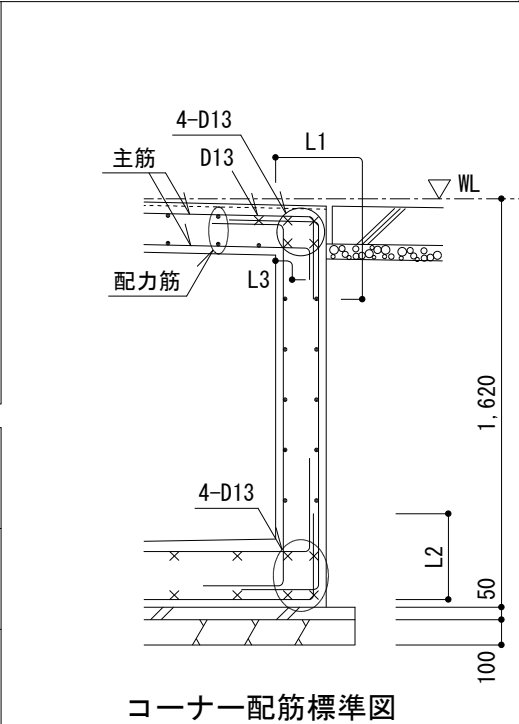
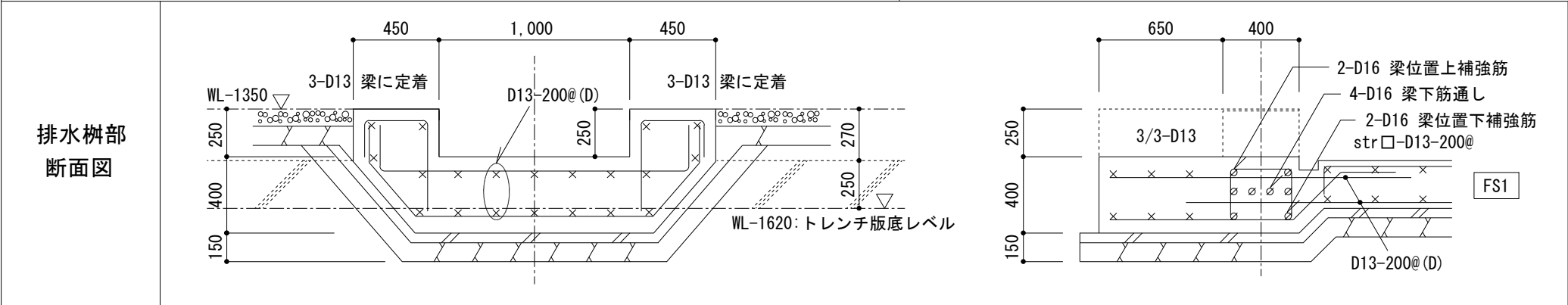
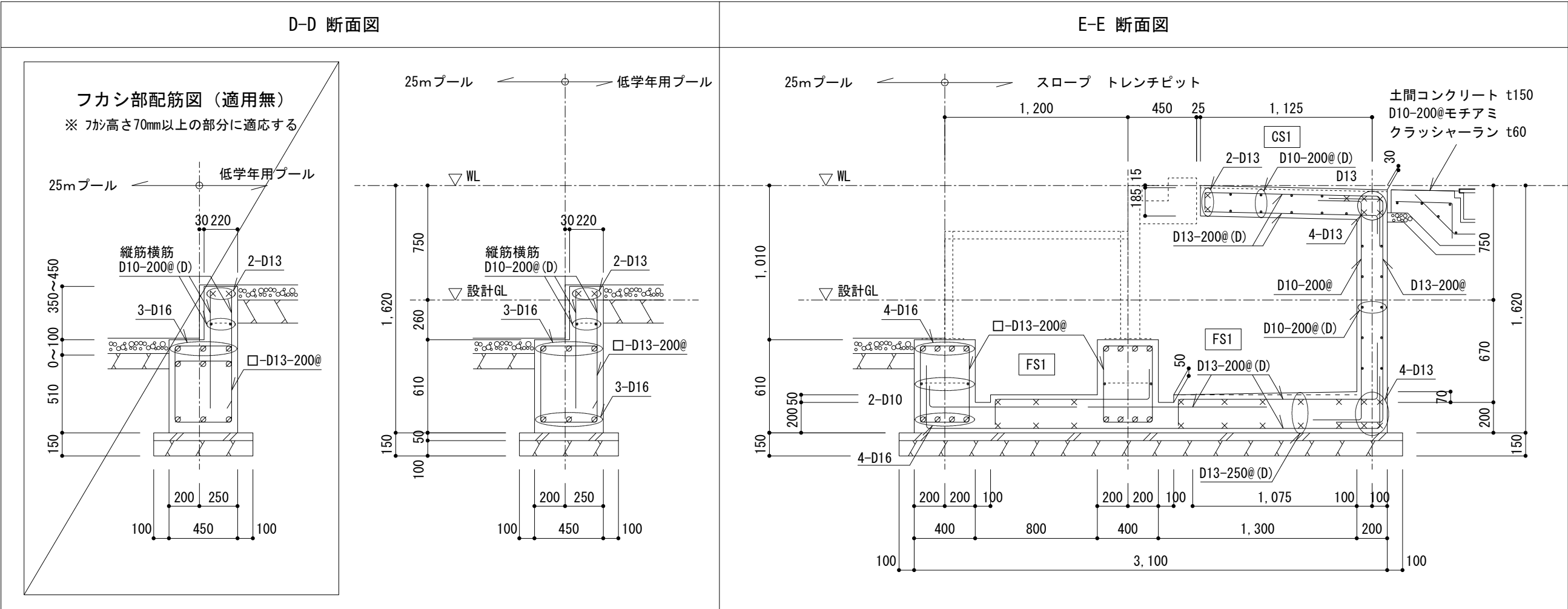


F-F 断面図 トレンチピット (ボックス機械室側)



G-G 断面図 トレンチピット (Tコーナー部) 補強配筋図





符 号	厚 さ (t)	位 置	主 筋	配力筋	備 考
CS1	185	上端筋	D13-200@	D10-200@	片持 ダブル
		下端筋	D13-200@	D10-200@	
S2	185	上端筋	D10-200@	D10-200@	ダブル
		下端筋	D10-200@	D10-200@	
土間	150	下端筋	D10-200@	D10-200@	シングル

符 号	厚 さ (t)	位 置	短 辺 方 向	長 辺 方 向	備 考
			全 断 面	全 断 面	
FS1	250 と 200	上端筋	D13-200@	D13-250@	ダブルモチアミ
		下端筋	D13-200@	D13-250@	
		上端筋			
		下端筋			
FS2	250	上端筋	D10-200@	D10-200@	ダブルモチアミ
		下端筋	D10-200@	D10-200@	